

2023年度 事業報告書

公益財団法人
田 附 興 風 会

目 次

概 要	1
-----------	---

主たる医学研究

1. 2023年度研究課題	3
2. 地域医療研修センター事業・研究会等の開催	44
3. 学 会	55
4. 論 文	94
5. 出 版	114
6. 解 剖	116
7. 人間ドック	116

医学研究所 北野病院の運営

1. 2023年度	
患者動態比較表	117
2022年度	
2. 庶務の概要	120
(1) 役員等に関する事項	120
(2) 主たる職員	121
(3) 役員会に関する事項	128
3. 附属明細書	129

事業報告概要

2023年度の5月に新型コロナウイルス感染症（以下、COVID-19）が5類へと移行し、「ウィズコロナ」から「アフターコロナ」に転換された年となりました。COVID-19対策は、4月から入院患者の面会制限を解除、10月には患者の受入を専用病棟から、各病棟の個室にしました。また、自粛していた対面でのイベント（「北野健康クラブ懇親会」、「みんなの医療セミナー（市民向け講演会）」、「北野メディカルワンダーランド」など）を再開し、病院運営はコロナ前に戻りつつあります。

法人機能を強化するために、2022年10月に法人本部を設置しました。また、2023年6月には内部統制を強化するための「内部統制室」と外部有識者から法人運営に対して意見をもらう「アドバイザリーボード」を設置しました。

さらに、医学研究を遂行していくための「臨床医学研究推進本部」を2024年4月に設置します。

本館リノベーション等による医療の質向上においては、2021年6月より開始された本館リノベーション工事が、ハイブリッド手術室の工事を最後に完了しました。9月には近隣病院、登録医、地域住民を招き完成式及び施設見学会を実施しました。ハイブリッド手術室については「経カテーテル的大動脈弁置換術（TAVI）実施施設」の認定を申請中であり、TAVIの実施に向けて進んでいます。

2024年度より開始される医師の働き方改革の準備として、宿日直帯の実態調査、時間外勤務及び自己研鑽の定義を設定し周知を行い、2023年9月から新勤怠システム導入しました。続いて、2024年1月より①宿日直時間の見直し、②宿日直帯の実労働時間の取り扱いの変更、③フレックスタイム制の導入をそれぞれ実施しました。フレックスタイム制は2024年1月から3月までは試行期間とし、2024年4月から本格的に開始しています。

また、2023年4月より開院していた第1、3、5土曜日を休診とし、週休2日制へ移行しました。平日の労働時間を延長することで、年間総労働時間は変わらないようにしました。これにより職員の年間休日が増加し、ワークライフバランスに寄与することができました。一方、土曜日の外来診療収入が減ることが危惧されましたが、平日の診療枠を見直すことで、収入を増加させることができました。

2024年1月に発生した能登半島地震においては、AMAT（全日本病院協会）を1月10日から11日の2日間、JMAT（日本医師会）を2月28日から3月1日の3日間派遣し、災害支援活動を行いました。

2025年に迎える財団設立100周年においては、①記念募金委員会（募金事業開始に向け

た趣意書の準備、返礼品・クラウドファンディングの検討)、②記念式典・祝賀会委員会(2025年11月2日に開催する記念式典・祝賀会の企画)、③記念誌発行委員会(北野病院100年史の制作)、④学術講演会(記念講演会)委員会(年1回の講演会開催)、⑤北野病院 alumni 委員会(OB・OG会の立ち上げ)、⑥西館再開発委員会(西館有効活用に向けた施設整備)、⑦リブランディング委員会(次の100年に向けた新しい北野ブランドについて検討)の7つの事業委員会が周年事業の運営を進めています。リブランディングでは一般市民アンケートやトップインタビューなどの現状把握をはじめ、次代に残すべき提供価値などについてワークショップ形式での議論を行っています。

収支状況においては、2020年度以降COVID-19の影響を大きく受けて、医業収入・患者数ともに減少傾向でありましたが、今年度の医業収入は260億円を越え、過去最も多い医業収入となりました。医業収入が増加した主な要因は、昨年度より延入院患者数が22,069人増加したことです。しかし、人員の増加や物価高騰の影響を受け、医業費用が増加したため、医業利益はマイナスとなりました。経常利益は昨年度と比べると大きく減少しましたが、コロナ補助金があったことでプラスとなりました。

また、2023年度の科学研究費助成事業は、申請21課題に対し新規採択5課題、継続・分担を含め計28課題を実施しました。AMED 関連事業では、代表3事業・再委託2事業を実施しました。これらの研究を核として、研究所全体では600件を超える研究課題に取り組み、さらに学会発表・論文発表などの多くの業績を挙げました。

8月に開催した学術講演会・研究発表会においては、創立100周年記念事業の一環として、心臓血管外科 荻野均先生の研究発表を含め4件の研究成果発表を行い、特別講演には愛知県医療療育総合センター 時田義人先生及び歯科口腔外科の高橋克先生の講演を行い、活発な意見交換が行われました。

なお、医学研究に対し多方面から多大のご篤志を得ており、当年度は、研究募金として約2億円の寄付を受け、将来事業も含めて研究活動に活用しています。

主たる医学研究

1. 2023年4月1日～2024年3月31日 研究課題

- 2023年度 文部科学省・日本学術振興会 科学研究費補助事業採択テーマ (5件)
- △2023年度 文部科学省・日本学術振興会 科学研究費補助事業継続テーマ (25件)
- ※2023年度 国立研究開発法人医療研究開発機構 (AMED) 参画テーマ (5件)

医学研究所

理事長	稲垣 暢也
病院長	秦 大資
所長	武藤 誠

- 1 栄養素感知に関わる腸管内分泌ホルモン分泌機構の統合的解析
(稲垣 暢也)
- △2 マウスモデルと臨床材料を用いた大腸がん幹細胞の転移機構の解析
(科学研究費助成事業 2021-2023年度 基盤研究(C)) (武藤 誠)
- △3 大腸上皮の分化指標に基づく大腸がん予後予測新規因子の解明
(科学研究費助成事業 2022-2024年度 基盤研究(C)) (武藤 誠)

腫瘍 研究部門

部長	黄 政龍	(呼吸器C 呼吸器外科)
研究主幹	岡田 卓也	(泌尿器科)
	宗田 武	(泌尿器科)
	樋口 壽宏	(産婦人科)
	八隅 秀二郎	(消化器C 消化器内科)
	高 忠之	(消化器C 消化器内科)
	寺嶋 宏明	(消化器C 消化器外科)
	田浦 康二郎	(消化器C 消化器外科)
	西村 貴文	(腫瘍内科)
	高原 祥子	(乳腺外科)
	北野 俊行	(血液内科)
	弓場 吉哲	(病理診断科)
	本庄 原	(病理診断科)
	梶山 徹	(緩和ケア科)

呼吸器センター 呼吸器外科系

- 1 肺癌における抗腫瘍剤関連バイオマーカーに基づく個別化治療
(黄 政龍、長 博之、尾田博美、熊谷陽介)
- 2 悪性縦隔腫瘍におけるバイオマーカーに基づく個別化治療
(黄 政龍、長 博之、尾田博美、熊谷陽介)

- 3 Wnt 抑制ベクターによる癌核酸医療の開発
(黄 政龍、尾田博美)
- 4 肺癌における新規バイオマーカーの探索
(黄 政龍、長 博之、尾田博美、熊谷陽介)
- 5 悪性縦隔腫瘍における新規バイオマーカーの探索
(黄 政龍、長 博之、尾田博美、熊谷陽介)
- 6 肺癌切除例に対する術後補助化学療法を検討
(黄 政龍、長 博之、尾田博美、熊谷陽介)
- 7 改良型内視鏡手術用ポートの使用
(黄 政龍、長 博之、尾田博美、熊谷陽介)
- 8 バーチャル気管支鏡ナビゲーションを利用した術前気管支鏡下マーキング
(熊谷陽介、黄 政龍、長 博之、尾田博美)

泌尿器科系

- 1 尿路上皮癌に対する免疫チェックポイント阻害薬治療の多施設共同観察研究
(岡田卓也、宗田 武、牧田 哲幸、大塚 光)
- 2 ホルモン感受性転移性前立腺癌の治療実態に関する前向き研究
(岡田卓也、宗田 武、牧田 哲幸、大塚 光)
- 3 前立腺がんに対するロボット支援根治的前立腺全摘術の多機関共同観察研究
(岡田卓也、宗田 武、牧田 哲幸、大塚 光)
- 4 切除不能尿路上皮癌の治療に関する他機関共同観察研究
(岡田卓也、宗田 武、牧田 哲幸、大塚 光)
- 5 エンフォルツマブベドチンによる皮膚障害の発症様式に関する多機関共同観察研究
(岡田卓也、宗田 武、牧田 哲幸、大塚 光)
- 6 ロボット支援前立腺全摘術後の下部尿路症状の検討
(宗田 武、岡田卓也、牧田 哲幸、大塚 光)
- 7 前立腺肥大症に対する治療状況の検討
(宗田 武、岡田卓也、牧田 哲幸、大塚 光)
- 8 筋層非浸潤性膀胱癌の再発/進展に関する検討
(大塚 光、岡田卓也、宗田 武、牧田 哲幸)

産婦人科系

- 1 低侵襲広汎子宮全摘術の腫瘍学的予後の検討
(関山健太郎、奥田亜紀子、児嶋真千子、河合恵理、高折彩、山村聡俊)
- 2 腹腔鏡下傍大動脈リンパ節郭清術の手術手技に関する検討
(関山健太郎、吉岡弓子、山内綱大、高折彩、久保のぞみ、井関莉花)
- 3 広汎性子宮頸部摘出術の腔式手術への発展
(樋口壽宏、小藺祐喜、児嶋真千子、河合恵理、水田結花、檜原由樹)
- 4 ロボット支援下の子宮体癌手術におけるセンチネルリンパ節検索の有用性の検討
(吉岡弓子、関山健太郎、山内綱大、久保のぞみ、水田結花、阿部秋子)
- 5 腹腔鏡下子宮全摘術における尿管損傷回避のための術式検討
(関山健太郎、樋口壽宏、奥田亜紀子、児嶋真千子、河合恵理、山村聡俊)
- 6 腹腔鏡下子宮筋腫核出時の筋腫細切術の工夫

- (樋口 壽宏、小藺祐喜、山内綱大、森部絢子、久保のぞみ、檉原由樹)
- 7 婦人科癌手術における深部静脈血栓症の発生についての検討
(小藺祐喜、吉岡弓子、奥田亜紀子、河合恵理、高折彩、阿部秋子)
 - 8 40 歳超高年初産婦の周産期予後に関する検討
(奥田亜紀子、小藺祐喜、森部絢子、久保のぞみ、山村聡俊、槇田美緒)
 - 9 切迫早産管理時の Short term tocolysis の有用性に関する検討
(奥田亜紀子、森部絢子、河合恵理、高折彩、檉原由樹)

消化器センター 消化器内科系

- 1 2 型糖尿病患者に対する膵癌発生についての前向き経過観察研究
(栗田 亮、八隅秀二郎、栗山勝利)
- 2 ERCP 関連偶発症に関する多施設共同前向き観察研究
(栗山勝利、八隅秀二郎)
- 3 家族性地中海熱遺伝子関連腸炎の診断法確立
(山内淳嗣、八隅秀二郎)
- 4 RAS 遺伝子 (KRAS/NRAS 遺伝子) 野生型で化学療法未治療の切除不能進行再発大腸癌患者に対する mFOLF0X6+ベバシズマブ併用療法と mFOLF0X6+パニツムマブ併用療法の有効性及び安全性を比較する第Ⅲ相無作為化比較試験
(高 忠之、八隅秀二郎)
- 5 切除不能・再発膵がんを対象とした相同組み換え修復関連遺伝子変異を含む遺伝子検査を用いた前向きコホート研究
(高 忠之、栗田 亮、八隅秀二郎)
- 6 血液透析中の消化器癌患者に対する FOLF0X 療法の安全性と有効性に関する多施設共同臨床試験
(高 忠之、八隅秀二郎)
- 7 大規模データベース構築から明らかにする急性下部消化管出血患者のクリニカルアウトカムの実態とその関連因子の解明：多施設後ろ向き研究
(山内淳嗣、八隅秀二郎)
- 8 自己免疫疾患における抗原の同定
(森田敏広、栗山勝利、東俊二郎、八隅秀二郎)
- 9 プロトンポンプ阻害薬中止による胃過形成性ポリープ縮小効果に関する多機関共同前向き観察研究
(吉川貴章、八隅秀二郎)
- 10 切除不能膵頭部癌に伴う遠位胆管狭窄による閉塞性黄疸に対する大口径低 axial force 胆管金属ステント留置の有用性と安全性を検討する二施設前向き試験
(栗田 亮、東俊二郎、森田敏広、栗山勝利、八隅秀二郎)
- 11 家族性膵癌家系または遺伝性腫瘍症候群に対する早期膵癌発見を目指したサーベイランス方法の確立に関する試験
(栗田 亮、森田敏広、東俊二郎、八隅秀二郎)
- 12 血液中 miRNA 測定による消化器癌の診断法確立に向けた研究
(森田敏広、八隅秀二郎)
- 13 膵癌に対する GEM+nabPTX 術前化学療法
(森田敏広、栗田 亮、寺嶋宏明、高 忠之、八隅秀二郎)

- 1 4 電子カルテデータを用いた、がん薬物療法と腎障害に関する診療実態調査と関連因子及び予後に関する研究
(塚本達雄、高 忠之、遠藤知美、尾上雅英、半田貴也)
- 1 5 Niti-s 大腸用ステント MD タイプ多施設共同前向き安全性観察研究
(川井祐弥、山内淳嗣、八隅秀二郎)
- 1 6 氷水を用いた十二指腸乳頭冷却による ERCP 後膵炎予防効果の検討
(栗田 亮、森田敏広、東俊二郎、栗山勝利、八隅秀二郎)
- 1 7 悪性遠位部胆管狭窄に対する metal stent 留置に伴う合併症に関する多施設共同後ろ向き観察研究
(栗山勝利、東俊二郎、森田敏広、八隅秀二郎)
- 1 8 迅速ウレアーゼ試験における胃粘液検体からのヘリコバクターピロリ検出の検討
(山内淳嗣、吉川貴章、八隅秀二郎)
- 1 9 大阪早期膵癌プロジェクト
(八隅秀二郎、栗山勝利、東俊二郎、森田敏広、藤田光一)
- 2 0 巨大肝嚢胞に対するポリドカノール、無水エタノール、塩酸ミノサイクリンの臨床使用について
(吉川貴章、八隅秀二郎)
- 2 1 日本人の潰瘍性大腸炎、クローン病、関節症性乾癬患者を対象としたアダリムマブバイオシミラーFKB327の有効性と安全性について：FKB327 Japan Registry Study
(山内淳嗣、吉川貴章、中神聡太、八隅秀二郎)
- 2 2 10mm 以上 20mm 以下の大腸ポリープに対する Underwater EMR の局所遺残再発に関する検討
(山内淳嗣、廣橋研志郎、吉川貴章、中神聡太、八隅秀二郎)
- 2 3 閉塞性黄疸を有する 1 型自己免疫性膵炎に対する胆管ステント非留置下ステロイド投与の安全性評価試験
(栗田 亮、栗山勝利、東俊二郎、森田敏広、八隅秀二郎)
- 2 4 NAFLD/NASH における線維化進展と肝発癌の観察研究
(高橋 健、八隅秀二郎)
- 2 5 呼気揮発性有機化合物と肝疾患の関連
(井口公太、寺嶋宏明、田浦康二郎、河合隆之、伊藤凌、高橋 健、高 忠之、八隅秀二郎)
- 2 6 膵炎/膵癌患者の腸内細菌叢制御を目的とする IgA 抗体医薬の検証
(井口公太、寺嶋宏明、田浦康二郎、河合隆之、仲野健三、東俊二郎、森田敏広、高忠之、八隅秀二郎)
- △ 2 7 膵癌患者の膵液中 miRNA に対するバイオマーカーおよび分化・増殖に関する研究
(科学研究費助成事業 2022-2024 年度 若手研究) (森田敏広)

消化器センター 消化器外科系

【食道】

- 1 腹臥位胸腔鏡下食道亜全摘に関する観察研究
(田中英治)

【胃・十二指腸・小腸】

- 2 京都大学外科関連多施設における胃癌手術レジストリ
(田中英治)
- 3 胃癌手術症例のバイオバンク構築
(奥知慶久、山本健人)
- 4 2 型糖尿病を有する胃癌患者に対する幽門側胃切除術後の消化管再建法の糖尿病経過
への影響に関する多施設共同後ろ向き観察研究
(田中英治)
- 5 腹腔鏡下幽門側胃切除の術後疼痛に関する観察研究
(田中英治)
- 6 多国間における胃癌の臨床病理学的特徴及び予後の比較検討～国際共同後ろ向き観察
研究
(田中英治)
- 7 腹腔鏡下胃癌手術後の腹腔内感染性合併症の予防に対するポリグリコール酸シート
の有効性と安全性に関する第Ⅱ相臨床試験
(田中英治、奥知慶久)
- 8 残胃癌に対する低侵襲手術の有用性・妥当性の検討：多施設共同後ろ向き観察研究
(田中英治、奥知慶久)
- 9 胃癌術後患者における経口的栄養補助(ONS)の有用性の検討：多機関共同ランダム化比
較試験
(田中英治)
- 10 胃癌根治術後の栄養状態の変化と予後に関する多機関共同研究
(田中英治)

【大腸、消化管基礎研究】

- 11 大腸癌における FGFR 遺伝子が新規分子標的治療薬の感受性にもたらす影響と臨床的
意義(科学研究費助成事業 2023-2027 年度 若手研究) (山本健人)
- △ 12 腫瘍発生の土壌となる遺伝子発現変化を制御することによる新規大腸癌予防薬の開発
(科学研究費助成事業 2021-2024 年度 若手研究) (奥知慶久)
- 13 局所進行下部直腸癌に対する術前補助化学療法の有効性と忍容性の研究(Estneo 研
究)の長期予後調査研究
(福田明輝)
- 14 消化管癌患者由来腫瘍を用いた移植片マウスモデル及びスフェロイド培養モデルの樹
立に関する研究
(山本健人)
- 15 局所進行直腸癌に対し強度変調放射線治療を利用した術前化学放射線療法の多施設第
II 相臨床試験
(福田明輝)
- 16 高齢者大腸癌に対する低侵襲手術の安全性に関する多施設共同研究
(山本健人)

【肝臓、肝切除臨床研究、肝臓基礎研究】

- 17 ヒスタミン受容体シグナル制御による肝虚血再灌流障害の制御および肝移植への応用
(科学研究費助成事業 2023-2025 年度 若手研究) (川添准矢(客員研究員))
- △ 18 肝虚血再灌流障害とその制御における概日リズムの関与
(科学研究費助成事業 2021-2023 年度 基盤研究(C))

- (寺嶋宏明、宮内智之 (客員研究員))
- △ 1 9 肝細胞癌における癌幹細胞を標的とした新規治療戦略構築に関する研究
(科学研究費助成事業 2021-2024 年度 若手研究) (河合隆之)
- △ 2 0 肝臓外科領域における食事療法の有効性および腸内環境の変動解析
(科学研究費助成事業 2020-2023 年度 基盤研究(B)) (宮内智之)
- 2 1 肝疾患モデル動物に対する栄養学的介入に関する基礎研究(イーエヌ大塚 研究支援)
(寺嶋宏明、内田洋一郎 (客員研究員))
- 2 2 大建中湯における肝虚血再灌流障害に対する保護効果に関する基礎研究 (ツムラ共同研究助成)
(寺嶋宏明、内田洋一郎 (客員研究員))
- 2 3 大腸癌肝転移に対する肝切除法と予後に関する多施設共同前向き観察研究 (SAMURAI study)
(河合隆之)
- 2 4 肝内胆管癌の末梢型と中枢型における解剖学的分類の妥当性に関する研究 (日韓合同プロジェクト研究)
(田浦康二郎)
- 2 5 Clinical impact of 18F-fluorodeoxyglucose positron emission tomography/computed tomography in the patients with pancreatic ductal adenocarcinoma treated with neoadjuvant therapy (日韓合同プロジェクト研究)
(田浦康二郎)
- 2 6 Implementation status of indocyanine green fluorescence-guided laparoscopic liver resection: an international multicenter study in Asian countries (日韓合同プロジェクト研究)
(田浦康二郎)
- 2 7 同時性切除不能大腸癌肝転移に対する肝先行切除または原発先行切除の有用性および安全性の検討
(寺嶋宏明)
- 2 8 肝切除後肝再生・肝不全における脂質代謝ネットワークを探る
(井口公太)
- 2 9 肝切除後の予想残肝容量を増大させ、術後肝不全のリスクを回避する新しい肝切除術式 (ALPPS 手術) 導入
(河合隆之)
- 3 0 BRAF V600E 変異陽性切除不能大腸癌肝転移に対する conversion 療法に関する多施設共同前向き観察研究
(寺嶋宏明)
- 3 1 呼気揮発性有機化合物と肝疾患の関連
(井口公太)
- 3 2 肝切除後合併症発生リスクの経時的変化に基づく最適な入院期間の検討 (日本肝胆膵外科学会プロジェクト研究)
(田浦康二郎)
- 3 3 進行肝細胞癌に対する外科的治療介入の実態と成績調査 (日本肝胆膵外科学会プロジェクト研究)
(田浦康二郎)

- △ 3 4 NASH 肝癌発生過程を血液と肝臓プロテオームから解き明かす～ブタからヒトへ～
(科学研究費助成事業 2019-2024 年度 基盤研究(C)) (井口公太)

【胆道】

- 3 5 肝葉切除を伴わない胆道癌切除例を対象としたゲムシタビン/シスプラチン (GC) 併用療法とゲムシタビン/S-1 (GS) 併用療法の術後補助化学療法のランダム化第Ⅱ相試験 (KHB01901)
(河合隆之、寺嶋宏明)
- 3 6 全国胆道癌の後方視的観察研究
(寺嶋宏明、田浦康二郎)
- 3 7 胆嚢癌に対する至適術式の検討
(田浦康二郎)
- 3 8 T 因子に基づく胆嚢癌における最適手術範囲と手術方法の検討 (日韓合同プロジェクト研究)
(田浦康二郎)
- 3 9 切除不能または再発胆道癌を対象としたゲムシタビン/シスプラチン/S-1 (GCS) 療法とゲムシタビン/シスプラチン/免疫チェックポイント阻害薬療法のランダム化比較第Ⅲ相試験 (KHB02201)
(河合隆之、寺嶋宏明、田浦康二郎)
- 4 0 Intracholecystic papillary neoplasm の臨床生理学的/病理学的検討 (日本肝胆膵外科学会プロジェクト研究)
(田浦康二郎)
- △ 4 1 生理的な胆道再建を目指した人工胆管の開発
(科学研究費助成事業 2020-2023 年度 基盤研究(C)) (田浦康二郎)
- △ 4 2 ブタモデルを用いた FOLF0X 誘導性 SOS の予防法の確立
(科学研究費助成事業 2021-2023 年度 基盤研究(C)) (田浦康二郎)

【膵臓、膵切除】

- 4 3 膵・消化管および肺・気管支・胸腺神経内分泌腫瘍の患者悉皆登録研究
(寺嶋宏明)
- 4 4 膵癌に対する GEM+nabPTX 術前化学療法
(寺嶋宏明、田浦康二郎)
- 4 5 糞便解析と栄養学的指標から検討した膵切除後脂肪肝の治療戦略
(井口公太)
- 4 6 膵頭十二指腸切除術の標準化と段階的 renovation の意義
(寺嶋宏明、田浦康二郎、井口公太、河合隆之)
- 4 7 膵体尾部切除における膵断端処理の標準化と段階的 renovation による POPF 発症軽減への取り組み
(寺嶋宏明、田浦康二郎、井口公太、河合隆之)
- 4 8 切除可能／切除可能境界膵癌に対する至適術前治療の探索
(仲野健三)
- 4 9 当院における膵癌切除例の治療成績および予後因子の検討
(仲野健三)
- 5 0 切除不能局所進行膵癌に対する Conversion Surgery の新規化学療法導入後治療成績の再検討 (日本肝胆膵外科学会プロジェクト研究)

(寺嶋宏明、仲野健三)

- 5 1 膵管内管状乳頭腫瘍 (Intraductal tubulopapillary neoplasm) に関する多施設共同
後ろ向き観察研究 (日本肝胆膵外科学会プロジェクト研究)
(仲野健三)
- 5 2 膵体尾部切除術における膵切離法と術後膵液瘻に関する多機関共同後ろ向き観察研究
(河合隆之、寺嶋宏明)
- 5 3 当院における成人先天性胆道拡張症に対する手術症例の検討
(河合隆之、寺嶋宏明)
- 5 4 腹腔洗浄細胞診陽性膵癌に対し切除の是非を明らかにするための比較研究 (日本肝胆
膵外科学会プロジェクト研究)
(河合隆之、寺嶋宏明)
- 5 5 膵炎/膵癌患者の腸内細菌叢制御を目的とする IgA 抗体医薬の検証
(井口公太、寺嶋宏明、田浦康二郎、河合隆之、仲野健三)

【その他】

- 5 6 Multi-gene Panel を用いた遺伝学的検査の遺伝カウンセリングモデルに関する研究
(寺嶋宏明)
- 5 7 腹腔鏡下鼠径ヘルニアの術後疼痛に関する観察研究
(田中英治、河合隆之)
- 5 8 消化器手術が体蛋白崩壊量と栄養代謝動態に与える影響
(田中英治)
- 5 9 2 型糖尿病患者に対する消化器悪性腫瘍手術において術前血糖コントロールが術後成
績に及ぼす影響に関する多施設共同後ろ向き観察研究
(田中英治)
- 6 0 イマチニブ投与中の進行消化管間質腫瘍に対する腫瘍減量手術の臨床的有用性を評価
する国際多施設共同後方視的研究
(上田修吾、寺嶋宏明)
- 6 1 AYA 世代女性がん患者で、がん治療前に妊孕性温存療法に関して情報提供を受けた患
者における卵巣機能評価に関する前向きコホート研究
(寺嶋宏明、田浦康二郎)
- 6 2 胃癌根治術後の栄養状態の変化と予後に関する多機関共同研究 (日本ヘルニア学会
2023 年度研究テーマ)
(田中英治)

腫瘍内科系

- 1 がん化学療法における有害事象に関する臓器横断的研究
(西村貴文)

乳腺外科系

【遺伝医学】

- 1 乳癌患者に対する、研究にて判明した遺伝子変異の結果開示における遺伝カウンセリ
ングのニーズ及び効果に関する調査
(高原祥子、板垣あい、吉本有希子)
- 2 BRCA 遺伝学的検査に関するデータベースの作成

- (高原祥子、板垣あい、吉本有希子)
- 3 遺伝性乳癌卵巣癌症候群疑い患者に対する BRCA1/2 遺伝子検査関連情報提示後の行動様式とその動機の研究
(高原祥子、板垣あい、吉本有希子)
 - 4 遺伝性腫瘍における医療格差の打開に必要なツールの検討 Ver. 1
(高原祥子、板垣あい、吉本有希子)
 - 5 HBOC 患者に対するリスク低減手術がもたらす心理・身体・社会的変化についての調査
(高原祥子、板垣あい、吉本有希子)
 - 6 当院における HBOC 患者に対するリスク低減乳房切除の現状と課題
(吉本有希子、高原祥子、橘強、板垣あい)
 - 7 BRCA1/2 遺伝学的検査バリエーション症例の長期フォローアップ
(高原祥子 板垣あい 吉本有希子 橘強)
 - 8 当院の HBOC 診療における血縁者診断と医学的管理の現状と今後の課題
(吉本有希子、高原祥子、橘強、板垣あい)
 - 9 当院における生殖細胞系列 MGPT の現状と課題
(板垣あい、吉本有希子、高原祥子)
 - 10 ゲノム医療にむけた院内体制づくりに関する研究
(板垣あい、吉本有希子、高原祥子)

【化学療法】

- 11 化学療法誘発性末梢神経障害発症軽減に関する多施設共同研究
(高原祥子、吉本有希子、橘強)
- 12 HER2 陽性進行再発乳癌に対する T-DXd の治療効果についての検討
(高原祥子、吉本有希子、橘強)
- 13 「エンハーツ点滴静注用 100mg 特定使用成績 調査 乳癌」患者を登録対象とした トラスツズマブ デルクステカン 中止後の後治療に関するコホート研究 (EN-SEMBLE)
(高原祥子、吉本有希子、橘強)
- 14 脳転移を有する HER2 陽性乳がんに対するトラスツズマブ デルクステカン治療のレトロスペクティブチャートレビュー研究
(高原祥子、吉本有希子、橘強)
- 15 HER2 低発現転移再発乳癌に対する T-DXd 治療の臨床病理学的検討
(高原祥子、吉本有希子、橘強)
- 16 免疫チェックポイント阻害剤併用周術期化学療法の治療成績
(橘強、吉本有希子、高原祥子)
- 17 AYA 世代女性がん患者で、がん治療前に妊孕性温存療法に関して情報提供を受けた患者における卵巣機能評価に関する前向きコホート研究
(寺嶋 宏明、田浦 康二郎、北野 俊行、高原 祥子、橘 強、吉本 有希子)

【内分泌療法】

- 18 ER 陽性転移乳癌におけるアベマシクリブの効果予測並びに腸管毒性予測因子を探索する臨床研究
(吉本有希子、高原祥子)
- 19 当院における ER・PgR 低発現乳癌の臨床病理学的検討
(吉本有希子、橘強、高原祥子)

【その他】

- 2 0 乳がん微小環境形成に関わる分子生物学的機序の生体試料を用いた探索研究
(高原祥子、吉本有希子、橘強)
- 2 1 再発高リスク早期乳がん患者の血中循環腫瘍 DNA の発現状況および転移・再発との関連を検討する前向き遺伝子解析研究
(高原祥子、吉本有希子、橘強)
- 2 2 血清中短鎖 RNA 測定による乳癌の診断法確立に向けた研究
(高原祥子、吉本有希子、橘強)
- 2 3 ICG 蛍光法センチネルリンパ節生検施行後の予後を調査する観察研究
(高原祥子、吉本有希子、橘強)
- 2 4 乳癌診断における MRI 撮影標準化に向けた複数施設前向き研究
(石守 崇好、高原 祥子、岡澤 藍夏)

血液内科系

- 1 白血病細胞における HB01 阻害剤、DOT1L 阻害剤、MENIN 阻害剤などの有効性について
(高橋 慧)
- 2 ナノポアシーケンサーを用いた急性骨髄性白血病の MRD 追跡
(稲野将二郎)
- 3 多発性骨髄腫の治癒を妨げる細胞分画の同定
(稲野将二郎)
- 4 骨髄異形成症候群の進展における miRNA の関与
(稲野将二郎)
- 5 細胞内蛋白を標的とした分子標的治療の構築
(稲野将二郎)
- 6 網羅的遺伝子検査を血液腫瘍の診療に役立てるための臨床研究
(大島正義、土井究、河崎直人、島田充浩、高橋慧、稲野将二郎、坂本宗一郎、田端淑恵、北野俊行)
- 7 遺伝性造血器疾患に関する遺伝子解析研究
(大島正義、土井究、河崎直人、島田充浩、高橋慧、稲野将二郎、瀧内曜子、坂本宗一郎、田端淑恵、北野俊行)
- 8 造血幹細胞移植の治療成績の解析
(大島正義、土井究、河崎直人、島田充浩、高橋慧、稲野将二郎、瀧内曜子、坂本宗一郎、田端淑恵、北野俊行)
- 9 多発性骨髄腫に対する新規薬剤の臨床研究
(田端淑恵、瀧内曜子、稲野将二郎、高橋慧、島田充浩、河崎直人、土井究、大島正義、坂本宗一郎、北野俊行)
- 1 0 骨髄増殖性疾患に対する新規薬剤の臨床研究
(田端淑恵、瀧内曜子、稲野将二郎、高橋慧、島田充浩、河崎直人、土井究、大島正義、坂本宗一郎、北野俊行)
- 1 1 初発及び再発/難治 Diffuse large B cell lymphoma に対するポラツキシマブの有用性の臨床研究
(大島正義、土井究、河崎直人、島田充浩、高橋慧、稲野将二郎、瀧内曜子、坂本宗一郎、田端淑恵、北野俊行)

- 1 2 FLT3 阻害薬の臨床研究
(大島正義、土井究、河崎直人、島田充浩、高橋慧、稲野将二郎、瀧内曜子、坂本宗一郎、田端淑恵、北野俊行)
- 1 3 AML におけるベネトクラクス+アザシチジン併用療法の有用性の検討
(大島正義、土井究、河崎直人、島田充浩、坂本宗一郎、田端淑恵、北野俊行)
- 1 4 ベネトクラクスの体内動態の研究
(田端淑恵、北野俊行)
- 1 5 慢性活動性 EB ウイルス感染症に対する同種移植の有効性の検討
(瀧内曜子、北野俊行)
- 1 6 ランゲルハンス組織球症の臨床研究
(田端淑恵)
- 1 7 HLA1 座不適合非血縁者間骨髄移植における従来型 GVHD 予防法と抗ヒト胸腺細胞免疫グロブリン併用 GVHD 予防法の比較研究
(北野俊行)
- 1 8 HLA 半合致移植の臨床応用
(大島正義、土井究、河崎直人、島田充浩、高橋慧、稲野将二郎、瀧内曜子、坂本宗一郎、田端淑恵、北野俊行)
- 1 9 リンパ腫様肉芽腫症の病態、治療に関する検討
(土井究、田端淑恵)
- 2 0 POEMS 症候群の自家移植とその後の経過
(田端淑恵、瀧内曜子、稲野将二郎、河崎直人、北野俊行)
- 2 1 再発難治低悪性度リンパ腫での、ベンダムスチン・リツキシマブ併用療法の予後因子の探索
(北野俊行)
- 2 2 中枢神経原発悪性リンパ腫における新規バイオマーカーの同定
(岸本渉、北野俊行)
- △ 2 3 活性化型 KRAS の特異的分解による膵癌新規治療法を創る
(科学研究費助成事業 2022-2024 年度 若手研究) (稲野将二郎)
- 2 4 MLL 関連白血病に対する MLL 特異的分子標的薬の synergistic effect の有無の解明
(高橋慧)
- 2 5 タンパク質分解系を利用した神経変性疾患の病態解明と治療法の探索
(科学研究費助成事業 2023-2024 年度 挑戦的研究萌芽 (分担)) (稲野将二郎)
- ※ 2 6 神経変性疾患原因タンパク質の効率的な除去方法の探索
(AMED 創薬支援推進事業・創薬総合支援事業 2023-2024 年度) (稲野将二郎)

病理診断科系

- 1 膵液細胞診の精度向上のための検討
(仲村佳世子、本庄原)
- 2 悪性中皮腫診断のための酵素抗体法パネルの検討
(本庄原)
- 3 EUS-FNA における細胞診と組織診との整合性について
(本庄原)
- 4 婦人科細胞診における LBC と従来法の比較検討

(西岡千恵子、仲村佳世子、本庄原)

緩和ケア科

- 1 高度がん疼痛に対するヒドロモルフォンとフェンタニルの持続皮下注タイトレーションに関する前向き比較試験
(梶山 徹)
- 2 中等度がん疼痛に対するトラマドールとヒドロモルフォンの前向き比較試験
(梶山 徹)

呼吸・循環 研究部門

部長	猪子 森明	(心臓 C 循環器内科)
研究主幹	春名 徹也	(心臓 C 不整脈科)
	金光 ひでお	(心臓 C 心臓血管外科)
	中根 英策	(心臓 C 循環器内科)
	福井 基成	(呼吸器 C 呼吸器内科)
	丸毛 聡	(呼吸器 C 呼吸器内科)
	井上 大生	(呼吸器 C 呼吸器内科)

心臓センター 循環器内科、不整脈科系

- 1 心臓デバイス植え込み患者に対する遠隔モニタリングのデータ統合管理の有用性
(春名徹也、張田健志、臨床工学部)
- 2 遠隔モニタリングのデータ統合管理システムを用いた、デバイス植え込み患者の発作性心房細動の管理及び治療効果判定における有用性
(春名徹也、張田健志、臨床工学部)
- 3 日本におけるカテーテルアブレーションの現状把握:アブレーション全例登録観察研究 (Japan Ablation Registry: J-AB study)
(春名徹也、張田健志)
- 4 難治性心房頻拍及び心房細動を対象としたマーシャル静脈に対するケミカルアブレーションを用いた探索的介入研究
(春名徹也、張田健志)
- 5 新規我が国における心臓植込み型デバイス治療の登録調査
New Japan Cardiac Device Treatment Registry (New JCDTR)
(春名徹也、張田健志)
- 6 新規抗凝固薬の臨床的有用性について、既存 DOAC に対する非劣性確認試験 (第Ⅲ相臨床試験)
(春名徹也、張田健志)
- 7 持続性心房細動例における積極的洞調律化の妥当性を心房細動適応現象から判定する
(春名徹也、張田健志)
- 8 高齢者頻脈徐脈症候群における比較的高位心房中隔ペーシングによる心房細動抑制効果の検討
(春名徹也、張田健志)
- 9 心房細動アブレーションにおける左心房後壁電氣的隔離追加の意義と方法に関する検討

- (張田健志、春名徹也)
- 1 0 心房細動アブレーション直後の心臓電気生理学的特徴と再発時期との関連についての検討
(張田健志、春名徹也)
- 1 1 非肺静脈起源心房細動症例の心房細動アブレーション術前の予測因子に関する検討
(張田健志、春名徹也)
- 1 2 心不全患者の運動療法における予後調査
(中根英策、福田弘毅、猪子森明)
- 1 3 血中・心嚢液中マイクロ RNA の生理学的意義の検討
(宮本昌一、猪子森明)
- 1 4 大動脈弁狭窄症患者に対する治療法選択とその予後を検討する多施設前向きコホート研究 (CURRENT-AS Study-2)
(猪子森明、加藤貴雄、春名徹也、山地雄平、中根英策、福田弘毅、北野真理子、伊藤慎八、張田健志、濱口桃香、齊藤亘、山本裕貴、平間大介、北方悠太、金光ひでお)
- 1 5 心電図異常の臨床的意義について～心エコー所見との比較～
(加藤貴雄、猪子森明)
- 1 6 急性大動脈解離や胸部大動脈瘤破裂および未破裂胸部大動脈瘤における心嚢液中 Granulocyte-Conlony Sitmulating Factor 濃度や同組織染色における発現レベルの比較検討
(宮本昌一、金光ひでお、猪子森明)
- 1 7 多施設共同研究 STOPDAPT-2 (ShorT and OPTimal duration of Dual Anti Platelet Therapy-2 study) : エベロリムス溶出性コバルトクロムステント (XIENCE) 留置後の抗血小板剤 2 剤併用療法期間を 1 ヶ月に短縮することの安全性を評価する研究
(山地雄平、張田健志、中根英策、春名徹也、福田弘毅、北野真理子、伊藤慎八、濱口桃香、齊藤亘、山本裕貴、猪子森明)
- 1 8 多施設共同研究 CREDO-Kyoto 3 (Coronary REvascularization Demonstrating Outcome Study in Kyoto) 追跡調査 : 日本における経皮的冠動脈インターベンション (PCI) および冠動脈バイパス手術 (CABG) のレジストリー・多施設による冠動脈疾患血行再建術後の長期成績・予後調査コホート 3
(猪子森明、山地雄平、張田健志、中根英策、福田弘毅、北野真理子、伊藤慎八、濱口桃香、齊藤亘、山本裕貴、春名徹也)
- 1 9 心房細動合併急性冠症候群患者における抗血栓治療後の出血と血栓リスクに関する前向き観察多施設共同研究 (STAR-ACS)
(猪子森明、中根英策、山地雄平、福田弘毅、北野真理子、濱口桃香、伊藤慎八、齊藤亘、山本裕貴、張田健志、春名徹也)
- 2 0 開心術患者の心嚢液中サイトカインや細胞外マトリックス蛋白測定における臨床的意義の検討
(宮本昌一、金光ひでお、猪子森明)
- 2 1 開心術患者の心嚢液中 G-CSF 測定における臨床的意義の検討
(宮本昌一、金光ひでお、猪子森明)
- 2 2 開心術患者の心嚢液中 Troponin T 測定における臨床的意義の検討
(宮本昌一、金光ひでお、猪子森明)

- 2 3 開心術患者の心嚢液中 NT-proBNP と TroponinT 測定における左室機能や生命予後に関する臨床的意義の検討
(宮本昌一、金光ひでお、猪子森明)
- 2 4 開心術患者の心嚢液中ケモカイン測定における臨床的意義の検討
(宮本昌一、金光ひでお、猪子森明)
- 2 5 慢性心不全患者のフレイル実態調査
(吉田 都、鶴本一寿、上坂健太、中根英策、猪子森明)
- 2 6 高齢心不全患者の転倒関連要因の検討
(久津輪正流、上坂健太、中根英策、猪子森明)
- 2 7 冠動脈疾患の二次予防のための病態コントロールを支援する遠隔ライフスタイル改善の研究 (上坂健太、中根英策、猪子森明)
- 2 8 急性冠症候群に対するエベロリムス溶出性コバルトクロムステント留置後の抗血小板剤 2 剤併用療法 (DAPT) 期間を 1 ヶ月に短縮することの安全性を評価する研究 (STOPDAPT-2 ACS)
(山地雄平、福田弘毅、濱口桃香、北野真理子、伊藤慎八、齊藤亘、山本裕貴、中根英策、猪子森明)
- 2 9 心不全医療の適正化に資するための全国規模データベースによるエビデンスの創出
PREDICTing long-term clinical outcomes by Optical coherence tomography
assessments of plaque characteristics of irregularities coronary artery
[PREDICTOR Study] (非血行再建冠動脈における光干渉断層撮影法評価による長期臨床成績の予測)
(山地雄平、猪子森明)
- 3 0 心房細動合併患者における冠動脈インターベンション施行後の抗血栓療法の実態調査 (REVEAL AF-PCI Registry)
(猪子森明)
- 3 1 繰返し入院する慢性心不全患者を対象とした ASV 治療の予後に関する前向き観察研究 –SAVIOR-L–
(中根英策、猪子森明)
- 3 2 至適な血管内超音波ガイド経皮的冠動脈インターベンションの複雑性病変における臨床経過を評価する前向き観察研究 (OPTIVUS-Complex PCI)
(伊藤慎八、山地雄平、猪子森明)
- 3 3 非弁膜症性心房細動を合併する冠動脈インターベンション施行患者の経口抗凝固薬と抗血小板薬の至適併用療法：オープンラベル、多施設、前向き、無作為比較試験 (OPTIMA-AF trial)
(猪子森明)
- 3 4 大腿膝窩動脈病変を有する症候性閉塞性動脈硬化症患者に対する薬剤溶出性バルーンを用いた末梢血管内治療に関する多施設前向き研究 (POPCORN)
(山地雄平、猪子森明)
- 3 5 レセプトおよび DPC データを用いた循環器疾患における医療の質に関する研究
(猪子森明、山地雄平、張田健志、中根英策、福田弘毅、北野真理子、伊藤慎八、濱口桃香、齊藤亘、山本裕貴、春名徹也)
- 3 6 癌合併の下腿限局型深部静脈血栓症に対する最適な抗凝固療法の投与期間を検証する研究 (ONCO DVT Study)

- (猪子森明、山地雄平、張田健志、中根英策、福田弘毅、北野真理子、伊藤慎八、濱口桃香、齊藤亘、山本裕貴、春名徹也)
- 3 7 心アミロイドーシス患者の臨床的特徴と予後を検討する多施設前向きコホート研究 (CAPTURE-AMYLOID)
- (濱口桃香、中根英策、山地雄平、張田健志、福田弘毅、北野真理子、伊藤慎八、齊藤亘、山本裕貴、春名徹也、猪子森明)
- 3 8 大阪心不全地域連携の会 (Osaka Stops HEart Failure, OSHEF) の心不全地域連携パスの導入例における心不全再入院回避率および回避例・非回避例
- (猪子森明、山地雄平、張田健志、中根英策、福田弘毅、北野真理子、伊藤慎八、濱口桃香、齊藤亘、山本裕貴、春名徹也)
- 3 9 肥大型心筋症の診療実態に関する多施設前向き登録研究 (PREVAIL HCM)
- (北野真理子、伊藤慎八、濱口桃香、猪子森明)
- 4 0 心不全患者の再入院防止を目的とした新たな心不全管理システム前後における医療経済効果
- (中根英策、猪子森明)
- 4 1 心不全患者の症状緩和におけるモルヒネ投与の有効性と安全性に関する多施設共同前向き観察研究 (Morphine-HF study)
- (北野真理子、猪子森明)
- 4 2 うっ血性心不全 (心性浮腫) 患者における五苓散追加投与の浮腫に対する有効性を検証する研究 (GOREISAN-HF Trial)
- (伊藤慎八、中根英策、猪子森明)
- 4 3 エベロリムス溶出性コバルトクロムステント (XIENCE™) 留置後の抗血小板療法を P2Y12 阻害薬単剤とすることの安全性を評価する研究 (STOPDAPT-3)
- (山地雄平、伊藤慎八、猪子森明)
- 4 4 2 型糖尿病左室拡張不全患者の左室拡張機能に及ぼすトログリフロジンの効果の検討 (TOP-HFPEF)
- (福田弘毅、猪子森明)
- 4 5 2 型糖尿病及び肥満を伴う左室駆出率が保持された心不全患者を対象としたセマグルチド 2.4 mg 週 1 回投与の機能及び症状に対する効果 (EX9536-4773 STEP HFpEF DM)
- (濱口桃香、中根英策、福田弘毅、北野真理子、伊藤慎八、猪子森明)
- 4 6 心不全の治療としてレニン・アンジオテンシン・アルドステロン系阻害薬 (RAASi) の投与を受けている患者の高カリウム血症の管理を目的とする patiromer の多施設共同二重盲検プラセボ対照無作為化治療中止並行群間試験 (DIAMOND)
- (濱口桃香、中根英策、福田弘毅、北野真理子、伊藤慎八、齊藤亘、山本裕貴、猪子森明)
- 4 7 本邦における心血管インターベンションの実態調査 (J-PCI) を用いた日本心血管インターベンション治療学会内登録データを用いた統合的解析
- (猪子森明、山地雄平、張田健志、中根英策、福田弘毅、北野真理子、伊藤慎八、濱口桃香、齊藤亘、山本裕貴、春名徹也)
- 4 8 オールジャパンで行う全身性アミロイドーシスコホート研究 (J-COSSA)
- (濱口桃香、猪子森明)

- 4 9 静脈血栓塞栓症患者の診療実態とその予後を検討する多施設ヒストリカルコホート研究：COMMAND VTE Registry 2
(猪子森明、山地雄平、張田健志、中根英策、福田弘毅、北野真理子、伊藤慎八、濱口桃香、齊藤亘、山本裕貴、春名徹也)
- 5 0 慢性閉塞性肺疾患を有する慢性心不全患者における LAMA/LABA 投与による心不全改善効果の検討に関する探索的臨床試験 (COPD-HF)
(福田弘毅、猪子森明)
- 5 1 肥大型心筋症患者における診療の実態調査および突然死／拡張相への移行に関する新規予測プログラムの開発とその検証のための多施設後向き登録研究 (REVEAL-HCM)
(北野真理子、伊藤慎八、濱口桃香、猪子森明)
- 5 2 循環器疾患診療実態調査 (JROAD) のデータベースによる心臓サルコイドーシスの診療実態調査と二次調査に基づく診断・治療プロトコールの策定に関する研究 (MYSTICS 研究)
(北野真理子、伊藤慎八、濱口桃香、猪子森明)
- 5 3 リモート行動変容支援と外来診療医への健康データ提供による虚血性心疾患のリスク因子是正効果に関する研究
(上坂健太、鶴本 一寿、中根英策、猪子森明)
- 5 4 血行再建の適応とならない慢性冠症候群患者に対するアスピリンの有効性および安全性の検討 (ASA IN 研究)
(北野真理子、濱口桃香、中根英策、山地雄平、張田健志、福田弘毅、伊藤慎八、齊藤亘、山本裕貴、春名徹也、猪子森明)
- 5 5 補助循環用ポンプカテーテルに関するレジストリ事業 (J-PVAD 研究)
(山地雄平、伊藤慎八、猪子森明)
- 5 6 心不全管理ツールを用いた心不全地域連携システム導入による心不全再入院に及ぼす効果の検討
(中根英策、猪子森明)

心臓センター 心臓血管外科

- 1 冠動脈バイパス術におけるグラフト評価としての **Transit flow meter** の有用性
(森島学、金光ひでお)
- 2 内視鏡を用いた大伏在静脈グラフト採取の利点と欠点
(森島学、金光ひでお)
- 3 Cryo ablation による肺静脈隔離の遠隔期成績
(森島学、金光ひでお)
- 4 感染性心内膜炎の至適手術時期の検討
(森島学、金光ひでお)
- 5 総大腿動脈病変に対する内膜摘除術の遠隔予後
(森島学、金光ひでお)
- 6 心臓手術術前 MRI による頭部評価は術後脳合併症の発症抑制に繋がる
(森島学、金光ひでお)
- △ 7 ヒト iPS 細胞を用いた異種動物由来ヒト化自己成長型血管グラフトの開発
(科学研究費助成事業 2022-2024 年度 基盤研究(C)) (金光ひでお)

【肺癌関係】

- 1 アジア人の非小細胞肺癌における個別化医療の確立を目指した、遺伝子スクリーニングとモニタリングのための多施設共同前向き観察研究（LC-SCRUM-Asia）
（伊元孝光、山中諒、植木康光、野原瑛里、為定裕貴、神野志織、伊元孝光、濱川瑠子、森本千絵、北島尚昌、井上大生、丸毛聡、福井基成）

【呼吸器感染症関係】

- 2 COVID-19 と亜鉛についての検討
（北島尚昌、山中諒、植木康光、野原瑛里、為定裕貴、神野志織、伊元孝光、濱川瑠子、森本千絵、井上大生、丸毛聡、福井基成）
- 3 非結核性抗酸菌症における呼吸機能・呼吸筋力と四肢筋肉量との関係についての検討
（北島尚昌、本田憲胤、高山祐美、山中諒、植木康光、野原瑛里、為定裕貴、神野志織、伊元孝光、濱川瑠子、森本千絵、井上大生、丸毛聡、福井基成）
- 4 非結核性抗酸菌症の重症化予防を目的とした栄養介入実施と新たな栄養指示療法の提案
（高山祐美、北島尚昌、永井成美、福井基成）
- 5 非結核性抗酸菌症におけるアディポサイトカイン、ミオカインの検討
（北島尚昌、本田憲胤、高山祐美、山中諒、植木康光、野原瑛里、為定裕貴、神野志織、伊元孝光、濱川瑠子、森本千絵、井上大生、丸毛聡、福井基成）
- 6 COVID-19 後遺症に関する実態調査（中等症以上対象）付随研究 COVID-19 退院1年後の健康状態に関する調査研究
（北島尚昌、山中諒、植木康光、野原瑛里、為定裕貴、神野志織、伊元孝光、濱川瑠子、森本千絵、井上大生、丸毛聡、福井基成）
- 7 気管支肺胞洗浄液を用いた、LAMP 法によるアスペルギルス感染症の診断能力についての検討
（井上大生、山中諒、植木康光、野原瑛里、為定裕貴、神野志織、伊元孝光、森本千絵、濱川瑠子、北島尚昌、丸毛聡、福井基成）
- 8 気管支肺胞洗浄液を用いた、LAMP 法によるニューモシスチス肺炎の診断能力についての検討
（井上大生、山中諒、植木康光、野原瑛里、為定裕貴、神野志織、伊元孝光、森本千絵、濱川瑠子、北島尚昌、丸毛聡、福井基成）
- 9 成人市中発症肺炎（COP）における肺炎球菌性肺炎の疫学研究
（井上大生、山中諒、植木康光、野原瑛里、為定裕貴、神野志織、伊元孝光、森本千絵、濱川瑠子、北島尚昌、丸毛聡、福井基成）
- 10 スルファメトキサゾール・トリメトプリムの予防投与中止から、ニューモシスチス肺炎発症までの期間についての後方視的検討
（井上大生、山中諒、植木康光、野原瑛里、為定裕貴、神野志織、伊元孝光、森本千絵、北島尚昌、濱川瑠子、丸毛聡、福井基成）
- 11 新型コロナウイルスに対する注射用ナファモスタットによる治療
（丸毛聡、尾上雅英）
- 12 COVID-19 後遺症の病態解明に向けた観察研究
（丸毛聡、山中諒、植木康光、野原瑛里、為定裕貴、神野志織、伊元孝光、濱川瑠子、

森本千絵、北島尚昌、井上大生、丸毛聡、福井基成)

【喘息・COPD関係】

- 1 3 慢性閉塞性肺疾患患者における加熱式たばこの経年的な肺機能への影響に関する前向き観察研究
(北島尚昌、山中諒、植木康光、野原瑛里、為定裕貴、神野志織、伊元孝光、濱川瑤子、森本千絵、井上大生、丸毛聡、福井基成)
- 1 4 慢性閉塞性肺疾患 (COPD) に対する鍼治療を用いた長期予後の検討 (L-CAT)
(鈴木雅雄、福井基成、北島尚昌、井上大生)
- 1 5 閉塞性肺疾患の病態に関連した臨床指標に関する研究
(丸毛聡、松本久子、室 繁郎、北島尚昌、井上大生、福井基成)
- 1 6 COPD 患者における COPD アセスメントテストのスコアと臨床症状との検討
(丸毛聡、山中諒、植木康光、野原瑛里、為定裕貴、神野志織、伊元孝光、濱川瑤子、森本千絵、北島尚昌、井上大生、丸毛聡、福井基成)
- 1 7 調剤薬剤師主導による吸入指導体制が喘息・COPD 患者および地域医療に及ぼす影響
(丸毛聡、勝 啓子、三井克巳、井戸雅子、小山美鈴、福井基成)
- 1 8 慢性閉塞性肺疾患 (COPD) における気道好酸球炎症と気道壁肥厚の関連の検討
(丸毛聡、山中諒、植木康光、野原瑛里、為定裕貴、神野志織、伊元孝光、濱川瑤子、森本千絵、北島尚昌、井上大生、丸毛聡、福井基成)
- 1 9 好酸球高値かつ IgE 高値の重症喘息症例での生物学的製剤の効果の検討
(丸毛聡、山中諒、植木康光、野原瑛里、為定裕貴、神野志織、伊元孝光、濱川瑤子、森本千絵、北島尚昌、井上大生、丸毛聡、福井基成)
- 2 0 好酸球性肺炎合併喘息における全身ステロイド投与状況の検討
(丸毛聡、山中諒、植木康光、野原瑛里、為定裕貴、神野志織、伊元孝光、濱川瑤子、森本千絵、北島尚昌、井上大生、丸毛聡、福井基成)
- 2 1 本邦リアルワールドでの重症喘息における生物学的製剤の使用実態および効果に寄与する因子の検討 多施設共同研究
(丸毛聡、北島尚昌、福井基成)
- 2 2 閉塞性気道疾患における胸部 CT 解析の日常臨床応用への可能性に関する多施設共同研究 多施設共同研究
(丸毛 聡、福井基成)
- 2 3 慢性呼吸器疾患患者の呼吸運動を cineMRI を用いて定量的に評価する研究
(白石祐介、白石依里香、山中諒、植木康光、野原瑛里、為定裕貴、神野志織、伊元孝光、濱川瑤子、森本千絵、北島尚昌、井上大生、丸毛聡、福井基成)
- 2 4 COPD 患者における横隔膜の動きと生理学的指標との関係に関する検討
(濱川瑤子、山中諒、植木康光、野原瑛里、為定裕貴、神野志織、伊元孝光、森本千絵、北島尚昌、井上大生、丸毛聡、福井基成)
- 2 5 COPD 患者におけるフレイル・サルコペニアの関連する因子の同定 多施設共同前向き観察研究
(丸毛聡、山中諒、植木康光、野原瑛里、為定裕貴、神野志織、伊元孝光、森本千絵、北島尚昌、濱川瑤子、井上大生、福井基成)
- 2 6 慢性咳嗽患者の治療反応性に関わる因子の検討
(森本千絵、山中諒、植木康光、野原瑛里、為定裕貴、神野志織、伊元孝光、北島尚昌、濱川瑤子、井上大生、丸毛聡、福井基成)

【びまん性肺疾患関係】

- 2 7 特発性肺線維症における白血球テロメア長と血中バイオマーカーおよび臨床指標の関連についての検討 多施設共同研究
(森本千絵、山中諒、植木康光、野原瑛里、為定裕貴、神野志織、林優介、伊元孝光、北島尚昌、濱川瑤子、井上大生、丸毛聡、福井基成)
- 2 8 多分野合議による間質性肺炎診断に対する多施設共同前向き観察研究
(森本千絵、山中諒、植木康光、野原瑛里、為定裕貴、神野志織、伊元孝光、北島尚昌、濱川瑤子、井上大生、丸毛聡、福井基成)
- 2 9 間質性肺疾患患者の血液およびBALにおけるサイトカインなどの検討
(森本千絵、山中諒、植木康光、野原瑛里、為定裕貴、神野志織、伊元孝光、北島尚昌、濱川瑤子、井上大生、丸毛聡、福井基成)
- 3 0 びまん性肺疾患の疫学およびバイオマーカーに関する研究
(森本千絵、山中諒、植木康光、野原瑛里、為定裕貴、神野志織、伊元孝光、北島尚昌、濱川瑤子、井上大生、丸毛聡、福井基成)
- 3 1 ナノポアシーケンサーを用いた過敏性肺炎患者の環境調査における真菌の同定
(伊元孝光、山中諒、植木康光、野原瑛里、為定裕貴、神野志織、濱川瑤子、北島尚昌、井上大生、丸毛聡、福井基成)
- 3 2 過敏性肺炎における microRNA の臨床的意義
(森本千絵)

【呼吸不全関係】

- 3 2 高齢者に対する長期非侵襲的人工呼吸療法についての検討
(北島尚昌、本田憲胤、高山祐美、山中諒、植木康光、野原瑛里、為定裕貴、神野志織、伊元孝光、濱川瑤子、井上大生、丸毛 聡、福井基成)
- 3 3 慢性閉塞性肺疾患への呼気圧負荷トレーニングに対する運動療法の上乗せ効果-多施設無作為化コントロール比較試験 -多施設無作為化コントロール比較試験-
(北島尚昌、本田憲胤、高山祐美、山中諒、植木康光、野原瑛里、船内敦司、為定裕貴、神野志織、伊元孝光、濱川瑤子、井上大生、丸毛 聡、福井基成)
- 3 4 長期非侵襲的人工呼吸療法中の気胸の影響についての検討
(北島尚昌、山中諒、植木康光、野原瑛里、船内敦司、為定裕貴、神野志織、伊元孝光、濱川瑤子、井上大生、丸毛 聡、福井基成)
- 3 5 労作時低酸素血症を呈する慢性呼吸不全患者における在宅酸素療法の酸素投与量適正評価
(浦慎太郎、北島尚昌、本田憲胤、山中諒、植木康光、野原瑛里、為定裕貴、神野志織、伊元孝光、濱川瑤子、井上大生、丸毛 聡、福井基成)
- 3 6 慢性呼吸不全患者に対する包括的呼吸ケアプログラムが身体活動性および健康関連QOL に及ぼす影響についての検討
(北島尚昌、本田憲胤、山中諒、植木康光、野原瑛里、船内敦司、為定裕貴、神野志織、伊元孝光、濱川瑤子、森本千絵、井上大生、丸毛聡、福井基成)
- 3 7 高二酸化炭素血症および長期非侵襲的人工呼吸療法が肺非結核性抗酸菌症の予後に及ぼす影響についての検討
(北島尚昌、山中諒、植木康光、野原瑛里、船内敦司、為定裕貴、神野志織、伊元孝光、濱川瑤子、井上大生、丸毛 聡、福井基成)
- 3 8 慢性閉塞性肺疾患の増悪予測因子としての episodic Nocturnal Hypercapnia について

の多施設共同研究

(福井基成、北島尚昌、山中諒、植木康光、野原瑛里、為定裕貴、神野志織、伊元孝光、濱川瑤子、森本千絵、井上大生、丸毛聡)

3 9 睡眠呼吸障害診断における体動データの有効性に関する共同研究

(北島尚昌、山中諒、植木康光、野原瑛里、船内敦司、為定裕貴、神野志織、伊元孝光、濱川瑤子、井上大生、丸毛 聡、福井基成)

△ 4 0 慢性閉塞性肺疾患に対する呼気圧負荷トレーニングの有効性の検討および適応基準の決定

(科学研究費助成事業 2021-2023 年度 基盤研究(C)) (福井基成)

【その他】

4 1 研修医における呼吸器関連身体所見の知識と実臨床での経験についてのサーベイランス

(濱川瑤子、山中諒、植木康光、野原瑛里、為定裕貴、神野志織、伊元孝光、森本千絵、北島尚昌、井上大生、丸毛聡、福井基成)

内分泌・代謝・腎臓 研究部門

部長	濱崎 暁洋	(糖尿病内分泌内科)
研究主幹	塚本 達雄	(腎臓内科)
	本庶 祥子	(栄養部)

糖尿病内分泌内科系

※ 1 食事療法の計画・実行支援 AI プログラムにより PHR・EHR を糖尿病重症化予防医療に活用する仕組みの研究開発 (京都大学等との共同研究)

(AMED 予防・健康づくりの社会実装に向けた研究開発基盤整備事業 2021-2023 年度)

※ 2 医療機器イノベーション推進事業 開発・事業化事業／糖尿病の個別化栄養治療を支援する新医療機器プログラムの開発・事業化

(京都大学、株式会社 asken 等との共同研究)

(AMED 医工連携イノベーション推進事業 2021-2023 年度)

△ 3 膵α細胞の IRS1 制御性オートファジーにて調節されるグルカゴン分泌調節機構の探索 (科学研究費助成事業 2022-2024 年度 若手研究) (渋谷公尊)

4 インスリン自己注射手技の適切な再教育による血糖コントロール改善の探索的調査 (日本ベクトンディッキンソン社と共同研究)

(越井由佳子、竹内麻衣、本庶祥子、境内大和、瀬野陽平、濱崎暁洋、岩崎可南子、岩崎順博、綾野志保)

5 内分泌代謝疾患の新規バイオマーカーの探索

(瀬野陽平、長谷部雅士、酒井麻里子、渋谷公尊、本庶祥子、濱崎暁洋、阿部 恵、吉治智志、岩崎順博、岩崎可南子、境内大和、綾野志保、木村貞仁、原口卓也)

6 遺伝性内分泌代謝疾患診断のための遺伝子解析研究

(瀬野陽平、長谷部雅士、酒井麻里子、渋谷公尊、本庶祥子、濱崎暁洋、阿部 恵、吉治智志、岩崎順博、岩崎可南子、境内大和、綾野志保)

7 代謝内分泌疾患の病態生理解明と治療効果検討のための観察研究

(瀬野陽平、長谷部雅士、酒井麻里子、渋谷公尊、本庶祥子、濱崎暁洋、阿部 恵、吉治智志、岩崎順博、岩崎可南子、境内大和、綾野志保、木村貞仁、原口卓也)

- 8 GH 産生下垂体腺腫における術後再発および薬物療法有効性予測因子の検討
(京都大学と共同研究)
(本庶祥子、濱崎暁洋、岩崎順博、岩崎可南子)
- 9 妊娠時耐糖能異常症例に対する介入効果の研究
(綾野志保、博多恵美、増田有美、古河てまり、竹内麻衣)
- 10 1型糖尿病患者における低血糖応答性グルカゴン分泌機構に関する研究
(渋谷公尊)
- 11 アミノ酸投与によるミトコンドリア機能改善に関する研究
(渋谷公尊)
- 12 インスリンシグナルを介したグルカゴン分泌制御についての研究
(渋谷公尊)
- 13 糖尿病と癌の発症についての後方視的研究
(本庶祥子)
- 14 原発性アルドステロン症の診断および治療経過に関する研究
(本庶祥子、濱崎暁洋)
- 15 糖尿病患者における膵癌発生の前向き観察研究（消化器内科との共同研究）
(本庶祥子、濱崎暁洋)
- 16 高齢者糖尿病患者の予後と予後にかかる因子、サルコペニアの評価と介入に関する研究
(本庶祥子、角田晃啓、越井由佳子、濱崎暁洋)
- 17 全科型糖尿病診療サポートチームの多面的効果に関する検討
(竹内麻衣)
- 18 インスリン分泌と感受性、インクレチン作用の定量的評価、腸内環境と内分泌・代謝修飾連関の解明に関する研究
(濱崎暁洋)
- 19 日常診療環境において持続的運用が可能なデータベースとその統合についての検討
(濱崎暁洋)

腎臓内科系

- 1 厚生労働省科学研究費補助金事業・AMED 関連事業
 - 1-1 厚生労働科学研究費補助金（難治性疾患政策研究事業）「難治性血管炎に関する調査研究」
(研究協力者；遠藤知美、武曾恵理)
 - ・好中球細胞質抗体関連血管炎関連遺伝子に関する研究
(RemIT-JA、RemIT-JAV-RPGN、RemIRIT との連携)
 - ・大型血管炎（高安動脈炎と巨細胞性動脈炎）の治療の現状とその有効性と安全性に関する観察研究（塚本達雄、遠藤知美）
 - ・ANCA 関連血管炎（AAV）における腎組織病変とサイトカインプロファイルの相関研究（RemIT-JAV-RPGN 公募二次研究）
 - ・本邦における抗好中球細胞質抗体関連血管炎に対するリツキシマブ療法の安全性と有効性に関するコホート研究（RemIRIT）
 - ・JPVAS 血管炎前向きコホート研究（RADDAR-J）
 - ・血管炎病理診断コンサルテーション事業（武曾恵理）

- ・ AAV の上気道生検組織の病理学的特徴の解明（武曾恵理）

1-2 厚生労働科学研究費補助金難治性疾患等政策研究事業『難治性腎障害に関する調査研究』ネフローゼ症候群ワーキンググループ

（研究協力者；塚本達雄）

- ・ 日本ネフローゼ症候群コホート研究（JNSCS）
- ・ 新規日本ネフローゼ症候群コホート研究（JNSCS-In 研究）
- ・ Primary MPGN/C3 腎症と補体研究
- ・ 膜性腎症に対するリツキシマブ臨床試験（PRIME）
- ・ 指定難病臨床個人調査票のデータベース活用に関する研究

1-3 厚生労働科学研究費補助金難治性疾患等政策研究事業『難治性腎障害に関する調査研究』急速進行性糸球体腎炎ワーキンググループ

（研究協力者；塚本達雄、武曾恵理）

- ・ JKDR/JRBR を用いた RPGN の臨床病理学的解析
- ・ RPGN の疫学二次調査：全国 RPGN アンケート調査
- ・ 指定難病臨床調査票を用いた疫学調査

1-4 日本医療研究開発機構（AMED）研究

（研究協力者；塚本達雄、遠藤知美）

- ・ 日本ネフローゼ症候群バイオマーカー研究（J-MARINE）

△

1-5 厚生労働行政推進調査事業補助金難治性疾患等政策研究事業『指定難病の普及・啓発に向けた包括的研究』（厚労科研費 難治性疾患政策研究事業 2021-2023 年度）

（研究協力者；塚本達雄）

- ・ 指定難病制度の運用基盤構築（基盤分科会）

2 共同研究・受託研究

2-1 わが国の腎臓病疾患における腎生検データベース構築ならびに腎臓病総合データベース構築に関する研究（J-RBR、J-CKD-DB）

（塚本達雄、森 慶太、平木秀輔、遠藤知美、武曾恵理）

- ・ 成人ループス腎炎の予後に関する観察研究（J-RBR 公募二次研究）
（遠藤知美、武曾恵理、塚本達雄、リウマチ膠原病内科：井村嘉孝）
- ・ 日本腎生検レジストリーを利用したわが国における巣状分節性糸球体硬化症の variant の予後についての二次調査
（塚本達雄、遠藤知美）
- ・ 抗がん剤腎障害 J-RBR 研究（塚本達雄、遠藤知美、平木秀輔、森慶太）

2-2 ヨーロッパと本邦における IgA 腎症の臨床的特徴の比較調査研究

（塚本達雄、遠藤知美）

2-3 抗原特異的測定法による ANCA 検査の評価：小型血管炎における ANCA 検査の 2017 年国際合意の改訂を検証するための多施設共同前向き研究

（塚本達雄、遠藤知美）

2-4 遺伝子異常が疑われる腎疾患患者の遺伝子診断・解析、血液学的検査と臨床観察研究

（塚本達雄）

2-5 腎臓疾患および体液制御の異常に関わる危険遺伝子および遺伝子変異の同定

（遠藤知美）

2-6 透析患者における $\alpha 1$ -microglobulin 除去率が生存・合併症予後に与える影響の

検討

(塚本達雄)

- 2-7 Low-Density Lipoprotein (LDL) アフェレシス療法の重度尿蛋白を伴う糖尿病性腎症に対する多施設臨床試験 (LICENSE-ON 研究)

(塚本達雄、森慶太、遠藤知美、武曾恵理)

- 2-8 京都大学医学部附属病院腎臓内科関連病院腎疾患データベース構築に関する観察研究

(塚本達雄、遠藤知美、森慶太、平木秀輔、武曾恵理)

- 2-9 日本アフェレシスレジストリ

(塚本達雄)

- 2-10 標準化腎生検組織評価法の確立

(塚本達雄)

- 2-11 「HTLV-1 陽性臓器移植レジストリ」を活用した臓器移植における HTLV-1 感染のリスクの解明に関する研究【RADDAR-J[0-3]】

(塚本達雄)

- 2-12 経皮的腎生検における予防抗菌薬投与についてのランダム化比較試験

(塚本達雄、遠藤知美、半田貴也、森慶太)

- 2-13 腎臓病・透析患者における COVID-19 対策の全国調査 および易感染性・重症化因子の後方視的解析

(塚本達雄)

- 2-14 電子カルテデータを用いた、がん薬物療法と腎障害に関する診療実態調査と関連因子および予後に関する研究

(塚本達雄、森慶太)

- 2-15 腹膜透析の患者予後と治療方法についての調査 (PDOPPS phase3)

(遠藤知美、塚本達雄)

- 2-16 腎生検で診断の得られた希少 6 腎疾患の臨床像と病理学的特徴の検討に関する研究

(遠藤知美、武曾恵理)

- 2-17 腹膜透析血液透析併用療法 (PD+HD) における 1 週間の腹膜透析除水量の変化の検討

(塚本達雄、遠藤知美、森慶太)

- 2-18 急性血液浄化法の安全管理に関するアンケート、急性血液浄化法に関するアクション報告

(塚本達雄)

- 2-19 GATM 遺伝子変異による家族性腎疾患に関する臨床情報の検討

(塚本達雄、高柳俊亮、森慶太)

- 2-20 腎不全患者の透析非導入および透析中止症例に関する臨床情報の検討

(塚本達雄、遠藤知美)

- 2-21 腎代替療法における共同意思決定の実態調査と規定因子の臨床疫学調査

(塚本達雄、遠藤知美、森慶太)

3 企業治験 (責任医師、分担医師)

- ・原発性 IgA 腎症患者を対象とした、LNP023 の有効性及び安全性を評価する、多施設共同、ランダム化、二重盲検、プラセボ対照、並行群間、第 III 相臨床試験およびロー

ルオーバー試験（ノバルティスファーマ株式会社、ノイエス（株））

（塚本達雄、遠藤知美、平木秀輔、森 慶太）

- ・成人期発症のネフローゼ症候群（頻回再発型あるいはステロイド依存性）患者に対する IDEC-C2B8 の有効性及び安全性を確認する臨床第Ⅲ相試験

（医師主導治験、ノイエス（株））

（塚本達雄、遠藤知美、平木秀輔、森 慶太）

- ・C3 腎症または免疫複合体型膜性増殖性糸球体腎炎の患者を対象とした、PEGCETACOPLAN の有効性及び安全性を検討する第Ⅲ相、無作為化、プラセボ対照、二重盲検、多施設共同試験（Apellis Pharmaceuticals 社、ノイエス（株））
（遠藤知美、塚本達雄、森慶太、高柳俊亮、東良亮）

- ・免疫グロブリン A 腎症（IgAN）を有する被験者を対象として Atacicept の有効性及び安全性を評価する第 2b/3 相、複数パート、ランダム化、二重盲検、プラセボ対照試験（Vera Therapeutics, Inc.、アイロム株式会社）

（遠藤知美、塚本達雄、半田貴也、東良亮）

4 臨床研究

- ・ANCA 関連血管炎患者の腎生検病理所見における、長期腎予後予測に有用なパラメーター検索と評価法の検討

（遠藤知美）

- ・透析患者の乳汁の尿毒素物質解析および母乳哺育の可能性についての研究

（遠藤知美、塚本達雄）

- ・透析用カテーテルの機能不全およびカテーテル関連感染症に関する研究

（塚本達雄）

- ・血液透析患者への定期的静注鉄補充によるヘモグロビン・サイクリングとエリスロポイエチン反応性に関する研究

（塚本達雄）

- ・腎臓疾患および体液制御の異常に関わる危険遺伝子および遺伝子変異の同定

（塚本達雄、遠藤知美）

- ・慢性腎臓病地域連携診療におけるアウトカム分析

（塚本達雄）

- ・IgA 腎症の EPA+Aspirin 療法の有効性

（遠藤知美、塚本達雄）

- ・IgA 腎症におけるメサンギウム C4 沈着意義の検討

（鳥越和雄 武曾恵理、 遠藤知美、塚本達雄）

- ・IgA 腎症に対する肥満の影響について大規模コホートにおける腎機能と性によるサブ解析 （有安由紀、武曾恵理、鳥越和雄、遠藤知美、塚本達雄）

- ・SGLT2 阻害薬の腎機能の低下した DM 腎症に対する有効性と安全性

（塚本達雄、森慶太）

- ・VINCENT で測定した多発性嚢胞腎体積の推移・トルバプタン効果・腎不全進行の検証

（塚本達雄）

- ・高齢発症 ANCA 関連血管炎患者の寛解導入における免疫抑制剤併用の有効性と安全性

（塚本達雄、遠藤知美）

- ・CKD 患者における HDL 機能と腎疾患との関連についての観察研究
(武曾恵理)
- ・ANCA 関連血管炎患者の間質性肺炎合併有無による臨床的意義の研究
(東良亮、遠藤知美)
- ・抗 MDA5 抗体陽性皮膚筋炎における血漿交換の有用性についての検討
(渡邊友香、東良亮、高柳俊亮、森慶太、遠藤知美、塚本達雄)
- ・透析患者における前誘発性銅欠乏性貧血の検討
(渡邊友香、塚本達雄)
- ・透析患者における末梢動脈疾患に対するレーカーナ・アフエレシスの有用性の検討
(半田貴也、遠藤知美、塚本達雄)

栄養部系

- 1 肺非結核性抗酸菌症（肺 NTM 症）女性患者の栄養状態と病状の関連
(高山祐美、永井成美、北島尚昌、福井基成)
- 2 肺 NTM 症女性患者の体型認識（Bodyimage）と病状・体格・栄養状態の関連
(高山祐美、永井成美、北島尚昌、福井基成)
- 3 肺 NTM 症患者のサルコペニア予防に関する栄養学的研究
-筋肉の維持に関わる生活習慣・栄養摂取・栄養関連マーカーの探索-
(高山祐美、永井成美、北島尚昌、福井基成)
- 4 SCU における経腸栄養プロトコル導入後の効果
(京面ももこ)
- 5 ICU-AW が自宅退院時の食事摂取に及ぼす影響
(京面ももこ)
- 6 腸管切除部位が腸内細菌叢および栄養代謝に及ぼす影響
(京面ももこ)
- 7 臓臓手術患者における周術期および術後の栄養管理介入の有用性
(巽 絢子)
- 8 消化器手術患者に対する栄養管理介入の有用性
(巽 絢子)
- 9 消化器手術が体蛋白崩壊量と栄養代謝動へ与える影響
(田中英治、京面ももこ、巽 絢子)
- 10 COVID-19（中等症）患者における栄養状態とアウトカムの関連
(山田信子、黒川典子)
- 11 血液腫瘍患者における好中球減少時の食事内容が感染症発症率に及ぼす影響
(高山祐美、中川佳恵、毎熊由美子、田端淑恵、北野俊行)
- 12 早期栄養介入による SCU 患者へのアウトカム検証
(京面ももこ)
- 13 骨粗鬆症の栄養管理の検討。人間ドック受診者アンケートから
(松元知子、毎熊由美子)
- 14 当院における管理栄養士病棟配置のアウトカム検証
(毎熊由美子)
- 15 厨房経過 20 年を機に病院給食管理について考える
(毎熊由美子)

炎症・免疫 研究部門

部長 井村 嘉孝 (リウマチ膠原病内科)
研究主幹 吉川 義顕 (皮膚科)

リウマチ・膠原病内科系

- 1 抗MDA5陽性間質性肺炎合併皮膚筋炎に対する3剤併用寛解導入治療レジメンの有効性と安全性についての長期観察研究
--- 多施設共同研究
(井村嘉孝)
- △ 2 全身性エリテマトーデスにおけるSOCS1の役割の解明と治療への応用
(科学研究費助成事業 2018-2023 年度 基盤研究(C)) (高橋令子)
- 3 ラパマイシンによる全身性エリテマトーデスの病態制御のメカニズムの解明
(高橋令子)
- 4 病気再燃防止を目的とした全身性エリテマトーデス患者の臨床像に関する観察研究
(高橋令子)
- 5 関節リウマチを対象とした日常診療下におけるサリルマブの前向き観察研究
(PROFILE-J)
--- 多施設共同研究
(井村嘉孝)
- 6 メトトレキサート (MTX) 関連リンパ増殖性疾患の病態解明のための多施設共同研究
--- 多施設共同研究
(井村嘉孝)
- 7 メトトレキサート (MTX) 関連リンパ増殖性疾患発症予測因子の同定
--- 多施設共同研究
(井村嘉孝)
- 8 リウマチ性疾患治療中に生じたCOVID-19感染症に関する研究
--- 多施設共同研究
(井村嘉孝)
- 9 日本における関節リウマチ患者の生物学的製剤効果不十分例に対するペフィシチニブへの切り替え効果を調査する後ろ向きチャートレビュー研究
--- 多施設共同研究
(井村嘉孝)
- 10 キャッスルマン病、TAFRO症候群、類縁疾患の診療ガイドラインの策定や更なる改良に向けた国際的な総意形成を踏まえた調査研究
--- 多施設共同研究
(高橋令子)
- 11 血管炎症候群における疾患特異的マーカーの検出：抗血管内皮細胞抗体の対応抗原からのアプローチ
--- 多施設共同研究
(高橋令子)
- 12 全身性エリテマトーデス (SLE) 患者における感染リスクの探索
(中島俊樹)

- 1 3 全身性エリテマトーデス患者における制御性 T 細胞の異常の解明
(高橋令子)
- 1 4 全身性エリテマトーデス病態の自己反応性 CD4 陽性 T 細胞の本態
(高橋令子)
- 1 5 免疫制御異常による SOCS1 および SOCS3 両高発現の SLE 病態への関与の解明
(高橋令子)

皮膚科系

- 1 乾癬における生物学的製剤を基盤とした集学的治療の有用性評価に関する研究
(吉川義顕、古賀玲子、山上優奈)
- 2 円形脱毛症における標準的治療の最適な介入時期とアウトカムに関する研究
(吉川義顕、古賀玲子、山上優奈)
- 3 蕁麻疹の標準的治療と臨床的効果に関する研究
(吉川義顕、古賀玲子、山上優奈)
- 4 アトピー性皮膚炎における標準的治療の有効性の臨床的評価方法に関する研究
(吉川義顕、古賀玲子、山上優奈)

神経・感覚運動器 研究部門

部長	戸田 弘紀	(神経 C 脳神経外科)
研究主幹	金子 鋭	(神経 C 脳神経内科)
	田辺 晶代	(眼科)
	宮原 晋介	(眼科)
	高木 賢一	(神経精神科)
	田村 治郎	(整形外科)
	太田 雅人	(整形外科)
	鈴木 義久	(形成外科)
	前谷 俊樹	(耳鼻咽喉科・頭頸部外科)
	金丸 眞一	(耳鼻咽喉科・頭頸部外科)
	金井 理絵	(耳鼻咽喉科・頭頸部外科)

脳神経外科系

- 1 脳腫瘍全国統計調査と解析 (臓器がん登録調査)
(戸田弘紀 他 研究代表者：成田善孝 (国立がん研究センター中央病院・脳脊髄腫瘍科))
- 2 グリオーマにおける化学療法感受性の遺伝子指標の検索とそれに基づくテーラーメイド治療法の開発
(戸田弘紀 他 研究代表者：金村米博 (大阪医療センター・臨床研究センター・室長))
- 3 小児頭蓋内悪性腫瘍の遺伝子診断体制の構築 I. 髄芽腫、上衣腫
(戸田弘紀 塩田光隆 武部軌良 研究代表者：永根基雄 (日本脳腫瘍学会理事長) 伊達 勲 (日本小児神経外科学会理事長))
- 4 硬膜動静脈瘻に対する Onxy 液体塞栓システムを用いた経動脈塞栓術に関する多施設共同登録研究

- (戸田弘紀、石橋良太)
- 5 未破裂脳動脈瘤の増大・破裂を促進する因子同定のための臨床研究
(戸田弘紀、石橋良太)
 - 6 無症候性頸動脈狭窄症の虚血発症リスク層別化に関する観察研究 (SmartK study)
(戸田弘紀、石橋良太)
 - 7 成体神経幹細胞増殖制御における IGF-1・インテグリン $\alpha v \beta 3$ 協調作用の役割
(戸田弘紀)
 - 8 Japan Neurosurgical Database (JND)
(戸田弘紀 他 研究代表者：嘉山孝正・飯原弘二 (一般社団法人日本脳神経外科学会))
- △ 9 高度難治性振戦に対する定位機能神経外科の治療最適化と振戦制御機構の解明
(科学研究費助成事業 2021-2024 年度 基盤研究(C)) (戸田弘紀)
- 10 深部脳電極埋込時における頭位の影響に関する検討
(西田南海子、戸田弘紀、岡 佑和 他)
 - 11 特発性正常圧水頭症における症状改善のための臨床研究-アルツハイマー病理が疑われる患者に対するシャントの有効性・安全性に関して-
(西田南海子、小松研一 研究代表者：森 悦朗・宮嶋雅一・数井裕光 (日本正常圧水頭症学会))
 - 12 特発性正常圧水頭症の髄液不均等分布及び脳白質障害と L-PGDS についての研究
(西田南海子、永田奈々恵 (東京大学農学部・農学生命科学研究科) 他)
 - 13 胚細胞腫瘍の治療経過に関する検討
(西田南海子、戸田弘紀、塩田光隆)
 - 14 パーキンソン病に対する視床集束超音波治療による小脳視床路、淡蒼球視床路の可塑性検討 (2021 年度第 1 回きたの研究奨励金)
(西田南海子、戸田弘紀)
- 15 運動機能を強化する情動に関する神経ネットワークの解明
(科学研究費助成事業 2023-2025 年度 基盤研究(B)) (澤田真寛)
- 16 振戦の起源と脳白質障害に応じた集束超音波治療の最適化の為の研究
(西田南海子)

脳神経内科系

- 1 パーキンソン病患者における L-ドパ/DCI 配合剤治療へのセレギリンあるいはゾニサミドの上乗せ効果に関する無作為化比較第Ⅱ相試験
(JRCT 登録番号：jRCTs051180098)
(高橋牧郎)
- 2 撮像データに基づく、パーキンソン病患者の姿勢障害に対するイストラデフィリンの影響の検証
(APIS-J 後ろ向き観察研究)
(高橋牧郎)
- 3 パーキンソン病患者の振戦に対する MRgVim-FUS の適応評価、有効性・安全性の解析研究
(高橋牧郎、樽野陽亮、新美 完、小松研一、古川公嗣、宮本将和)
- 4 パーキンソン病に対する脳深部刺激療法の適応基準と認知機能、精神状態への影響に

関する検討

(高橋牧郎、樽野陽亮、新美 完)

- 5 パーキンソン病に対する DAT (Device Aided Therapy: DBS, FUS, LCIG) の適応評価と有効性、安全性に関する研究
(高橋牧郎、樽野陽亮、新美 完、小松研一、古川公嗣、宮本将和)
- 6 パーキンソン症状を呈する入院患者の臨床像に関する検討
(古川公嗣、高橋牧郎、樽野陽亮、小松研一、新美 完、宮本将和)
- 7 パーキンソン病患者におけるイストラデフィリンのジスキネジア発現に対する臨床研究
(小松研一、高橋牧郎、樽野陽亮、古川公嗣、宮本将和、新美 完)
- 8 神経内科診療における精神科連携の意義の検討
(小松研一)

眼科系

- 1 高度近視緑内障に対する緑内障術後視機能変化
(田邊晶代)
- 2 網膜疾患の治療薬に関する長期リアルワールドデータを収集する多施設国際前向き観察研究 ; VOYAGER study
(田邊晶代 宮原晋介 山川百李子 玉垣瑛 泉谷祥之 兜坂明由)
- 3 日本網膜硝子体学会における黄斑前膜レジストリ研究
(田邊晶代 宮原晋介 橋本宗典 玉垣瑛 山川百李子)
- 4 線維柱帯切開術眼内法の長期成績
(田邊晶代)
- 5 難治性糖尿病黄斑浮腫に対して嚢胞様黄斑浮腫切開を施行した症例
(宮原晋介 泉谷祥之)

神経精神科系

- 1 総合病院精神科に受診するうつ病患者に対する精神療法
(高木賢一)
- 2 緩和ケアにおける精神療法についての研究
(高木賢一)
- 3 精神科リエゾンコンサルテーションにおける統計学的研究
(高木賢一)
- 4 総合病院入院中の認知症患者および高齢者に対する精神科薬物療法および非薬物療法
(高木賢一)
- 5 パーキンソン病関連疾患の精神症状に対する精神科薬物療法
(高木賢一)

整形外科系

- 1 **Surgical navigation system** を応用した頸椎手術の臨床評価
(太田雅人、北折俊之)
- 2 骨粗鬆症性脊椎圧迫骨折に対する椎体再建術の臨床研究
(太田雅人、北折俊之)

- 3 クロスリンクポリエチレンと 26 ミリ径コバルトクロム人工股関節骨頭との組み合わせによるソケット磨耗の経時的臨床的測定評価、ソケットレントゲン所見の経時変化。
(田村治郎)
- 4 高強度チタン合金ダブルテーパーシステム (HS-3 Taper) を用いた人工股関節の開発、中長期臨床成績の分析 (大腿骨皮質へのストレス分散に関する検討)
(田村治郎)
- 5 ハイドロキシアパタイト顆粒 (ボーンセラム) を用いた生体活性骨セメント手技による人工股関節ソケット固定の中期レントゲン所見、および臨床成績の分析
(田村治郎)
- 6 超長期耐用を目指した新しい生体活性骨セメント手技の開発研究 (生体界面におけるハイドロキシアパタイト骨顆粒の分散および適切な顆粒径の分析)
(田村治郎)
- 7 ハイドロキシアパタイト顆粒を用いた大腿骨頭壊死に対する小侵襲の骨頭温存手術の開発、臨床成績の分析
(田村治郎)
- 8 セメント固定による人工股関節再置換におけるロングステム、サポートプレートおよび人工骨、同種骨の併用使用症例の臨床成績の分析
(田村治郎)
- 9 新しい後十字靭帯切除型人工膝関節置換術 (BS 5) の従来型 (KU4) との比較検討
(田村治郎、佐治隆彦)
- 10 後十字靭帯切除型人工膝関節置換術 (KU4, BS 5) の後方拘束性人工膝関節 (Posterior stabilizer type) との臨床的比較検討
(田村治郎 佐治隆彦)
- 11 人工股関節手術、人工膝関節手術の術後骨折のリスクファクターおよび術後臨床成績の分析
(田村治郎)
- 12 絞扼性神経障害における手術前後の電気生理学的検討
(麻田義之、平雄一郎)
- 13 リバース型人工肩関節置換術の術後成績
(佐治隆彦)
- 14 高齢者膝関節症における脛骨高位骨切り術の術後成績
(佐治隆彦)

形成外科系

- 1 アルギン酸をもちいた人工神経の製品化
(鈴木義久)
- 2 ダナン病院で実施中の脊髄損傷治療の継続とベトナム厚生省への結果提出
(鈴木義久)
- 3 磁場による神経血管再生
(石川奈美子)
- 4 四肢リンパ浮腫患者のリンパ管の再生
(石川奈美子)
- △ 5 磁場を用い瘢痕を制御する神経再生のメカニズムの解明

- (科学研究費助成事業 2021-2024 年度 基盤研究(C)) (石川奈美子)
- 6 大脳から、脊髄損傷による麻痺を治療する
(鈴木義久)
- △ 7 中枢末梢神経軸索再生における癒痕の抑制
(科学研究費助成事業 2018-2023 年度 基盤研究(C)) (石川奈美子)

耳鼻咽喉科・頭頸部外科系

- 1 乳突蜂巣再生による難治性中耳炎に対する再生医療の開発
(金丸眞一、金井理絵、山口智也、前谷俊樹、吉田季来)
- 2 組織工学的手法による外耳道軟部組織の再生医療と医師主導治験
(金丸眞一、金井理絵、山口智也、吉田季来、前谷俊樹)
- 3 グローバルスタンダードを目指した bFGF による鼓膜再生療法の開発
(金丸眞一、金井理絵、山口智也)
- 4 鼓膜再生療法の海外展開
(金丸眞一、金井理絵、山口智也、吉田季来、前谷俊樹)
- 5 鼓膜組織幹細胞の同定と動態解明、鼓膜再生医療の開発
(金井理絵、金丸眞一、山口智也、吉田季来、前谷俊樹)
- 6 突発性難聴に対する i-TASS (intra-Tympanic administration of Steroid Sponge, 高濃度ステロイド浸潤ゼラチンスポンジ正円窓留置) 療法の開発
(金丸眞一、金井理絵、山口智也、北真一郎)
- 7 末梢性顔面神経麻痺に対する高濃度ステロイド鼓室内投与療法の開発
(金丸眞一、金井理絵、山口智也)
- 8 認知症発症のリスクファクターである難聴への治療介入がもたらす発症遅延／予防効果の研究
(金丸眞一、金井理絵、三輪 徹、前谷俊樹)
- △ 9 飲酒・喫煙以外の原因による口腔癌の解明
(科学研究費助成事業 2021-2024 年度 基盤研究(C)) (原田博之)

発達・再生 研究部門

部長	塩田 光隆	(小児科)
研究主幹	水本 洋	(小児科)
	佐藤 正人	(小児外科)
	渡辺 健	(小児科循環器部門、心臓 C 先天性心疾患部門)
	羽田 敦子	(小児科・感染症科)

小児科系

- 1 免疫グロブリン療法不応の川崎病に対するステロイド療法の併用に関する検討
(吉岡孝和、阿部純也、明石良子、熊倉 啓、水本 洋、塩田光隆、羽田敦子、渡辺 健、秦 大資)
- 2 乳児一過性高フェリチン血症に関する診断と治療の検討について
(塩田光隆)
- 3 「水痘ワクチン追加接種後追跡調査」
(羽田敦子、呼吸器内科 丸毛 聡、秦 大資)
- 4 グロブリン製剤の濃度の違いによる川崎病治療効果の差異の検討

- (吉岡孝和)
- 5 新生児一過性高インスリン血症における血中 reverse T3 の検討
(阿水利沙、水本 洋)
 - 6 小児難治性単一症候性夜尿症 (NME) におけるビベグロン治療効果の検討
(高田尚志、羽田敦子、山下純英、秦 大資)
 - 7 川崎病患者におけるリンパ球サブセット解析
(阿久澤大智)
 - 8 妊婦 GBS スクリーニング法改変による新生児侵襲性 GBS 感染症への影響
(羽田敦子、吉岡孝和、加藤健太郎、水本 洋、秦 大資)
 - 9 尿路感染症を発症した小児の水腎症・膀胱尿管逆流症の検討
(羽田敦子、吉岡孝和、水本 洋、秦 大資)
 - 10 遠隔通信システムを使用した新生児蘇生指導の有効性の検討
(阿水利沙、水本 洋)
 - 11 胎児期発症のミルクアレルギーに関する検討
(高屋龍生、阿水利沙、水本 洋)
 - 12 糖原病 1 b 型に対する SGLT2 阻害剤の有効性、および最適な内服方法に関する検討
(三上真充、荒井 篤、水本 洋)
 - 13 難治性乳び胸、全身浮腫を合併するヌーナン症候群に対する dexamethasone 大量療法の有効性に関する検討
(吉村元文、阿水利沙、水本 洋)
 - 14 新型コロナウイルス (SARS-CoV-2) 伝搬形態が小児と成人でなぜ違うのか。
(羽田敦子)
 - 15 原発性線毛機能障害の早期診断に関する検討
(岡本宗一郎、阿水利沙、水本 洋)
 - 16 i-gel と T-piece を使用した新しい新生児蘇生法
(磯部 葵、水本 洋)
 - 17 抗 MOG 抗体関連疾患の臨床像の検討
(梶本智史、熊倉 啓)
 - 18 日本膜性増殖性糸球体腎炎/C3 腎症コホート研究
(遠藤知美、塚本達雄、武曾恵理、羽田敦子)
 - 19 PACS1 異常症におけるてんかんの検討
(兵頭勇紀、熊倉啓)
 - 20 抗 MOG 抗体の臨床像の検討
(梶本智史、兵頭勇紀、熊倉啓)
 - 21 CLTC 異常症の臨床像の検討
(古川智偉、熊倉啓)

小児科循環器／心臓 C 先天性心疾患系

- 1 インスタントメッセンジャーおよびクラウドを用いた心エコー遠隔診療支援システムの構築
(渡辺 健、鶴見文俊)

小児科 感染症部門系

- 1 ワクチンによる糖尿病患者における水痘帯状疱疹ウイルス特異的免疫反応の検討
(文部科学省科学研究費補助金事業)
(羽田敦子、糖尿病内分泌内科 濱崎暁洋、本庶祥子、河崎祐貴子、瀬野陽平、
渡邊 武、小林由佳、榊原敦子、浜本芳之、兵庫医科大学 奥野壽臣、
姫路獨協大学 片山俊郎)
- 2 メロペネム、タゾバクタム/ピペラシリン、セフトリアキソンの排便回数に対する
影響
(辻本考平、大橋倫子、片山俊郎、羽田敦子)
- 3 広域抗菌薬使用による腸内細菌叢への影響の検討
(辻本考平、大橋倫子、羽田敦子)
- 4 メソトレキセート内服を契機に発症したリステリア髄膜炎による脳神経障害の検討
(内原嘉仁、山本昌義、藤田昌昭、羽田敦子)
- 5 3つの年齢層の感染源に基づく日本の SARS-CoV-2 感染管理の実施
(羽田敦子)
- 6 妊婦 GBS スクリーニング法としての選択増菌培地の有効性
(中塚由香利、宇野将一、羽田敦子)
- 7 *Enterobacter* spp. 菌血症に対する第3世代セファロスポリン療法の臨床的評価
(小林和博、上田覚、高橋有、羽田敦子、尾上雅英)
- 8 新型コロナウイルス感染症に対するイベルメクチン（ストロメクトール錠）による
治療効果の検討
(大島正義、丸毛 聡、羽田敦子)
- 9 新型コロナワクチン有効性の検討
(中川隆太郎、喜多村恭平、丸毛聡、羽田敦子)
- 10 帯状疱疹と COVID-19 ワクチンとの関連
(羽田敦子)
- 11 COVID-19 関連免疫異常の研究
(羽田敦子、井上大生、丸毛聡)

小児外科系

- 1 人工気胸下小児胸腔鏡手術における循環動態の研究
(佐藤正人、遠藤耕介、園田真理、岩出珠幾)
- 2 重症心身障がい児に対する腹腔鏡下噴門形成術の定型化の試み
(佐藤正人、遠藤耕介、岩出珠幾、園田真理)
- 3 小児内視鏡外科教育システムの構築
(佐藤正人、園田真理、岩出珠幾、遠藤耕介)
- 4 小児外科領域における単孔式腹腔鏡下手術の開発
(佐藤正人、遠藤耕介、園田真理、岩出珠幾)
- 5 ASH (abdomino scrotal hydrocele) の成因についての研究
(岩出珠幾、遠藤耕介、園田真理、佐藤正人)
- 6 小児消化管異物症例の疫学的検討
(園田真理、遠藤耕介、岩出珠幾、佐藤正人)
- 7 先天性胆道拡張症に対する腹腔鏡手術術式の開発
(佐藤正人、遠藤耕介、園田真理、岩出珠幾)

- 8 膀胱尿管逆流症に対する低侵襲手術の開発
(遠藤耕介、園田真理、岩出珠幾、佐藤正人)
- 9 ヒルシュスプルング病類似疾患における腸管神経細胞の分布についての検討
(佐藤正人、園田真理、遠藤耕介、岩出珠幾)
- 10 ヒルシュスプルング病診断におけるカルレチニンの応用
(佐藤正人、遠藤耕介、園田真理、岩出珠幾)
- 11 先天性胆道閉鎖症の成因についての研究
(諸富嘉樹、遠藤耕介、園田真理、佐藤正人)
- 12 先天性胆道閉鎖症初回手術時における線維化ならびに炎症性マーカーからの予後推定に関する研究
(園田真理、遠藤耕介、岩出珠幾、佐藤正人)
- 13 腹腔鏡下単径ヘルニア根治術 (LPEC) 術式の開発・普及
(岩出珠幾、遠藤耕介、園田真理、佐藤正人)
- 14 漏斗胸手術至適年齢の検討
(遠藤耕介、岩出珠幾、園田真理、佐藤正人)

病態生理・薬理 研究部門

部長	尾上 雅英	(薬剤部)
研究主幹	足立 健彦	(麻酔科)
	加藤 茂久	(麻酔科)
	黒寄 明子	(麻酔科)
	宮崎 嘉也	(集中治療部)
	平川 昭彦	(救急科)

薬剤部系

- 1 電子カルテシステムを活用した医薬品の体内動態と薬効・副作用情報の体系的評価と薬物療法の最適化に関する研究
(薬剤師全員)
- 2 抗菌薬の使用状況に関する実態調査
(上田 覚、高橋 有、小林和博、宮本佳奈、尾上雅英)
- 3 抗がん剤の副作用発現に関する因子の探索
(水田純平、安部さつき、白川真美、上ノ山和弥、近藤 篤、宇佐美友佳子、柏井 琢、丸谷周平、三宅麻文、尾上雅英)
- 4 多剤併用高齢者に対する薬剤師介入と多職種協働による処方適正化について
(辻屋朝美、上ノ山和弥、日高貴生、河野正憲、和山 祐、永岡理沙、尾上雅英)
- 5 新生児期の薬物動態変動機構の解析 (新生児における酢酸亜鉛製剤投与後の血清亜鉛及び血清銅の推移に関する個体間変動要因の解明)
(伊藤俊和、尾上雅英)
- 6 免疫チェックポイント阻害薬使用中の腎機能変動に関する研究
(上ノ山和弥、尾上雅英)
- 7 *Enterobacter* spp. または *Klebsiella aerogenes* 菌血症に対する第3世代セファロsporin治療の臨床評価および臨床転帰不良に影響を与える因子の探索
(小林和博、羽田敦子、高橋有、上田覚、上ノ山和弥、伊藤俊和、尾上雅英)

- 8 ラムシルマブ投与後の蛋白尿発現に及ぼすベバシズマブ前治療の影響に関する多施設共同研究
(三宅麻文)

麻酔科系

- 1 麻酔台帳 I T 化を利用した周術期合併症の要因分析
(原 朋子)
- 2 糖尿病患者の術前コントロールと周術期合併症に関する後ろ向き研究
(直井紀子)
- 3 新生児、乳児の鏡視下手術の麻酔管理
(黒寄明子)
- 4 小児前投薬における経口ミダゾラムシロップの有用性に関する研究
(黒寄明子)
- 5 高度低肺機能患者の胸腔鏡下手術における自発呼吸下麻酔の有用性および安全性に関する研究
(加藤茂久)
- 6 術後悪心嘔吐の予防目的で術中投与するドロペリドールの副作用である錐体外路症状に関する調査研究。特に若年者における状況
(加藤茂久)
- 7 当院における下肢切断術後の予後に関する研究
(加藤茂久)

集中治療部系

- 1 周術期における上肢静脈エコーの有用性に関する検討
(宮崎嘉也)

救急科

- 1 重症外傷患者での血中ミトコンドリア DNA の推移と重症度評価の検討
(平川昭彦)
- 2 「大都市における災害時救急医療情報及び運用システム」の構築
(王 徳雄)

保健・健康 研究部門

部長	寺井 美峰子	(看護部)
研究主幹	石守 崇好	(放射線診断科)
	広川 侑奨	(放射線診断科)
	高木 雄久	(腫瘍放射線科)
	高森 行宏	(健診部)
	向井 秀幸	(臨床検査部)
	高橋 克	(歯科口腔外科)
	平木 秀輔	(医療情報部)

看護部系

- 1 乳腺看護相談外来の妊孕性温存に関連する実践報告
(田中敦子)
- 2 日本糖尿病療養指導士の資格更新のための症例提出
(古河てまり)
- 3 アピアランスケアコーナーを病棟に設ける意義～患者の声を大切に考える～
(松本愛、眞山唯、福坂知美、上田有紗)
- 4 同種移植後外来開設 5 年後の実績報告
(山口悠美、三浦絵梨、水瀬茉夕、北山千里、和泉葵、中田佳奈子、北川佳奈、原美樹子、澤田真里子、田端淑恵、北野俊行)
- 5 次世代の退院前カンファレンスについての検討 ～ハイブリッド開催への取り組み～
(間京佳、神代英子、河井多美子、座覇綾花、幕内理菜、宇山武志)
- 6 非単一症候性夜尿症児への統一した看護介入実施に向けた取り組み
(新田優紀子、山口かおり、田中かおり、久保優佳)
- 7 身体行動制限ゼロを目指す看護部委員会の取り組みの結果と考察
(豊田久理子、谷口幸江)
- 8 Instagram 発信における患者ニーズの把握
(武木田綾乃、舟橋葵、岩谷歩美、松尾昌美)
- 9 器械展開タスクシェアシフト導入取り組み～やりがいのある手術室を目指して～
(宮地千春、森彩世子、島本真弓)
- 1 0 A 病院手術室看護師の承認活動によるスタッフの意識変化
(田中愛美、巻下千夏、浅野美弥、島本真弓)
- 1 1 A 病院における外国人看護師 B 氏への OJT 教育の振り返りと指導課題
(巻下千夏、島本真弓)
- 1 2 手術看護認定看護師としての新人看護師への教育的介入の評価と今後の展望
(森 彩世子)
- 1 3 Foot Care Art
(古河てまり)
- 1 4 周手術期の継続看護の構築～特徴ある小児患児にフォーカスを当てて～
(尾形めぐみ、山崎知世)
- 1 5 急性期病院におけるスペシャリストとジェネラリストの育成への取り組み
(寺井美峰子)
- 1 6 夜勤帯看護補助者（ナイトアシスタント）の導入とシステム構築
(木戸宏美)
- 1 7 医療安全に関する多職種連携と実践力向上
(椎橋美月)
- 1 8 「重症度、医療・看護必要度」のデータを活用した看護マネジメント
(加藤千春)
- 1 9 セラミド含有皮膚保護剤のストーマ周囲皮膚への影響
(松本 忍、佐藤恵美子、釘宮真紀)
- 2 0 「手術室スタッフの患児に対する、ディストラクション実施の評価」
(島本真弓)
- 2 1 看護職員のやりがい度向上のための取り組み
(寺井美峰子)

放射線診断科系

- △ 1 ケモカイン受容体イメージングによる腫瘍のコンパニオン診断と個別化医療の探索
(科研費助成事業 2020 年～2024 年度 基盤研究(C))
(石守崇好、子安翔*、志水陽一* (*: 京都大学医学研究科画像診断学・核医学))
- 2 乳癌診断における MRI 撮影標準化に向けた複数施設前向き研究
(奥村亮介、石守崇好、高原祥子、岡澤藍夏*、飯間麻美*、片岡正子**、中本裕士**)
(*: 医学研究所客員研究員・京都大学大学院医学研究科画像診断学・核医学)
(**: 京都大学大学院医学研究科画像診断学・核医学)

腫瘍放射線科系

- 1 骨転移のある去勢抵抗性前立腺癌に対する塩化ラジウム内用療法の臨床的有用性に関する検討 (継続)
(熱田智子、高木雄久)
- 2 進行食道癌患者に対する緩和的放射線科治療の QOL への影響のご検討 (継続)
(熱田智子、高木雄久)
- 3 III期非小細胞肺癌に対する同時胸部化学放射線療法および逐次的デュルバルマブ維持療法における至適照射範囲の検討
(熱田智子、宮部結城 高木雄久)
- 4 SAVI (Strut Adjusted Volume Implant) を用いた乳房温存術後小線源治療の治療効果に関する検討
(熱田智子、宮部結城 高木雄久)
- 5 局所進行直腸癌に対して強度変調放射線治療を利用した術前化学放射線療法の多施設第 II 相臨床試験
(熱田智子 宮部結城 高木雄久)
- 6 高線量率密封小線源治療の高精度化に向けた品質保証・品質管理ツールの開発
(宮部結城)
- 7 子宮頸がんに対する画像誘導密封小線源治療における Intra-fractional motion の評価
(宮部結城 熱田智子 高木雄久)
- 8 放射線治療において椎体の屈曲・伸展・回旋による誤差を検出補正する方法の検討
(科学研究費助成事業 2023-2026 年度 基盤研究 (C)) (宮部結城)
- 9 肝臓がんに対する動態追跡定位放射線治療についての検討
(熱田智子 宮部結城 高木雄久)

健診部系

1. 臨床研究

- 1-1 ドック健診における高感度 CRP 検査と生活習慣との関連について
(高森行宏)
- 1-2 ドック健診における膵がんの発見の契機について
(高森行宏)
- 1-3 中高年女性における健康意識および生活習慣と健診データとの関連性
(高森行宏)

- 1-4 当院人間ドックにおける PSA 前立腺がんスクリーニングの検討
(遠藤真紀子)
- 1-5 当院人間ドック女性受診者における脂肪肝の検討
(今田祐子)
- 1-6 臨床と疫学のビッグデータ融合による子宮頸がん予後予測システムの開発
(榊原敦子、片山俊郎)
- 1-7 日本人女性における喫煙割合と子宮頸がん死亡・罹患率の経年変化：Birth cohort analysis
(榊原敦子、片山俊郎、樋口壽宏)
- 1-8 日本人女性における喫煙割合と子宮頸がん死亡・罹患率の経年変化：Joinpoint analysis
(榊原敦子、片山俊郎、樋口壽宏)
- 1-9 出生コホートによる子宮頸がん罹患率とリスクファクターの関連：相関・回帰分析
(榊原敦子、片山俊郎、樋口壽宏)
- 1-10 子宮頸癌における年齢と予後の関連についての検討：多施設共同研究
(榊原敦子、片山俊郎、樋口壽宏)
- 1-11 北野病院医療情報を使用した HPV ワクチン接種状況の記述統計学的分析
(榊原敦子、片山俊郎、樋口壽宏)
- 1-12 北野病院産婦人科癌登録データを使用した若年子宮頸癌および CIN3 の時系列分析
(榊原敦子、片山俊郎、樋口壽宏)
- 1-13 日本における若年子宮頸がん予防対策の効果の推計
(榊原敦子、片山俊郎、樋口壽宏)
- 1-14 子宮頸がん症例に対する手術療法・放射線療法（同時化学放射線療法）・化学療法の成績における年齢因子の影響の解析（日本産科婦人科学会データ）
(榊原敦子、片山俊郎、樋口壽宏)

臨床検査部系

- 1 内部精度管理における管理値決定方法の見直しと改善
(垣内真子、*土肥慎哉、涌嶋美甫香、元江明希野、吉川侑花、細谷悠稀)
- 2 ルミパルス G1200plus を用いた薬物測定の有用性
(土肥慎哉、*垣内真子、伊東知沙紀、新枝稜介、見戸杏優)
- 3 試薬コンタミネーションによって生じた測定値への影響と対策
(垣内真子、*涌嶋美甫香、元江明希野、土肥慎哉、伊東知沙紀、見戸杏優、前田記代子)
- 4 全自動血液凝固測定装置「CN6000」の導入の有用性
(伊東知沙紀、*見戸杏優、垣内真子、涌嶋美甫香、土肥慎哉)
- 5 多項目自動血球分析装置「XN1000」および「XN3100」の導入の有用性
(新枝稜介、*吉川侑花、土肥慎哉、伊東知沙紀、見戸杏優)
- 6 検体検査搬送システム更新の評価及び次期検体検査の構築
(前田記代子、*垣内真子、涌嶋美甫香、土肥慎哉)
- 7 院外検査センターからのネットワーク通信による画像結果至急報告システムの構築
(前田記代子)
- 8 Sysmex 社 XN シリーズ BF モードによる体腔液細胞数の臨床報告結果への活用の検討

- (高橋明日香、*志賀千代美、平田恵)
- 9 血液像目視における CELLAVISION 社 DM9600 での測定標本選別の運用チャート作成
(平田恵、*志賀千代美、*高橋明日香)
- 1 0 多項目自動血球分析装置による末梢血前駆細胞数測定値を、末梢血幹細胞採取時において活用する検討
(志賀千代美 *高橋明日香 平田恵)
- 1 1 オーソ輸血自動分析機 VISION Swift による異型移植抗体価測定の検討
(上西徳治、*丸石桃花、高橋明日香、宮内万知子)
- 1 2 輸血管理ソフト BTDX を用いたオーダーリングシステムとの輸血連携について
(上西徳治、*丸石桃花、高橋明日香、宮内万知子)
- 1 3 幹細胞移植 (BANK も含む) における輸血連携業務について
(高橋明日香、*丸石桃花、志賀千代美、上西徳治、宮内万知子)
- 1 4 アルブミン製剤の管理運用と適正使用の評価について
(高橋明日香、*丸石桃花、上西徳治、宮内万知子)
- 1 5 輸血後鉄過剰症のマネジメントについて
(*丸石桃花、高橋明日香、上西徳治、宮内万知子)
- 1 6 自己血輸血における製剤管理と適正輸血の評価について
(高橋明日香、*丸石桃花、上西徳治、宮内万知子)
- 1 7 産婦人科危機的出血シミュレーションによる臨床現場・輸血部門関係の構築
(*丸石桃花、高橋明日香、上西徳治、宮内万知子)
- 1 8 微生物検査室から診療科への情報発信の有用性
(中塚由香利、*宇野将一、小林賢治、今井綾那、鋸本遙、土屋咲子、藤森舞子、前田記代子)
- 1 9 Loopamp Aspergillus F Detection Kit の基礎性能評価
(中塚由香利、宇野将一、小林賢治、今井綾那、*鋸本遙、土屋咲子、藤森舞子、前田記代子)
- 2 0 GBS 増菌培地とラテックス凝集法を併用した GBS スクリーニング検査法の臨床性能評価の研究
(中塚由香利、宇野将一、小林賢治、今井綾那、鋸本遙、土屋咲子、*藤森舞子、前田記代子)
- 2 1 LAMP 法・GeneXpert・FilmArray を用いた COVID-19 遺伝子検査の比較検討
(宇野将一、中塚由香利、小林賢治、今井綾那、鋸本遙、*土屋咲子、藤森舞子、前田記代子)
- 2 2 血液培養陽性自動報告システムの構築と運用
(宇野将一、*中塚由香利、小林賢治、今井綾那、鋸本遙、土屋咲子、藤森舞子、前田記代子)
- 2 3 全自動尿中有形成分分析装置「UF-5000」導入の有用性
(豊田剛志、浅田薫、*山下博美)
- 2 4 神経伝導検査において、F 波出現率低下症例における正中神経刺激時の安静時と運動時での F 波出現率の比較検討
(渡邊裕子、*中野尋文、井上美砂、和田紗希、*飯田奈緒)
- 2 5 ABI と下肢動脈エコーデータとの比較検討
(和田紗季、*岩本梨沙、*伴 洋子、吉田美由紀、宮原佳子、辻 美佳、中野尋文、

- 南 奈月)
- 2 6 左室肥大所見について心電図と心エコーデータとの比較検討
(南 奈月、*吉田美由紀、*伴 洋子、宮原佳子、辻 美佳、岩本梨沙、中野尋文、和田紗季)
 - 2 7 EF 正常で GLS 異常を示す症例の病態解析
(平井絵理香、*生熊誠子、小田嶋康雄、上妻玉恵、土井千賀子、秋田育美、白崎太一)
 - 2 8 シアウェーブ計測値の検討 B モード評価との比較について
(土井千賀子、*上妻玉恵、坂本亜里紗、秋田育美、河関恵理子 生熊誠子、伴 洋子、井上美砂)
 - 2 9 アルカリ金属イオン濃度の変化が、細胞内リン酸化シグナル伝達に及ぼす影響の解析
(向井秀幸)

歯科口腔外科系

- ※ 1 希少疾患先天性無歯症患者の欠損歯を再生する新規抗体医薬品の開発
(AMED 難治性疾患実用化研究事業 2023-2025 年度)
(高橋 克)
- 2 健康寿命延伸に向けた、歯の数を増やす薬（歯生え薬）の開発
公益財団法人京都産業 21 令和 5 年度中小企業経営改革支援事業業展開コース
(喜早ほのか、高橋 克)
- ※ 3 希少疾患先天性無歯症患者の欠損歯を再生する新規抗体医薬品の開発
(AMED 橋渡し研究プログラムシーズ B 2022-2023 年度)
(高橋 克)
- △ 4 USAG-1 を標的分子とした分子標的治療による歯の再生
(科学研究費助成事業 2022-2024 年度 基盤研究(C)) (高橋 克)
- △ 5 発汗異常を伴う稀少難治療性疾患の治療指針作成、疫学調査の研究
(厚生労働科学研究費 難治性疾患政策研究事業 2022-2024 年度)
(室田浩之、高橋 克)

医療情報部系

- 1 病院情報化とシステム開発・導入に関する研究
(平木秀輔、北山靖洋、井戸大輔、玉井宏幸、長谷川義継、平山洋輔、前田洋平、立山慎一郎)
- 2 タスクシフトの経営的効果に関する研究
(平木秀輔、播本真須美、赤松由香)
- 3 診療報酬請求データを用いた病院経営改善に関する研究
(平木秀輔、朝山欣英、篠田佳幸、山本 翔)
- 4 診療録監査を通じた医療の質向上に関する研究
(平木秀輔、加藤玲奈)
- 5 病院経営マネジメントシステムの導入に関する研究
(平木秀輔、伊藤幸也、西 貴士)
- 6 病院物流データを活用した原価計算に関する研究
(平木秀輔、伊藤幸也、藤田将史、松村俊輝)
- 7 代用貨幣を用いた病院経営意思決定に関する研究

(平木秀輔)

- 8 実地医療機関におけるリアルワールドデータを活用した薬剤疫学研究
(平木秀輔)
- 9 代用貨幣を通じて医療における貢献価値を可視化する手法の開発に関する研究
(平木秀輔)
- △ 10 タスクシフトによる医師労働時間短縮効果と医療機関経営上の影響に関する研究
(厚労科研費 政策科学総合研究事業 2021-2023 年度) (平木秀輔)
- 11 レセプトデータベース (NDB) の利用を容易にするための包括的支援システムの開発
(平木秀輔)
- △ 12 全レセプトデータ (NDB) を用いた眼科難病・希少疾患・難治性疾患の疫学研究
(科学研究費助成事業 2021-2023 年度 基盤研究(C)) (平木秀輔)

リハビリテーション科系

- 1 慢性心不全患者のフレイル実態調査
(上坂建太、鶴本一寿、吉田 都)
- 2 心臓外科術後の要介護度悪化に関わる因子の検討
(上坂建太、吉田 都)
- 3 冠動脈疾患の二次予防のための病態コントロールを支援する遠隔ライフスタイル改善の研究
(上坂建太)
- 4 心不全患者における基本チェックリストと心不全再入院との関連の検討
(鶴本一寿、上坂健太)
- 5 振戦評価の妥当性について
(佐竹裕輝、辻本実奈美、甲斐太陽、脳神経外科医師)
- 6 訪問リハビリテーション介入と身体活動性との検討
(本田憲胤、富謙伸、野村知里、豊浦尊真、大洞佳代子)
- 7 新生児における四肢・体幹の筋厚・脂肪厚の検討
(本田憲胤、富 謙伸、亀山千尋、水本 洋、大洞佳代子)
- 8 デイケアにおけるサーキットトレーニングの身体機能に及ぼす効果に観察研究
(本田憲胤、矢木崇善、渡辺健太)
- 9 NICU 入院経験のある児の発達の特徴と関連因子の検討
(本田憲胤、富 謙信、澤田優子、成宮牧子、水本 洋)
- 10 労作時低酸素血症を呈する慢性呼吸不全患者における在宅酸素療法の酸素投与量適正評価
(浦慎太郎、本田憲胤、大洞佳代子、北島尚昌、福井基成)
- 11 同種造血幹細胞移植患者における身体機能と栄養状態に関する後方視的研究
(徳元翔子、上坂建太、本田憲胤、大洞佳代子)
- 12 高齢心不全患者に対する退院後早期の訪問リハビリテーションの適応と効果に関する研究
(上坂建太)

研究所セミナー

第 107 回研究所セミナー

日 時：2023 年 5 月 17 日(水) 17:00～18:00

場 所：きたのホール

発表Ⅰ：腫瘍研究部

演 者：腫瘍内科 主任部長 西村 貴文

演 題：免疫チェックポイント阻害薬を用いたがん化学療法における腫瘍縮小反応の多様性について

発表Ⅱ：呼吸・循環研究部

演 者：循環器内科 中根 英策

演 題：再入院防止を目的とした心不全連携の取り組みと効果について

第 108 回研究所セミナー

日 時：2023 年 7 月 19 日(水) 17:00～18:00

場 所：きたのホール 1

発表Ⅰ：内分泌・代謝・腎臓研究部

演 者：栄養部 山田 信子

演 題：COVID-19 入院患者における栄養学的重症化リスク因子の検討

発表Ⅱ：炎症・免疫研究部

演 者：リウマチ膠原病内科 高橋 令子

演 題：SLE の病態の本質は何か

JAK-STAT 経路抑制性分子 SOCS1 の発現異常との関係の観点から

第 109 回研究所セミナー

日 時：2023 年 11 月 15 日(水) 17:00～18:00

場 所：きたのホール 1

発表Ⅰ：発達・再生研究部

演 者：小児科 鶴見 文俊

演 題：Duchenne 型筋ジストロフィー疾患特異的 iPS 細胞を用いた心筋症発症機序の検討

発表Ⅱ：神経・感覚運動器研究部

演 者：脳神経内科 主任部長 金子 鋭

演 題：患者由来 iPS 細胞を用いた若年性パーキンソン病の病態の解明

第 110 回研究所セミナー

日 時：2024 年 1 月 17 日(水) 17:00～18:00

場 所：きたのホール 1

発表Ⅰ：病態生理・薬理研究部

演 者：救急科 診療看護師 伊藤 智佳子

演 題：民間病院における診療看護師（NP）導入と診療生産性に関して

発表Ⅱ：保健・健康研究部

演 者：看護部 新田 優紀子

演 題：DVSS を用いた非単一症候性夜尿症児への適切なウロセラピー実施の検討

第 111 回研究所セミナー

日 時：2023 年 3 月 13 日（水） 17:00～18:00

場 所：きたのホール 1

発表Ⅰ：

演 者：呼吸器外科 主任部長 黄 政龍

演 題：非小細胞肺癌における Thymidylate synthase (TS) の臨床的意義と新規癌治療への展望

発表Ⅱ：呼吸・循環研究部

演 者：循環器内科 林 秀幸

演 題：血流解析の世界 Influence of aneurysmal aortic root geometry on mechanical stress on aortic valve leaflet

感染対策研修会

第 1 回

日 時：2023 年 5 月 23 日（火） 17:00～18:00

2023 年 5 月 24 日（水） 12:00～13:00

2023 年 5 月 25 日（木） 17:00～18:00

2023 年 5 月 26 日（金） 17:00～18:00

場 所：きたのホール

演 題：感染対策の基本を見直そう（標準予防策を含む）

演 者：感染制御対策室 室長 丸毛 聡（ICT）

薬剤部 主任 小林和博（AST）

第 2 回

日 時：2023 年 7 月 25 日（火） 17:00～18:00

2023 年 7 月 26 日（水） 12:00～13:00

2023 年 7 月 27 日（木） 17:00～18:00

2023 年 7 月 28 日（金） 17:00～18:00

場 所：きたのホール

演 題：結核の基礎知識と院内感染対策（ICT）

演 者：感染制御対策室 室長 丸毛 聡

演 題：職員が知っておくべき薬剤耐性菌（AST）

演 者：臨床検査部 主任 小林 賢治

第3回

日 時：2023年10月24日(火)17:00～18:00

2023年10月25日(水)12:00～13:00

2023年10月26日(木)17:00～18:00

2023年10月27日(金)17:00～18:00

場 所：きたのホール

演 題：血液・体液汚染事故対応について

演 者：感染制御対策室 感染管理認定看護師 亀澤 恵

演 題：血液培養について

演 者：血液内科 羽田 美沙祈

第4回

日 時：2023年12月12日(火)17:00～18:00

2023年12月13日(水)12:00～13:00

2023年12月14日(木)17:00～18:00

2023年12月15日(金)17:00～18:00

場 所：きたのホール

演 題：流行性疾患について

演 者：感染制御対策室 室長 丸毛 聡

演 題：新型コロナウイルスの抗ウイルス薬について

演 者：薬剤部 上田 覚、高橋 有、小林 和博

リスクマネジメント研修会

日 時：2023年5月19日(金) 17:00～17:45

場 所：きたのホール

講 演：「医療ガス安全講習」

演 者：臨床工学部 主任 宮崎 晋一

講 演：「呼吸器外科手術後の肺血栓塞栓症スクリーニングと対策」

演 者：呼吸器外科 副部長 尾田 博美

講 演：「採血コーナーにおける患者誤認防止の取り組みと検体管理」

演 者：検査部 主任 浅田 薫

日 時：2023年8月30日(水) 17:00～18:00

講 演：「診療用放射線の安全利用のための研修について」

演 者：放射線科 主任部長 石守 崇好
講 演：「麻薬の取り扱いについて」
演 者：薬剤部 主任 井戸 雅子
講 演：「当院での気管支鏡検査における安全性の検討」
演 者：呼吸器内科 植木 康光
講 演：「生物学的製剤をより安全に実施するための取り組み」
演 者：中央処置室 主任 山田 香織

日 時：2022 年 11 月 20 日（月）17：00～18：00
場 所：きたのホール
講 演：「医薬品管理の留意点」
演 者：薬剤部 部長 尾上 雅英
講 演：「当科における手術室入室時の左右確認の現状について」
演 者：小児外科 副部長 遠藤 耕介
講 演：「救急外来の咽頭痛の診察について」
演 者：研修医 畑山 安佳里

日 時：2023 年 2 月 20 日（火）17：00～18：00
場 所：きたのホール
講 演：「報告書確認対策チームの活動に関して」
演 者：放射線部 副技師長 西 太郎
講 演：「透析室で発覚したパニック値について(低血糖)」
演 者：腎臓内科 宮内 美帆
講 演：「SR1 の針刺し事例について」
演 者：研修医 藤井 勇記

医学生・若手医師のための小児科診療最前線【オンライン開催】

第 19 回医学生・若手医師のための小児科診療最前線 Web セミナー
～新生児医療から高度先端医療・移植医療まで～

日 時：2023 年 6 月 10 日（土）16：00～19：00

場 所：オンライン会議室（ZOOM）

演 題：新生児医療の魅力

演 者：小児科 主任部長 水本 洋

特別講演：「常識を疑おう」～ 明日は今日より素晴らしい ～

演 者：京都大学大学院医学研究科 発生発達医学講座発達小児科学 准教授 八角 高裕 先生

特別講演：小児がんの克服への挑戦

演 者：京都大学大学院医学研究科 発生発達医学講座発達小児科学 教授 滝田 順子 先生

特別講演：ウイルスと私たち

演 者：長崎大学大学院医歯薬学総合研究科（小児科学）教授 森内 浩幸 先生

北野小児科学術講演会【オンライン開催】

第36回北野小児科学術講演会【オンライン開催】

日 時：2023 年 11 月 18 日（土） 16 時 00 分～19 時 00 分

会 場：オンライン会議場（ZOOM）

臨床報告：アデノ胃腸炎で入院後に O157 が判明し HUS を発症した 5 歳女兒

演 者：小児科 藤田 耕世

臨床報告：小児夜尿症・尿失禁患者におけるビベグロン投与 3 ヶ月後の臨床成績

演 者：小児科 高田 尚志

臨床報告：活性型ビタミン D3 製剤とマグネシウム製剤併用によりカルシウムアルカリ症候群をきたした重症心身障害者の 19 歳男性

演 者：小児科 中西 隆哉

臨床報告：骨髓悪性腫瘍傾向を伴う家族性血小板減少症を背景に T 細胞性急性リンパ性白血病を発症した 8 歳男児

演 者：小児科 木村 菜樹

臨床報告：胎児期に膀胱拡張を指摘され、出生後に嘔吐を反復した正期産男児

演 者：小児科 三浦 崇徳

講 演：「日々の小児科診療で出会う小児外科疾患」

演 者：小児外科 副部長 遠藤 耕介

特別講演：「胎児を育む内分泌機構～成長障害の理解のために～」

演 者：京都大学大学院医学研究科 新生児学講座 特定教授 河井 昌彦先生

第 97 回学術講演会・第 21 回研究所研究発表会

日 時：2023 年 8 月 25 日（金） 15 : 00～

場 所：きたのホール

演 者：時田 義人 愛知県医療療育総合センター 発達障害研究所 主任研究員

演 題：先天性無歯症の遺伝学

演 者：歯科口腔外科 主任部長 高橋 克

演 題：先天性無歯症の新たな治療技術の開発

みんなの医療セミナー

第1回

日 時：2023年6月30日（金）19：00～20：00

場 所：きたのホール

テーマ：身近な人が認知症になったとき

演 者：脳神経内科 副部長 宮本 将和

第2回

日 時：2023年7月28日（水）13：30～14：30

場 所：きたのホール

テーマ：いつまでもおいしく食べるために

演 者：リハビリテーション科スタッフ

第3回

日 時：2023年8月3日（木）14：00～15：00

場 所：きたのホール

テーマ：子どもに急にてんかんが起これたら？

演 者：小児科 副部長 熊倉 啓

第4回

日 時：2023年9月1日（金）14：00～15：00

場 所：きたのホール

テーマ：手のふるえの謎と解決法！

演 者：脳神経内科 副部長 樽野 陽亮

脳神経内科 副部長 西田 南海子

第5回

日 時：2023年10月5日（木）14：00～15：00

場 所：きたのホール

テーマ：糖尿病ってどんな病気？

演 者：糖尿病内分泌内科 主任部長 濱崎 暁洋

テーマ：あなたや家族が糖尿病と診断されたら？

演 者：糖尿病看護認定看護師 師長 竹内 麻衣

第6回

日 時：2023年11月1日（水）13：30～14：30

場 所：きたのホール

テーマ：今日から始めるフレイル対策

演 者：リハビリテーション科 益尾 洋児 他

第7回

日 時：2023 年 12 月 22 日（金）19：00～20：00

場 所：きたのホール

テーマ：なぜ高血圧を気にしなければならないの？

演 者：循環器内科 主任部長 猪子 森明

第8回

日 時：2024 年 1 月 26 日（金）14：00～15：00

場 所：きたのホール

テーマ：怖がらずに「がん」と生きる方法

演 者：緩和ケア科 部長 梶山 徹

第9回

日 時：2024 年 2 月 5 日（月）13：30～14：30

場 所：きたのホール

テーマ：その息切れ、本当に歳のせいですか？

演 者：呼吸器内科 主任部長 福井 基成
リハビリテーション科 野村 千里 他

第10回

日 時：2024 年 3 月 8 日（金）18：30～20：00

場 所：きたのホール

テーマ：「撮って、捕る。大腸がん和大腸カメラの新常識」

演 者：消化器内科 吉川 貴章

テーマ：「大腸がん最新の手術とは？」 ～腹腔鏡・ロボット手術について知ろう～

演 者：消化器外科 山本 健人

医療安全講演会

日 時：2023 年 6 月 26 日（月）17：00～18：00

場 所：きたのホール

講 師：京都大学医学部附属病院 医療安全管理部 教授 松村由美 先生

講 演：心理的安全性と医療安全

日 時：2023 年 9 月 22 日（金）17：00～18：00

場 所：きたのホール

講 師：大阪公立大学 医療の質・安全管理部 准教授 山口 悦子 先生

講 演：本当は怖い「心理的安全性」～高める理由・理屈・仕組み・方法～

日 時：2023 年 12 月 26 日（火）17：00～18：00

場 所：きたのホール

講 師：弁護士法人御堂筋法律事務所 山崎 祥光 弁護士

講 演：トラブルを未然に防ぐカルテの書き方

第 37 回きたの産婦人科セミナー【ハイブリット開催】

日 時：2023 年 10 月 7 日（土）17：00～18：10

司 会：産婦人科 主任部長 樋口 壽宏

内 容：『不妊症治療における手術選択・どのような症例に手術を勧めるか？』

演 者：京都大学大学院医学研究科 婦人科学産科学教室 講師 堀江 昭史 先生

扇町遺伝性腫瘍セミナー

第 1 回

日 時：2023 年 12 月 1 日（金）19：00～20：35

挨 拶：乳腺外科 主任部長 高原 祥子

内 容：遺伝性乳癌に関する最近の話題

演 者：兵庫医科大学病院 乳腺・内分泌外科 准教授 永橋 昌幸 先生

内 容：「遺伝」を意識した MEN 診療

演 者：信州大学医学部 内科学第四教室（糖尿病・内分泌代謝内科） 准教授
山崎 雅則 先生

第 2 回

日 時：2024 年 2 月 7 日（水） 18:00～19:30

司 会：乳腺外科 主任部長 高原 祥子

内 容：「がんゲノム医療連携病院の検査体制づくり」

演 者：滋賀県立総合病院 腫瘍内科 医長 兼 外来化学療法センター長 後藤 知之 先生

司 会：関西医科大学附属病院 がんセンター センター教授 金井 雅史 先生

内 容：「がんゲノム医療を通じた遺伝性腫瘍対策も含めた地域医療連携への挑戦」

演 者：三重大学医学部附属病院 ゲノム医療部 教授 奥川 喜永 先生

きたのパートナーズクラブ

日 時：2023 年 11 月 25 日（土） 17：00～19：00

座 長：南川クリニック 院長 南川 順 先生
講 演：パーキンソン病の診断と治療
演 者：脳神経内科 主任部長 金子 鋭
座 長：遠藤クリニック 院長 遠藤 淳 先生

講 演：消化器外科手術の現状と展望
演 者：消化器外科 部長 田浦 康二郎

北野病院地域医療連携勉強会

K2-net ～顔の見える医療連携を目指して～

日 時：2023 年 12 月 14 日（木） 19：00～20：00

講 演：当院の PCI と EVT 治療の現状

演 者：心臓センター循環器内科 副部長 山地 雄平

講 演：最新の心臓血管外科治療と北野病院心臓センター外科部門がめざすもの

演 者：心臓センター心臓血管外科 特任部長 荻野 均

消化器センター K2-net 急性胆嚢炎に対する最新の治療

日 時：2024 年 1 月 18 日（木） 19：00～20：00

座 長：消化器内科 主任部長 八隅 秀二郎

講 演：内科的治療

演 者：消化器内科 岩野 光佑

座 長：消化器外科 部長 田浦 康二郎

講 演：外科的治療

演 者：消化器外科 久野 晃路

神経センター K2-net ～顔の見える医療連携を目指して～

日 時：2024 年 2 月 15 日（木） 19：00～20：00

座 長：脳神経内科 主任部長 金子 鋭

講 演：パーキンソン病治療のパラダイムシフト

適切な治療選択しを提示できるように診療 update

演 者：脳神経内科 副部長 樽野 陽亮

座 長：脳神経外科 主任部長 戸田 弘紀

講 演：不随意運動に対する集束超音波治療について

演 者：脳神経外科 副部長 西田 南海子

第 21 回北大阪感染症研究会

日 時：2024 年 3 月 7 日(木) 17：50～20：00
座 長：副院長、地域医療サービスセンター長、消化器センター長、消化器外科主任部長、
寺嶋 宏明
演 題：「すばらしい人体」の作家が語る「すばらしい医学」～20 万部ベストセラー教養書が
伝える医学の進歩～
演 者：消化器外科 山本 健人
座 長：感染症課・小児科 部長 羽田 敦子
特別講演：「COVID-19「ワクチン」 mRNA-脂質ナノ粒子製剤の毒性と健康被害」 ワクチン接種後症
候群」の臨床と疫学～問われる医師・科学者の責任」
演 者：一般財団法人 LHS 研究所 代表理事/京都大学名誉教授 福島 雅典 先生

世界糖尿病デー2023@医学研究所北野病院

日 時：2023 年 11 月 13 日（月）～2023 年 11 月 18 日（土）
場 所：医学研究所北野病院 1 階 中央付近 糖尿病啓発デジタルポスター
内 容：5 階プラナホール ブルーライトアップ、各所ポケットティッシュ配布

きたのキドニーデー2024

日 時：2024 年 3 月 5 日（火）14：00～15：00
場 所：きたのホール
テーマ：あなたの腎臓は大丈夫ですか？
演 者：腎臓内科 主任部長 塚本 達雄
テーマ：知ろう！ 減塩 ～何を減らす？ どう減らす？～
演 者：栄養部管理栄養士
テーマ：安全に手軽！ 腎臓を守るための運動療法
演 者：リハビリテーション科理学療法士

第 33 回 大阪 B. B. DM フォーラム

日 時：2023 年 7 月 1 日（土）16：30～17：55
挨 拶：糖尿病内分泌内科 主任部長 濱崎 暁洋
演 題：『糖尿病における血糖・体重管理の意義をあらためて考察する』
演 者：糖尿病内分泌内科 長谷部 雅士
演 題：『北野病院におけるツイミーグ 使用症例について』
演 者：糖尿病内分泌内科 渋谷 公尊

消化器センター研究セミナー

日 時：2022 年 2 月 22 日（木）18：00～19：00

場 所：きたのホール 2

招待講演：「経口 IgA 抗体による腸内細菌叢制御 -Dysbiosis 関連疾患の予防と治療-

演 者：国立大学法人東京大学 定量生命科学研究所 免疫・感染制御研究分野 教授
新藏 礼子 先生

3. 学 会

呼吸器センター 呼吸器外科

- 1 熊谷陽介、尾田博美、小林 萌、平山安見子、長 博之、黄 政龍. 妊娠中に発見された縦隔内異所性副甲状腺腫に対して外科切除を施行した1例. 第66回関西胸部外科学会学術集会. 2023/6/8(大阪)
- 2 黄 政龍、小林 萌、熊谷陽介、平山安見子、尾田博美、長 博之. 胸腔鏡下胸部交感神経切除術における新しい試みー小径内視鏡手術用ポート. 第66回関西胸部外科学会学術集会. 2023/6/9(大阪)
- 3 熊谷陽介、尾田博美、小林 萌、平山安見子、長 博之、黄 政龍. 外科的切除を行った肺原発リンパ上皮腫様癌の1例. 第118回日本肺癌学会関西支部会. 2023/6/17(京都)
- 4 小林 萌、平山安見子、尾田博美、長 博之、黄 政龍. 術後アンケートによる当院における手汗多汗症手術の検討. 第40回日本呼吸器外科学会学術集会. 2023/7/13(新潟)
- 5 熊谷陽介、小林 萌、平山安見子、尾田博美、長 博之、黄 政龍. 当院における月経随伴性気胸手術症例の検討. 第40回日本呼吸器外科学会学術集会. 2023/7/14(新潟)
- 6 黄 政龍、小林 萌、熊谷陽介、平山安見子、尾田博美、長 博之. 小径内視鏡手術用ポートを用いた胸腔鏡下胸部交感神経切除術. 第40回日本呼吸器外科学会学術集会. 2023/7/14(新潟)
- 7 尾田博美、住友亮太、熊谷陽介、小林 萌、平山安見子、長 博之、黄 政龍. 非小細胞肺癌における腫瘍関連マクロファージM2 TAMと化学療法関連バイオマーカーとの関連. 第40回日本呼吸器外科学会学術集会. 2023/7/14(新潟)
- 8 住友亮太、毛受暁史、黄 政龍、伊達洋至、他. 肺扁平上皮癌の上皮間葉転換と腫瘍関連マクロファージの分布に関する臨床病理学的検討. 第40回日本呼吸器外科学会学術集会. 2023/7/14(新潟)
- 9 熊谷陽介、小林 萌、平山安見子、尾田博美、長 博之、黄 政龍. 病理病期I期肺腺癌におけるSpread Through Alveolar Spaces (STAS)に関する臨床的検討第64回日本肺癌学会学術集会. 2023/11/2(幕張)
- 10 長 博之、熊谷陽介、平山安見子、尾田博美、黄 政龍. 外科切除を行った肺原発多型癌8例の検討. 第64回日本肺癌学会学術集会. 2023/11/3(幕張)
- 11 赤津希海、熊谷陽介、平山安見子、尾田博美、長 博之、黄 政龍. 局所再発に対し再手術を行った胸壁デスマイド腫瘍の一例. 第119回日本肺癌学会関西支部学術集会. 2024/3/2(神戸)

泌尿器科

- 1 岡田 卓也 前立腺縮小薬内服中の前立腺肥大症患者におけるPVP術後経過の検討 第37回日本泌尿器内視鏡・ロボティクス学会総会 2023/11/09-11/11(米子コンベンションセンター)
- 2 宗田 武 Long-term practice patterns for men with lower urinary tract symptoms associated with benign prostatic hyperplasia 第110回 日本泌尿器科学会総会 2023/4/20-4/23(神戸国際会議場)
- 3 宗田 武 ロボット支援前立腺全摘除術前後の下部尿路症状に影響を与える因子の検討第37回 日本泌尿器内視鏡・ロボティクス学会総会 2023/11/09-11/11(米子コンベンションセンター)
- 4 牧田 哲幸 当院におけるロボット支援腹腔鏡下腎部分切除術の治療成績検討第73回 日本泌尿器科学会中部総会 2023/10/12-10/14(奈良県コンベンションセンター)
- 5 牧田 哲幸 RAPN後に尿漏治療目的に尿管ステント留置を行った症例の検討第41回 泌尿器科手術研究会 2024/1/27(ウェスティン都ホテル)
- 6 大塚 光 筋層非浸潤性膀胱癌術後の無再発生存期間と再発後フォローアップの検討第75回 西日本泌尿器科学会総会 2023/11/02-05(ANAクラウンプラザホテル松山)

産婦人科

- 1 関山健太郎 婦人科における骨盤リンパ節郭清の特徴 第110回日本泌尿器科学会総会 シンポジ

ウム 20 2023/4/21 (兵庫)

- 2 Kentaro Sekiyama How to approach the paracervical area in laparoscopic radical hysterectomy The 10th IGES National Congress 35th ISGE Annual Meeting 2023 Simultaneous Symposium 7: Oncology May 26th, 2023 (Indonesia)
- 3 関山健太郎 術野展開を制し、手術解剖を制す。～腔と靱帯を知る～ 城南地区 婦人科腹腔鏡セミナー2023 2023/6/3 (東京)
- 4 関山健太郎 神経温存広汎子宮全摘術における傍子宮頸部組織へのアプローチ方法～骨盤神経叢の立体構造と子宮枝・膀胱枝の分離～ 第5回女性骨盤外科鏡視下手術セミナー 2023/6/30 (博多)
- 5 関山健太郎 ワークショップ2 我々はどうしている～子宮頸癌手術における MIS の工夫～鏡視下における膀胱子宮靱帯前層処理と岡林の腔側腔展開の実際 第65回日本婦人科腫瘍学会 2023/7/15 日 (島根)
- 6 山内綱大、関山健太郎、大/美輝、中村しほり、高折彩、児島真千子、奥田亜紀子、吉岡弓子、樋口壽宏 ロボット子宮体癌手術におけるサージセルニューニット®と縫合糸を用いた多方向牽引法 Multidirectional traction method using SURGICEL NU-KNIT and surgical suture in robot-assisted laparoscopic surgery for endometrial cancer 第63回日本産科婦人科内視鏡学会学術講演会 2023/9/14～16 (滋賀)
- 7 岩井夏実 安全な基靱帯処理・腔管切開のために ～前だけでなく後ろが大事～ 第63回日本産科婦人科内視鏡学会学術講演会 2023/9/14～16 (滋賀)
- 8 岩井夏実 当院における鼠径部子宮内膜症 23 症例の治療経験 (学会賞論文部門受賞) 第63回日本産科婦人科内視鏡学会学術講演会 2023/9/14～16 (滋賀)
- 9 関山健太郎、志岐保彦 医療塾討論会：広汎子宮全摘 手術解剖学の見解の相違について 質問 I-3 第46回日本産婦人科手術学会 シンポジウム2 2023/9/30 (東京)
- 10 関山健太郎 医療塾討論会：広汎子宮全摘 手術解剖学の見解の相違について 質問 I-5 第46回日本産婦人科手術学会 シンポジウム2 2023/9/30 (東京)
- 11 関山健太郎 医療塾討論会：広汎子宮全摘 手術解剖学の見解の相違について 質問 II-3 第46回日本産婦人科手術学会 シンポジウム2 2023/9/30 (東京)
- 12 河合恵理 薬物療法抵抗性の鼠径部内膜症に対して手術治療を行った1例 第38回日本女性医学会学術集会 ポスター発表 2023/12/2～3 (徳島)
- 13 岩井夏実 病理学的見地から考える腹腔鏡下卵巣成熟のう胞性奇形腫摘出術 第36回日本内視鏡外科学会総会
- 14 Kentaro Sekiyama Precise Neurovascular Anatomy for Radical Hysterectomy Beijing Obstetrics and Gynecology Hospital BOGH's 15th Annual Meeting December 16th, 2023 virtual meeting
- 15 関山健太郎 子宮頸癌～腫瘍拡散の防止と切除範囲の管理～ 日本産科婦人科内視鏡学会 第3回拡大学術研修会 2024/1/14 (兵庫)

消化器センター 消化器内科

- 1 大沢一希 当院における groove 膵癌の臨床的特徴の検討 第109回日本消化器病学会総会 2023/4/6 (長崎)
- 2 伊丹久美 第五回若手優秀演題カンファレンス 症例に学ぶ 第109回日本消化器病学会総会 2023/4/6 (長崎)
- 3 森田敏広 80 歳以上の高齢者切除不能膵癌患者に対する化学療法の有用性に対する検討 第54回日本膵臓学会大会 2023/7/21 (福岡)
- 4 藤田光一 都市部における多施設による取り組み、膵癌早期診断プロジェクト 第54回日本膵臓学会大会 2023/7/21 (福岡)
- 5 中神聡太 食道裂孔ヘルニア内への膵頭十二指腸部の脱出により胆管炎をきたし内視鏡的胆道ドレナージに成功した1例 日本消化器内視鏡学会 第110回近畿支部例会 2023/6/24 (大阪)
- 6 勝山 苑香 当院で発見された interval gastric cancer についての検討 日本消化器内視鏡学会

第110回近畿支部例会 2023/6/24(大阪)

- 7 田中晃輔 早期大腸癌ESD後に生じた巨大大腸壁内血腫により致死的な経過をたどった一例 日本消化器内視鏡学会 第110回近畿支部例会 2023/6/24(大阪)
- 8 大城 陽 膀胱癌に対するBCG注入治療法でgranulomatous hepatitisをきたした1例 第240回日本内科学会近畿地方会 2023/6/24(兵庫)
- 9 伊丹久美 門脈ガスを伴わない状腸間膜動脈閉塞症の1例 日本消化器病学会 第119回近畿支部例会 2023/9/30(大阪)
- 10 大薄直也 Needle tract seeding に対して胃切除を施行した膵体部癌の一例 日本消化器病学会 第119回近畿支部例会 2023/9/30(大阪)
- 11 根来和輝 自己免疫性胃炎を背景に胃癌と神経内分泌腫瘍の同時多発を認めた1例 日本消化器病学会 第119回近畿支部例会 2023/9/30(大阪)
- 12 中神聡太 当院における閉塞性大腸癌に対する大腸ステント留置の現状 日本消化器内視鏡学会 第111回近畿支部例会 2023/11/18(大阪)
- 13 伊藤 凌 当院におけるEST後後腹膜穿孔の原因と対応 日本消化器病学会 第120回近畿支部例会 2024/1/27(兵庫)
- 14 池谷桃子 ESDによる完全生検にて診断されたEBV関連胃リンパ球浸潤癌の1例 日本消化器病学会 第120回近畿支部例会 2024/1/27(兵庫)
- 15 小坂 太郎 PEG困難例に対し腹腔鏡補助下経皮内視鏡的胃瘻造設術を施行した1例 日本消化器病学会 第120回近畿支部例会 2024/1/27(兵庫)
- 16 森 雄貴 造影ハーモニックEUS(CH-EUS)が超音波内視鏡下嚢胞ドレナージ(EUS-CD)に有用であった2例 日本消化器病学会 第120回近畿支部例会 2024/1/27(兵庫)

【研究会】

- 17 田中晃輔 早期大腸癌ESD後に生じた巨大壁内血腫により致死的な経過をたどった一例 第8回 京大消化器内科学術交流会・同門会 2023/2/3(京都)
- 18 吉川 貴章 85歳以上の早期胃癌ESDに関する多施設共同後ろ向き観察研究 -KONOE project- 第8回 京大消化器内科学術交流会・同門会 2023/2/3(京都)
- 19 伊丹久実 症例提示 第39回 MH関西 胆膵画像診断 勉強会 2024/3/1(Web)
- 20 八隅秀二郎 膵癌早期発見を目指した都市型連携のポイント ヴィアトリス Web 講演会 2023/4/18(Web)
- 21 八隅秀二郎 地域連携を通じた膵癌早期発見プロジェクト経過報告 大阪市膵癌早期発見プロジェクト勉強会 2023/12/4(Web)
- 22 八隅秀二郎 大阪市膵癌早期発見プロジェクト～最新の動向～ 糖尿病と膵癌を考える会 2024/3/16(Web)

【学会座長】

- 23 八隅秀二郎 第54回近畿消化器内視鏡懇談会 2023/7/1(大阪)
- 24 八隅秀二郎 適応追加1周年 JAK阻害薬を考える会 in 大阪 2023/9/27(大阪)
- 25 八隅秀二郎 適応追加2周年 JAK阻害薬を考える会 in 大阪 2023/9/27(大阪)
- 26 八隅秀二郎 神経内科消化器内科便秘 Cross Talk 2023/9/29(大阪)
- 27 八隅秀二郎 第14回大阪バイオロジックフォーラム 2024/1/20(大阪)
- 28 八隅秀二郎 Total management Lunch Web Seminar 2024/2/22(Web)
- 29 栗山勝利 第39回 MH関西 胆膵画像診断 勉強会 2024/3/1(大阪)

消化器センター 消化器外科

- 1 奥知慶久、田中英治、大下恵樹、岩井祐人、西川裕太、久野晃路、山本健人、河合隆之、井口公太、上村良、福田明輝、田浦康二郎、寺嶋宏明 腹腔鏡下胃全摘術における食道空腸吻合の工夫—補強材付きステープラーの有用性について— 第123回日本外科学会定期学術集会 2023/4/27～2023/4/29(東京)
- 2 田中英治、河合隆之、大下恵樹、西川裕太、久野晃路、山本健人、奥知慶久、井口公太、上村良、

- 福田明輝、田浦康二郎、寺嶋宏明 腹腔鏡下鼠径ヘルニア修復術における言語の共通化を基にした手技の定型化 第123回日本外科学会定期学術集会 2023/4/27～2023/4/29(東京)
- 3 井口公太、大下恵樹、西川裕太、久野晃路、山本健人、河合隆之、奥知慶久、上村良、田中英治、福田明輝、田浦康二郎、寺嶋宏明 膵切除後 NAFLD と腸内細菌叢・血清胆汁酸の関連に関する検討 第123回日本外科学会定期学術集会 2023/4/27～2023/4/29(東京)
- 4 田浦康二郎、上村良、井口公太、河合隆之、大下恵樹、岩井祐人、西川裕太、久野晃路、山本健人、奥知慶久、田中英治、福田明輝、寺嶋宏明 IWATE criteria に基づいた当院における腹腔鏡下肝切除の振り返り 第123回日本外科学会定期学術集会 2023/4/27～2023/4/29(東京)
- 5 薬師川高明、河合隆之、大下恵樹、岩井祐人、西川裕太、久野晃路、山本健人、井口公太、上村良、田中英治、福田明輝、田浦康二郎、寺嶋宏明 巨大腓体尾部腫瘍に対する完全腹腔鏡下腓体尾部切除における当院の工夫 第123回日本外科学会定期学術集会 2023/4/27～2023/4/29(東京)
- 6 山本健人、河田健二、大下恵樹、岩井祐人、西川裕太、久野晃路、河合隆之、奥知慶久、井口公太、上村良、田中英治、福田明輝、田浦康二郎、寺嶋宏明 MRI による骨盤内計測を用いた直腸癌の手術難度予測と男女間骨盤形態の比較 第123回日本外科学会定期学術集会 2023/4/27～2023/4/29(東京)
- 7 久野晃路、河合隆之、大下恵樹、岩井祐人、西川裕太、山本健人、奥知慶久、井口公太、上村良、田中英治、福田明輝、田浦康二郎、寺嶋宏明 複数診療科による combined surgery における、当院消化器外科の取り組みと周術期成績 第123回日本外科学会定期学術集会 2023/4/27～2023/4/29(東京)
- 8 小濱和貴、波多野悦朗、戸井雅和、寺嶋宏明、河本和幸、西舩隆太 サステナブルな外科医療へ向けて本学外科が取り組んでいること：医局に代わる「外科交流センター」の果たす役割 第123回日本外科学会定期学術集会 2023/4/27～2023/4/29(東京)
- 9 森章、河本泉、太田秀一、寺嶋宏明 低侵襲手術時代において消化器外科専攻医は開腹手術を経験できるか 第123回日本外科学会定期学術集会 2023/4/27～2023/4/29(東京)
- 10 田中康介、内田洋一郎、影山詔一、中村公治郎、渡邊武、川本浩史、嵯峨謙一、門野賢太郎、田浦康二郎、寺嶋宏明、波多野悦朗 マウス脂肪肝グラフト移植モデルの新規確立—脂肪肝グラフトの使用適応拡大に向けた基礎的アプローチ— 第123回日本外科学会定期学術集会 2023/4/27～2023/4/29(東京)
- 11 森本智紀、山本健人、前川久継、錦織達人、久森重夫、角田茂、河田健二、三好弘之、武藤誠、小濱和貴 患者検体より採取した胃癌細胞由来球体細胞 (spheroid) の効果的培養法 第123回日本外科学会定期学術集会 2023/4/27～2023/4/29(東京)
- 12 中村大地、西尾太宏、木村有佑、上本祐介、小山幸法、田浦康二郎、波多野悦朗 大腸癌肝転移に対する肝切除後肝外転移再発の予測因子の検討 第123回日本外科学会定期学術集会 2023/4/27～2023/4/29(東京)
- 13 山本健人 一般外科医が目指すクリニカルクエスションの解決と論文での情報発信、感染症診療の質の向上 第97回日本感染症学会総会・学術講演会 2023/4/28～2023/4/30(横浜)
- 14 河合隆之、大下恵樹、西川裕太、久野晃路、山本健人、仲野健三、奥知慶久、井口公太、田中英治、福田明輝、田浦康二郎、寺嶋宏明 当院の腹腔鏡下腓体尾部切除術におけるガーゼ付 Nthanson Liver Retractor を用いた術野展開の工夫 第77回手術手技研究会 2023/5/12～2023/5/13(名古屋)
- 15 奥知慶久、田中英治、大下恵樹、西川裕太、久野晃路、山本健人、仲野健三、河合隆之、井口公太、福田明輝、田浦康二郎、寺嶋宏明 胃癌手術における左副肝動脈温存の左胃動脈周囲リンパ節郭清手技とその周術期成績 第77回手術手技研究会 2023/5/12～2023/5/13(名古屋)
- 16 西川裕太、福田明輝、大下恵樹、久野晃路、山本健人、仲野健三、河合隆之、奥知慶久、井口公太、田中英治、田浦康二郎、寺嶋宏明 頭側アプローチ先行腹腔鏡下右半結腸切除術 第77回手術手技研究会 2023/5/12～2023/5/13(名古屋)
- 17 久野晃路、中能玲央、大下恵樹、山本健人、仲野健三、河合隆之、奥知慶久、井口公太、田中英治、福田明輝、田浦康二郎、寺嶋宏明 悪性リンパ腫を背景としたサイトメガロウィルス腸炎による回腸多発穿孔に対して緊急手術を施行した一例 第648回大阪外科集談会 2023/5/20(大阪)

- 1 8 山本健人、北野翔一、奥知慶久、福田明輝、田中英治、小濱和貴、寺嶋宏明、柿崎文彦、三好弘之、武藤誠 FGFR4 mRNA 過剰発現は大腸癌患者の再発リスク因子であり新規バイオマーカーとなりうる 第 78 回日本消化器外科学会総会 2023/7/12～2023/7/14(函館)
- 1 9 久野晃路、田中英治、山本健人、仲野健三、河合隆之、奥知慶久、井口公太、福田明輝、田浦康二郎、寺嶋宏明 食道裂孔ヘルニアを伴う胃軸捻転に対し barbed suture を用いた腹腔鏡下食道裂孔ヘルニア修復・胃固定術の 2 例 第 78 回日本消化器外科学会総会 2023/7/12～2023/7/14(函館)
- 2 0 山本健人、内田洋一朗 知っておくべき PICC の知識と適応、輸液の実践 第 1 回若手医師のための PICC&輸液ハンズオンセミナー 2023/6/10～2023/6/10(京都)
- 2 1 Kojiro Taura、Kenzo Nakano、Takayuki Kawai、Kohta Iguchi、Hiroaki Terajima The current status of whole layer cholecystectomy for gallbladder cancer ~ A systematic review ~ 第 35 回日本肝胆膵外科学会学術集会 2023/6/30～2023/7/1(東京)
- 2 2 Takayuki Kawai、Kenzo Nakano、Kohta Iguchi、Kojiro Taura、Hiroaki Terajima Our strategies to achieve both continuously producing board-certificated HBP surgeons and reducing postoperative pancreatic fistula incidence in pancreatic surgery 第 35 回日本肝胆膵外科学会学術集会 2023/6/30～2023/7/1(東京)
- 2 3 Kenzo Nakano、Hiroaki Terajima、Takayuki Kawai、Kohta Iguchi、Ryo Kamimura、Kojiro Taura Examining the efficacy of neoadjuvant therapy and the significance of biological BR definition based on CA19-9 values from the treatment outcomes of anatomically resectable pancreatic cancer 第 35 回日本肝胆膵外科学会学術集会 2023/6/30～2023/7/1(東京)
- 2 4 Kohta Iguchi、Kenzo Nakano、Takayuki Kawai、Akira Kurita、Kojiro Taura、Hiroaki Terajima A case of locally advanced adenosquamous cancer of the gallbladder with complete pathological response after successful preoperative chemoradiotherapy 第 35 回日本肝胆膵外科学会学術集会 2023/6/30～2023/7/1(東京)
- 2 5 Masato Narita、Koji Kitamura、Hiroaki Terajima、Hirohisa Kitagawa、Eisei Mitsuoka、Takafumi Machimoto、Satoshi Morita、Ryuta Nishitai、Toshihiko Masui、Etsuro Hatano The frequency and clinical implications of the remnant pancreatic duct dilation after pancreaticoduodenectomy - A prospective multicentre study 第 35 回日本肝胆膵外科学会学術集会 2023/6/30～2023/7/1(東京)
- 2 6 寺嶋 宏明、大下 恵樹、岩井 祐人、西川 裕太、久野 晃路、仲野 健三、河合 隆之、井口 公太、田浦 康二郎 尾状葉境界を意識した肝前区域切除:Medical Imaging Projection System による ICG 蛍光 navigation の有用性 第 78 回日本消化器外科学会総会 2023/7/12～2023/7/14(函館)
- 2 7 田浦 康二郎、井口 公太、仲野 健三、河合 隆之、久野 晃路、山本 健人、奥知 慶久、田中 英治、福田 明輝、寺嶋 宏明 技術的ハードルの低い腹腔鏡下肝後区域切除の定型化 ストレスフリーな後区域グリソン確保、切離を重視して 第 78 回日本消化器外科学会総会 2023/7/12～2023/7/14(函館)
- 2 8 奥知 慶久、田中 英治、久野 晃路、山本 健人、仲野 健三、河合 隆之、井口 公太、福田 明輝、田浦 康二郎、寺嶋 宏明 腹腔鏡下幽門側胃切除術におけるパート別手術時間測定による苦手分野の可視化は技術向上に寄与する 第 78 回日本消化器外科学会総会 2023/7/12～2023/7/14(函館)
- 2 9 山本 健人、北野 翔一、奥知 慶久、福田 明輝、田中 英治、小濱 和貴、寺嶋 宏明、柿崎 文彦、三好 弘之、武藤 誠 FGFR4 mRNA 過剰発現は大腸癌患者の再発リスク因子であり新規バイオマーカーとなりうる 第 78 回日本消化器外科学会総会 2023/7/12～2023/7/14(函館)
- 3 0 福田 明輝、久野 晃路、山本 健人、仲野 健三、河合 隆之、奥知 慶久、井口 公太、田中 英治、田浦 康二郎、寺嶋 宏明 当院における直腸がんに対する腹腔鏡下手術とロボット支援下手術の短期成績 第 78 回日本消化器外科学会総会 2023/7/12～2023/7/14(函館)
- 3 1 大下 恵樹、井口 公太、仲野 健三、河合 隆之、田浦 康二郎、寺嶋 宏明 肝胆膵手術における術後肺塞栓症と血中 D-dimer 測定の意義 第 78 回日本消化器外科学会総会 2023/7/12～2023/7/14(函館)
- 3 2 井口 公太、巽 絢子、京面 ももこ、仲野 健三、河合 隆之、奥田 雄紀浩、上村 良、田中 英治、

- 田浦 康二郎、寺嶋 宏明 膵切除後1年間の糖脂質代謝・栄養学的指標の推移～膵切除後 NAFLD 発症メカニズムの検討～ 第78回日本消化器外科学会総会 2023/7/12～2023/7/14(函館)
- 3 3 田中 英治、奥知 慶久、久野 晃路、山本 健人、仲野 健三、河合 隆之、井口 公太、福田 明輝、田浦 康二郎、寺嶋 宏明 食道切離を伴う内視鏡下消化管再建における当院での工夫～補強材付きステープラーによる食道切離の有用性～ 第78回日本消化器外科学会総会 2023/7/12～2023/7/14(函館)
- 3 4 河合 隆之、久野 晃路、山本 健人、仲野 健三、奥知 慶久、井口 公太、田中 英治、福田 明輝、田浦 康二郎、寺嶋 宏明 尾側膵切除での新規膵断端処理(DS clip 併用)の有用性に関する後方視的検討 第78回日本消化器外科学会総会 2023/7/12～2023/7/14(函館)
- 3 5 久野 晃路、田中 英治、山本 健人、仲野 健三、河合 隆之、奥知 慶久、井口 公太、福田 明輝、田浦 康二郎、寺嶋 宏明 食道裂孔ヘルニアを伴う胃軸捻転に対しbarbed sutureを用いた腹腔鏡下食道裂孔ヘルニア修復・胃固定術の2例 第78回日本消化器外科学会総会 2023/7/12～2023/7/14(函館)
- 3 6 井口公太、仲野健三、奥田雄紀浩、田浦康二郎、寺嶋宏明 急性期と慢性期の膵切除後患者から考えた栄養管理～アミノ酸と腸内細菌叢・胆汁酸～ 第54回日本膵臓学会大会 2023/7/21～2023/7/22(福岡)
- 3 7 松崎葵、奥知慶久、久野晃路、中能玲央、大下恵樹、山本健人、仲野健三、河合隆之、井口公太、田中英治、福田明輝、田浦康二郎、寺嶋宏明 肺癌小腸転移による異時性穿孔性腹膜炎を3度来たし救命し得た一例 第649回大阪外科集談会 2023/7/22(大阪)
- 3 8 田浦康二郎 教えます！Synapse Vincentのコツとピットフォール 第59回日本肝癌研究会 2023/7/28～2023/7/29(大阪)
- 3 9 山本健人、福田明輝 技術認定医取得のコツ Lilly CRC Interactive Web Conference 2023/8/1～2023/8/1(hybrid Web (大阪))
- 4 0 河合隆之、仲野健三、井口公太、田浦康二郎、寺嶋宏明 当院における慢性膵炎の手術治療に関する後方視的検討 第50回日本膵切研究会 2023/8/25～2023/8/26(東京)
- 4 1 仲野健三、河合隆之、井口公太、田浦康二郎、寺嶋宏明 解剖学的切除可能膵癌の治療成績からBiological BRの意義を再考する 第50回日本膵切研究会 2023/8/25～2023/8/26(東京)
- 4 2 山本健人、内田洋一朗 知っておくべきCVポートの知識と適応・輸液の実践 第2回若手医師のためのCVポート&輸液ハンズオンセミナー 2023/9/2(京都)
- 4 3 田浦康二郎、仲野健三、河合隆之、井口公太、寺嶋宏明 胆嚢癌に対する全層胆嚢摘出術；システムティックレビュー 第59回日本胆道学会学術集会 2023/9/14～2023/9/15(札幌)
- 4 4 矢野城、山本健人、中能玲央、大下恵樹、久野晃路、仲野健三、河合隆之、奥知慶久、井口公太、田中英治、福田明輝、田浦康二郎、寺嶋宏明 大腸憩室炎穿孔・穿通に対する保存的治療成功・不成功例の比較検討 第650回大阪外科集談会 2023/9/9(大阪)
- 4 5 久野晃路、中能玲央、大下恵樹、山本健人、仲野健三、河合隆之、奥知慶久、井口公太、田中英治、福田明輝、田浦康二郎、寺嶋宏明 十二指腸潰瘍穿孔に対し腹腔鏡下に肝円索にて被覆した1例 第36回近畿内視鏡外科学研究会 2023/9/30(大阪)
- 4 6 仲野健三、河合隆之、井口公太、田浦康二郎、寺嶋宏明 conversion surgeryに向けた集学的治療戦略～外科・内科のみならず～ 第17回膵癌術前治療研究会 2023/10/7(黒部)
- 4 7 宇山武志、河井多美子、綾野友香、土井美千代、幕内理菜、寺嶋宏明 多職種連携を促進するための相談支援記録の意義についての検討 第32回日本がんチーム医療研究会 2023/10/14(大阪)
- 4 8 山本健人、福田明輝、中能玲央、大下恵樹、久野晃路、仲野健三、河合隆之、奥知慶久、井口公太、田中英治、田浦康二郎、寺嶋宏明 直腸癌患者における根治切除術後感染症の発生が予後と再発形式に与える影響 第61回日本癌治療学会学術集会 2023/10/20～2023/10/22(横浜)
- 4 9 河合隆之 臨床試験進捗状況報告：SAMURAI-Liver Study 第31回京都肝胆膵外科セミナー 2023/10/21(京都)
- 5 0 西川裕太、河合隆之、大下恵樹、久野晃路、山本健人、仲野健三、奥知慶久、井口公太、田中英治、福田明輝、田浦康二郎、寺嶋宏明 成人先天性胆道拡張症に対する腹腔鏡手術導入後3症例の検討

JDDW2023 KOBE (第31回日本消化器関連学会週間) 2023/11/2～2023/11/5(神戸)

- 5 1 田浦康二郎 3D画像解析システム SYNAPSE VINCENT の肝胆膵外科領域における臨床現場での活用事例 第59回日本赤十字社医学会総会 2023/11/9～2023/11/10(京都)
- 5 2 山本健人、河田健二、中能玲央、大下恵樹、久野晃路、仲野健三、河合隆之、奥知慶久、井口公太、田中英治、福田明輝、田浦康二郎、寺嶋宏明 術前MRIによる骨盤サイズ計測は直腸癌の手術難度と術後肛門機能を予測しうるか 第78回日本大腸肛門病学会学術集会 2023/11/10～2023/11/11(熊本)
- 5 3 久野晃路、山本健人、河合隆之、奥知慶久、田中英治、田浦康二郎、寺嶋宏明 十二指腸潰瘍穿孔に対し肝円索を利用し腹腔鏡下手術を施行した1例 第85回日本臨床外科学会総会 2023/11/16～2023/11/18(岡山)
- 5 4 田浦康二郎 消化器外科手術の現状と展望 ～腹腔鏡手術のエビデンスと集学的治療の最近の話題～ きたのパートナーズクラブ 2023/11/25～2023/11/25(大阪)
- 5 5 藤井勇記、仲野健三、田浦康二郎、中能玲央、大下恵樹、久野晃路、山本健人、河合隆之、奥知慶久、井口公太、田中英治、福田明輝、寺嶋宏明 肝前区域切除後離断型胆汁漏および再発肝細胞癌を、後区域切除術により一期的に治療し得た一例 第651回大阪外科集談会 2023/12/2(大阪)
- 5 6 河合隆之、中能玲央、大下恵樹、久野晃路、山本健人、仲野健三、奥知慶久、井口公太、田中英治、福田明輝、田浦康二郎、寺嶋宏明 当院における成人先天性胆道拡張症に対する腹腔鏡下手術導入と短期成績 第36回日本内視鏡外科学会総会 2023/12/7～2023/12/9(横浜)
- 5 7 福田明輝、中能玲央、大下恵樹、久野晃路、山本健人、河合隆之、奥知慶久、井口公太、田中英治、田浦康二郎、寺嶋宏明 当院における閉塞性大腸癌(SEMS留置)の手術成績 第36回日本内視鏡外科学会総会 2023/12/7～2023/12/9(横浜)
- 5 8 久野晃路、田浦康二郎、中能玲央、大下恵樹、山本健人、仲野健三、河合隆之、奥知慶久、井口公太、田中英治、福田明輝、寺嶋宏明 腹腔鏡下胆嚢摘出術困難例に対する工夫; Pringle法併用底部先行アプローチによる腹腔鏡下胆嚢全摘術 第36回日本内視鏡外科学会総会 2023/12/7～2023/12/9(横浜)
- 5 9 奥知慶久、田中英治、中能玲央、大下恵樹、久野晃路、山本健人、仲野健三、河合隆之、井口公太、福田明輝、田浦康二郎、寺嶋宏明 胃下垂は腹腔鏡下胃癌手術において障害となりうるか? 第36回日本内視鏡外科学会総会 2023/12/7～2023/12/9(横浜)
- 6 0 山本健人、福田明輝、中能玲央、大下恵樹、久野晃路、仲野健三、河合隆之、奥知慶久、井口公太、田中英治、田浦康二郎、寺嶋宏明 一般市中病院におけるロボット支援直腸手術の安全な導入、腹腔鏡手術との比較―単施設14年間の後方視的検討 第36回日本内視鏡外科学会総会 2023/12/7～2023/12/9(横浜)
- 6 1 田中英治、河合隆之、戸田孝祐、壺井邦彦、磯田健太、肥田侯矢、寺嶋宏明、小濱和貴 技術認定取得を念頭においた施設横断型腹腔鏡下鼠径ヘルニア根治術指導体制の構築 第36回日本内視鏡外科学会総会 2023/12/7～2023/12/9(横浜)
- 6 2 山本健人、福田明輝、中能玲央、大下恵樹、久野晃路、仲野健三、河合隆之、奥知慶久、井口公太、田中英治、寺嶋宏明 直腸癌患者における術後感染症の発生が予後と再発形式に与える影響 第36回日本外科感染症学会総会学術集会 2023/12/15～2023/12/16(小倉)
- 6 3 久野晃路、田浦康二郎、中能玲央、藤本貴士、山本健人、仲野健三、河合隆之、奥知慶久、井口公太、田中英治、福田明輝、寺嶋宏明 急性胆嚢炎に対する最新の外科的治療 第21回消化器センターK2-net 2024/1/18(大阪)
- 6 4 藤本貴士、河合隆之、中能玲央、久野晃路、山本健人、仲野健三、奥知慶久、井口公太、田中英治、福田明輝、田浦康二郎、寺嶋宏明 成人先天性胆道拡張症に対する手術症例の後方視的検討 第15回大阪スペシャルミックス外科講演会 2024/1/19(大阪)
- 6 5 山本健人、福田明輝、奥知慶久、中能玲央、藤本貴士、久野晃路、仲野健三、河合隆之、井口公太、田中英治、田浦康二郎、寺嶋宏明 下部直腸癌における上方および側方リンパ節転移頻度に関する後方視的検討 第100回大腸癌研究会学術集会 2024/1/26(東京)
- 6 6 山本健人 学術領域におけるSNSの可能性と日本人外科医としての課題 日本胸部外科学会 第1回

JATS-NEXT Annual Conference 2024/1/27(大阪)

- 67 久野晃路、中能玲央、藤本貴士、山本健人、仲野健三、河合隆之、奥知慶久、井口公太、田中英治、福田明輝、田浦康二郎、寺嶋宏明 柿胃石による閉塞性イレウスに対し手術を実施した一例 第207回近畿外科学会 2024/2/3(大阪)
- 68 山本健人、福田明輝、中能玲央、大下恵樹、藤本貴士、久野晃路、仲野健三、河合隆之、奥知慶久、井口公太、田中英治、田浦康二郎、寺嶋宏明 一般市中病院におけるロボット支援直腸手術の導入—単施設14年間の後方視的検討 第16回日本ロボット外科学会学術集会 2024/2/10～2024/2/11(米子)
- 69 山本健人、内田洋一郎 消化器疾患患者における末梢挿入型中心静脈カテーテル(PICC)挿入症例405例の後方視的検討 第39回日本臨床栄養代謝学会学術集会(JSPEN2024) 2024/2/15～2024/2/16(横浜)
- 70 田浦康二郎、大下恵樹、中能玲央、藤本貴士、久野晃路、山本健人、仲野健三、河合隆之、奥知慶久、井口公太、田中英治、福田明輝、寺嶋宏明 術後大変だった腹腔鏡下肝右葉切除の1例 第51回近畿肝臓外科研究会 2024/2/23～2024/2/23(大阪)
- 71 奥知慶久、田中英治、中能玲央、大下恵樹、久野晃路、山本健人、仲野健三、河合隆之、井口公太、福田明輝、田浦康二郎、寺嶋宏明 腹腔鏡下/ロボット支援下胃切除術における左副肝動脈を温存したリンパ節郭清の短期成績 第96回日本胃癌学会総会 2024/2/28～2024/3/1(京都)
- 72 田中英治、奥知慶久、大下恵樹、久野晃路、山本健人、仲野健三、河合隆之、井口公太、福田明輝、田浦康二郎、寺嶋宏明 ロボット支援下噴門側胃切除における食道残胃吻合のピットフォールと工夫 第96回日本胃癌学会総会 2024/2/28～2024/3/1(京都)
- 73 河合隆之、中能玲央、藤本貴士、久野晃路、山本健人、仲野健三、奥知慶久、井口公太、田中英治、福田明輝、田浦康二郎、寺嶋宏明 大腸癌肝転移に対する肝切除法と予後の関係—後向き臨床研究結果と現行の前向き臨床研究について— 第3回京都肝臓サミット 2024/3/2(京都)
- 74 山本健人 『すばらしい人体』の作家が語る『すばらしい医学』～20万部ベストセラー教養書が伝える医学の進歩～ 第21回北大阪感染症研究会 2024/3/7(大阪)
- 75 中能玲央、奥知慶久、藤本貴士、久野晃路、山本健人、仲野健三、河合隆之、井口公太、田中英治、福田明輝、田浦康二郎、寺嶋宏明 直腸癌に対する側方リンパ節郭清の適応症例とは？—大腸癌治療ガイドラインを再考する— 第16回大阪スペシャルミックス外科講演会 2024/3/8(大阪)
- 76 山本健人、内田洋一郎 知っておくべきPICC・CVポートの知識と適応・輸液の実践 第3回若手医師のためのCVポート&輸液ハンズオンセミナー 2024/3/9(京都)
- 77 中能玲央、奥知慶久、藤本貴士、久野晃路、山本健人、仲野健三、河合隆之、井口公太、田中英治、福田明輝、田浦康二郎、寺嶋宏明 直腸癌の側方リンパ節転移陽性率から見える適切な側方リンパ節郭清症例の選択 第653回大阪外科集談会 2024/3/16(大阪)
- 78 久野晃路、中能玲央、藤本貴士、山本健人、仲野健三、河合隆之、奥知慶久、井口公太、田中英治、福田明輝、田浦康二郎、寺嶋宏明 子宮広間膜裂孔ヘルニアによる絞扼性イレウスに対し腹腔鏡手術を施行した一例 第60回日本腹部救急医学会総会 2024/3/21～2024/3/22(北九州)
- 79 久野晃路、田浦康二郎、中能玲央、藤本貴士、山本健人、仲野健三、河合隆之、奥知慶久、井口公太、田中英治、福田明輝、寺嶋宏明 当院における急性胆嚢炎の外科的治療；早期手術と待機手術の比較 第115回大阪胆道疾患研究会 2024/3/21(大阪)
- 80 河合隆之 臨床試験進捗状況報告：SAMURAI-Liver Study 第32回京都肝胆膵外科セミナー 2024/3/30(京都)
- 81 藤本貴士、河合隆之、仲野健三、井口公太、田浦康二郎、寺嶋宏明 当院における、専攻医が執刀する腹腔鏡下肝切除 第32回京都肝胆膵外科セミナー 2024/3/30(京都)

乳腺外科

- 1 高原 祥子 乳癌手術におけるMedical Imaging Projection System(MIPS)の有用性 第123回日本外科学会定期学術集会 2023/4/27-29(東京・品川)
- 2 高原 祥子 患者アンケートからみるBRCA1/2遺伝子検査を受けた理由、受けない理由 第29回日

本遺伝性腫瘍学会学術集会 2023/6/16-17 (高知)

- 3 高原 祥子 HER2 陽性乳癌脳転移症例に対する Trastuzumab deruxtecan (T-DXd) の治療経験 第 31 回日本乳癌学会学術総会 2023/6/39-7/1 横浜 (現地参加)
- 4 高原祥子 HER2 陽性乳癌に対する T-DXd 投与症例の治療成績と間質性肺炎の経験 第 61 回日本癌治療学会学術集会 2023/10/19-21 (神奈川・横浜)
- 5 吉本 有希子 当院における HBOC 患者に対するリスク低減乳房切除の現状と課題 第 123 回日本外科学会定期学術集会 2023/4/27-29 (東京)
- 6 吉本有希子 当院における地域連携の現状と地域での課題 第3回 JBOC 学術総会 2023/5/20-21 (東京)
- 7 吉本有希子 HER2 陽性 stage I 乳癌の術前化学療法の意義についての検討 第 31 回日本乳癌学会学術総会 2023/6/29-7/1 (神奈川・横浜)
- 8 吉本有希子 The system of regional collaboration for HBOC treatment at our hospital and its issues 2023/10/11-14 (東京)
- 9 橘強 潜在性乳癌の 1 例 2023/6/29-7/1 (神奈川・横浜)
- 10 橘強 免疫チェックポイント阻害剤ペンブロリズマブ投与中にぶどう膜炎を発症した 1 例 第 21 回日本乳癌学会近畿地方会 2023/11/25 (京都)
- 11 板垣 あい BRCA pathogenic variant carrier who developed ovarian cancer before RRSO 日本人類遺伝学会第 68 回大会 2023/10/11-14 (東京)

血液内科

- 1 梅田隆志、坂本宗一郎、田邊万璃子、北野俊行、山中諒、濱川 瑤子、福井基成 初診時に間質性肺炎を合併した多発性骨髄腫の 1 例 第 118 回近畿血液学地方会 (大阪) 2023/5/27 (大阪)
- 2 野々原 洋輔、土井 究、坂本 宗一郎、北野 俊行 脊髄障害症状で発症し TBLB (経気管支鏡肺生検) にて確定診断に至った血管内リンパ腫の 1 例 第 119 回近畿血液学地方会 (大阪) 2023/11/25 (大阪)
- 3 羽田美沙祈、井手口耕、田端淑恵、北野俊行 セフェム系抗生剤投与後に PT, APTT 延長をきたした 2 例 内科学会第 241 回近畿地方会 2023/9/2 (大阪)
- 4 山口悠美、三浦絵梨、北山千里、和泉葵、水瀬茉夕、中田佳奈子、北川佳奈、原美樹子、澤田真里子、田端淑恵、北野俊行 同種移植後外来開設後 5 年の実績報告 日本がんチーム医療研究会 2023/10/14 (大阪)
- 5 June Takeda, Makoto Iwasaki, Junya Kanda, Yasuhito Nannya, Nobuhiro Hiramoto, Tadakazu Kondo, Takayuki Ishikawa, Mitsumasa Watanabe, Yasunori Ueda, Kazunori Imada, Toshiyuki Kitano, Masaaki Tsuji, Yoshitomo Maesako, Satoko Oka, Nobuyoshi Arima, Takashi Miyoshi, Kosuke Asagoe, Mitsuru Itoh, Hirokazu Hirata, Hiroshi Kawabata, Masakatsu Hishizawa, Akinori Maeda, Kazuhiro Yago, Nobuhiko Uoshima, Seishi Ogawa, Akifumi Takaori-Kondo Prognostic classification based on mutation profile in Myeloid Neoplasms with Chromatin-Spliceosome mutations. JSH 国際シンポジウム (筑波) 2023/7/22 (筑波)
- 6 竹田 淳恵、岩崎 惇、諫田 淳也、南谷 泰仁、平本 展大、近藤 忠一、石川 隆之、河田 岳人、渡邊 光正、前田 猛、今田 和典、北野 俊行、辻 将公、前迫 善智、岡 智子、有馬 靖佳、三好 隆史、浅越 康助、伊藤 満、平田 大二、川端 浩、菱澤 方勝、前田 明則、野吾 和宏、佐々木 奈々、小川 誠司、高折 晃史 TP53 変異をもつ骨髄性造血器腫瘍における染色体コピー異常の予後に与える影響 日本血液学会 (東京) 2023/10/15 (東京)
- 7 渡邊 瑞希、岡 知美、諫田 淳也、岩崎 惇、竹田 淳恵、岡 智子、野吾 和宏、山崎 寛章、三好 隆史、平田 大二、前迫 善智、浅越 康助、菱澤 方勝、北野 俊行、田中 康博、渡邊 光正、辻 将公、中坊 幸晴、今田 和典、伊藤 満、川端 浩、川崎 秀徳、越智 陽太郎、南谷 泰仁、小川 誠司、高折 晃史 造血器疾患患者で同定される生殖細胞系列変異の取り扱いにおける課題 日本血液学会 (東京) 2023/10/15 (東京)

- 8 Xingxing Qi、Testuichi Yoshizato、Yasuhito Nannya、Masahiro M Nakagawa、Ayana Kon、Takuto Mori、Akinori Yoda、Yotaro Ochi、June Takeda、Ryunosuke Saiki、Lanying Zhao、Torsten Haferlach、Nobuhiro Kanemura、Senji Kasahara、Satoshi Yoshihara、Toshiyuki Kitano、Eva Hellstrom Lindberg、Yasushi Miyazaki、Luca Malcovati、Rena Kamijo、Yukiko Doi、Chantana Polprasert、Kazuma Ohyashiki、Hideki Makishima、Seishi Ogawa Mis-splicing due to somatic U2AF2 mutations in myeloid neoplasms 日本血液学会（東京） 2023/10/15（東京）
- 9 Rurika Okuda、Yotaro Ochi、Ryunosuke Saiki、Kazuhisa Chonabayashi、Nobuhiro Hiramoto、Masashi Sanada、Hiroshi Handa、Senji Kasahara、Shinya Sato、Nobuhiro Kanemura、Toshiyuki Kitano、Mizuki Watanabe、Yuichi Shiraishi、Mitsumasa Watanabe、Kensuke Usuki、Shinsaku Imashuku、Shigeru Chiba、Nobuo Sezaki、Yasushi Miyazaki、Yoshinori Yoshida、Takayuki Ishikawa、Kazuma Ohyashiki、Yoshiko Atsuta、Yusuke Shiozawa、Satoru Miyano、Hideki Makishima、Yasuhito Nannya、Seishi Ogawa Characteristics and clonal structure of myeloid neoplasms with der(1;7)(q10;p10) 日本血液学会（東京） 2023/10/15（東京）
- 10 林 裕美、山際 岳朗、諫田 淳也、石川 隆之、渡邊 光正、宮原 裕子、宮尾 康太郎、堤 康彦、立花 崇孝、平田 大二、藤原 慎一郎、上田 恭典、片岡 良久、川端 浩、北野 俊行、木村 俊一、横山 洋紀、吉藤 康太、太田 健介、脇田 知志、阪本 貴士、水本 智咲、北脇 年雄、米澤 淳、川上 智也、中川 俊作、谷口 理沙、寺田 智祐、高折 晃史 AML 治療における venetoclax 血中濃度測定 の意義 日本血液学会（東京） 2023/10/15（東京）
- 11 岡本吉央、田端淑恵、大島正義、田邊万璃子、河崎直人、高橋慧、島田充浩、稲野将二郎、坂本宗一郎、北野俊行 多発神経浸潤を伴い早期再発した節外性 NK/T 細胞性リンパ腫に対して同種造血幹細胞移植を施行した 1 例 第 45 回日本造血・免疫細胞療法学会総会（名古屋） 2023/2/10-12（名古屋）
- 12 森田真梨、進藤岳郎、家村知樹、新井康之、諫田淳也、上田恭典、安齋尚之、石川隆之、米澤昭仁、今田和典、伊藤満、岡本吉央、池田宇次、赤坂尚司、野吾和宏、渡邊光正、直川 匡晴、竹岡友晴、有馬 靖佳、菱澤 方勝、山下浩平、近藤忠一、高折晃史 血液悪性腫瘍に対する臍帯血移植における HLA エピトープミスマッチの意義 第 45 回日本造血・免疫細胞療法学会総会（名古屋） 2023/2/10-12（名古屋）
- 13 高山祐美、中川佳恵、毎熊由美子、北野俊行 血液腫瘍患者における食事満足度向上に向けた無菌食の提供内容拡充に関する検討 第 45 回日本造血・免疫細胞療法学会総会（名古屋） 2023/2/10-12（名古屋）
- 14 Rurika Okuda、Yotaro Ochi、Ryunosuke Saiki、Nobuhiro Hiramoto、Masashi Sanada、Hiroshi Handa、Senji Kasahara、Shinya Sato、Nobuhiro Kanemura、Toshiyuki Kitano、Mizuki Watanabe、Wolfgang Kern、Maria Creignou、Yuichi Shiraishi、Mitsumasa Watanabe、Kensuke Usuki、Shinsaku Imashuku、Eva Hellstrom Lindberg、Torsten Haferlach、Shigeru Chiba、Nobuo Sezaki、Lee-Yung Shih、Yasushi Miyazaki、Takayuki Ishikawa、Kazuma Ohyashiki、Yoshiko Atsuta、Yusuke Shiozawa、Satoru Miyano、Koichi Matsuda、Hideki Makishima、Yasuhito Nannya、and Seishi Ogawa Clonal Evolution of Der(1;7)(q10;p10) Myeloid Neoplasms 65th ASH Annual Meeting & Exposition 2023/12/11(New Orleans)
- 15 June Takeda、Makoto Iwasaki、Junya Kanda、Yasuhito Nannya、Nobuhiro Hiramoto、Tadakazu Kondo、Takayuki Ishikawa、Mitsumasa Watanabe、Takahito Kawata、Takeshi Maeda、Yasunori Ueda、Kazunori Imada、Toshiyuki Kitano、Masaaki Tsuji、Yoshitomo Maesako、Satoko Oka、Yasuhiro Tanaka、Takashi Miyoshi、Kosuke Asagoe、Mitsuru Itoh、Hirokazu Hirata、Hiroshi Kawabata、Masakatsu Hishizawa、Akinori Maeda、Kazuhiro Yago、Nana Sasaki、Nobuhiko Uoshima、Seishi Ogawa、Akifumi Takaori-Kondo Prognostic Impact of Chromosomal Abnormalities in TP53-Mutated Acute Myeloid Leukemia and High-Risk Myelodysplastic Syndromes 65th ASH Annual Meeting & Exposition 2023/12/11(New Orleans)

緩和ケア科

- 1 梶山徹 緩和医療における栄養食事ケアの現状と課題 第45回日本臨床栄養学会シンポジウム 2023/11/11(大阪)

心臓センター 循環器内科・不整脈科

- 1 畑山安佳里、濱口桃香、猪子森明 Str. dysgalactiae (SDSE) による 感染性心内膜炎に出血性脳梗塞、心筋梗塞、大動脈解離を合併した1例 医学生・研修医・専攻医の日本内科学会ことはじめ 2023 2023/4/15(東京)
- 2 山本裕貴 上行大動脈置換術後に感染性心内膜炎による重症大動脈弁閉鎖不全症の一例 日本心エコー学会第34回学術集会 2023/4/21(岐阜)
- 3 濱口桃香 右房内血栓が卵円孔開存を介して左房内へ侵入していた肺塞栓症の一例 日本心エコー学会第34回学術集会 2023/4/21(岐阜)
- 4 齊藤亘 安全で簡便な血栓破碎テクニックである「ぐりぐり君」により良好な血栓除去が得られた4症例 第31回日本心血管インターベンション治療学会; CVIT 2023 学術集会 2023/8/5(福岡)
- 5 濱口桃香 当院の末梢血管形成術におけるDCB3種の使用経験と再狭窄症例の特徴について 第31回日本心血管インターベンション治療学会; CVIT 2023 学術集会 2023/8/5(福岡)
- 6 齊藤亘 肺梗塞による肺出血および左室内血栓を合併し管理に難渋した若年心不全の一例 第136回日本循環器学会近畿地方会 2023/12/16(大阪)
- 7 山本裕貴 大動脈炎症候群による肺高血圧症を疑われた一例 第136回日本循環器学会近畿地方会 2023/12/16(大阪)
- 8 齊藤亘 動脈・静脈血栓および肺出血を合併し管理に難渋した若年心不全の一例 第39回大阪木曜カンファレンス 2024/2/15(大阪)
- 9 齊藤亘 全身血栓症を合併したアルコール心筋症の一例: プロテインC欠乏症との関連について 第22回京都心血管疾患フォーラム 2024/1/6(京都)
- 10 林秀幸 Influence of aneurysmal aortic root geometry on mechanical stress on aortic valve leaflet 第22回京都心血管疾患フォーラム 2024/1/6(京都)
- 11 山地雄平 当院のPCIとEVT治療の現状 K2-net 2023/12/14(大阪)
- 12 猪子森明 高齢者の心不全診療～心不全リピーターへの処方箋～ ジェックス理事特別講義 2023/12/2(大阪)
- 13 猪子森明 なぜ高血圧を気にしなければいけないの? 北野病院みんなの健康セミナー 2023/12/22(大阪)
- 14 中根英策 心不全Stage Bからの降圧療法の重要性 ARNI Hypertension Web Seminar～高血圧治療におけるARNIの位置づけを考える～ 2023/7/13(大阪)
- 15 猪子森明 高齢の心不全患者の病態について 大阪府看護協会 2023年度トピックス研修 高齢の心不全患者の在宅療養支援～地域連携の現状・市北ブロックからの発信～ 2024/2/14(大阪)
- 16 木村光輝 左心耳電氣的隔離後に発症した、Marshall bundle を介したPeri-Mitral Atrial Tachycardia の一例 第53回臨床電気生理研究会 2023/5/27(東京)
- 17 木村光輝 右冠尖に異常電位を認め、刺激伝導路系にExitするnarrow QRS 心室頻拍の一例 カテーテルアブレーション関連秋季大会 2023 2023/11/18(福岡)
- 18 木村光輝 多源性嚔下誘発性心房頻拍に対して、上大静脈電氣的隔離が有効であった一例 第47回阪神アブレーション電気生理研究会 2023/6/10(大阪)
- 19 木村光輝 不整脈治療と当院での取り組み 京阪扇町心臓疾患研究会 2023/11/11(大阪)
- 20 齊藤亘 Trial of Anatomically Correct Right High Atrial Pacing using a delivery sheath for Sick sinus syndrome in the Elderly. 第69回日本不整脈心電学会学術集会 2023/7/7(札幌)
- 21 春名徹也 心不全パンデミック時代の不整脈管理 ARNI Hypertension Web Seminar～不整脈に合併する高血圧治療の重要性～ 2023/10/19(大阪)
- 22 中根英策 再入院防止を目的とした心不全地域連携 磐田・磐周地域心腎・病診連携セミナー 2023/4/27(静岡(Web))
- 23 中根英策 高齢者心不全患者に対する再入院防止の取り組み～心不全ポイントと地域連携で再入院

- を防ぐ～ 富山医科薬科大学勉強会 2023/5/9(富山(Web))
- 24 中根英策 再入院防止を目的とした心不全地域連携の取り組みと効果について 北野研究所セミナー 2023/5/17(北野病院)
 - 25 中根英策 最新の心不全診療と高カリウム血症 Heart Failure Symposium 2023/5/19(大阪)
 - 26 中根英策 再入院防止を目的とした心不全地域連携～SGLT2 阻害剤の話題も含めて～ 心不全 医療連携セミナー in 城南 2023/6/9(東京(Web))
 - 27 中根英策 心不全の地域連携の必要性和取り組み 第136回日本循環器学会近畿地方会 第61回近畿支部循環器専門医のための教育セッション 2023/7/15(大阪)
 - 28 中根英策 大阪における心不全地域連携の取り組み 心不全 Network Meeting～よりよい地域連携を考える～ 2023/9/11(福岡(Web))
 - 29 中根英策 再入院防止を目的とした心不全地域連携～SGLT2 阻害剤の話題も含めて～ 循環器疾患地域連携セミナー 2023/9/12(石川(Web))
 - 30 中根英策 大阪における心不全地域連携の取り組み 第21回地域交流会「高の原会」 2023/10/14(奈良)
 - 31 中根英策 高齢者心不全患者に対する再入院防止の取り組み～心不全ポイントと地域連携で再入院を防ぐ～ 独協医科大学勉強会 2023/10/19(栃木(Web))
 - 32 中根英策 心不全患者の再入院・重症化予防の取り組み～病院勤務医の立場から～ 2023/10/26(全国 Web 講演)
 - 33 中根英策 高齢心不全患者に対する再入院防止の取り組み～心不全ポイントと地域連携で再入院を防ぐ～ 2023/12/1(福井(Web))
 - 34 中根英策 高齢心不全患者に対する再入院防止の取り組み～心不全ポイントと地域連携で再入院を防ぐ～ 2023/12/7(大阪)
 - 35 中根英策 大阪における心不全地域連携の取り組み Wakayama HF ALERT 2023/12/14(和歌山)
 - 36 中根英策 再入院防止を目的とした心不全地域連携～SGLT2 阻害剤の話題も含めて～ 地域で考え・防ぎ・守る 心不全/CKD 講演会 2024/2/29(福井(Web))
 - 37 中根英策 持続可能な心不全チームを構築するための問題点とその対策 第88回日本循環器学会学術集会 モーニングセミナー4 2024/3/9(兵庫)
 - 38 中根英策 当院での心臓リハビリテーションの取り組み～SGLT2 阻害剤の話題も含めて 心不全の残された課題を考える会～薬物療法から心臓リハビリテーションまで～ 2024/3/19(広島(Web))

呼吸器センター 呼吸器内科

【口頭発表】

- 1 北島尚昌：呼吸管理のパラダイムシフト～慢性呼吸不全の呼吸管理～. 若手シンポジウム「若手が切り開く呼吸管理の未来～現場を知る若手が必要とするエビデンスとは何か?」. 第63回日本呼吸器学会学術講演会. 2023/4/30. (東京)
- 2 丸毛聡：新型コロナウイルス感染症後遺症とその診療の実際、第124回日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会 総会・学術講演会パネルディスカッション1、2023/5/18. (福岡)
- 3 坂野勇太、濱川瑤子、丸毛聡、福井基成、重松三知夫、藤田茂樹：肺腫瘍血栓性微小血管症により 肺高血圧症を呈した肺癌患者の2例. 第8回日本肺高血圧・肺循環学会学術集会 2023/6/3. (神戸)
- 4 植木康光：重症喘息患者に対する経験（バイオ製剤の導入）. 重症喘息治療のNext Generation. 2023/5/24. (大阪)
- 5 福井基成：Opening Remark. パネルディスカッション「COPDに対する鍼灸治療の効果と安全性ー産学連携！気胸撲滅に向けての取り組みー」. 第72回全日本鍼灸学会学術大会 2023/6/11. (神戸)
- 6 大倉千明、丸毛聡：多発結節影に対する起炎菌治療が背景疾患である気管支拡張症に有効であった一例. 気道疾患研究会 2023/6/16. (Web)
- 7 船内敦司：Osimertinib 内服後に心嚢水が出現した1例. 第73回大阪北肺疾患勉強会 2023/6/19. (大阪)
- 8 大倉千明、丸毛聡、福井基成：Mupltiplex realtime PCR によって診断されたRS ウイルス感染症の

検討. NPO 西日本呼吸器内科医療推進機構 夏期学術集. 会 2023/7/15. (長浜)

- 9 野原瑛里 井上大生 嶋村優志 植木康光 塚本信哉 大倉千明 船内敦司 神野志織 森本千絵 濱川瑤子 北島尚昌 丸毛聡 福井基成 胸腔鏡下肺切除術後に手術側上葉優位の進行性線維化病変を認めた2例 第101回日本呼吸器学会近畿地方会. 2023/7/22. (神戸)
- 10 大倉千明、田中美緒、嶋村優志、植木康光、塚本信哉、船内敦司、野原瑛里、神野志織、森本千絵、濱川瑤子、北島尚昌、井上大生、丸毛聡、福井基成：トキシカラ症による多発肺結節影を呈した1例. 第101回日本呼吸器学会近畿地方会. 2023/7/22. (神戸)
- 11 船内敦司、林優介、大倉千明、嶋村優志、植木康光、塚本信哉、野原瑛里、神野志織、森本千絵、濱川瑤子、北島尚昌、井上大生、丸毛聡、福井基成：全身性リンパ節腫大を伴う間質性肺疾患にトシリズマブが奏功した一例. 第101回日本呼吸器学会近畿地方会. 2023/7/22. (神戸)
- 12 植木康光、濱川瑤子、大倉千明、嶋村優志、船内敦司、塚本信哉、野原瑛里、神野志織、森本千絵、北島尚昌、井上大生、丸毛聡、福井基成：低酸素換気応答低下によると思われる安静時低酸素血症に対してアセタゾラミドが奏功した1例. 第101回日本呼吸器学会近畿地方会. 2023/07/22. (神戸)
- 13 塚本信哉、藤本佑樹、三好琴子、原田威徳、中島直樹、中治仁志：急速に進行するランダムパターンのびまん性粒状影を呈した肺癌多発肺転移の1例. 第101回日本呼吸器学会近畿地方会. 2023/7/21. (神戸)
- 14 丸毛聡：Remission というコンセプトが喘息の実地診療に果たす役割と課題. 第72回日本アレルギー学会学術大会 シンポジウム17「アレルギー・炎症性疾患の remission を考える」. 2023/10/22. (東京)
- 15 丸毛聡：症例から考える COVID-19 後遺症の病態と診療の実際. 第93回日本感染症学会西日本地方会学術集会・第71回日本化学療法学会西日本支部総会 シンポジウム14「COVID-19」. 2023/11/11. (富山)
- 16 船内敦司、大倉千明、嶋村優志、植木康光、塚本信哉、神野志織、森本千絵、北島尚昌、井上大生、丸毛聡、福井基成：同種造血幹細胞移植後の肺炎. 第74回大阪北肺炎患勉強会 2023. 11. 13. (大阪)
- 17 Shinya Tsukamoto, Yoko Hamakawa, Daiki Inoue, Satoshi Marumo, Motonari Fukui: Characteristics of Cardiac Tamponade due to Malignant Pericardial Effusion in Patients with Lung Cancer. The 27th Congress of the Asian Pacific Society of Respiriology. 2023.11.16-19. (Singapore)
- 18 福井基成、北島尚昌：慢性呼吸不全患者における睡眠時低換気の臨床的意義と治療. ワークショップ1「呼吸リハビリテーション患者にひそむ睡眠呼吸障害」 第33回日本呼吸ケア・リハビリテーション学会学術集会. 2023/12/1. (仙台)
- 19 林優介、田辺直也、前谷知毅、白石祐介、寺田悟、西健太、砂留広伸、佐藤晋、長崎忠雄、小熊毅、松本久子、福井基成、平井豊博：気管支喘息患者における胸部CTを用いた骨格筋、脂肪の定量評価と臨床指標との関連. 第33回日本呼吸ケア・リハビリテーション学会学術集会. 2023/12/1. (仙台)
- 20 植木康光：非小細胞肺癌の遺伝子検査とDriver mt に対する治療戦略について. 第6回Next Generation NSCLC Conference. 2023. 12. 1. (大阪)
- 21 丸毛聡：症例から考える COVID-19 後遺症の病態と診療の実際. 第27回日本心療内科学会総会・学術大会特別シンポジウム1「コロナ後遺症（新型コロナウイルス罹患後症状）における心療内科医の役割」. 2023. 12. 9. (東京)
- 22 大倉千明、森本千絵、嶋村優志、植木康光、塚本信哉、船内敦司、神野志織、北島尚昌、井上大生、丸毛聡、福井基成：ALK 融合遺伝子変異陽性肺腺癌に対してチロシンキナーゼ阻害薬(ALK-TKI)使用中に急性心膜炎を生じた1例. 第102回日本呼吸器学会近畿地方会・第7回日本ケア・リハビリテーション学会近畿支部学術集会. 2024/1/20. (大阪)
- 23 塚本信哉、大倉千明、嶋村優志、植木康光、船内敦司、神野志織、森本千絵、北島尚昌、井上大生、丸毛聡、福井基成：Pseudo-Meigs 症候群/Meigs 症候群を合併した卵巣腫瘍の2例. 第102回日本呼吸器学会近畿地方会・第7回日本ケア・リハビリテーション学会近畿支部学術集会. 2024/1/20. (大

阪)

- 2 4 嶋村優志、大倉千明、塚本信哉、植木康光、船内敦司、神野志織、森本千絵、北島尚昌、井上大生、丸毛聡、福井 基成：抗結核薬の初期増悪や副作用で治療に難渋した肺結核の一例。第 102 回日本呼吸器学会近畿地方会/第 7 回日本ケア・リハビリテーション学会近畿支部学術集会。2024/01/20。(大阪)
- 2 5 船内敦司、北島尚昌、大倉千明、嶋村優志、植木康光、塚本信哉、神野志織、森本千絵、井上大生、丸毛聡、福井基成：オシメルチニブ投与 7 年目に心嚢水を伴う心機能障害を呈した 1 例。第 102 回日本呼吸器学会近畿地方会/第 7 回日本ケア・リハビリテーション学会近畿支部学術集会。2024/01/20。(大阪)

【講演】

- 2 6 丸毛聡：Evidence と Experience から見えてきた Tezepelumab がもたらす新時代。第 63 回日本呼吸器学会学術講演会コーヒブレイクセミナー11。2023. 4. 28。(東京)
- 2 7 北島尚昌：モニタリングを活かした HFNC と NPPV の導入。Coffee Break Seminar 第 63 回日本呼吸器学会学術講演会。2022/4/28。(東京)
- 2 8 丸毛聡：重症喘息に対する生物学的製剤 ～ Best Practice in 2023 ～。第 63 回日本呼吸器学会学術講演会ランチョンセミナー11。2023/4/29。(東京)
- 2 9 丸毛聡：今と未来を見据えた重症喘息に対する生物学的製剤 Up Date in 2023. Type 2 Inflammation Forum。2023. 5. 25。(Web)
- 3 0 丸毛聡：新型コロナウイルス感染症の後遺症～正しく知り、正しく向き合うために～。大阪市北区医師会主催第 24 回みんなで学ぶ健康法。2023. 6. 8。(大阪市)
- 3 1 丸毛聡：吸入セルフチェック。COPD Short Lecture 2023。2023. 6. 13。(Web)
- 3 2 丸毛聡：メポリズマブで目指すクリニカルレミッション。Mepolizumab Severe Asthma National Conference in Tokyo。2023. 6. 17。(東京)
- 3 3 北島尚昌：非侵襲的呼吸療法におけるモニタリングの重要性。第 36 回非侵襲的呼吸療法研究会。2023. 6. 17。(大阪)
- 3 4 丸毛聡：重症喘息に対する生物学的製剤 Up Date～高齢者喘息の課題克服も含めて～。Tokyo BIO Therapy Conference。2023/6/28。(Web)
- 3 5 北島尚昌：日常臨床における COPD との向き合い方。明日から役立つ! どう診る? 呼吸器疾患～咳と痰の鑑別/診断/治療法～。2023/6/29。(大阪)
- 3 6 井上大生：ウィズコロナ時代の呼吸器感染症の外来診療について。明日から役立つ! どう見る? 呼吸器疾患～咳と痰の鑑別/診断/治療法～ 2023/6/29。(大阪)
- 3 7 北島尚昌：どのような患者に在宅 HFNC を導入すべきか～FLOCOP 試験を踏まえて～ 神奈川在宅 HFNC セミナー。2023/7/5。(神奈川)
- 3 8 福井基成：特別講演 東洋医学を活用した呼吸器内科診療。令和 5 年度日本東洋医学会福島県部会総会。2023/7/9。Web (福島)
- 3 9 北島尚昌：COPD に対する在宅ハイフローセラピーの意義 第 68 回日本呼吸器学会中国・四国地方会スイーツセミナー。2023/7/15。(香川)
- 4 0 北島尚昌：重症喘息診療と生物学的製剤の役割。兵庫県病院薬剤師西宮支部学術講演会。2023/7/20。Web (兵庫)
- 4 1 丸毛聡：トリプル製剤によるイニシャル治療の是非 (pro & con) ～pros の立場から～。第 4 回日本喘息学会総会学術講演会教育講演 3。2023/7/22。(東京)
- 4 2 北島尚昌：在宅ハイフローセラピー導入の意義～FLOCOP 試験を踏まえて～。静岡呼吸不全講演会。2023/7/22。(静岡)
- 4 3 丸毛聡：Mepolizumab がもたらす clinical remission を再考する。第 4 回日本喘息学会総会学術大会モーニングセミナー 2。2023/7/23。(東京)
- 4 4 丸毛聡：今と未来を見据えた重症喘息に対する生物学的製剤 Up Date in 2023. Respiratory Physician Expert Seminar。2023/8/24。(横浜)
- 4 5 北島尚昌：日常臨床における EGPA 診療の心構え。呼吸器内科医のための EGPA セミナー。2023/8/25。

- (大阪)
- 4 6 北島尚昌：NPPV とハイフローセラピーの管理とリハビリテーション. 理学療法士講習会. 2023. 9. 9. Web (大阪)
 - 4 7 丸毛聡：Stop and Ponder！～COVID-19 診療のこれまでとこれからを考える～. Lung Cancer & COVID-19 Collaboration Conference. 2023/9/13. Web
 - 4 8 丸毛聡：症例から考える COVID-19 後遺症の病態と診療の実際. 第2回秋田県新型コロナウイルス感染症罹患後症状（後遺症）に係る医療機関向け研修会. 2023/10/4. (秋田)
 - 4 9 北島尚昌：在宅ハイフローセラピー導入の意義. 大阪府保険医協会 内科研究会. 2023/10/5. (大阪)
 - 5 0 北島尚昌：ハイフローセラピーと NPPV の使い分け. 第 32 回 在宅呼吸ケアを勉強する集い. 2023/10/14. (岡山)
 - 5 1 丸毛聡：今と未来を見据えた喘息吸入療法 Up Date in 2023. TRELEGY Asthma 3rd years Anniversary National Conference. 2023/10/15. (東京)
 - 5 2 北島尚昌：コロナ禍でハイフローセラピーが我々にもたらしたもの～在宅ハイフローセラピーを含めて～. 第 35 回地域包括呼吸ケアを考える会. 2023/10/21. (大阪)
 - 5 3 丸毛聡：mepolizumab による重症喘息治療戦略を再考する～toward 2024～. Mepolizumab Severe Asthma National Conference in Sapporo. 2023/11/4. (札幌市)
 - 5 4 丸毛聡：Experience と Evidence から考える Treatment Strategy. SANOFI Severe Asthma Forum. 2023/11/12. (Web)
 - 5 5 井上大生：非 HIV 患者におけるニューモシスチス肺炎. 第 74 回大阪北肺疾患研究会. 2023. 11. 13. (大阪)
 - 5 6 北島尚昌：1st choice としての Tezepelumab～Con の立場から～. 重症喘息治療の New Generation 関西 Ver. 2023/11/15. (大阪)
 - 5 7 北島尚昌：ハイフローセラピーと NPPV の導入意義. 第 32 回神奈川県在宅呼吸管理研究会. 2023/12/9. (神奈川)
 - 5 8 丸毛聡：重症喘息における臨床的寛解の現在の課題と未来の展望. ADVENT Forum. 2023/12/12. (Web)
 - 5 9 丸毛聡：Clinical Remission を目指す重症喘息のトータルコントロール. One Airway One Disease Seminar. 2023/12/14. (名古屋)
 - 6 0 北島尚昌：在宅ハイフローセラピーと在宅 NPPV の使いどころ. 第 13 回 C-young Respiratory Conference. 2023/12/14. Web(神奈川)
 - 6 1 北島尚昌：モニタリングを活かした HFNC と NPPV の導入. 在宅ハイフローセラピーWebセミナー in 北海道. 2023/12/15. Web(北海道)
 - 6 2 丸毛聡：Compass Needle for Clinical Remission toward 2024～re-think of mepolizumab～. Mepolizumab Severe Asthma National Conference in Osaka. 2023/12/17. (大阪)
 - 6 3 北島尚昌：在宅ハイフローセラピー導入の意義. 第 31 回大阪呼吸ケア研究会. 2024/3/9. (大阪)
 - 6 4 丸毛聡：COVID-19 後遺症の診療の実際～症例から考察するメカニズムと抗ウイルス薬の意義～. SHIONOGI Web Conference. 2024/1/26. (Web)
 - 6 5 丸毛聡：新時代の COVID-19 診療の実際～後遺症・インフルエンザとの同時流行を含めて～. 高槻市医師会内科部会学術講演会. 2024/1/27. (高槻市)
 - 6 6 北島尚昌：在宅ハイフローセラピー導入の意義. 第 33 回三重県呼吸不全研究会. 2024/1/27. (三重)
 - 6 7 北島尚昌：重症喘息診療と生物学的製剤の役割. TSLP カンファレンス. 2024/2/9. (大阪)
 - 6 8 福井基成：その息切れ、本当に歳のせいですか？ 北野病院みんなの医療セミナー. 2024/2/5. (大阪)
 - 6 9 丸毛聡：咳嗽診療 Up Date in 2024. リフヌア全国 WEB 講演会. 2024/2/16. (Web)
 - 7 0 丸毛聡：気道過敏性検査・気道可逆性検査. 第 3 回気道アレルギー実習セミナー. 2024/2/18(大阪)
 - 7 1 丸毛聡：成人喘息の生物学的製剤の選択と展望 (アドバンス). 第 10 回総合アレルギー講習会. 2024/3/16. (横浜)

- 7 2 丸毛聡: Next Goal of Inhalation Therapy for Asthma with Trelegy、第10回総合アレルギー講習会教育セミナー8. 2024/3/17. (横浜)
- 7 3 福井基成: アドバンス・ケア・プランニング (ACP) を再考する. 第4回自分らしく生ききるケア・サポートを考える会. 2024/3/23. (滋賀)
- 7 4 丸毛聡: なぜ重症喘息で臨床的寛解を目指すべきなのか? Respiratory TV Symposium. 2024/3/29. (Web)

【その他】

- 7 5 丸毛聡: コロナ治療薬「後遺症予防に意義」(共同通信) 2023/6/23.
- 7 6 丸毛聡: 新型コロナ“第9波”? じわり増加 治療薬が「後遺症」予防にも (フジテレビ) 2023/6/23.

糖尿病内分泌内科

- 1 Hasebe M, Yoshiji S, Keidai Y, Minamino H, Murakami T, Shibue K, Tanaka D, Fujita Y, Honjo S, Harada N, Hamasaki A, Inagaki N Efficacy of antihyperglycemic therapies on cardiovascular and heart failure events: A meta-analysis and meta-regression IDF-WPR CONGRESS 2023 | 15th AASD Scientific Meeting Jul. 21-23, 2023(Kyoto)
- 2 長谷部雅士、吉治智志、境内大和、南野寛人、渋谷公尊、本庶祥子、濱崎暁洋、稲垣暢也 大規模心血管アウトカム試験のメタ分析・メタ回帰分析による、血糖降下療法の大血管障害・心不全リスクに対する影響の検討 第66回日本糖尿病学会年次学術集会 2023年5月11日(木) -13日(土) (鹿児島)
- 3 本庶祥子、田辺悦子、塚口諒、長谷部雅士、渋谷公尊、濱崎暁洋、稲垣暢也 糖尿病透析予防指導を実施した糖尿病腎症患者の10年間の経過の検討 第66回日本糖尿病学会年次学術集会 2023年5月11日(木) -13日(土) (鹿児島)
- 4 塚口諒、田辺悦子、長谷部雅士、渋谷公尊、本庶祥子、濱崎暁洋、稲垣暢也 周産期に高用量のインスリンを要する糖尿病合併妊娠を2度経験した症例 第66回日本糖尿病学会年次学術集会 2023年5月11日(木) -13日(土) (鹿児島)
- 5 渋谷公尊、田辺悦子、塚口諒、長谷部雅士、本庶祥子、濱崎暁洋、稲垣暢也 妊娠に合併した原発性副甲状腺機能亢進症例におけるGABA濃度の検討 第96回日本内分泌学会学術総会 2023年6月1日(木) -3日(土) (名古屋)
- 6 塚口諒、藤井寿人、泉諒太、植田洋平、山内一郎、田浦大輔、稲垣暢也 若年の急性心筋梗塞を契機に発見された、無症状の巨大褐色細胞腫・パラガングリオーマの一例 第96回日本内分泌学会学術総会 2023年6月1日(木) -3日(土) (名古屋)
- 7 濱崎暁洋、越井由佳子、本庶祥子、渋谷公尊、長谷部雅士、田辺悦子、塚口諒、稲垣暢也 後期高齢糖尿病患者の予後にかかる因子 第96回日本内分泌学会学術総会 2023年6月1日(木) -3日(土) (名古屋)
- 8 仲尾美音、京面ももこ、松元知子、新居茜、古河てまり、増田有美、茅野知賀、豊田久理子、竹内麻衣、浦慎太郎、角田晃啓、上田寛、森田恵未、岡田理香、渋谷公尊、本庶祥子、濱崎暁洋、稲垣暢也 当院における世界糖尿病デーの取り組みに関する報告 ～藤原道長と糖尿病サポートチームとの夢の共演～ 第10回日本糖尿病協会学術総会 2023年7月22日(土) -23日(日) (京都)
- 9 渡邊元貴、松城真里、酒井麻里子、塚口諒、長谷部雅士、泉諒太、渋谷公尊、本庶祥子、濱崎暁洋、稲垣暢也 HbA1c 上昇とインスリン分泌の急な低下を契機に膵体部癌の早期診断に至った一例 第60回日本糖尿病学会近畿地方会 2023年10月14日(土) (神戸)
- 10 塚口諒、本庶祥子、松城真里、酒井麻里子、長谷部雅士、泉諒太、渋谷公尊、濱崎暁洋、稲垣暢也 卵巣過剰刺激症候群(OHSS)を発症したFSH産生下垂体腺腫の1例 第33回臨床内分泌代謝 Update 2023年11月3日(金) -4日(土) (横浜)
- 11 松城真里、浜本芳之、原口卓也、大森泰広、黒飛友里、山口裕子、山崎裕自、和泉清拓、臼井亮太、桑田仁司、表孝徳、山田祐一郎、清野裕 自己免疫性膵炎に対するステロイドが膵内分泌機能に与えた影響 第33回臨床内分泌代謝 Update 2023年11月3日(金) -4日(土) (横浜)
- 12 大瀧新、長谷部雅士、酒井麻里子、塚口諒、松城真里、泉諒太、渋谷公尊、本庶祥子、濱崎暁洋、

稲垣暢也 画像検査での特徴が術前診断に有用であった副腎腫瘍の3例 第243回日本内科学会近畿地方会 2024年3月16日(土)(大阪)

- 13 濱崎暁洋 糖尿病診療におけるインスリン治療の役割と具体的な使用方法 Insulin Update Seminar 2023年6月19日(月)(大阪(Web))
- 14 長谷部雅士 糖尿病における血糖・体重管理の意義をあらためて考察する 第33回大阪B.B.DMフォーラム 2023年7月1日(土)(大阪)
- 15 渋谷公尊 北野病院におけるツイミグ使用症例について 第33回大阪B.B.DMフォーラム 2023年7月1日(土)(大阪)
- 16 長谷部雅士 大規模心血管アウトカム試験にみる血糖降下療法の意義 第15回内分泌代謝トランスレーショナル医学塾 2023年7月14日(金)(京都)
- 17 酒井麻里子 下垂体手術を繰り返す多発性内分泌腫瘍症1型の症例 Osaka 内分泌疾患カンファレンス 2023年8月5日(土)(大阪)
- 18 濱崎暁洋 高齢者糖尿病診療で目指すところを考える 高齢者のケア・マネジメント 2023年8月30日(水)(大阪)
- 19 濱崎暁洋 糖尿病治療の課題と地域における継続診療 DKD ハイブリッドセミナー 2023年9月6日(水)(大阪)
- 20 濱崎暁洋 糖尿病ってどんな病気? 北野病院 みんなの医療セミナー 2023年10月5日(木)(大阪(院内))
- 21 竹内麻衣 あなたや家族が糖尿病と診断されたら? 北野病院 みんなの医療セミナー 2023年10月5日(木)(大阪(院内))
- 22 濱崎暁洋 『糖尿病』のあたらしいお話 糖尿病友の会 パンジーの会 秋の交流会 2023年10月27日(金)(大阪(院内))
- 23 本庶祥子 糖尿病性腎症重症化予防のために～継続診療と地域連携 第37回大阪糖尿病・内分泌倶楽部 2023年11月2日(木)(大阪(Web))
- 24 濱崎暁洋 臨床使用症例にみるツイミグ錠の特徴 DUAL Seminar in OSAKA City 2023年11月15日(水)(大阪(Web))
- 25 長谷部雅士 大規模心血管アウトカム試験にみる血糖降下療法の意義 第17回心血管糖尿病合同カンファレンス 2024年1月26日(金)(大阪)
- 26 服部恵実、塚口諒、松城真里、酒井麻里子、長谷部雅士、泉諒太、渋谷公尊、本庶祥子、濱崎暁洋、稲垣暢也 糖尿病治療入院後に不随意運動が顕著となった糖尿病性舞蹈病の1例 第17回糖尿病臨床フォーラム 2024年2月10日(土)(大阪)
- 27 濱崎暁洋 これからの糖尿病診療～いまの動向からその可能性を考える～ Diamond Live Seminar in OSAKA City 2024年2月16日(金)(大阪(Web))
- 28 濱崎暁洋 糖尿病診療で膵癌を見出すフォローアップを考える 糖尿病と膵癌を考える会 2024年3月16日(土)(大阪(Web))
- 29 渋谷公尊、田辺悦子、松城真里、塚口諒、酒井麻里子、長谷部雅士、泉諒太、本庶祥子、濱崎暁洋、稲垣暢也 妊娠早期に異所性副甲状腺腫摘出術をおこなった原発性副甲状腺機能亢進症の1例 第102回京都内分泌同好会 2024年3月23日(土)(京都)

腎臓内科

【国内学会】

- 1 永田徹、中川権史、羽田敦子、鶴見文俊、宇佐美亜由子、金森良介、藤尾光、高柳俊亮、遠藤知美、塚本達雄、秦大資: 高血圧緊急症・ネフローゼ症候群を呈し、末期腎不全から腹膜透析に至ったNFKB2異常症の1例(会議録): 第126回小児科学会学術集会、4月14日-16日(東京)
- 2 司馬熙、遠藤知美: 新型コロナウイルス感染症(COVID-19)後に肺胞出血で再燃した、メボリズマブ投与中の好酸球性多発血管炎性肉芽腫症(EGPA)の一例: 第67回日本リウマチ学会総会・学術集会、4月24日-26日(福岡)
- 3 塚本達雄: 急性血液浄化療法の要点: 第39回日本医工学治療学会学術大会、5月12日-13日(埼

玉)

- 4 遠藤知美：ANCA 関連血管炎 up to date (シンポジウム 20)：第 66 回日本腎臓学会学術総会、6 月 9 日-11 日 (横浜)
- 5 東良亮、遠藤知美、高柳俊亮、森慶太、武曾恵理、塚本達雄：ANCA 関連血管炎の間質性肺炎合併有無による臨床像の相違に関する検討：第 66 回日本腎臓学会学術総会、6 月 9 日-11 日 (横浜)
- 6 有安由紀、鳥越和雄、安田隆、安田宜成、塚本達雄、武曾恵理：IgA 腎症に対する肥満の影響について大規模コホートにおける腎機能と性によるサブ解析：第 66 回日本腎臓学会学術総会、6 月 9 日-11 日 (横浜)
- 7 井上唯衣、石井輝、西尾治臣、生島昭恵、石村拓也、杉岡清香、半田貴也、山田博之、柳田素子、横井秀基：全身性 GC-A ノックアウトマウスでは、高蛋白食負荷下にストレプトゾトシン誘導糖尿病性腎臓病が増悪する：第 66 回日本腎臓学会学術総会、6 月 9 日-11 日 (横浜)
- 8 秦浩一郎、坂井薫、塚本達雄、山敷宣代、上田佳秀、穴澤貴行、伊藤孝司、福光剣、八木真太郎、柳田素子、妹尾浩、上本伸二：急性肝不全の病態と治療～基礎・臨床の観点から～ 急性肝不全治療における初期治療アルゴリズムの変遷と成績 高容量血液浄化法の役割と今後の課題：第 59 回日本肝臓学会総会、6 月 15 日-16 日 (奈良)
- 9 遠藤知美、森慶太、塚本達雄：当院における保存的腎臓療法 (CKM) に関する取り組みとその実践 (シンポジウム 4)：第 68 回日本透析医学会学術集会・総会、6 月 16 日-18 日 (神戸)
- 10 谷口美咲、遠藤知美、塚本達雄、濱崎暁洋、前谷俊樹：原発性二次性副甲状腺機能亢進症を合併した腹膜透析患者に副甲状腺摘出術を行った一例：第 68 回日本透析医学会学術集会・総会、6 月 16 日-18 日 (神戸)
- 11 渡邊友香、米本智美、池田嘉宏、塚本達雄：亜鉛補充療法により銅欠乏性貧血を併発した維持血液透析患者の 1 例：第 68 回日本透析医学会学術集会・総会、6 月 16 日-18 日 (神戸)
- 12 三島奈都美、司馬熙、東良亮、高柳俊亮、森慶太、遠藤知美、塚本達雄：血管炎による末期腎不全で血液透析導入となった患者にアバコパンを使用した 2 例：第 68 回日本透析医学会学術集会・総会、6 月 16 日-18 日 (神戸)
- 13 ウェルズ健、姜伶奈、石村拓也、櫻木実、森田元、鈴木洋行、武曾恵理、塚本達雄：急性間欠性ポルフィリン症 (AIP) のため透析導入となった 1 例：第 68 回日本透析医学会学術集会・総会、6 月 16 日-18 日 (神戸)
- 14 塚本達雄、森慶太、東良亮、高柳俊亮、祖開裕子、辻宣樹、遠藤知美、丸毛聡：当院における COVID-19 透析例の報告：第 68 回日本透析医学会学術集会・総会、6 月 16 日-18 日 (神戸)
- 15 渡邊元貴、森義治、岩木亮介、森田元、八隅秀二郎、塚本達雄：ニボルマブにより一時的に血液透析を要する急性腎障害をきたしステロイド治療を行った 1 例：第 68 回日本透析医学会学術集会・総会、6 月 16 日-18 日 (神戸)
- 16 鹿野友美夏、山上優奈、吉川義頭、森慶太、遠藤知美、塚本達雄：血漿交換療法が著効した維持透析患者の水疱性類天疱瘡の一例：第 68 回日本透析医学会学術集会・総会、6 月 16 日-18 日 (神戸)
- 17 遠藤知美、森慶太、塚本達雄：高齢化社会における腎代替療法を再考する 当院における保存的腎臓療法 (CKM) に関する取り組みとその実践：第 68 回日本透析医学会学術集会・総会、6 月 16 日-18 日 (神戸)
- 18 丹羽篤人、鹿野友美夏、福田結以、大植薫、宮内美帆、東良亮、半田貴也、原諒輔、猪子森明、祖開祐子、辻宣樹、塚本達雄：心原性ショック患者への経皮的な心肺補助装置使用中に生じた急性肝不全に対して血漿交換を施行した一例：第 34 回日本急性血液浄化学会学術大会、2023 年 9 月 30 日-10 月 1 日 (名古屋)
- 19 山崎瑞歩、古宮俊幸、佐藤涼、倉橋聡司、竹岡純、平島尚子、戸田尚宏、武曾恵理：肝硬変を合併した難治性の透析液リークに対しフィブリノゲン加第 13 因子製剤注入およびカテーテル周囲組織結紮が有効であった腹膜透析患者の一例：第 29 回日本腹膜透析医学会、9 月 30 日-10 月 1 日 (東京)
- 20 福田結以、遠藤知美、三島奈都美、東良亮、半田貴也、武曾恵理、塚本達雄：IF で full-house パターンを呈した IgM κ 型原発性マクログロブリン血症の一例：第 53 回日本腎臓学会西部学術大

会、2023 年 10 月 7-8 日（岡山）

- 2 1 鹿野友美夏、東良亮、司馬熙、遠藤知美、塚本達雄：IgM 陽性形質細胞関連尿細管間質性腎炎の 1 例：第 53 回日本腎臓学会西部学術大会、2023 年 10 月 7-8 日（岡山）
- 2 2 池添徳晃、戸田尚宏、菅枝茜、佐藤涼、藤田京花、竹岡純、武曾恵理、藤田昌昭、石井 輝：IgG4 関連疾患の経過中に膜性腎症を合併した一例：第 53 回日本腎臓学会西部学術大会、2023 年 10 月 7-8 日（岡山）
- 2 3 竹岡純、佐藤涼、倉橋聡司、平島尚子、戸田尚宏、武曾恵理、古宮 俊幸：IgA 腎症患者に対する経口ステロイド先行扁桃摘出治療プロトコルの検討：第 53 回日本腎臓学会西部学術大会、2023 年 10 月 7-8 日（岡山）
- 2 4 遠藤知美：腎病理から考えるアバコパンの可能性（モーニングセミナー）：第 53 回日本腎臓学会西部学術大会、2023 年 10 月 7-8 日（岡山）
- 2 5 半田貴也、鹿野友美夏、福田結以、大植薫、丹羽篤人、宮内美帆、東良亮、遠藤知美、塚本達雄：心機能・血中フィブリノーゲン値に応じたレオカーナ施行条件の検討：第 44 回日本アフェレシス学会学術集会：2023 年 10 月 20 日-22 日（盛岡）
- 2 6 宮内美帆、鹿野友美夏、福田結以、大植薫、丹羽篤人、東良亮、半田貴也、遠藤知美、武曾恵理、塚本達雄：抗糸球体基底膜抗体腎炎で血漿交換療法を実施した 7 症例の検討：第 44 回日本アフェレシス学会学術集会：2023 年 10 月 20 日-22 日（盛岡）
- 2 7 丹賀康太郎、大植薫、木下慶一郎、中島俊樹、北島尚昌、塚本達雄：急速進行性間質性肺炎を伴う抗 MDA5 抗体陽性皮膚筋炎に血漿交換を含む集学的治療を行った一例：第 242 回日本内科学会近畿地方会、2023 年 12 月 9 日（大阪）
- 2 8 木村 菜樹、大植 薫、遠藤 知美、野津 寛大、塚本 達雄：先天性ミトコンドリア異常症により巣状分節性糸球体硬化症をきたし腎移植を施行した一例：第 242 回日本内科学会近畿地方会、2023 年 12 月 9 日（大阪）
- 2 9 丹羽篤人、半田貴也、鹿野友美夏、花房藍、福田結以、大植薫、宮内美帆、東良亮、遠藤知美、祖開祐子、辻宜樹、塚本達雄：単純血漿交換療法（PEx）を含む集学的治療が奏功した顕微鏡的多発血管炎（MPA）の一例：第 42 回日本アフェレシス学会関西地方会、2024 年 2 月 10 日（大阪）
- 3 0 望月俊吾 福田結以 丹羽篤人 遠藤知美 塚本達雄：腎・肺病変を伴う重症顕微鏡的多発血管炎に対し、血漿交換・Rituximab・Avacopan 併用により低用量ステロイドで寛解導入し得た超高齢者の一例：第 243 回日本内科学会近畿地方会、2024 年 3 月 16 日（大阪）

【国際学会】

- 3 1 Yuki Ariyasu, Kazuo Torikoshi, Tatsuo Tsukamoto, Takashi Yasuda, Yoshinari Yasuda, Eri Muso: Impact of obesity on prognosis of IgA nephropathy separately analyzed by renal function and sex」第 17 回国際 IgA 腎症シンポジウム 9 月 28 日～30 日（東京）

【研究会・講演会】

- 3 2 塚本達雄、三島奈都美、渡邊友香、谷口美咲、東良亮、高柳俊亮、森慶太、遠藤知美、辻宜樹、祖開裕子、平木秀輔、丸毛 聡：当院における COVID-19 透析例の報告(第 3 報)：第 97 回大阪透析研究会、9 月 11 日（大阪）
- 3 3 塚本達雄：腎性貧血の今後の展望：CKD total support セミナー、2 月 15 日（大阪）
- 3 4 塚本達雄：慢性腎臓病（CKD）の地域連携パスと腎性貧血治療に関して、第 7 回 DKD 診療を考える会、3 月 2 日（ハイブリッド）
- 3 5 遠藤知美：ANCA 関連血管炎治療の最前線～タブネオスの可能性を探る～：AAV specialist seminar、5 月 19 日（ハイブリッド）
- 3 6 塚本達雄：腎性貧血：CKD 連携 WEB セミナー、5 月 30 日（ハイブリッド）
- 3 7 塚本達雄：腎性貧血治療と鉄代謝について：Dialysis UpToDate、6 月 22 日（大阪）
- 3 8 塚本達雄：DKD 治療の新しい展開と地域連携診療：但馬 CKD-WEB セミナー、6 月 29 日（ハイブリッド）
- 3 9 塚本達雄：CKD 地域連携の取り組み ～地域における透析予防に向けて～：CKD 連携意見交換会、7 月 11 日

- 40 武曾恵理：ゆたかな腎臓病医療のために多様な力の結集をめざす：第3回熊本県女性腎臓病医の会 9月7日（熊本）
- 41 塚本達雄：当院のCKD連携診療実態と合併症治療に関して：地域連携ネットワーク講演会、9月14日（大阪）
- 42 武曾恵理：オープニングリマークス 中四国エリア難治性ネフローゼ症候群へのLDLAを考える会 9月20日（WEB）
- 43 塚本達雄：DKD連携診療について、第8回DKD診療を考える会、9月20日（ハイブリッド）
- 44 福田結以、遠藤知美、鹿野友美夏、三島奈都美、武曾恵理、塚本達雄：半月体様管外病変を伴った悪性高血圧の一例：第28回日本血管病理研究会、10月21日・22日（仙台）
- 45 遠藤知美：ANCA関連血管炎治療の最新～タブネオスをどう使う？～：第2回女性腎臓内科医の会（神奈川県）：11月30日（ハイブリッド）
- 46 遠藤知美：AAVにおける腎生検・腎病理とタブネオスの使用経験：AAV Clinical Seminar in Wakayama、1月18日
- 47 大植薫、遠藤知美、森田元、野津寛大、武曾恵理、塚本達雄：ミトコンドリア関連遺伝子の異常により巣状分節性糸球体硬化症をきたし腎移植を施行した一例：第10回京都腎疾患フォーラム、1月20日（京都）
- 48 遠藤知美：ANCA関連血管炎治療～ガイドライン2023改訂の変遷とタブネオスの可能性～：京都腎臓医会難病WGオンラインセミナー、2月8日（京都）
- 49 遠藤知美：ANCA関連腎炎治療の最新～ステロイドの最小限使用を目指して～：AAV Nephrologists meeting、2月14日（ハイブリッド）
- 50 半田貴也：当院におけるレオカーナ合併症の検討：第36回腎と脂質研究会、2月17日（京都）
- 51 山田博之、塚本達雄：難治性ネフローゼ症候群に対するLDL-アフェレーシスの効果に関するシステマティックレビュー：第36回腎と脂質研究会、2月17日（京都）
- 52 塚本達雄：CKD診療ガイドライン2023を見据えた連携診療のあり方：あさひ連携の会、2024年2月21日（大阪）
- 53 武曾恵理：腎臓病医療における女性腎臓病医の役割について 第30回中部女性腎臓病の会（CSWN）特別講演 3月3日（名古屋）
- 54 塚本達雄：ネフローゼ症候群：東大阪市保健所 難病講演会、2024年3月6日（大阪）
- 55 塚本達雄：DKD連携診療・腎性貧血治療に関して、第9回DKD診療を考える会、2024年3月14日（ハイブリッド）
- 56 遠藤知美：透析患者診療における最近の話題～腎性貧血や血管炎治療など～：CKD Webセミナー 2024、3月21日（三宮）

栄養部

- 1 松元知子、毎熊由美子、本庶祥子、高森行宏 骨粗鬆症に対する人間ドックでの管理栄養士の取り組み～丈夫な骨は毎日コツコツ「骨コツ御膳」～ 第27回日本病態栄養学会年次学術集会 2024/1/26-1/28(京都)
- 2 半澤史聡、平塚綾音、堀江優里、久保慶太、松浦祐真、亀井亜紀子、高山祐美、湯面百希奈、坂根直樹、永井成美 スマートフォンアプリによる女子大学生への生活リズム介入が体調と学修効果に及ぼす影響 第10回時間栄養学学会学術大会 2023/8/25-26(広島)
- 3 京面ももこ 巽絢子 井口公太 膵切除患者の術後食事摂取量と血液学的栄養指標の変動から考える術式毎の栄養指導の在り方 第38回日本臨床栄養代謝学会 2023/5/9-5/10(神戸)
- 4 巽絢子 京面ももこ 井口公太 膵臓手術における術式毎の栄養摂取と体組成・握力変化に関する術後1年間の経過検討 第38回日本臨床栄養代謝学会 2023/5/9-5/10(神戸)
- 5 名倉成美、田中英治、大洞佳代子、上ノ山和弥、石田梨奈、長谷川雅士、佐藤正人、上田優貴子、宮森理英子、北出順子、松本忍、猪崎愛、辻本実奈美、児玉晃子、柿添忍、垣内真子、南奈月、本庶祥子 口腔内への薬剤残存が判明し経管栄養開始により経口摂取を再開できたパーキンソン病の一例 第27回日本病態栄養学会年次学術集会 2024/1/26-1/28(京都)

- 6 毎熊由美子、松元知子、本庶祥子 人間ドックにおける骨粗鬆症に対する意識調査～年代別の検討結果～ 第 11 回日本脆弱性骨折ネットワーク学術集会 2024/3/1-2(東京)
- 7 黒川 典子、山田 信子、本庶祥子 COVID-19 入院患者における栄養学的重症化リスク因子の検討：重症度分類による比較 第 15 回日本臨床栄養代謝学会 近畿支部学術集会 2024/7/29(大阪)

リウマチ膠原病内科

- 1 笹井 恒雄、中嶋 蘭、辻 英輝、中島 俊樹、井村 嘉孝、吉田 雄介、平田 信太郎、三森 経世、森信 暁雄 抗 MDA5 抗体陽性皮膚筋炎合併間質性肺炎における長期予後と寛解維持期の治療継続に関する検討 多施設共同臨床試験の長期 follow-up と単施設後向き研究との包括的検討 第 120 回日本内科学会講演会 2023/4/14-16(東京/Web 参加)
- 2 山田 麻綾、中島 俊樹、船曳 正英、高橋 令子、井村 嘉孝 抗 MDA5 抗体陽性皮膚筋炎の治療中に Cytomegalovirus 網膜炎を発症した一例 第 67 回日本リウマチ学会総会・学術集会 2024/4/24-26(福岡)
- 3 山田 麻綾、船曳 正英、中島 俊樹、高橋 令子、井村 嘉孝 骨髄異形成症候群の経過中に Behcet 病様症状、高安動脈炎をきたした一例 第 67 回日本リウマチ学会総会・学術集会 2024/4/24-26(福岡)
- 4 岩阪 晋吾、高橋 令子、中島 俊樹、船曳 正英、麥谷 道生、山田 麻綾、井村 嘉孝 多発性筋炎・皮膚筋炎 7:症例から学ぶ 皮疹の後に抗 TIF- γ 抗体陽転化・サルコイドーシスおよび筋力低下を認めた皮膚筋炎の症例 第 67 回日本リウマチ学会総会・学術集会 2024/4/24-26(福岡)
- 5 麥谷 道生、船曳 正英、大橋 倫子、中島 俊樹、高橋 令子、井村 嘉孝 難治性病態への挑戦 成人発症の phalangeal microgeodic disease に対してジルチアゼムが奏功した一例 第 67 回日本リウマチ学会総会・学術集会 2024/4/24-26(福岡)
- 6 岡部 康教、中島 俊樹、麥谷 道生、船曳 正英、高橋 令子、井村 嘉孝 大型血管炎の臨床管理 高安動脈炎における聴覚障害に対して高用量ステロイド療法により耳小骨周囲の陰影が改善した一例 第 67 回日本リウマチ学会総会・学術集会 2024/4/24-26(福岡)
- 7 高橋 令子、井村 嘉孝 SOCS1 の発現異常と SLE 病態の関心の解明 第 51 回日本臨床免疫学会総会 2023/10/5-7(東京)

皮膚科

- 1 吉川義顕 外用療法の基本と実践 第 122 回日本皮膚科学会総会 2023 年 6 月 1 日-4 日(神奈川)
- 2 臼居志保、森脇寛、山上優奈、古賀玲子、大下恵樹、山本健人、吉野琢哉、吉川義顕 人工肛門周囲の壊疽性膿皮症に対しタクロリムス水和物軟膏が著効した 1 例 第 75 回日本皮膚科学会西部支部学術大会 2023 年 9 月 16 日-17 日(沖縄)
- 3 森脇寛、臼居志保、山上優奈、古賀玲子、吉川義顕、宮本将和 動眼神経麻痺をきたした帯状疱疹の 2 例 第 74 回日本皮膚科学会中部支部学術大会 2023 年 10 月 28 日(京都)
- 4 森脇寛、臼居志保、山上優奈、古賀玲子、吉川義顕 皮膚腺病の 1 例 第 483 回日本皮膚科学会京滋地方会 2023 年 12 月 16 日 京都府
- 5 森脇寛、臼居志保、山上優奈、古賀玲子、吉川義顕、中川隆太郎、塩田光隆 乳児に生じた膿疱性乾癬の 1 例 第 501 回日本皮膚科学会大阪地方会 2024 年 2 月 3 日(大阪)

脳神経外科

- 1 林 英樹、箸方 宏州、澤田 真寛、戸田 弘紀 Experience of exoscope for spinal surgery Asia Spine 2023 2023/6/17(愛知)
- 2 林 英樹、箸方 宏州、澤田 真寛、羽生 敬、山下 成仁、大槻 和也、笠島 一洋、武部 軌良、石橋 良太、西田 南海子、戸田 弘紀 外視鏡を使用した脊椎手術の経験 第 82 回日本脳神経外科学会総会 2023/10/26(横浜)
- 3 箸方宏州、大槻和也、羽生敬、山下成仁、笠島一洋、武部軌良、澤田真寛、石橋良太、林英樹、西田南海子、戸田弘紀、岩崎孝一 当院における外視鏡の使用経験 第 32 回脳神経外科手術と機器学

- 会 2023/4/22(富山)
- 4 箸方 宏州 大槻 和也 羽生 敬 山下 成仁 笠島 一洋 武部 軌良 澤田 真寛 石橋 良太 林 英樹 西田 南海子 戸田 弘紀 当院の脳腫瘍治療における脳血管内治療の寄与 第 28 回日本脳腫瘍の外科学会 2023/9/30(長崎)
 - 5 箸方宏州、大槻和也、羽生敬、山下成仁、笠島一洋、武部軌良、澤田真寛、石橋良太、林英樹、西田南海子、戸田弘紀 当院における外視鏡の現状；顕微鏡からの卒業 第 82 回日本脳神経外科学会総会 2023/10/26(横浜)
 - 6 戸田 弘紀 Functional Neurosurgery for Tremor The 13th Scientific Meeting of the Asian-Australasian Society for Stereotactic and Functional Neurosurgery, AASSFN 2023 2023/4/28(大阪)
 - 7 戸田 弘紀、澤田 真寛、西田 南海子、樽野陽亮、高橋牧郎、金子鋭 Review and Perspective on Magnetic Resonance-guided Focused Ultrasound for Essential Tremor and Parkinson's Disease The 13th Scientific Meeting of the Asian-Australasian Society for Stereotactic and Functional Neurosurgery, AASSFN 2024 2023/4/29(大阪)
 - 8 戸田 弘紀 外視鏡を用いた微小血管減圧術の工夫 第 43 回日本脳神経外科コンgres総会 2023/5/13(大阪)
 - 9 戸田 弘紀、羽生 敬、山下 成仁、杉山 純平、吉崎 航、元家 亮太、武部 軌良、澤田 真寛、箸方 宏州、石橋 良太、林 英樹 外側後頭下開頭術手技習得における外視鏡の有用性 第 32 回日本聴神経腫瘍研究会 2023/6/3(大阪)
 - 10 戸田 弘紀 Tremor Patients' Needs for MRgFUS PLA 301 International Exablate Neuro Academic Conference 2023/7/1(北京)
 - 11 戸田 弘紀、箸方 宏州、林 英樹、石橋 良太、武部 軌良、西田 南海子、吉崎 航、杉山 純平、北村 和士、羽生 敬、山下 成仁、笠島 一洋、大槻 和也 外視鏡を用いた微小血管減圧術の工夫 第 82 回日本脳神経外科学会総会 2023/10/26(横浜)
 - 12 戸田 弘紀 デバイス治療による不随意運動への介入 The 8th MDSJ Video Forum in Kansai 2023/12/17(大阪)
 - 13 石橋 良太 脳底静脈の解剖&海綿静脈洞部dAVFCdAVF:読影と治療プランニング ecasebook セミナー:明日から使える血管解剖と dAVF の知識 2023/4/10(web)
 - 14 石橋 良太 頭蓋内動脈硬化性病変に対する治療の現状 脳卒中トータルケア連携セミナー 2023/5/25(大阪)
 - 15 石橋 良太 iED と Precise KANEKA MO NIGHT 2023/6/16(大阪)
 - 16 石橋 良太 北野病院における血栓回収療法プロトコル J&J Advanced hands-on 2023/7/30(東京)
 - 17 石橋 良太 i-ED COIL を使いこなす ~Complex Infini シリーズの役割~ 第 84 回日本脳神経外科学会近畿支部学術集会ランチョンセミナー 2023/9/2(大阪)
 - 18 石橋 良太 MCA 動脈瘤のコイル塞栓術 BASICS 関西 2023/9/8(大阪)
 - 19 石橋 良太 IC-PC 動脈瘤クリップ後再発例に対する再手術 第一回関西脳神経外科直達の会 2023/9/16(大阪)
 - 20 石橋 良太 Selective TVE を行なった CS-DAVF の合併症症例 Dural 症例検討会 in 関西 2023/10/21(大阪)
 - 21 石橋良太 大槻和也 羽生敬 山下成仁 杉山純平 笠島一洋 武部軌良 澤田真寛 箸方宏州 林英樹 西田南海子 戸田弘紀 脳血管外科手術に対する外視鏡手術への移行 第 82 回日本脳神経外科学会総会 2023/10/26(横浜)
 - 22 石橋 良太 Low NIHSS VBAO Solitaire de Night 2023/11/17(大阪)
 - 23 石橋良太 羽生敬 箸方宏州 武部軌良 林英樹 戸田弘紀 テント部内側病変に対する後大脳動脈・上小脳動脈近位部からの供血血管について 第 39 回日本脳神経血管内治療学会学術集会 2023/11/24(京都)
 - 24 石橋 良太 未破裂脳動脈瘤に対する血管内治療:プランニングと知識の整理 京都大学脳神経外科同門会 2024/2/4(京都)

- 25 杉田 義人 頭蓋骨密度比 0.4 未満の振戦例に対する MR ガイド下集束超音波治療結果の検討 第 63 回日本定位・機能神経外科学会 2024/2/3(札幌)
- 26 杉山 純平 パーキンソン病に対する STN-DBS の再調整例における刺激範囲の評価 第 83 回日本脳神経外科学会近畿支部学術集会 2023/4/8(大阪)
- 27 杉山 純平 視床中間腹側核 MRI ガイド下集束超音波治療合併症例の標準脳での検討 第 63 回日本定位・機能神経外科学会 2024/2/3(札幌)
- 28 大槻 和也, 澤田 真寛, 西田 南海子, 笠島 一洋, 羽生 敬, 山下 成仁, 戸田 弘紀 片側視床肥大により高周波視床破壊術定位座標の調整を要した本態性振戦の一例 第 63 回日本定位・機能神経外科学会 2024/2/3(札幌)
- 29 大槻 和也 診断エラー・システムエラーに関連した脳神経外科医療過誤訴訟の分析 第 82 回日本脳神経外科学会総会 2023/10/26(横浜)
- 30 西田南海子, 下地啓五, 澤田真寛, 林 英樹, 石守崇好, 奥村亮介, 高橋牧郎, 戸田弘紀 Extensive microstructural changes in iNPH with tremor: Potential conceptual overlap with ET-plus 13th Scientific Meeting of the Asian Australasian Society for Stereotactic and Functional Neurosurgery (AASSFN2023) 2023/4/28(大阪)
- 31 西田南海子 正常圧水頭症の臨床における Consensus & Controversy 第 43 回日本脳神経外科コンgres総会 2023/4/20(大阪)
- 32 西田南海子, 澤田真寛, 樽野陽亮, 山下成仁, 羽生敬, 吉崎航, 北村和士, 杉山純平, 西太郎, 大島美希, 佐竹 裕輝, 高橋牧郎, 金子鋭, 石守崇好, 奥村亮介, 戸田弘紀 MRI ガイド下集束超音波治療における脳萎縮の影響 第 82 回日本脳神経外科学会総会 2023/10/27(横浜)
- 33 西田南海子, 箸方宏州, 池田直廉, 北村和士, 羽生敬, 澤田真寛, 武部軌良, 石橋良太, 林英樹, 戸田弘紀 脳室腹腔シャント機能不全の再建時における軟性鏡の役割 第 30 回日本神経内視鏡学会 2023/11/16(名古屋)
- 34 西田南海子, 澤田 真寛¹, 樽野 陽亮², 山下 成仁¹, 羽生 敬¹, 吉崎 航¹, 北村 和士¹, 杉山 純平¹, 笠島 一洋¹, 大槻 和也¹, 西 太郎³, 佐竹 裕輝⁴, 金子 鋭², 石守 崇好³, 奥村 亮介³, 戸田 弘紀¹ MRI ガイド下集束超音波治療における脳容積の影響 第 6 回日本経頭蓋 MRgFUS 学会 2023/12/16(大阪)
- 35 西田南海子, 澤田真寛, 杉田義人, 樽野陽亮, 大槻和也, 山下成仁, 羽生敬, 杉山純平, 笠島一洋, 西太郎, 佐竹裕輝, 金子鋭, 石守崇好, 奥村亮介, 大洞佳代子, 戸田弘紀 頭蓋内組成評価に基づいた MRgFUS 治療効率の検討 第 63 回日本定位・機能神経外科学会 2024/2/3(札幌)
- 36 西田南海子, 下地啓五, 永田奈々恵, 裏出良博, 陣上直人, 奥村亮介, 松本禎之, 石川正恒, 戸田弘紀 髄液中リポカリン型プロスタグランジン D 合成酵素は特発性正常圧水頭症における Glymphopathy を反映する 第 25 回日本正常圧水頭症学会 2024/2/17(大阪)
- 37 西田南海子, 下地啓五, 大洞佳代子, 奥村亮介, 石川正恒, 戸田弘紀 正常圧水頭症における振戦と小脳・視床・皮質路の白質障害について 第 25 回日本正常圧水頭症学会 2024/2/17(大阪)
- 38 笠島 一洋, 箸方 宏州, 大槻 和也, 山下 成仁, 羽生 敬, 武部 軌良, 澤田 真寛, 石橋 良太, 林英樹, 西田 南海子, 戸田 弘紀 腫瘍塞栓術後に中硬膜動脈(MMA)-後硬膜動脈(PMA)の潜在的吻合を介して多発脳梗塞を来した髄膜腫の一例 第 84 回日本脳神経外科学会近畿支部学術集会 2023/9/2(大阪)
- 39 笠島 一洋, 箸方 宏州, 大槻 和也, 山下 成仁, 羽生 敬, 武部 軌良, 澤田 真寛, 石橋 良太, 林英樹, 西田 南海子, 戸田 弘紀 中硬膜動脈(MMA)-後硬膜動脈(PMA)の潜在的吻合により腫瘍栄養血管塞栓術後に多発脳梗塞を来した髄膜腫の一例 日本脳神経外科学会第 82 回学術総会 2023/10/25(横浜)
- 40 山下成仁 澤田真寛 大槻和也 羽生敬 笠島一洋 武部軌良 箸方宏州 石橋良太 林英樹 西田南海子 戸田弘紀 拡散強調画像 ADC 低値が診断を示唆した成人髄芽腫の 1 例 第 83 回日本脳神経外科学会近畿支部学術集会 2023/4/8(大阪)
- 41 山下成仁 林英樹 大槻和也 羽生敬 笠島一洋 武部軌良 澤田真寛 箸方宏州 石橋良太 西田南海子 戸田弘紀 Bow Hunter's Stroke に対して C1-2 後方固定術を施行した 1 例 第 84 回日本

脳神経外科学会近畿支部学術集会 2023/9/2(大阪)

- 4 2 武部 軌良, 大槻 和也, 羽生 敬, 山下 成仁, 杉山 純平, 笠島 一洋, 澤田 真寛, 箸方 宏州, 石橋 良太, 林 英樹, 西田 南海子, 戸田 弘紀 外視鏡手術による開頭腫瘍摘出術の術式変化-顕微鏡手術と比べて何が変わったか- 第 82 回日本脳神経外科学会総会 2023/10/26(横浜)
- 4 3 武部 軌良, 大槻 和也, 羽生 敬, 山下 成仁, 杉山 純平, 笠島 一洋, 澤田 真寛, 箸方 宏州, 石橋 良太, 林 英樹, 西田 南海子, 戸田 弘紀 外視鏡下での仰臥位 transfalpine approach Exoscopic transfalpine approach in supine position 第 28 回日本脳腫瘍の外科学会 2023/9/29(長崎)
- 4 4 武部 軌良, 大槻 和也, 山下 成仁, 杉山 純平, 大島 仁実, 山本 健太, 笠島 一洋, 杉田 義人, 箸方 宏州, 石橋 良太, 林 英樹, 西田 南海子, 戸田 弘紀 当院での微小血管減圧術の硬膜閉創時の手技の後方視検討 第 26 回日本脳神経減圧術学会 2024/2/1(札幌)
- 4 5 武部 軌良 当院での Novo TTF の使用経験 京都脳腫瘍セミナー 2023/7/8(大阪)
- 4 6 羽生 敬, 石橋 良太, 北村 和士, 弓場 吉哲, 本庄 原, 西田 南海子, 林 英樹, 箸方 宏州, 武部 軌良, 澤田 真寛, 元家 亮太, 吉崎 航, 杉山 純平, 山下 成仁, 戸田 弘紀 DNA メチル化解析が診断に有用であった第三脳室内下垂体細胞腫の一例 第 83 回日本脳神経外科学会近畿支部学術集会 2023/4/8
- 4 7 Takashi Hanyu, Namiko Nishida, Hideki Hayashi, Ryota Ishibashi, Hirokuni Hashikata, Masahiro Sawada, Noriyoshi Takesue, Kasashima Kazuhiro, Masahito Yamashita, Ootsuki Kazuya, Hiroki Toda. Vertebral artery tortuosity and posterior cranial fossa volume in patients with hemifacial spasm. AASSFN 2023 2023/4/28
- 4 8 羽生 敬, 石橋 良太, 北村 和士, 弓場 吉哲, 本庄 原, 西田 南海子, 林 英樹, 箸方 宏州, 武部 軌良, 澤田 真寛, 笠島 一洋, 山下 成仁, 大槻 和也, 戸田 弘紀 DNA メチル化解析が診断に有用であった第三脳室内下垂体細胞腫の一例 第 41 回日本脳腫瘍病理学会 2023/5/26
- 4 9 羽生 敬 大槻 和也 澤田 真寛 西田 南海子 樽野 陽亮 笠島 一洋 山下 成仁 金子 鋭 戸田 弘紀 MR ガイド下集束超音波治療に高周波視床破壊術を追加した本態性振戦と局所性ジストニアの一例 第 84 回日本脳神経外科学会近畿支部学術集会 2023/9/2
- 5 0 羽生 敬, 武部 軌良, 西田 南海子, 林 英樹, 石橋 良太, 箸方 宏州, 澤田 真寛, 笠島 一洋, 山下 成仁, 大槻 和也, 加藤 茂久, 足立 健彦, 戸田 弘紀 挿管下に覚醒下手術を行い摘出した非優位半球神経膠腫の 2 例 第 28 回日本脳腫瘍の外科学会 2023/9/29

脳神経内科

- 1 松本佳己、奥田真也、津島孝太郎、石田光弘、森内俊達、岡良祐、今中翔平、後藤昌広、樽野陽亮、宮本将和、小松研一、金子鋭 FDG-PET に基づく経気管支肺生検にて診断に至った血管内リンパ腫の一例 第 65 回亀山正邦記念神経懇話会 2023/12/10(京都)
- 2 永田遼、森内俊達、奥田真也、石田光弘、岡良祐、松本佳己、今中翔平、後藤昌広、樽野陽亮、宮本将和、小松研一、金子鋭 IVIg が著効した Acute oropharyngeal palsy (AOP) の 1 例 日本神経学会 第 126 回近畿地方会 2023/12/16(大阪)
- 3 小松研一 内科診療基本知識 Up to date ～日常診療で遭遇するしびれ～ 内科学会 第 241 回近畿地方会 教育セミナー 2023/9/2(大阪)
- 4 丸山浩二、小松研一、石田光弘、松本佳己、森内俊達、岡良祐、今中翔平、後藤昌広、奥田真也、樽野陽亮、宮本将和、杉山純平、石橋良太、戸田弘紀、金子鋭 緊張型頭痛として治療されていた男性が意識障害で救急搬送され、脳脊髄液減少症による両側硬膜下血腫と診断した一例 日本神経学会 第 127 回近畿地方会 2024/3/3(大阪)
- 5 森内俊達、小松研一、石田光弘、津島孝太郎、松本佳己、岡良祐、今中翔平、後藤昌広、奥田真也、樽野陽亮、宮本将和、金子鋭 初めて家族歴が確認された E200G 変異を伴うクロイツフェルト・ヤコブ病の 1 例 第 64 回亀山正邦記念神経懇話会 2023/6/18(大阪)
- 6 松本佳己、宮本将和、石田光弘、津島孝太郎、岡良祐、森内俊達、今中翔平、後藤昌広、奥田真也、樽野陽亮、小松研一、金子鋭 HSV-2 髄膜炎後に椎骨動脈解離を認めた 1 例 日本神経学会 第 125

回近畿地方会 2023/7/1(大阪)

- 7 玉城駿介、古川公嗣、津島孝太郎、石田光弘、岡良祐、松本佳己、森内俊達、今中翔平、後藤昌広、奥田真也、樽野陽亮、宮本将和、小松研一、金子鋭 両側視床外側に病変を認めた意識障害の一例 第145回大阪神経内科の集い 2023/7/5(大阪)
- 8 樽野陽亮 ここまで来た！パーキンソン病に対する脳深部刺激療法（DBS） こういうタイミングがいい～DATを含めた実施施設への紹介の検討～ 第64回日本神経学会学術大会 2023/6/2(千葉)
- 9 樽野陽亮 48才女性 右下肢歩行障害 第17回パーキンソン病・運動障害疾患コンgres 2023/7/22(大阪)
- 10 樽野陽亮 デバイス補助療法（DAT） 第17回パーキンソン病・運動障害疾患コンgres、同第6回PDナース・メディカルスタッフ研修会 2023/7/22(大阪)
- 11 樽野陽亮 パーキンソン病経過中に認めた歩行障害の2例 第8回 MDSJ Video Forum 2023/12/17(大阪)
- 12 樽野陽亮 脳神経外科・脳神経内科 共に歩むパーキンソン病治療 ～ デバイス補助療法における最近の話題～ 第6回中四国機能外科懇話会 2024/3/30(山口)
- 13 樽野陽亮 手の震えの謎と解決法！ 第4回 北野病院 みんなの医療セミナー 2023/9/1(大阪)
- 14 樽野陽亮 本態性振戦・パーキンソン病における震えへの治療戦略 ～ 内科医として薬物治療から外科的治療連携いろは～ 関西北陸 機能的神経治療オンデマンドセミナー 2023/12/4(オンライン)
- 15 樽野陽亮 パーキンソン病治療のパラダイムシフト ～適切な治療選択肢を提示できるために診療update～ 医学研究所北野病院 K2-net 2024/2/15(オンライン)
- 16 Y. Tsuboi, T. Hasegawa, Y. Shimo, S. Kaneko, M. Tomiyama, K. Kashiara, S. Chiu, T. Yamaguchi Impact of istradefylline on the onset of dyskinesia in Parkinson's Disease patients with wearing off: a randomized controlled study (ODYSSEI) International Congress of Parkinson's Disease and Movement Disorders 2023/8/27-31(Copenhagen, Denmark)

眼科

- 1 橋本宗典 免疫チェックポイント阻害剤ペムプロリズマブ投与中に原田病様症状を呈した1例 2023.5.20 大阪北地区病診連携の会(大阪)
- 2 玉垣瑛 宮原晋介 杉浦楓 兜坂明由 泉谷祥之 遠谷寛人 橋本宗典 山川百李子 田邊晶代 チン氏帯脆弱症例に対する眼内レンズ嚢内縫着術の有効性について 2023.11. 京大眼科同窓会学会(京都)
- 3 泉谷祥之 難治性糖尿病黄斑浮腫に対して嚢胞様黄斑切開を施行した症例 2023.11.30. 第146回北大阪眼科セミナー眼科臨床検討会(大阪)
- 4 遠谷寛人 眼窩蜂窩織炎様症状を呈した海綿静脈洞血栓症の1例 2023.11.30. 第146回北大阪眼科セミナー眼科臨床検討会(大阪)
- 5 橋本宗典 免疫チェックポイント阻害剤ペムプロリズマブ投与中に原田病様症状を呈した1例（その後） 2023.11.30. 第146回北大阪眼科セミナー眼科臨床検討会(大阪)
- 6 宮原晋介 北野病院における最近の黄斑円孔の治療成績について 2023.11.30. 第146回北大阪眼科セミナー眼科臨床検討会(大阪)
- 7 田邊晶代 高度近視緑内障に対するレクトミー術後の視機能変化 2023.11.30. 第146回北大阪眼科セミナー眼科臨床検討会(大阪)
- 8 泉谷祥之 難治性糖尿病黄斑浮腫に対して嚢胞様黄斑切開を施行した症例 2024.2.4. 第47回日本眼科手術学会総会(京都)
- 9 田邊晶代 高度近視眼に対する緑内障手術～リアルワールドの一端～ 2024.3.9. Retina Glaucoma Club (大阪)

整形外科

- 1 佐治隆彦. 特発性膝骨壊死に対する高位脛骨骨切り術と骨粗鬆症. 第3回 KUC. 2023/6/23, (大阪)
- 2 佐治隆彦. 高位脛骨骨切り術と半月板縫合術. 第4回京整会膝カンファレンス. 2023/7/7, (京都)
- 3 室谷和弘、坂本昭夫、野口貴志、三田村昇吾、馬谷直樹、戸口田淳也、松田秀一. 筋肉内伸展を呈したベーカー嚢腫. 第141回中部日本整形外科災害外科学会. 2023/10/6-7, (神戸)

【講演】

- 4 太田雅人. 頸椎椎弓根スクリュー固定 - 強固な固定の魅力と椎骨動脈損傷回避の工夫 -. 第34回楠整会. 2024/1/19, (大阪)
- 5 石橋聖之. 頸椎除圧固定術直後に著しい前頸部腫脹を来した症例. 第34回楠整会. 2024/1/19, (大阪)

形成外科

- 1 石川 奈美子 梶川珠未, 武田紘司, 武田孝輔, 鈴木義久 Sientra 社のシリコンインプラント入れ替え手術時に自家脂肪移植を行った2症例 第11回日本乳房オンコプラスチックサージャリー学会総会 2023/9/21、22(茨城)
- 2 石川 奈美子 梶川珠未, 武田紘司, 武田孝輔, 鈴木義久 骨折部が眼球赤道部より背側に認められる眼窩底骨折に対し上顎洞バルーン挿入法による手術を施行した7例 第41回日本頭蓋顎顔面外科学会学術集会 2023/11/9、10(兵庫)
- 3 石川 奈美子 梶川珠未, 武田紘司, 武田孝輔, 鈴木義久 原発性下肢下腹部陰部リンパ浮腫に対し左下肢リンパ管細静脈吻合術陰茎減量術を施行した1例 第134回関西形成外科学会学術集会 2023/7/9(大阪)
- 4 石川 奈美子 梶川珠未, 武田紘司, 武田孝輔, 鈴木義久 進行性癌患者に併発したリンパ浮腫に対しリンパ管細静脈吻合手術を行った3例 第66回日本形成外科学会総会・学術集会 2023/4/26～28(長崎)
- 5 武田孝輔, 梶川珠未, 武田紘司, 石川奈美子, 鈴木義久 両眼視を行っていない患者の優位眼の眼窩骨折の治療 第66回日本形成外科学会総会 2023/4/26～28(長崎)

耳鼻咽喉科・頭頸部外科

- 1 Kanemaru SI. Beyond the Limit - Regeneration of the Tympanic Membrane- AAO-HNSF 2023 Annual Meeting & OTO Experience Oct.03, 2023 Nashville, TN, USA
- 2 Kanemaru SI. Beyond the Limit - Regeneration of the Tympanic Membrane - Future technology and TICI, The 14th APSCI 2023, Nov.11, Seoul, Korea.
- 3 Kanai R. The methods of eardrum regenerative therapy EES 12TH HANDS-ON SEMINAR IN YAMAGATA Sponsored Symposium 2024/1/14 Yamagata, Japan
- 4 金丸眞一. 先端的治疗のシーズから保険適用への道のり 日本耳科学会学術講演会 2023年11月04日 Gメッセ群馬、群馬県
- 5 金井理絵 鼓膜再生療法ことはじめー適応判断・手技・術後フォローのステップー 鼓膜再生療法をはじめよう！～基本から術後管理まで～ 2023/7/21 金沢、石川県
- 6 金井理絵 術前の中耳炎の感染制御 第24回京都側頭骨手術手技研究会 2024/1/13 京都府
- 7 山口智也 鼓膜再生療法の適応判定と基本手 第一回鼓膜再生療法講習会 2024/2/22 大阪
- 8 金井理絵 鼓膜再生療法・初回手術後の対応と術後管理 第一回鼓膜再生療法講習会 2024/2/22 大阪
- 9 金丸眞一 鼓膜再生療法とその可能性 第一回鼓膜再生療法講習会 2024/2/22 大阪
- 10 金丸眞一、高橋優宏、金井理絵. 鼓膜再生療法による治療戦略 - 慢性化膿性中耳炎 - 第124回日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会総会 2023年5月19日 福岡県
- 11 金井理絵: 慢性中耳炎の鼓膜再生療法を成功に導くポイント 第124回日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会総会 2023/5/19 福岡県
- 12 金丸眞一、日高浩史、鈴木雅明. より良い聴力改善のコツー鼓膜再生療法ー 第68回日本聴覚医学会総会 2023年10月12日 幕張メッセ 千葉

- 1 3 金丸眞一 これからの鼓膜再生療法 ―鼓膜再生療法の応用― 第33回日本耳科学会 2023年11月2日 Gメッセ群馬、高崎、群馬県
- 1 4 金丸眞一 鼓膜再生療法 ―補聴器の可能性をさらに広げる― 第36回日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会秋季大会 2023年11月19日 横浜、神奈川県
- 1 5 金丸眞一 内視鏡下の鼓膜再生療法 第12回内視鏡下耳科手術ハンズオンセミナーin 山形 2024年1月14日 山形県
- 1 6 金丸眞一 鼓膜再生療法と既存治療との違い ―石灰化を有する鼓膜穿孔症例をどう攻略するか―日本頭頸部外科学会 2024年2月1日 愛媛県
- 1 7 山口 智也, 金丸 眞一 鼓膜再生療法における石灰化―その特徴と対処法― 第33回日本頭頸部外科学会総会イブニングセミナー, 2024年2月1日 愛媛県
- 1 8 金丸眞一、金井理絵、山口智也、北真一郎、柚木稜平、岡元淳、熊澤明子、吉田季来、原田博之、前谷俊樹. 鼓室硬化症症例に対する鼓膜再生療法 第124回日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会総会 2023年5月19日 福岡県
- 1 9 山口智也、金丸眞一、金井理絵、前谷俊樹、原田博之、吉田季来、北真一郎、熊澤明子、柚木稜平、岡元淳. 鼓膜再生療法における小穿孔の石灰化症例 第124回日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会総会 2023年5月18日 福岡県
- 2 0 北真一郎、金丸眞一、金井理絵、山口智也、柚木稜平、岡元淳、熊澤明子、吉田季来、原田博之、前谷俊樹. 当院における小児鼓膜穿孔症例に対する鼓膜再生療法 第124回日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会総会 2023年5月19日 福岡県
- 2 1 白井良宜、原田博之、熊澤明子、柚木稜平、山口智也、北 真一郎、吉田季来、金井理絵、金丸眞一、前谷俊樹. 当科初診で梅毒と診断された症例 第365回日耳鼻大阪地方連合会例会 2023年10月7日、大阪府
- 2 2 金井理絵、金丸眞一、山口智也、北 真一郎、柚木稜平、熊澤明子、白井良宜、吉田季来、前谷俊樹 高齢者における鼓膜再生療法の検討 第33回日本耳科学会 2023/11/2 高崎、群馬県
- 2 3 山口 智也, 金丸 眞一, 金井 理絵, 北 真一郎, 柚木 稜平, 熊澤 明子, 白井 良宜, 吉田 季来, 前谷 俊樹 鼓膜再生療法における石灰化が穿孔サイズと聴力に与える影響について 第33回日本耳科学会 2023年11月2日, 群馬県
- 2 4 柚木稜平、金井理絵、山口智也、北真一郎、熊澤明子、白井良宜、吉田季来、前谷俊樹、金丸眞一：術後耳に対する鼓膜再生療法の検討. 第33回日本耳科学会総会・学術講演会, 2023年11月2日 群馬県
- 2 5 白井良宜. 当院で好酸球性副鼻腔炎に対してデュピクセントを投与した症例の検討 第3回好酸球性副鼻腔炎 Total Management Seminar 2023年11月25日, 大阪府
- 2 6 白井良宜、原田博之、熊澤明子、柚木稜平、山口智也、北 真一郎、吉田季来、金井理絵、金丸眞一、前谷俊樹. 当科初診で梅毒と診断された症例 第44回京都耳鼻咽喉科研究会 2023年12月2日, 京都府
- 2 7 柚木稜平、伊木健浩、藤村慎太郎、竹林慎治、牛呂幸司、柊慎治、嘉田真平、池上聡、隈部洋平、大森孝一：多施設共同研究による喉頭アミロイドーシスの臨床的検討. 第36回日本喉頭科学会総会・学術講演会, 2024年3月7-8日, 京都府.
- 2 8 白井良宜、山口智也、原田博之、熊澤明子、柚木稜平、北 真一郎、吉田季来、金井理絵、金丸眞一、前谷俊樹. 診断確定に10ヶ月を要した声門下MALTリンパ腫の1例 第366回日耳鼻大阪地方連合会例会 2024年2月3日, 大阪府
- 2 9 白井良宜、山口智也、原田博之、熊澤明子、柚木稜平、北 真一郎、吉田季来、金井理絵、金丸眞一、前谷俊樹. 診断確定に10ヶ月にわたり計9回の生検を要した声門下MALTリンパ腫の1例 第36回日本喉頭科学会 2024年3月8日, 京都府
- 3 0 柚木稜平、金井理絵、山口智也、北真一郎、岡元淳、熊澤明子、吉田季来、原田博之、前谷俊樹、金丸眞一. 外傷性鼓膜穿孔に対する鼓膜再生療法の検討 第124回日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会総会 2023年5月21日 福岡県
- 3 1 金井理絵、山口智也、北真一郎、柚木稜平、岡元淳、熊澤明子、吉田季来、原田博之、前谷俊樹、

小児科

- 1 永田徹、中川権史、羽田敦子、鶴見文俊、宇佐美亜由子、金森良介、藤尾光、高柳俊亮、遠藤知美、塚本達雄、秦大資 高血圧緊急症・ネフローゼ症候群を呈し、末期腎不全から腹膜透析に至った NFKB2 異常症の 1 例第 126 回日本小児科学会学術集会 2023 年 4 月 14~16 日東京都
- 2 酒井達紘、吉岡孝和、中川隆太郎、松村誠紀、塚原堯、高屋龍生、羽田敦子、岡元淳、金井理絵、金丸眞一、中島俊樹、井上大生、秦大資 全身型若年性特発性関節炎に *Mycobacterium abscessus* による難治性中耳炎を合併した 1 例第 126 回日本小児科学会学術集会 2023 年 4 月 14~16 日東京都
- 3 小林和博、羽田敦子、井本和紀、覺野重毅、柴多渉、山田康一、川口博資、櫻井紀宏、高橋有、上田覚、掛屋弘 *Enterobacter* 属および *Klebsiella aerogenes* 菌血症に対する第 3 世代セファロスポリンの決定的治療法としての臨床的評価第 97 回日本感染症学会総会・学術講演会・第 71 回日本化学療法学会学術集会合同学会 2023 年 4 月 28 日-30 日神奈川県
- 4 辻本考平、丸毛聡、中塚由香利、宇野将一、藤川潤、羽田敦子 次世代シーケンサーを用いたメロペネムおよびタゾバクタム/ピペラシリンによる腸内細菌叢への影響の比較(会議録)第 97 回日本感染症学会総会・学術講演会・第 71 回日本化学療法学会学術集会合同学会 2023 年 4 月 28 日-30 日神奈川県
- 5 辻本考平、丸毛聡、中塚由香利、宇野将一、藤川潤、羽田敦子 次世代シーケンサーを用いたメロペネムおよびタゾバクタム/ピペラシリンによる腸内細菌叢への影響の比較(会議録)第 97 回日本感染症学会総会・学術講演会・第 71 回日本化学療法学会学術集会合同学会 2023 年 4 月 28 日-30 日神奈川県
- 6 梶本智史、熊倉啓、永田徹、兵頭勇紀、高折徹、塩田光隆 抗 MOG 抗体関連疾患の 4 小児例第 65 回日本小児神経学会 2023 年 5 月 26 日岡山県
- 7 塚原堯、鶴見文俊、渡辺健 当院で経験した小児 COVID-19 関連多系統炎症性症候群の 2 例第 59 回日本小児循環器学会学術集会 2023 年 7 月 6-8 神奈川県(ポスター発表)
- 8 酒井達紘、鶴見文俊、渡辺健 当院における川崎病再発症例の検討第 59 回日本小児循環器学会学術集会 2023 年 7 月 6-8 神奈川県(ポスター発表)
- 9 坂口大典、鶴見文俊、酒井達紘、金森良介、渡辺健 川崎病亜急性期に生じたトロポニン I 上昇を伴う心外膜炎に対して中等量アスピリンが奏効した 2 例第 59 回小児循環器学会総会・学術集会 2023 年 7 月 8 日神奈川県(ポスター発表)
- 10 山形雄伸、鶴見文俊、渡辺健 胎児心臓超音波検査にて動脈管形態異常を認めた症例の経過について第 59 回日本小児循環器学会学術集会 2023 年 7 月 6-8 神奈川県(ポスター発表)
- 11 磯部葵、鶴見文俊、渡辺健、坂口平馬、黒寄健一、市川肇 周期性嘔吐症と診断された右側相同・Fontan 術後の一例第 59 回日本小児循環器学会学術集会 2023 年 7 月 6-8 神奈川県(ポスター発表)
- 12 金森良介、鶴見文俊、酒井達紘、塚原堯、渡辺健 Carvedilol 投与により、軟部肉腫再発例に対する Pazopanib 投与が可能であったがん治療関連心機能障害の一例第 59 回日本小児循環器学会学術集会 2023 年 7 月 6-8 神奈川県(ポスター発表)
- 13 水本洋 挿管もルートも苦手な貴方でも、救命できますラリマとへそで日本周産期新生児医学会 2023 年 7 月 10 日愛知県
- 14 山形雄伸、坂口大典、藤尾光、三上真充、塩田光隆、宗田武、園田真理、遠藤耕介、佐藤正人、羽田敦子 二次性単一症候性夜尿症の治療中に卵巣未分化胚細胞腫の診断に至った 9 歳女児第 34 回日本夜尿症・尿失禁学会学術集会 2023 年 7 月 15 日-16 日長野県
- 15 新田優紀子、山口かおり、田中かおり、久保優佳、羽田敦子 DVSS 導入による昼間尿失禁患児への適切なウロセラピー実施に向けた取り組み第 34 回日本夜尿症・尿失禁学会学術集会 2023 年 7 月 15 日-16 日長野県
- 16 坂口大典、三上真充、山形雄、藤尾光、秦大資、園田真理、遠藤耕介、佐藤正人、宗田武、塩田光隆 便秘症・夜尿症に対する長期治療中に急激な腹痛が出現し、救急外来を受診した卵巣原発未分化

- 胚細胞腫の9歳女児第65回小児血液・がん学会学術集会 2023年9月30日北海道
- 17 三上真充、秦大資、塩田光隆頭頸部領域に多発した、乳児期発症の腹腔外発生デスモイド型線維腫症の治療経験第65回日本小児血液・がん学会学術集会 2023年9月29日-10月1日北海道
- 18 古川智偉、熊倉啓、高折徹、兵頭勇紀、岡本伸彦、塩田光隆上半身優位の筋力低下所見を呈した、CLTC 遺伝子異常症の男児例第73回日本小児神経学会近畿地方会 2023年9月30日京都府
- 19 兵頭勇紀、永田徹、梶本智史、高折徹、熊倉啓、岡本伸彦、山口宏 PACS1 神経発達症の2症例第56回日本てんかん学会 2023年10月20日東京都
- 20 三輪将大、水本洋、阿水利沙未診断のバセドウ病母体から出生し、遅発性に甲状腺機能亢進症を合併した早産児日本新生児成育医学会 2023年11月3日神奈川県
- 21 水本洋「新生児蘇生法の将来の可能性-みらいのカタチ-」今後、SGA (supraglottic airway) は必ず普及する日本新生児成育医学会 2023年11月3日神奈川県
- 22 成宮牧子、澤田優子、本田憲胤、水本洋、阿水利沙 NICU 入院経験のある児の3歳までの発達における母親の育児不安について—KHCoder による分析から—日本新生児成育医学会 2023年11月3日神奈川県
- 23 磯部葵、水本洋、阿水利沙 20.2g/dL のヘモグロビン差を認めた TAPS (Twin Anemia Polycythemia Sequence) 日本新生児成育医学会 2023年11月4日神奈川県
- 24 三上真充、秦大資、塩田光隆化学療法を選択した、乳児期発症のデスモイド型線維腫症の一例阪奈和小児がん研究会 (固形腫瘍) 2023年11月4日 Web 開催
- 25 中川隆太郎、羽田敦子、吉岡孝和オミクロン株 (BA.1.1.1、BA.1.1.2) 流行期における COVID-19 の特徴インフルエンザ・RSV 感染症との鑑別診断の要諦第55回日本小児感染症学会総会・学術集会 2023年11月25-26日愛知県
- 26 小林喜実代、三上真充、木村はなこ、島本真弓、宇野たくみ、佐藤正人養育支援チーム報告例から見てきた課題～評価基準と今後の予防的支援について考える～日本こども虐待防止学会 2023年11月25日-11月26日滋賀県
- 27 木村はなこ、*三上真充*、小林喜実代、島本真弓、宇野たくみ、佐藤正人虐待対策チームの報告件数から見る教育体制の課題日本こども虐待防止学会 2023年11月25日-11月26日滋賀県
- 28 吉岡孝和保険適応に加わったステロイドパルス、追加治療としての現状と課題第48回近畿川崎病研究会 2024年3月2日大阪府
- 29 水本洋ためらうな新生児搬送のポイントはここ大阪府助産師会定例研修会 2024年3月9日大阪府
- 30 坂口大典、三上真充、山形雄伸、藤尾光、秦大資、園田真理、遠藤耕、佐藤正人、宗田武、塩田光隆便秘症・夜尿症に対する長期治療中に急激な腹痛が出現した卵巣原発未分化胚細胞腫の9歳女児の一例第37回近畿小児科学会 2024年3月10日大阪府
- 31 塚原堯、中川権史、高田尚志、中川隆太郎、三輪将大、磯部葵、山形雄伸、鶴見文俊、羽田敦子、塩田光隆当院で経験した小児 COVID-19 関連多系統炎症性症候群 (MIS-C) の3例第37回近畿小児科学会 2024年3月10日大阪府
- 32 光吉康太、中川権史、中里亦思、中川隆太郎、山形雄伸、吉岡孝和、羽田敦子、秦大資、塩田光隆アダリムマブが著効した β D グルカン高値の若年性脊椎関節炎の1例第37回近畿小児科学会 2024年3月10日大阪府
- 33 後藤直人、兵頭勇紀、熊倉啓、光吉康太、三浦崇徳、三上真充、塩田光隆一過性意識障害、単発けいれん発作の精査中、D-dimer 上昇から頭蓋内出血に気付かれ身体的虐待が疑われた男児例第37回近畿小児科学会 2024年3月10日大阪府
- 34 藤田耕世、堀創馬、三輪将大、金奏希、磯部葵、羽田敦子、塩田光隆アデノウイルス性胃腸炎を疑われて入院後に 0-157 感染症が判明し HUS を発症した5歳女児第37回近畿小児科学会 2024年3月10日大阪府
- 35 中川隆太郎、羽田敦子、吉岡孝和オミクロン株 (BA.1.1.1、BA.1.1.2) 流行期における外来での統計データから分析される COVID19 の特徴第37回近畿小児科学会 2024年3月10日大阪府
- 36 三浦崇徳、高折徹、山形雄伸、兵頭勇紀、三上真充、熊倉啓、水本洋、秦大資、武内俊樹、塩田光隆 KCNQ2 遺伝子異常症に重症新生児黄疸が合併した1症例第37回近畿小児科学会 2024年3月10日

日大阪府

- 37 中里亦思、三輪将大、高田尚志、磯部葵、三上真充、中川権史、吉岡孝和、塩田光隆、秦大資慢性再発性多発骨髄炎を疑われ、病変が右腸骨と右上腕骨に局限していた急性リンパ性白血病の1例第37回近畿小児科学会 2024年3月10日大阪府
- 38 山本祐、三上真充、三輪将大、酒井達紘、園田真理、遠藤耕介、佐藤正人、秦大資、塩田光隆著明な体重減少を認めていたが、手術により経口摂取が可能になった正中弓状靱帯圧迫症候群の11歳女児例第37回近畿小児科学会 2024年3月10日大阪府
- 39 三上真充、塩田光隆頭頸部領域に多発した、乳児期発症の腹腔外発生デスモイド型線維腫症の治療経験第46回近畿小児血液・がん研究会 2024年3月16日和歌山県
- 40 水本洋 NICU の今、子どもたちの未来に願うこと森ノ宮医療大学卒業教育センター主催作業療法アップデート研修会 2024年3月23日大阪府

小児外科

- 1 佐藤正人 北野病院における胆道拡張症の移行支援の現状 第6回大阪移行期医療研修会 2023/1/28(大阪)
- 2 遠藤耕介、園田真理、諸富嘉樹、佐藤正人 外来にて経過観察中の先天性肺嚢胞性疾患の一例 第87回小児外科わからん会 2023/2/25(大阪)
- 3 佐藤正人 総論、ビデオセミナー 第15回小児内視鏡外科技術講習会 2023/2/25(川崎)
- 4 山田信子、黒川典子、丸外 聡、佐藤正人、本庶祥子 COVID-19 入院患者における血中 25-ヒドロキシビタミンD濃度および Zn 濃度と COVID-19 重症化の関連についての検討 第13回静脈経腸栄養管理指導者講習会 2023/3/11-12(佐賀)
- 5 遠藤耕介、東尾篤史、園田真理、諸富嘉樹、佐藤正人 当科における胃瘻造設術の治療成績の検討 第13回静脈経腸栄養管理指導者講習会 2023/3/11-12(佐賀)
- 6 遠藤耕介、園田真理、岩出珠希、諸富嘉樹、佐藤正人 当科における LPEC 術後に再手術を要した症例の検討 第22回日本 LPEC 研究会 2023/5/28(大阪)
- 7 岩出珠希、諸富嘉樹 会長 第22回日本 LPEC 研究会 2023/5/28(大阪)
- 8 佐藤正人 救急・外傷 第60回日本小児外科学会総会 2023/6/1-3(大阪)
- 9 佐藤正人、園田真理、遠藤耕介、諸富嘉樹 日本内視鏡外科学会技術認定医(小児外科)習得が手術成績に及ぼした影響の検討 第60回日本小児外科学会総会 2023/6/1-3(大阪)
- 10 遠藤耕介、嵯峨謙一、鈴木久美子、東尾篤史、服部健吾、武田昌克、園田真理、諸富嘉樹、佐藤正人 反復する腸重積症に対して再発予防の付加手術を施行した3例 第60回日本小児外科学会総会 2023/6/1-3(大阪)
- 11 遠藤耕介、武田昌克、園田真理、諸富嘉樹、佐藤正人 出生前に診断され胸腔鏡下に切除した右後縦隔気管支原性嚢胞の1例 第60回日本小児外科学会総会 2023/6/1-3(大阪)
- 12 園田真理、遠藤耕介、諸富嘉樹、佐藤正人 診断までに時間を要した1歳の急性虫垂炎の1例 第60回日本小児外科学会総会 2023/6/1-3(大阪)
- 13 園田真理、遠藤耕介、諸富嘉樹、佐藤正人 先天性胆道拡張症術後の肝内結石に対するダブルバルーン内視鏡治療症例の検討 第60回日本小児外科学会総会 2023/6/1-3(大阪)
- 14 遠藤耕介、諸富嘉樹、園田真理、佐藤正人 当科で緊急手術を施行した非新生児精巣捻転症例についての後方視的検討 第32回日本小児泌尿器科学会総会学術集会 2023/7/19-21(神戸)
- 15 岩出珠希、園田真理、遠藤耕介、高田斉人、佐藤正人 当院での鼠径部停留精巣固定術の検討 第32回日本小児泌尿器科学会総会学術集会 2023/7/19-21(神戸)
- 16 岩出珠希、高松由布子、園田真理、遠藤耕介、高田斉人、佐藤正人 市中病院での鈍的外傷の経験 第36回日本小児救急医学会学術集会 2023/7/22-23(幕張)
- 17 岩出珠希、園田真理、遠藤耕介、佐藤正人 胸腔鏡下腫瘍摘出術を行った2例 第59回日本小児外科学会近畿地方会 2023/8/26(大阪)
- 18 佐藤正人、園田真理、岩出珠希、遠藤耕介 当院における先天性胆道拡張症移行期医療の現状 第46回日本膵・胆管合流異常研究会 2023/9/9(岡山)

- 19 岩出珠希、鶴野雄大、園田真理、遠藤耕介、中尾 真、安福正男、佐藤正人 乳糜胸に対して胸腔鏡下右胸管結紮術を行った1例 第11回関西小児内視鏡外科研究会 2023/9/23(大阪)
- 20 岩出珠希、園田真理、遠藤耕介、佐藤正人 市中病院で治療を行った小児固形悪性腫瘍の検討 第65回日本小児血液・がん学会学術集会 2023/9/29-10/1(札幌)
- 21 園田真理、遠藤耕介、岩出珠希、佐藤正人 腹部鈍的外傷を契機に発見され、診断に難渋した臍鉤部 Solid-pseudopapillary neoplasm の1例 第65回日本小児血液・がん学会学術集会 2023/9/29-10/1(札幌)
- 22 岩出珠希、園田真理、遠藤耕介、高田斉人、佐藤正人 未成年の重症心身障害者への複数回の外科治療の経験 第33回日本小児外科 QOL 研究会 2023/10/7(徳島)
- 23 園田真理、岩出珠希、遠藤耕介、佐藤正人 当院における腹腔内停留精巣に対する二期的 Fowler-Stephens 術式の工夫 第42回日本小児内視鏡外科手術手技研究会 2023/10/26-27(博多)
- 24 佐藤正人、園田真理、岩出珠希、遠藤耕介 腹腔鏡下消化管バイパス手術時の自動縫合器エントリーホール閉鎖法についての検討 第42回日本小児内視鏡外科手術手技研究会 2023/10/26-27(博多)
- 25 岩出珠希、園田真理、遠藤耕介、佐藤正人 小児内視鏡手術における小腸での腸管吻合 第42回日本小児内視鏡外科手術手技研究会 2023/10/26-27(博多)
- 26 遠藤耕介、園田真理、岩出珠希、佐藤正人 臍部ポートの細径化で低侵襲化を試みた腹腔鏡下虫垂切除術の2例 第42回日本小児内視鏡外科手術手技研究会 2023/10/26-27(博多)
- 27 佐藤正人、園田真理、岩出珠希、遠藤耕介 腹腔鏡下噴門形成術における技術の伝承一技術講習会講師を経験して 第42回日本小児内視鏡外科手術手技研究会 2023/10/26-27(博多)
- 28 佐藤正人 手術手技の伝承の工夫 第42回日本小児内視鏡外科手術手技研究会 2023/10/26-27(博多)
- 29 東尾篤史、佐藤正人、遠藤耕介 虫垂炎穿孔に伴う小児汎発性腹膜炎に対する腹腔鏡下手術後の大建中湯の有効性と安全性 第27回日本小児外科漢方研究会 2023/10/27(博多)
- 30 岩出珠希、園田真理、遠藤耕介、佐藤正人 先天性疾患と後天性疾患での人工肛門症例の検討 第33回近畿小児ストーマ・排泄・創傷研究会 2023/11/25(西宮)
- 31 遠藤耕介、諸富嘉樹、園田真理、岩出珠希、佐藤正人 当科で経験した10歳以下漏斗胸手術症例の治療成績の検討 第22回 Nuss 法漏斗胸手術手技研究会 2023/11/25(福岡)
- 32 佐藤正人 小児胸腔鏡下肺切除の肝 第36回日本内視鏡外科学会総会 2023/12/7-9(横浜)
- 33 佐藤正人、園田真理、岩出珠希、遠藤耕介 Loe volume center における内視鏡外科技術認定医(小児外科)育成の現状と課題 第36回日本内視鏡外科学会総会 2023/12/7-9(横浜)
- 34 岩出珠希、園田真理、遠藤耕介、高田斉人、佐藤正人 重症心身障害者に内視鏡手術を併用して度王子に複数の手術を行った経験 第36回日本内視鏡外科学会総会 2023/12/7-9(横浜)
- 35 遠藤耕介、園田真理、岩出珠希、佐藤正人 出生前に診断され、腹腔鏡下に手術を行った中腸軸捻転を伴わない腸回転異常症の1例 第36回日本内視鏡外科学会総会 2023/12/7-9(横浜)
- 36 園田真理、岩出珠希、遠藤耕介、佐藤正人 待機的手術により腹腔鏡下切除しえた臍鉤部 Solid-pseudopapillary neoplasm の1例 第36回日本内視鏡外科学会総会 2023/12/7-9(横浜)
- 37 岩出珠希、園田真理、遠藤耕介、佐藤正人 外鼠径ヘルニアに対する LPEC 症例の検討：小児から成人まで 第36回日本内視鏡外科学会総会 2023/12/7-9(横浜)
- 38 遠藤耕介、園田真理、岩出珠希、佐藤正人 当科における技術認定医習得前後の修練の現状と成績 第36回日本内視鏡外科学会総会 2023/12/7-9(横浜)
- 39 岩出珠希、園田真理、遠藤耕介、佐藤正人 Low volume center 勾える A 群内視鏡外科手術教育の問題点 第36回日本内視鏡外科学会総会 2023/12/7-9(横浜)

薬剤部

- 1 小林 和博 症例から学ぶ細菌性肺炎 大阪抗菌薬倶楽部 2023/5/13(大阪市)
- 2 伊藤 俊和 医学研究所北野病院における院内フォーミュラー策定とその効果 大阪市北区薬剤師会生涯教育研修会 2023/6/17(大阪市(Web))

- 3 尾上 雅英 実務家教員と病院実習を行っている病院の立場から 第 8 回日本薬学教育学会大会 2023/8/19-20(熊本市)
- 4 近藤 篤 悪性リンパ腫に対する治療の実際と外来化学療法時のチェックポイント 大阪市北区薬剤師会生涯教育研修会 2023/8/26(大阪市(Web))
- 5 尾上 雅英 病院薬剤師として一緒に成長していきませんか？ 薬学生のための病院研究フェア 2023/9/3(大阪市(Web))
- 6 近藤 篤 悪心・嘔吐に対する支持療法 大阪がん薬物療法研究会 2023/9/3(大阪市(Web))
- 7 近藤 篤 北野病院における薬薬連携に関する取り組み 守口・門真 薬薬連携セミナー 2023/9/28(守口市)
- 8 高橋 有、小林 和博、上田 寛、尾上 雅英 バンコマイシン塩酸塩点滴静注用欠品時の抗 MRSA 薬使用量動向調査 第 33 回日本医療薬学会年会 2023/11/3-11/5(仙台市)
- 9 尾上 雅英 医療経営大学院で学んだ病院薬剤師の立場から 第 33 回日本医療薬学会年会 2023/11/3-11/5(仙台市)
- 10 三宅 麻文 ポリファーマシー対策 地域一体化に向けた現状と課題～病院薬剤師の立場から～ 第 33 回日本医療薬学会年会 2023/11/3-11/5(仙台市)
- 11 勝 啓子 吸入手技説明・解説・ロールプレイング 第 17 回 吸入指導ネットワーク研修会 2023/11/18(大阪市)
- 12 三宅 麻文 2023 年度健康教育講演会「正しく知って正しく備える」 相愛高等学校 2023/11/28(大阪市)
- 13 酒井 美理 病院で働いている先輩から実際に話を聞こう 神戸薬科大学 第2回病院就活ガイダンス 2023/12/2(神戸市(Web))
- 14 小林 和博 結核と非定型肺炎を考慮した *Haemophilus influenzae* 肺炎の症例 感染制御薬剤師エキスパートミーティング 第 29 回研究会 2023/12/9(京都市(ハイブリッド))
- 15 近藤 篤 北野病院における薬薬連携に関する取り組み 薬薬連携セミナー in OSAKA 2023/12//13(大阪市)
- 16 安倍さつき、伊藤俊和、高橋有、尾上雅英 トレーシングレポートから見た、かかりつけ薬局による外来化学療法患者への介入傾向 第 45 回日本病院薬剤師会近畿学術大会 2024/1/27-28(和歌山市)
- 17 酒井美理、伊藤俊和、高橋有、安倍さつき、尾上雅英 医薬品情報の提供媒体から考える資源の適正使用～紙媒体から電子媒体へ～ 第 45 回日本病院薬剤師会近畿学術大会 2024/1/27-28(和歌山市)

麻酔科

- 1 岡本峻和 宮崎嘉也 Nivolumab 投与による癌治療中に急激に生じた糖尿病性ケトアシドーシスの一例 集中治療医学会第 7 回関西支部学術集会 2023/7/29 (兵庫)
- 2 岡本峻和 黒寄明子 乳児臍胸に対する胸腔鏡下胸膜搔爬術の麻酔経験 日本小児麻酔学会第 28 回大会 2023/10/7 (福井)
- 3 黒寄明子 小児の処置における鎮静 一般病院で安全に行うために 小児麻酔学会第 28 回大会 2023/10/8 (福井)
- 4 黒寄明子 岡本峻和 吉盛太朗 小児腹腔鏡下鼠径ヘルニア根治術に声門上器具を使用した連続 140 例の検討：PLMA と i-gel の比較 日本臨床麻酔学会第 43 回大会 2023/12/8 (宮崎)
- 5 吉盛太朗 中村緑 足立健彦 ハローベスト装着を伴う頸椎後方固定術後の覚醒時興奮・せん妄を予防できた小児の一例 日本臨床麻酔学会第 43 回大会 2023/12/8 (宮崎)

集中治療部

- 1 岡本峻和 宮崎嘉也 Nivolumab 投与による癌治療中に急激に生じた糖尿病性ケトアシドーシスの一例 日本集中治療医学会第 7 回関西支部学術集会 2023/7/29 (兵庫)

救急科

- 1 平川昭彦、伊藤智佳子、王 徳雄、木内俊一郎、三上真充、園田真里、佐藤正人 虐待により肝損傷 IIIb 型を生じた生後 9 ヶ月の 1 例 第 15 回日本 Acute Care Surgery 学会(2023. 10) (千葉)
- 2 平川昭彦、伊藤智佳子、王 徳雄、木内俊一郎 二次救急病院における小児頭部外傷例の検討 第 51 回日本救急医学会総会(2023. 11) (東京)
- 3 王徳雄、Chang Chengwei、伊藤 智佳子、木内 俊一郎、平川 昭彦 外科的ドレナージが奏功した臀部 Morel Lavallee Lesion の一例 第 51 回日本救急医学会総会(2023. 11) (東京)
- 4 伊藤智佳子、王 徳雄、木内俊一郎、平川昭彦 民間病院における救急科診療看護師(NP)の活動と役割 第 51 回日本救急医学会総会(2023. 11) (東京)
- 5 廣瀬正幸、平川昭彦 コロナ禍における一般用医薬品による急性薬物中毒患者の動向 第 45 回日本中毒学会総会 (2023. 7) (埼玉)
- 6 廣瀬正幸、平川昭彦 新型コロナウイルス感染症(covid-19)流行後における急性薬物中毒患者の動向 第 26 回日本臨床救急医学会総会 (2023. 7) (東京)
- 7 廣瀬正幸、平川昭彦、山田成樹 COVID-19 流行前後の一般用医薬品による急性薬物中毒患者の動向 第 33 回日本医療薬学会年会 (2023. 11) (宮城)
- 8 秋山蒼、伊藤智佳子、王徳雄、石黒義孝、佐藤正人、平川昭彦 小児外傷性肝損傷 3 例の検討 第 60 回日本腹部救急医学会総会 (2024. 3) (福岡)

【座長】

- 9 平川昭彦 一般演題「大腸 3」第 60 回日本腹部救急医学会総会 (2024. 3) (福岡)
- 10 王徳雄 EMS system EMS Asia 2023 Tokyo (2023. 11) (東京)

【マスコミ関連】

- 11 王 徳雄 2023 年 8 月 3 日関西テレビ「news ランナー」熱中症患者の搬送は連日「気付かない熱中症」にご注意 水分をとって日傘をさして…なのに
- 12 平川 昭彦 2023 年 8 月 16 日関西テレビ「news ランナー」「人間の仕業じゃない」台風 7 号の爪痕徐々に明らかになる被害の実態 台風の後に潜む危険も
- 13 平川 昭彦 2023 年 10 月 15 日毎日放送 大阪の総合病院で大規模災害訓練…南海トラフ地震を想定 トリアージの手順など確認
- 14 平川 昭彦 2024 年 2 月 15 日関西テレビ「news ランナー」受験期のカフェインとり過ぎに注意

【社会貢献】

- 15 能登半島地震 JMAT 参加 (2024. 2. 28～3. 1) 平川昭彦

看護部

- 1 松本 忍 講師 創傷に関する局所陰圧療法 講師研究生 3 名に対して実施予定 京都橘大学看護教育研修センター 2023/10/13-2023/10/13
- 2 間 京佳 講師アシスタント リンパ浮腫セラピスト実技講習 一般社団法人 ICAA 2023/7/8-2023/7/9
- 3 間 京佳 講師アシスタント リンパ浮腫セラピスト実技講習 一般社団法人 ICAA 2023/7/8-2023/7/9
- 4 間 京佳 講師アシスタント リンパ浮腫セラピスト実技講習 一般社団法人 ICAA 2023/9/9-2023/9/10
- 5 間 京佳 講師アシスタント リンパ浮腫セラピスト実技講習 一般社団法人 ICAA 2023/9/9-2023/9/10
- 6 間 京佳 講師アシスタント リンパ浮腫セラピスト実技講習 一般社団法人 ICAA 2024/2/3-2024/2/4
- 7 間 京佳 講師アシスタント リンパ浮腫セラピスト実技講習 一般社団法人 ICAA

2023/12/2-2023/12/3

- 8 竹内 麻衣 講演 研修会シンポジウム「どうする、高齢者のインスリン～みんなで支えよう高齢糖尿病患者」 第 22 回大阪糖尿病患者担当者研修会 2023/7/2-2023/7/2
- 9 竹内 麻衣 インストラクター 2023 年度【診療報酬に関連した研修】糖尿病重症化予防フットケア研修 大阪府看護協会ナースングアート大阪 2023/8/19-2023/8/20
- 10 竹内 麻衣 座長 「is Training Seminar2023」 「is Training Seminar2023」 ホテルモントレ大阪 2023/9/8-2023/9/8
- 11 竹内 麻衣 講演 「糖尿病看護専門外来のしくみ」 医療法人社団 正名会 池田病院 2023/10/13-2023/10/13
- 12 竹内 麻衣 講演 「第 19 回シンメディカル糖尿病セミナー」 アットビジネスセンター大阪梅田 2023/11/11-2023/11/11
- 13 竹内 麻衣 講演 「第 24 回西東京合尿病心理と医療研究会」 国立市商業協同組合 さくらホール 2023/12/9-2023/12/9
- 14 亀澤 恵 講師 感染看護論 梅花女子大学 2023/10/4-2023/11/22
- 15 楠本 雅美 講演 「第 26 回大阪緩和ケア関連カンファレンス」 久光製薬大阪支店 2023/11/21-2023/11/21
- 16 金川 久美子 講演 関東甲信越地区医療担当者に対する心不全管理についての講演 日本ベーリンガーインゲルハイム 2023/9/20-2023/9/20
- 17 長谷川 美里 講師 「エンドオブライフケア」における基本的な知識と技術の習得および実践力の向上を目指す。1 回目エンドオブライフケアの基礎編/2 回目エンドオブライフケアの応用編 スミリンケアライフ株式会社 エレガーノ西宮 2023/7/13-2023/8/17
- 18 長谷川 美里 講師 「成人看護学援助論Ⅳ終末期にある人への看護」 香里ヶ丘看護専門学校 2023/11/1-2023/11/16
- 19 高木 優子 講師 アシスタント 救急処置法 アシスタント 園田学園女子大学 2023/6/30-2023/6/30
- 20 森田 早織 講師 助産論「助産士の専門性と役割」 梅花女子大学 2023/11/15-2023/11/15
- 21 田中 敦子 講演 第 56 回日本薬剤師学会学術大会 分科会 和歌山県立医科大学薬学部キャンパス 2023/9/18-2023/9/18
- 22 篠原 和子 講師 助産診断学技術学Ⅱ講義 大阪大学医学部保健学科 2023/6/14-
- 23 江口 美華 講師 小児看護学講義 梅花女子大学 2023/7/24-2023/7/24
- 24 寺井 美峰子 外部委員 医療の質、安全学会の依頼による岩手医科大学付属病院の医療事故調査委員会外部支援委員 岩手医科大学付属病院または WEB 会議 2023/1/1-2023/6/1
- 25 寺井 美峰子 外部委員 日本医療安全調査機構の医療事故調査制度の「再発防止委員会」の委員として委員会への出席 web 会議または日本医療安全調査機構 2023/4/1-2023/11/8
- 26 寺井 美峰子 外部委員 日本医療機能評価機構の患者安全部会の部会員の委託を受けて会議 web 会議または日本医療機能評価機構 2023/4/1-2024/3/31
- 27 寺井 美峰子 講師 愛知県看護協会 訪問看護認定看護師教育課程の講義 共通科目：医療安全学：医療安全管理 愛知県看護協会または Web ライブ配信（自宅） 2023/5/27-2023/7/1
- 28 寺井 美峰子 講演 宮城臨床研究主催の第 46 回自己血、輸血研修会の講演（1 時間） TKP ガーデンシティプレミアム仙台西口 2023/6/10-2023/6/10
- 29 寺井 美峰子 講師 認定看護管理者教育課程 ファーストレベルの講義 質管理 1：看護サービスの質管理（看護サービスの安全管理、看護サービスと記録） 岐阜県看護協会または自宅より Web 配信 2023/7/22-
- 30 寺井 美峰子 外部委員 日本看護管理学会からの依頼により日本医療安全調査機構のセンター調査・個別調査部会の部会員として個別調査部会に出席し、医療事故調査の報告書の審議を行う 日本医療安全調査機構 2023/8/9-2025 年 7 月頃
- 31 寺井 美峰子 講師 大阪医科薬科大学大学院看護研究科修士課程の講義 医療安全の質保証と安全管理 大阪市医科薬科大学 本部北キャンパス 2023/9/23-

- 3 2 寺井 美峰子 座長 医療の質・安全学会主催の「第 41 回医療安全管理者ネットワーク会議」 ニ
プロ株式会社本社 2023/9/30-2023/9/30
- 3 3 寺井 美峰子 外部委員 「最高質安全責任者（CQSO）養成研修」講義 RCA（Root Cause
Analysis）手法 名古屋大学医学部付属病院 2023/10/25-
- 3 4 寺井 美峰子 外部委員 日本医療安全調査機構の医療事故調査制度の「再発防止委員会」 web 会
議または日本医療安全調査機構 2023/11/9-2025/11/8
- 3 5 寺井 美峰子 講師 認定看護管理者教育課程 ファーストレベルの講義 質管理Ⅰ：看護サービスの
の質管理（看護サービスの安全管理、看護サービスと記録） 岐阜県看護協会または自宅より Web
配信 2023/11/11-
- 3 6 寺井 美峰子 講師 「最高質安全責任者（CQSO）養成研修」講義 FMEA（Failure Mode and
Effects Analysis）手法 名古屋大学医学部付属病院 2023/11/15-
- 3 7 寺井 美峰子 座長 第 18 回資料の質・安全学会学術集会教育セミナー 神戸国際会議場 第 10
会場 2023/11/25-2023/11/25
- 3 8 寺井 美峰子 座長 第 18 回資料の質・安全学会学術集会教育セミナー 株式会社メディシステム
ソリューション 2023/11/26-2023/11/26
- 3 9 寺井 美峰子 講師 認定看護管理者教育課程 セカンドレベルの講義 質管理Ⅱ：安全管理） 名
古屋大学医学部付属病院 2024/1/18-2024/1/18
- 4 0 寺井 美峰子 講師 大阪医科薬科大学看護キャリアサポートセンターでの講義医療の質保証と安
全管理 大阪医科薬科大学看護学部キャンパス 2024/1/20-
- 4 1 橋本 葉子 講師 成人看護援助論Ⅱ（腎・泌尿器） 学校法人行岡保健衛生学園 行岡医学技術専
門学校 2023/10/6-2023/11/24
- 4 2 橋本 葉子 講師 成人看護援助論Ⅱ（腎・泌尿器） 学校法人行岡保健衛生学園 行岡医学技術専
門学校 2023/12/4-
- 4 3 大西 泉 外部委員 日本手術看護学会近畿地区会議 株式会社ホギメディカル大阪支店会議室
2023/5/13-2023/5/13
- 4 4 大西 泉 外部委員 日本手術看護学会近畿地区大阪ブロックシンポジウム撮影 株式会社ホギメ
ディカル大阪支店会議室 2023/5/20-2023/5/20
- 4 5 大西 泉 外部委員 日本手術看護学会近畿地区大阪ブロック会議 株式会社ホギメディカル大阪
支店会議室 2023/9/9-2023/9/9
- 4 6 大西 泉 外部委員 日本手術看護学会近畿地区大阪ブロック会議 11 月の振り替え 株式会社ホギ
メディカル大阪支店会議室 2023/12/16-2023/12/16
- 4 7 大西 泉 外部委員 日本手術看護学会近畿地区大阪ブロック会議 株式会社ホギメディカル大阪
支店会議室 2024/1/13-2024/1/13
- 4 8 大西 泉 外部委員 日本手術看護学会近畿地区大阪ブロック会議 株式会社ホギメディカル大阪
支店会議室 2024/3/9-2024/3/9
- 4 9 豊田 久理子 講義 2023 年度 JNA 収録 DVD 研修「認知症高齢者の看護実践に必要な知識」 ナ
ーシングアート大阪（大阪府看護協会） 2023/12/11-2023/12/12
- 5 0 竹内 麻衣 座長 糖尿病トータルケアセミナー TKP ガーデンシティ PREMIUM
2024/2/28-2024/2/28
- 5 1 間 京佳 講師アシスタント リンパ浮腫セラピスト実技講習のための講師アシスタント 一般社
団法人 ICAA 2024/3/3-2024/3/3
- 5 2 寺井 美峰子 外部委員 日本看護協会 看護賠償保険制度 事故審査委員会 東京海上日動火災
保険株式会社（WEB） 2024/2/19-2024/2/19
- 5 3 田中 敦子 講師 2 年生がん教育講和 大阪市立北稜中学校 2024/1/29-2024/1/29
- 5 4 長谷川 美里 講師 2 年生がん教育講和 大阪市立北稜中学校 2024/1/29-2024/1/29
- 5 5 金川 久美子 講師 看護協会 2023 年度教育研修 心不全患者の在宅支援 大阪府看護協会
2024/2/14-2024/2/14
- 5 6 篠原 和子 講師 看護師向け研修会 アッヴィ合同会社 2024/3/16-2024/3/16

放射線診断科

- 1 Ohashi A 乳癌ハイリスクスクリーニングにおける南スウェーデンでの検討: 留学報告記 the 33th Annual meeting of the Japanese Society of Breast Cancer Imaging 2024/3/16(Web)
- 2 Ohashi A., Kataoka M., Iima M., Honda M., Ishimori T, and Nakamoto Y. Utility of Diffusion-weighted imaging and Ultrafast DCE MRI to diagnose small-sized breast lesions. International Society for Magnetic Resonance in Medicine, 2024 Diffusion study group Trainee day 2024/2/2(Web)
- 3 油谷 英孝、久保 滋人、高橋 瞭、伊藤 玲佳、高田 知和、井上 依里香、糟谷 誠、澤田 健、奥村 亮介、広川 侑奨、石守 崇好、本庄 原 FSH 産出下垂体腺腫により卵巣過剰刺激症候群を生じた 1 例 The 24th Annual Symposium, Japanese Society for the Advancement of Women's Imaging 2023/9/1-9/2(兵庫)
- 4 高橋 瞭、澤田 健、広川 侑奨、伊藤 玲佳、高田 知和、油谷 英孝、井上依里香、糟谷 誠、久保 滋人、奥村 亮介、石守 崇好、梅田 隆志、杉山 純平 多発出血性病変の像を呈した、中枢神経系原発悪性リンパ腫 (DLBCL) の一例 第 336 回 日本医学放射線学会関西地方会 2024/2/3(大阪)
- 5 石守 崇好 市民公開講座 核医学って何?にお答えします ～アイソトープで病気を「診る」・「治す」～核医学って何? ～がん診断を中心に～ 第 63 回日本核医学会学術総会 2023/11/18(大阪)
- 6 石守 崇好 特別講演Ⅱ糖代謝イメージングとして考える FDG-PET 第 14 回広島腫瘍 PET セミナー 2023/10/17(Web)
- 7 石守 崇好 アミロイド PET/CT 検査の開始にあたって LEQEMBI 新発売記念セミナー in 大阪 2024/3/28(大阪)

腫瘍放射線科

- 1 宮部結城、高木雄久、熱田智子、北村敦史、笹川沙世子、伊井智志、岡崎真優、里田晃大、渡壁一雄、新屋佑介、高橋建、杉之下与志樹、高忠之 EPID 画像による肝臓がん動体追跡放射線治療の精度検証 日本放射線腫瘍学会 第 36 回学術大会 2023 年 11 月 30 日～12 月 2 日 (神奈川県横浜市)

健診部

- 1 遠藤真紀子、高森行宏 当センターにおける PSA 検診の現状 第 64 回日本人間ドック学会学術大会 2023/9/1(高崎)
- 2 遠藤真紀子、橋本千佳 コロナ禍における生活様式の変化が航空関連企業の社員の健康状態に与えた影響について 第 96 回日本産業衛生学会 2023/5/10(宇都宮)
- 3 榊原敦子 本邦における子宮頸がんの動向予測 第 64 回日本母性衛生学会学術集会 2023/10/13(大阪)
- 4 榊原 敦子、伊藤 ゆり、上田 豊、樋口 壽宏、片山 俊郎、八木 麻未、角田 守、岡 愛実子、寺川 耕市、小西 郁生. 日本産科婦人科学会腫瘍登録データを使用した子宮頸癌の組織型と予後に関する探索的検討. 第 65 回日本婦人科腫瘍学会学術講演会 2023/7/14-16(島根)
- 5 岡 愛実子、八木 麻未、上田 豊、榊原 敦子、伊藤 ゆり 本産科婦人科学会腫瘍登録のカバー率: 全国がん登録 2016～2019 年罹患データとの比較. 第 82 回日本癌学会学術講演会 2023/9/21-23(神奈川)
- 6 八木 麻未、上田 豊、岡 愛実子、角田 守、池田 さやか、榊原 敦子、伊藤 ゆり、中田 佳世、森島 敏隆、宮代 勲、木村 正. 大阪府がん登録データによる子宮頸がん年齢調整罹患率の動向 (1977-2019 年). 第 61 回日本癌治療学会学術集会 2023/10/19-21(神奈川)
- 7 Emiko Oka, Yutaka Ueda, Asami Yagi, Mamoru Kakuda, Eiji Kobayashi, Atsuko Sakakibara, Yuri Ito, Tadashi Kimura. Trend of treatment proportion and outcome for stage IB2 and IIB cervical cancer in Japan. 第 75 回日本産科婦人科学会学術講演会 International Session (JSOG Congress Encouragement Award) 2023/5/12-14(東京)

- 8 Atsuko Sakakibara, Takeo Nakayama, Hiroyuki Uchida, Youichi Odagiri, Yuri Ito, Toshiro Katayama, Yutaka Ueda, Koichi Terakawa, Kunihiro Matsui, Kikuko Miyazaki, Ikuo Konishi. Trends and future projection of cervical cancer burden in Japan (1975–2028): What will happen if low screening coverage continues? The 14th International Asian Cancer and Chronic Disease Screening 2023/12/15–16(東京)

臨床検査部

- 1 前田記代子、土肥慎哉、涌嶋美甫香、垣内真子 当院での保存検体の管理運用と今後の課題について 日本医療検査科学会第 55 回大会 2023 年 10 月 6 日(金)～8 日(日)(神奈川)
- 2 辻本考平、丸毛聡、中塚由香利、宇野将一、藤川潤、羽田敦子 次世代シーケンサーを用いたメロペネムおよびタゾバクタム/ピペラシリンによる腸内細菌叢への影響の比較 第 97 回日本感染症学会総会・学術講演会 2023/4/28～4/30(神奈川)
- 3 丹野大樹、斎藤恭一、富井康明、中塚由香利、上地幸平、大橋一孝、羽田敦子、豊川真弘 妊産婦 GBS スクリーニング検査の適正化に向けて 第 72 回日本感染症学会東日本地方会学術集会 2023/10/25～10/27(東京)
- 4 丹野大樹、富井康明、中塚由香利、上地幸平、大橋一孝、山寺幸雄、豊川真弘 妊婦 GBS スクリーニング検査における選択的増菌培地の有用性について 第 11 回北日本支部医学検査学会 2023/11/03～11/04(福島)
- 5 丸石桃花、高橋明日香、上西徳治、宮内万知子、田端淑恵 当院での検査部内危機的出血対応研修の取り組み 第 71 回日本輸血・細胞治療学会学術総会 2023 年 5 月 11 日～13 日(千葉)
- 6 土井 千賀子、大堂 真一郎、生熊 誠子、森 雄貴、高橋 健、八隅 秀二郎、井口 公太、田浦 康二郎、寺嶋 宏明 詳細な画像検討を行い得た肝エキノコックス症の一例 第 48 回日本超音波検査学会学術集会 2023 年 6 月 10 日～11 日(大阪)

歯科口腔外科

- 1 高橋克 希少疾患先天性無歯症患者の欠損歯を再生する新規抗体医薬品の開発 第 61 回日本小児歯科学会 2023/5/19(長崎)
- 2 高橋克 希少疾患先天性無歯症患者の欠損歯を再生する新規抗体医薬品の開発 第 235 回日本抗加齢医学会総会 2023/6/10(東京)
- 3 高橋克 希少疾患先天性無歯症患者の欠損歯を再生する新規抗体医薬品の開発 治性疾患実用化研究事業 2022 年度成果報告会 医療と研究の力で難病に光を 2023/7/3–31 (WEB)
- 4 高橋克 先天性無歯症の新たな治療技術の開発研究 北野病院 100 周年記念事業 第 97 回医学研究所北野病院 学術講演会 2023/8/25(大阪)
- 5 高橋克 希少疾患先天性無歯症患者の欠損歯を再生する新規抗体医薬品の開発 —ToMMo のバイオバンク試料・情報の利活用— BioJapan2023 東北メディカルメガバンク機構(ToMMo) 企業研究でのバイオバンク試料・情報利活用レシピ～実例を中心にチップスを添えて～ 2023/10/11(横浜)
- 6 高橋克 希少疾患先天性無歯症患者の欠損歯を再生する新規抗体医薬品の開発 —歯を失うことが怖くない社会の実現を目指して、— 京都 iCAP-アステラス製薬協働イベント 2023/10/24(つくば市)
- 7 高橋克 「歯生え薬」の研究開発にかけた 30 年 京都アカデミアウィーク 2023 2023/10/26(東京)
- 8 高橋克 希少疾患先天性無歯症患者の欠損歯を再生する新規抗体医薬品の開発 —歯生え薬の実用化を目指して、— 令和 5 年度(第 16 回)神奈川県歯科医師会・口腔内科学会学術集会 2023/10/29(横浜)
- 9 上田優貴子 骨の薬と歯科治療、第 21 回北区医師会在宅医療研究会 2023/12/2(大阪)
- 10 高橋克 希少疾患先天性無歯症患者の欠損歯を再生する新規抗体医薬品の開発—研究シーズの産業化に向けて— 第 97 回日本薬理学会年会 研究シーズの産業化に向けた様々な取り組み 2023/12/16(神戸)
- 11 高橋克 希少疾患先天性無歯症患者の欠損歯を再生する新規抗体医薬品の開発—咬合を支持する再

生歯のバイオロジー- 2023 Dentistry, Quo Vadis? 「咬合を支持するバイオロジーの最前線」～不正咬合はどこまで予防できるか～ 2023/12/17 (東京)

- 1 2 高橋克 「歯生え薬」の研究開発にかけた 30 年 令和 5 年度神戸市西区歯科医師会学術集会特別講演 2024/1/2 (神戸)
- 1 3 高橋克 希少疾患先天性無歯症患者の欠損歯を再生する新規抗体医薬品の開発～「歯生え薬」の実用化への取り組み～ 第 29 回歯科再生医療産学連携会議主催産学連携フォーラム 2024/2/8(大阪)
- 1 4 高橋克 希少疾患先天性無歯症患者の欠損歯を再生する新規抗体医薬品の開発 2023 年度革新的医療技術創出拠点成果発表会 2024/2/15-3/13 (東京、WEB)
- 1 5 高橋克 希少疾患先天性無歯症患者の欠損歯を再生する新規抗体医薬品の開発-「歯生え薬」の研究開発にかけた 30 年- 令和 5 年度大阪市北区歯科医師会学術集会特別講演 2024/3/4 (大阪、WEB)

医療情報部

- 1 加藤源太、田村寛、植嶋大晃、森由希子、平木秀輔、酒井未知、大寺祥佑、野田龍也、児玉知子、佐藤大介、奥村泰之 NDB を用いた患者調査各項目の再現の検討 日本医療情報学会 2023/11/24(神戸)

リハビリテーション科

- 1 村司憲三朗、上坂建太、本田憲胤、大洞佳代子 急性心筋梗塞後の心不全合併により不安抑うつ傾向を認めた症例に対する自宅退院に向けた介入 第 35 回大阪府理学療法学術大会 2023/7/2(大阪)
- 2 鶴本一寿、上坂建太、本田憲胤、大洞佳代子、中根英策、猪子森明 繰り返す心不全患者の身体機能変化 第 35 回大阪府理学療法学術大会 2023/7/2(大阪)
- 3 三木陵平、野村知里、益尾洋児、吉田都、本田憲胤、大洞佳代子 呼吸と同調させた動作指導により労作時呼吸困難が軽減し、病棟 ADL 向上に繋がった、肺アスペルギルス症の一症例 第 35 回大阪府理学療法学術大会 2023/7/2(大阪)
- 4 河野風花、野村千里、中上和洋、浦慎太郎、本田憲胤、大洞佳代子 訪問リハビリテーション導入により屋外活動の再開と疾病管理の定着を目指した呼吸器疾患患者 第 35 回大阪府理学療法学術大会 2023/7/2(大阪)
- 5 井上雅代、野村知里、富謙伸、本田憲胤、大洞佳代子 安定期 COPD 患者における栄養指標の関連 第 35 回大阪府理学療法学術大会 2023/7/2(大阪)
- 6 前田麻里、浦慎太郎、徳元翔子、本田憲胤 退院前後で身体活動量と連続 SpO2 モニタリングを用いて設定酸素流量の適性を判断した間質性肺炎の一症例 第 35 回大阪府理学療法学術大会 2023/7/2(大阪)
- 7 森田俊毅、辻本実奈美、佐竹裕輝、本田憲胤、大洞佳代子 右片麻痺を呈した左橋梗塞患者に対して院内歩行自立獲得を目指した症例 第 35 回大阪府理学療法学術大会 2023/7/2(大阪)
- 8 藤原裕貴、浦慎太郎、富謙伸、本田憲胤 気腫合併肺線維症による労作時低酸素血症に対して高濃度酸素投与下での運動療法を実施した 1 症例 第 35 回大阪府理学療法学術大会 2023/7/2(大阪)
- 9 富謙伸、本田憲胤、大洞佳代子 無気肺を呈した筋ジストロフィー患者に対して機械的咳嗽介助を導入した症例 第 35 回大阪府理学療法学術大会 2023/7/2(大阪)
- 1 0 上坂建太、鶴本一寿、本田憲胤、大洞佳代子、中根英策、猪子森明 高齢心不全患者に対する急性期病院退院後早期から開始した訪問リハビリテーション介入と予後との関連 第 29 回日本心臓リハビリテーション学会学術集会 2023/7/15-16(神奈川)
- 1 1 鶴本一寿、上坂建太、本田憲胤、大洞佳代子、中根英策、猪子森明 心不全患者における KCL と再入院との関連の検討 第 29 回日本心臓リハビリテーション学会学術集会 2023/7/15-16(神奈川)
- 1 2 浦慎太郎、本田憲胤、大洞佳代子 パーキンソン病患者における身体機能と PhaseAngle, SkeletalMusclemassIndex との関連 第 21 回神経理学療法学術集会 2023/9/10-11(神奈川)
- 1 3 辻本実奈美、浦慎太郎、本田憲胤、大洞佳代子 心原性脳塞栓症患者に対し、入院中に立位・歩行練習を実施できなかった要因の検討 第 21 回神経理学療法学術集会 2023/9/10-11(神奈川)

- 1 4 松岡森、大洞佳代子、 本田憲胤 安全文化をつくる～アクシデント軽減に向けた当科の取り組み～
第 18 回医療の質・安全学会学術集会 2023/11/25-26(兵庫)
- 1 5 富謙伸、本田憲胤、水本洋 新生児における横隔膜測定の信頼性の検討 第 33 回呼吸ケア・リハビリテーション学会学術集会 2023/12/1-1(宮城)
- 1 6 浦慎太郎、本田憲胤 24 時間 SpO₂ モニタリングと身体活動量計を用いて、在宅酸素療法の効果を評価した一症例 第 33 回呼吸ケア・リハビリテーション学会学術集会 2023/12/1-2(宮城)
- 1 7 峰村幸宏、浦慎太郎、佐竹裕輝、益尾洋児、本田憲胤 延髄上衣腫摘出後に筋緊張異常を呈した症例-感覚入力を基盤とした介入により日常生活への上肢参加を目指して- 第 37 回大阪府作業療法学術大会 2023/12/10(大阪)
- 1 8 植田祥乃、野村知里、富謙伸浦、浦慎太郎、本田憲胤、大洞佳代子 気胸の再発予防目的に動作指導を行うことで役割活動の再開に繋がった一症例 第 37 回大阪府作業療法学術大会 2023/12/10(大阪)
- 1 9 野村知里、富謙伸、浦慎太郎、本田憲胤、大洞佳代子 安定期 COPD 患者における位相角とその関連因子の検討 第 63 回近畿理学療法学術大会 2024/2/3-4(滋賀)
- 2 0 三木陵平、辻本実奈美、浦慎太郎、本田憲胤 重度意識障害患者に対し、抗重力肢位の髭剃り動作による体性感覚入力が移乗動作の介助量軽減に繋がった 1 例 第 63 回近畿理学療法学術大会 2024/2/3-4(滋賀)

4. 論文

凡例

- ・アンダーライン--北野病院所属（...は他機関所属の共著者）
- ・*-----corresponding author
- ・#-----co-first author

呼吸器センター 呼吸器外科

(原著論文)

- 1 Ravi V, ..., Huang C, Advances in tooth agenesis and tooth regeneration. *Regenerative Therapy* 22: 160-168, 2023（査読有り）
- 2 Sumitomo R, ..., Huang C, et al. M2-like tumor associated macrophages promote epithelial-mesenchymal transition through the transforming growth factor b/Smad/zinc finger e-box binding homeobox pathway with increased metastatic potential and tumor cell proliferation in lung squamous cell carcinoma. *Cancer Science* 2023 (in-press)（査読有り）

(症例報告)

- 1 熊谷陽介, 長 博之, 小林 萌, 平山安見子, 尾田博美, 黄 政龍. 長期観察期間を経て切除された Placental transmogrification of the lung の 1 例. *日本呼吸器外科学会雑誌* 37(4): 220-223, 2023（査読有り）
- 2 小林 萌, 熊谷陽介, 平山安見子, 尾田博美, 長 博之, 黄 政龍. 胸腔鏡下に切除した前縦隔海綿状血管腫の 1 例. *日本呼吸器外科学会雑誌* 37(7): 635-639, 2023（査読有り）

泌尿器科

(原著論文)

- 1 Soda T, Otsuka H, ..., Okada T, ... Baseline factors and surgical procedures affecting changes in lower urinary tract symptoms after robot-assisted radical prostatectomy: the impact of nerve-sparing *International Urology and Nephrology* 第 56 巻 989-997 2024（査読有り）

産婦人科

(原著論文)

- 1 Okuda A, Long-term vs short-term tocolysis with ritodrine hydrochloride: Propensity score-matched analysis. *Eur J Obstet Gynecol Reprod Biol.* 2023 Mar; 282:77-82.（査読有り）
- 2 Yamamura A, The impact of assisted reproductive technology on the risk of postpartum hemorrhage: Difference by the mode of delivery and embryo transfer. *J Obstet Gynaecol Res.* 2023 Apr;49(4):1167-1172.（査読有り）
- 3 Sakakibara A, ..., Higuchi T*, Trends and future projections of cervical cancer-

related outcomes in Japan: What happens if the HPV vaccine program is not implemented? *Int J Cancer*. 2023 May 1;152(9):1863-1874. (査読有り)

- 4 Yamauchi K, Multidirectional traction method using SURGICEL NU-KNIT® and surgical suture in robot-assisted laparoscopic surgery for endometrial cancer. *J Minim Invasive Gynecol*. 2023 Oct 22; S1553-4650(23)00904-4. (査読有り)
- 5 Mizuta Y, Vaginal malignant peripheral nerve sheath tumor treated with complete surgical resection and postoperative radiation therapy. *J Obstet Gynaecol Res* 2024 Jan;50(1):133-138 (査読有り)
- 6 Yamamura A, Predictive score for postpartum hemorrhage in vaginal deliveries following frozen embryo transfer. *Turk J Obstet Gynecol*. 2023 Dec 8;20(4):249-254. (査読有り)

(症例報告)

- 1 Kashihara Y, Successful fertility preservation in stage II endometrial carcinoma with long-term progestin therapy: A case report. *Gynecol Oncol Rep*. 2024 Feb 29;52:101357. (査読有り)
- 2 Yamamura A, ... Coexistence of ovarian cancer and peritoneal tuberculosis: a case report *International Cancer Conference Journal* <https://doi.org/10.1007/s13691-023-00649-z> (査読有り)
- 3 奥田亜紀子、樋口壽宏、久保のぞみ、中村しほり、山内綱大、児嶋真千子、小藺祐喜、関山健太郎、吉岡弓子 外科的介入により乳癌からの転移性卵巣腫瘍と判明し、治療戦略立案に有用であった1例 *日本婦人科腫瘍学会雑誌* 41:251-257, 2023 (査読有り)
- 4 浅井麻由、吉岡弓子、水田結花、小藺祐喜、奥田亜紀子、関山健太郎、本庄 原、樋口壽宏 診断に苦慮した外陰発生の粘液炎症性線維芽細胞肉腫 (myxoinflammatory fibroblastic sarcoma) の1例 *産婦の進歩*第 76: 69-78, 2024 (査読有り)

消化器センター 消化器内科

(原著論文)

- 1 Kondo T, Kanai M*,..., Kou T, Association between homologous recombination gene variants and efficacy of oxaliplatin-based chemotherapy in advanced pancreatic cancer: prospective multicenter observational study. *Med Oncol*. 2023 Apr 11;40(5):144. (査読有り)
- 2 Kobayashi M, ..., Yamauchi A, Nationwide cohort study identifies clinical outcomes of angioectasia in patients with acute hematochezia. *J Gastroenterol*. 2023 Apr;58(4):367-378. (査読有り)
- 3 Nebiki H*, ..., Narasaka T*, Yazumi S, Does endoscopic sphincterotomy contribute to the prevention of post-endoscopic retrograde cholangiopancreatography pancreatitis after endoscopic biliary stenting for malignant biliary obstruction? A multicenter prospective cohort study. *Surg Endosc*. 2023 May;37(5):3463-3470. (査読有り)
- 4 Yamauchi A,..., Nagata N*. Outcomes and rebleeding risks of detachable snare and band

- ligation for colonic diverticular bleeding: a multicenter retrospective cohort study. *Gastrointest Endosc.* 2023 Jul;98(1):59-72.e7. (査読有り)
- 5 Kobayashi M, ..., Yamauchi A, ..., Nagata N* Multicenter propensity score-matched analysis comparing short *versus* long cap-assisted colonoscopy for acute hematochezia. *JGH Open.* 2023 Jul 12;7(7):487-496.. (査読有り)
 - 6 Namikawa M, Fukuda A* ..., Yoshikawa T,.... Simultaneous activation of Kras-Akt and Notch pathways induces extrahepatic biliary cancer via the mTORC1 pathway. *J Pathol.* 2023 Aug;260(4):478-492. (査読有り)
 - 7 Fujita M, Aoki T*, ..., Yamauchi A, ... N.LONG-HOSP Score: A Novel Predictive Score for Length of Hospital Stay in Acute Lower Gastrointestinal Bleeding - A Multicenter Nationwide Study. *Digestion.* 2023;104(6):446-459. (査読有り)
 - 8 Aoki T, Yamada A*, ..., Yamauchi A, ...; Collaborators. Development and validation of a novel model for predicting stigmata of recent hemorrhage in acute lower gastrointestinal bleeding: Multicenter nationwide study. *Dig Endosc.* 2023 Sep;35(6):777-789. (査読有り)
 - 9 Masuda T, Fukuda A*, ..., Yoshikawa T, Pancreatic RECK inactivation promotes cancer formation, epithelial-mesenchymal transition, and metastasis. *J Clin Invest.* 2023 Sep 15;133(18):e161847. (査読有り)
 - 10 Sato Y*, ..., Yamauchi A, Long-term Risks of Recurrence After Hospital Discharge for Acute Lower Gastrointestinal Bleeding: A Large Nationwide Cohort Study. *Clin Gastroenterol Hepatol.* 2023 Dec;21(13):3258-3269.e6. (査読有り)
 - 11 Matsumoto K*, ..., Yazumi S, Prognostic Factors for Severe-to-Fatal Post-Endoscopic Retrograde Cholangiopancreatography Pancreatitis: A Multicenter Prospective Cohort Study. *J Clin Med.* 2024 Feb 17;13(4):1135. (査読有り)
 - 12 Yokode M, Shiokawa M*, ..., Morita T, Anti-integrin $\alpha\text{v}\beta 6$ autoantibodies are a potential biomarker for ulcerative colitis-like immune checkpoint inhibitor-induced colitis. *Br J Cancer.* 2024 Mar 9. (査読有り)
 - 13 Yoshikawa T*, Yamauchi A, Itami K, Odo S, Soma Y, Tanaka K, Negoro K, Mori Y, Osawa K, Itou R, Kawai Y, Nakagami S, Azuma S, Morita T, Hirohashi K, Kuriyama K, Takahashi K, Kou T, Katayama T, Yazumi S. Correlative Factors of Severity of Air Bubbles in the Large Intestine during Colonoscopy. *J Digest Endosc.* 2024, *in press*. (査読有り)

(症例報告)

- 1 Nakayama S, Fukuda A*, Kou T, A case of unresectable ectopic acinar cell carcinoma developed in the portal vein in complete response to FOLFIRINOX therapy. *Clin J Gastroenterol.* 2023, Aug;16(4):610-614. (査読有り)
- 2 Tanaka K, Yoshikawa T, Yazumi S. A huge colonic intramural hematoma caused by endoscopic submucosal dissection. *Gastrointest Endosc.* 2023 Sep;98(3):460-461. (査読有り)

有り)

- 3 Kishimoto T, Morita T*, Yazumi S. Hepatic abscess induced by gastric cancer mimicking differentiated hepatocellular carcinoma. *JGH Open*. 2023 Sep 19;7(10):728-730. (査読有り)
- 4 Itami K, Yoshikawa T*, Yazumi S. A rare type of polyp in the duodenum. *Clin Case Rep*. 2023 Oct 4;11(10):e7969. (査読有り)
- 5 Nakagami S, Morita T*, Yazumi S. Rare cause of obstructive jaundice. *Gut*. 2023 Nov 6;gutjnl-2023-330496. (査読有り)
- 6 Mori Y, Kurita A*. Successful retrieval of a fractured biliary guidewire using a newly developed endoscopic tapered sheath. *Endoscopy*. 2023 Dec;55(S01):E706-E707. (査読有り)

消化器センター 消化器外科
(原著論文)

- 1 Fukumitsu K, ..., Taura K, Pretransplant Renal Dysfunction Negatively Affects Prognosis After Living Donor Liver Transplantation: A Single-Center Retrospective Study. *Transplant Proc*, 55(7): 1623-1630, 2023. (査読有り) .
- 2 Morimoto T, ..., Yamamoto T, Novel and efficient method for culturing patient-derived gastric cancer stem cells. *Cancer Sci*, 114(8): 3259-3269, 2023. (査読有り) .
- 3 Yamamoto T*, ..., Oshimo Y, Nishikawa Y, Hisano K, Nakano K, Kawai T, Okuchi Y, Iguchi K, Tanaka E, Fukuda M, Taura K, Terajima H. Ability of minimally invasive surgery to decrease incisional surgical site infection occurrence in patients with colorectal cancer and other gastroenterological malignancies. *Front Surg*, 10(1150460, 2023. (査読有り) .
- 4 Yamamoto T*, Fukuda M, Okuchi Y, Hisano K, Tanaka E, Terajima H. Cranial-First Approach for Splenic Flexure Colon Cancer in Laparoscopic Complete Mesocolic Excision. *Dis Colon Rectum*, 66(5): e218-e219, 2023. (査読有り) .
- 5 Namikawa M, ..., Taura K, Simultaneous activation of Kras-Akt and Notch pathways induces extrahepatic biliary cancer via the mTORC1 pathway. *J Pathol*, 260(4): 478-492, 2023. (査読有り) .
- 6 Nam NH, ..., Taura K, Impact of liver volumetric regeneration on survival outcomes in patients with hepatocellular carcinoma after major hepatectomy. *Langenbecks Arch Surg*, 408(1): 193, 2023. (査読有り) .
- 7 Fujikawa T, ..., Terajima H, Kawai T, Management of Patients Receiving Antiplatelet Therapy During Gastroenterological Surgery: A Multicenter Prospective Cohort Study (GSATT). *Ann Surg*, DOI: 10.1097/SLA.0000000000006136, 2023. (査読有り) .
- 8 Narita M, ..., Terajima H, ..., Kyoto University Hepato-Biliary Pancreatic surgery Study G. Identification of patients at high risk for recurrence in carcinoma of the ampulla of Vater: Analysis in 460 patients. *Ann Gastroenterol Surg*, 8(2): 190-201, 2024.

(査読有り) .

- 9 Makino K, ..., Kawai T, Integrated analyses of the genetic and clinicopathological features of cholangiolocarcinoma: cholangiolocarcinoma may be characterized by mismatch-repair deficiency. *J Pathol*, 263(1): 32-46, 2024. (査読有り) .
- 10 Laroche S, ..., Kawai T, Comparing indications, complexity and outcomes of laparoscopic liver resection between centers with and without a liver transplant program: a French nationwide study. *HPB (Oxford)*, 26(4): 586-593, 2024. (査読有り) .
- 11 Amory B, ..., Kawai T, ..., Group PRSS. Combined hepatocellular-cholangiocarcinoma compared to hepatocellular carcinoma and intrahepatic cholangiocarcinoma: Different survival, similar recurrence: Report of a large study on repurposed databases with propensity score matching. *Surgery*, 175(2): 413-423, 2024. (査読有り) .
- 12 Li X, Koyama Y, Taura K, High expression of autotaxin is associated with poor recurrence-free survival in cholangiocarcinoma. *Hepatol Res*, <https://doi.org/10.1111/hepr.14031>, 2024. (査読有り) .

(総説)

- 1 Nishio T, Taura K, ... Current status of preoperative risk assessment for posthepatectomy liver failure in patients with hepatocellular carcinoma. *Ann Gastroenterol Surg*, 7(6): 871-886, 2023. (査読有り) .
- 2 井口 公太*, 波多野 悦朗 【質量分析イメージング法を用いた創薬・医学研究-時空間マルチオミクスの力】 質量分析イメージング法を用いた肝臓の空間マルチオミクス解析. *医学のあゆみ*, 287(9): 669-677, 2023. (査読なし) .
- 3 内田 洋一郎, 木戸口 勇氣, 松岡 森, 山田 信子, 穴澤 貴行, 長井 和之, 寺嶋 宏明, 波多野 悦朗 【チーム医療で取り組む肝胆膵疾患の栄養マネジメント】 膵切除における周術期の栄養・リハビリテーション治療. *肝胆膵*, 88(1): 113-120, 2024. (査読有り) .
- 4 寺嶋 宏明* 臨床研修病院における外科医の働き方改革. *日本外科学会雑誌*, 125(1): 64-68, 2024. (査読有り) .

(症例報告)

- 1 Uemoto Y, Taura K*, ... A Rare Case of Donor-Origin Intrahepatic Cholangiocarcinoma After Liver Transplantation for Hepatocellular Carcinoma: A Case Report. *Transplant Proc*, 55(8): 1964-1967, 2023. (査読有り) .
- 2 瀬尾 智, 上村 良, 待本 貴文, 寺嶋 宏明, 波多野 悦朗 大量肝切除時の門脈降圧を目的とした脾摘の有用性. *日本門脈圧亢進症学会雑誌*, 29(1): 40-44, 2023. (査読有り) .
- 3 福光 剣, 田浦 康二郎, 長井 和之, 内田 洋一郎, 石井 隆道, 伊藤 孝司, 秦 浩一郎, 八木 真太郎, 波多野 悦朗 生体肝移植と膵頭十二指腸切除術を一体的に施行した, 原発性硬化性胆管炎を背景とする広範囲胆管癌の1例. *日本消化器病学会雑誌*, 120(6): 524-531, 2023. (査読有り) .
- 4 西川 裕太, 井口 公太, 河合 隆之, 奥田 雄紀浩, 上村 良, 寺嶋 宏明* 十二指腸下行脚

膵臓側の術後再発 GIST に対する臓器機能温存手術（再局所切除）の経験. *手術*, 78(2): 259-264, 2024. (査読有り) .

(Letters)

- 1 Taura K*, Terajima H, ... Comment on "Prognostic Effect of Liver Resection in Extended Cholecystectomy for T2 Gallbladder Cancer Revisited: A Retrospective Cohort Study with Propensity-Score-Matched Analysis". *Ann Surg Open*, 4(4): e349, 2023. (査読有り) .

(その他)

- 1 Taura K*. Advances and Future Directions in Hepatobiliary Malignancies. *Curr Oncol*, 30(11): 9786-9788, 2023. (査読無し) .

乳腺外科

(原著論文)

- 1 Niikura N, ..., Takahara S, Treatment with trastuzumab deruxtecan in patients with HER2-positive breast cancer and brain metastases and/or leptomeningeal disease (ROSET-BM). *NPJ Breast Cancer*. 2023 Oct 11;9(1):82. doi: 10.1038/s41523-023-00584-5. (査読有り)
- 2 Okazawa A, ..., Takahara S, Diagnostic Utility of an Adjusted DWI Lexicon Using Multiple b-values to Evaluate Breast Lesions in Combination with BI-RADS. *Magn Reson Med Sci*. 2023 May 26. doi: 10.2463/mrms.mp.2022-0056. Online ahead of print. (査読有り)

血液内科

(原著論文)

- 1 Wada F, *Kanda J, ..., Kitano T, Mild Acute Graft-Versus-Host Disease Improves Outcomes After HLA-Haploidentical-Related Donor Transplantation Using Posttransplant Cyclophosphamide and Cord Blood Transplantation. *Cell Transplant*. 2023;32:9636897231194497. (査読有り)
- 2 Morita-Fujita M, *Shindo T, ..., Kitano T, Epitope Mismatch at HLA-DRB1 Associates with Reduced Relapse Risk in Cord Blood Transplantation for Standard-Risk Hematologic Malignancy. *Transplant Cell Ther*. 2023;29(6):347 e1- e11. (査読有り)
- 3 Iemura T, *Kondo T, ..., Kitano T, Effects of combined test dose and therapeutic drug monitoring strategy in exposure-directed busulfan. *Ann Hematol*. 2023;102(10):2909-22. (査読有り)

(症例報告)

- 1 *Shimada M, Inano S, Kitano T. T-cell lymphoma associated with dupilumab. *Ann Hematol*. 2023;102(6):1601-2. (査読有り)

病理診断科

(症例報告)

- 1 浅井麻由, 吉岡弓子, 水田結花, 小蘭祐喜, 奥田亜紀子, 関山健太郎, 本庄 原, 樋口壽宏 診断に苦慮した外陰発生の粘液炎症性線維芽細胞肉腫 (myxoinflammatory fibroblastic sarcoma) の1例 産婦人科の進歩 2024年76巻1号 p69-78 (査読有り)

緩和ケア科

(原著論文)

- 1 坂口達馬, 梶山徹, 三宅麻文, 片山俊郎 ヒドロモルフォン持続皮下投与タイトレーション法のがん疼痛に対する効果と安全性に関する後方視的研究.2022.04Palliative Care Research.17(2): 43-4910.2512/jspm.17.43 (査読有り)
- 2 Sakaguchi T, Kajiyama T, Miyake M, Fentanyl titration for cancer pain: continuous subcutaneous injection and a once-daily transdermal patch - case series.2022.05BMJ Support Palliat Care. Online ahead of print.10.1136/bmjspcare-2022-003720 (査読有り)
- 3 Sakaguchi T, Kajiyama T, Miyake M, ... Tramadol for moderate cancer pain: a reappraisal.2022.08BMJ Support Palliat Care. Online ahead of print.10.1136/spcare-2022-003819 (査読有り)
- 4 Sakaguchi T, Kajiyama T, Miyake M,Hydromorphone for dyspnoea in terminally ill patients with cancer: case series.2022.09BMJ Support Palliat Care. Online ahead of print.10.1136/spcare-2022-003923 (査読有り)
- 5 Sakaguchi T, Kajiyama T. Pharmacological pain management of critical limb ischaemia.2022.11BMJ Support Palliat Care. Online ahead of print.10.1136/spcare-2022-004046 (査読有り)
- 6 Yamaki S, ..., Sakaguchi T, Risk factors and treatment strategy for clinical hepatico-jejunostomy stenosis defined with intrahepatic bile duct dilatation after pancreaticoduodenectomy: a retrospective study.2022.11J Hepatobiliary Pancreat Sci.29(11):1204-121310.1002/jhbp.1095 (査読有り)
- 7 Kosaka H, ..., Sakaguchi T,Estimation of the degree of surgical difficulty anticipated for pancreatoduodenectomy:Preoperative and intraoperative factors.2022.11J Hepatobiliary Pancreat Sci.29(11):1166-117410.1002/jhbp.1052 (査読有り)
- 8 Sakaguchi T,Levosimendan increases survival in a D-galactosamine and lipopolysaccharide ratmodel.2022.12Biomedicines.10(12):316110.3390/biomedicines10123161 (査読有り)
- 9 Hashimoto D, Sakaguchi T, ..., Survival impact of occult liver metastasis and peritoneal dissemination compared withradiologically defined distant organ metastasis in pancreatic ductal adenocarcinoma.2023.01Pancreatology.23(1):73-

心臓センター 循環器内科・不整脈科

(原著論文)

- 1 Chatani R, ..., Inoko M, ..., Kimura T*. COMMAND VTE Registry-2 Investigators. Cancer-associated venous thromboembolism in the direct 234:86-93,2024. (査読有り)
- 2 Nishikawa R, ..., Inoko M, ..., Kimura T*. CREDO-Kyoto PCI/CABG Registry Cohort-3 investigators. Effects of peripheral artery disease on long-term outcomes after percutaneous coronary intervention versus coronary artery bypass grafting in patients with severe coronary artery disease. *J Cardiol*,S0914-5087(23)00306-4,2023. (査読有り)
- 3 Yamamoto K, ...,Inoko M, ..., Kimura T*. CREDO-KyotoPCI/CABG Registry Cohort-3 Investigators. Polypharmacy and Bleeding outcomes After Percutaneous Coronary Intervention. *Circ J*, CJ-23-0558, 2023. (査読有り)
- 4 Kaneda K, ..., Inoko M, ..., Kimura T*. COMMAND VTE Registry-2 Investigators. Anticoagulation strategies and longterm recurrence in patients with venous thromboembolism in the era of directoral anticoagulants. *Eur J Intern Med*, 118:59-72, 2023. (査読有り)
- 5 Obayashi Y, ...,Inoko M, ..., Kimura T*. CREDO-Kyoto AMI Registry Wave-2 Investigators. The Impactof Mitral Regurgitation on Long-Term Outcomes in Acute Myocardial InfarctionUndergoing Percutaneous Coronary Intervention. *Am J Cardiol*, 203:384-393, 2023. (査読有り)
- 6 Takeji Y, ..., Inoko M, ..., Kimura T*. CURRENT AS Registry-2 Investigators CORRIGENDUM: Rationale, Design, and Baseline Characteristics of the CURRENT AS Registry-2. *Circ J*, 87(8):1146-1149, 2023. (査読有り)
- 7 Takeji Y, ..., Inoko M, ...; Kimura T*. In-hospital outcomes after SAVR or TAVI in patients with severe aortic stenosis. *Cardiovasc Interv Ther*, 39(1):65-73, 2023 (査読有り)
- 8 Obayashi Y, ..., Inoko M, ..., Kimura T*. KCHF Study Investigators. Tricuspid regurgitation in elderly patients with acute heart failure: insights from the KCHF registry. *ESC Heart Fail*, 10(3):1948-1960, 2023. (査読有り)
- 9 Aida K, ..., Inoko M, ..., Kimura T*. Prognostic Value of the Severity of Clinical Congestion in Patients Hospitalized for Decompensated Heart Failure: Findings From the Japanese KCHF Registry. *J Card Fail*, 29(8):1150-1162, 2023. (査読有り)
- 10 Kohki Kimura*, Ethanol infusion therapy for peri-mitral atrial tachycardia through the Marshall bundle with electrical irrelevance of left atrial appendage and mitral isthmus. *Pacing Clin Electrophysiol*. 2023 Sep 19. doi: 10.1111/pace.14831. (査読有り)
- 11 Akihiko Nogami, ..., Tetsuya Haruna, Itsuro Morishima*. Purkinje-Related Ventricular Tachycardia and Ventricular Fibrillation: Solved and Unsolved Questions. *JACC Clin*

Electrophysiol. 1016: 2172-2196, 2023. (査読有り)

(症例報告)

- 1 Ito S*, Hasebe M, Inoko M. Dramatic recovery of left ventricular dysfunction in a patient with pseudoaldosteronism, hypokalaemia, and rhabdomyolysis: a case report. *Eur Heart J Case Rep.* , 17;7(9):ytad398, 2023. (査読有り)
- 2 Kohki Kimura*, Elucidating left atrial electrical potential with microelectrode catheter: A case of coronary sinus ostial atresia with small persistent left superior vena cava. *Pacing Clin Electrophysiol.* 2024 Mar 29. doi: 10.1111/pace.14977. (査読有り)

呼吸器センター 呼吸器内科

(原著論文)

- 1 Miki K, ..., Fukui M, ..., Kitajima T,...; for EPT study group: Laryngeal widening and adequate ventilation by expiratory pressure load training improve aerobic capacity in COPD: a randomised controlled trial. *Thorax* 2023 Dec 15;79(1):23-34. doi: 10.1136/thorax-2022-219755. (査読有り)
- 2 Takayama Y, ..., Kitajima T, ..., Fukui M, Association of body size distortion with low body mass index in female patients with nontuberculous mycobacterial lung disease. *PLoS One* 2023 Aug 22;18(8):e0290277. doi: 10.1371/journal.pone.0290277. eCollection 2023. (査読有り)
- 3 Mori R, ..., Fukui M, Evaluation of Bone Mineral Density in Lung Transplant Recipients by Chest Computed Tomography. *Respiration* 2024;103(1):1-9. doi: 10.1159/000535269. Epub 2023 Dec 5. (査読有り)

(症例報告)

- 4 Shinya Tsukamoto, ...: Management of alveolar-pleural fistula secondary to invasive pulmonary aspergillosis with bronchial occlusion using a combination of Endobronchial Watanabe Spigot and N-butyl-2-cyanoacrylate: A case report. *Respirology Case Reports.* 2023;11(6):e01163. (査読有り)

(総説など)

- 1 丸毛聡: 特集 高齢者呼吸器疾患-診断・治療の最新動向-吸入薬を活かすための地域での吸入指導の枠組み. 日本臨牀 81 巻 5 号 (通巻第 1234 号)
- 2 北島尚昌: こんなときはどちらを選ぶ? 高二酸化炭素血症を伴う人工呼吸管理中の COPD のケース. みんなの呼吸器 *Respica*. 2023. Vol.21 no.6 20-25.
- 3 北島尚昌: 終末期のハイフローセラピーの実際. みんなの呼吸器 *Respica*. 2023. Vol.21 no.6 129-25.
- 4 丸毛聡: 特集 エキスパートが解説! 内科における最新論文: 気管支喘息に関する最新のトピック. *medicina* 2024 年 1 月号

丸毛聡：特集 気管支拡張症 温故知新 注目され始めた一大カテゴリー 気管支拡張症に対する抗菌薬吸入療法の可能性. 呼吸器ジャーナル 2024. 72(2). P243-249.

糖尿病内分泌内科

(症例報告)

- 1 Hasebe M*, Shibue K, Honjo S, Hamasaki A. A Case of Lymphocytic Infundibulo-neurohypophysitis Exhibiting Spontaneous Regression. *JCEM Case Rep*. 2023 Feb 27;1(2):luad020.2023 (査読有り)
- 2 Hasebe M*, Shibue K, Honjo S, Hamasaki A. Ring sign' of pheochromocytoma. *QJM*. 2023 Apr 29;116(4):296-297.2023 (査読有り)
- 3 Tsukaguchi R, Hasebe M*, Honjo S, Hamasaki A. Ovarian Hyperstimulation Syndrome Caused by Functional Gonadotroph Pituitary Adenoma. *JCEM Case Rep*. 2023 Jul 14;1(4):luad087.2023 (査読有り)
- 4 Keidai Y#, Yoshiji S#*, Hasebe M, ..., Inagaki N*. Stabilization of kidney function and reduction in heart failure events with sodium-glucose co-transporter 2 inhibitors: A meta-analysis and meta-regression analysis. *Diabetes Obes Metab*. 2023 Sep;25(9):2505-2513.2023. (査読有り)
- 5 Hasebe M*, Shibue K, Hamasaki A. Pregnancy-induced prolactinoma enlargement. *QJM*. 2024 Feb 9:hcae027 doi: 10.1093/qjmed/hcae027.2024 (査読有り)
- 6 Shibue K*, Kubo N, Oda H, Tanabe E, Okada T, Huang CL, Higuchi T, Hamasaki A, Inagaki N. Gestational Ectopic Hyperparathyroidism: A Case Report of Perioperative and Perinatal Outcomes. *Cureus*. 2024 Mar 18;16(3):e56406.2024 (査読有り)

(総説)

- 1 濱崎暁洋, 稲垣暢也* 連載 注目の新薬 マンジャロ®皮下注 (チルゼパチド) 診断と治療 診断と治療 111(7): 983-987 2023.2023 (査読無し)
- 2 濱崎暁洋 スルホニル尿素薬血糖だけにこだわらない! 糖尿病治療薬の考え方・使い方 野見山崇(編) 血糖だけにこだわらない! 糖尿病治療薬の考え方・使い方 日本医事新報社 pp48-53 2023 (査読無し)

腎臓内科

(原著論文)

- 1 坂井薫...塚本達雄...松原雄... 昏睡型急性肝不全治療における大量血液浄化療法の役割と注意点 日本急性血液浄化学会雑誌 14 巻 2 号 Page106-111(2023.12) (査読有り)
- 2 Ishizu A ... Muso E, Expert perspectives on pathological findings in vasculitis. *Mod Rheumatol*. 2023 Jan 3;33(1):1-11. (査読有り)
- 3 Hara A, ...Muso E, ...Suzuki H, Tsukamoto T, ... Effect of Low-Density Lipoprotein Apheresis on Quality of Life in Patients with Diabetes, Proteinuria, and Hypercholesterolemia. *Blood Purif*. 2023;52(4):373-381. (査読有り)
- 4 Shimizu S, ... Tsukamoto T, ... Initiation of renin-angiotensin system inhibitors and

- first complete remission in patients with primary nephrotic syndrome: a nationwide cohort study. Clin Exp Nephrol. 2023 May;27(5):480-489. (査読有り)
- 5 Shiba H, Endo T, ..., Tsukamoto T. Giant Rectus Sheath Hematoma: Pseudobladder Sign. JMA J. 2023 Jul 14;6(3):348-349. (査読有り)
 - 6 Arai H, ... Muso E, Focal Segmental Sclerosis Associated with the Novel Multi-tyrosine Kinase Inhibitor Ponatinib. Intern Med. 2023 Sep 15;62(18):2693-2698. (査読有り)
 - 7 Oshima S, Sakuragi M, Morita H, ... Suzuki H, Successful treatment of tuberculous meningitis in an Indian female under hemodialysis therapy. CEN Case Rep. 2023 Nov;12(4):341-346. (査読有り)
 - 8 Nagasaka K, ... Endo T, Nation-wide cohort study of remission induction therapy using rituximab in Japanese patients with antineutrophil cytoplasmic antibody-associated vasculitis: Effectiveness and safety in the first 6 months. Mod Rheumatol. 2023 Nov 1;33(6):1117-1124. (査読有り)
 - 9 Muso E, Kakita H, Suzuki H, Tsukamoto T. Updated evidence of beneficial effect of LDL apheresis for refractory nephrotic syndrome due to a variety of causative diseases for nationwide and global approval. Ther Apher Dial. 2023 Dec;27(6):987-999. (査読有り)
 - 10 Nishio H, ... Mori PK, ... Sacubitril/valsartan ameliorates renal tubulointerstitial injury through increasing renal plasma flow in a mouse model of type 2 diabetes with aldosterone excess Nephrol Dial Transplant. 2023 Oct 31;38(11):2517-2527 (査読有り)
 - 11 Ishimura T, ... Mori PK, ... Handa T, ... Matrix metalloproteinase-10 deficiency has protective effects against peritoneal inflammation and fibrosis via transcription factor NFκ-B pathway inhibition Kidney Int. 2023 Nov;104(5):929-942 (査読有り)
 - 12 Sugioka S, ... Mori PK, ... Handa T, ... Dual deletion of guanylyl cyclase-A and p38 mitogen-activated protein kinase in podocytes with aldosterone administration causes glomerular intra-capillary thrombi Kidney Int. 2023 Sep;104(3):508-525. (査読有り)
 - 13 Taniguchi M, Endo T, Asou M, Tsukamoto T. Nephrotic "full-house" glomerulonephritis successfully treated with antibiotics alone in secondary syphilis: a case report. CEN Case Rep. 2024 Apr;13(2):86-92 (査読有り)
 - 14 Handa T, Fujii M, Ando M, Masuda M, Sokai Y, Tsuji Y, Fukuda Y, Ohue K, Higashi Y, Mori KP, Endo T, Tsukamoto T. Correlation between bradykinin concentration and blood pressure during Rheocarna therapy: A single-center case series. Ther Apher Dial. 2024 Jan 3. Online ahead of print. (査読有り)
 - 15 Watanabe T, ... Kawaguchi K, Tsukamoto T Copper deficiency anemia due to zinc supplementation in a chronic hemodialysis patient CEN Case Rep. 2024 Mar 23. Online ahead of print. (査読有り)

(総説)

- 1 武曾恵理 【さまざまな領域で活躍するアフェレシス】腎疾患領域におけるアフェレシス難治性ネフローゼ症候群に対する LDL アフェレシス 腎臓内科 18 巻 2 号 Page139-149(2023.08) (査読無し)
- 2 遠藤知美 急速進行性糸球体腎炎 RPGN(血管炎)へのアフェレシス療法 日本アフェレシス学会雑誌 42 巻 2 号 Page116-122(2023.08) (査読有り)
- 3 武曾恵理 日本女医会吉岡彌生賞受賞のご報告 京都府立医科大学学友会会報・青蓮会報 pp108-112 第 196 号 (2023.09) (査読無し)
- 4 塚本達雄 腎性副甲状腺機能亢進症について 北野病院紀要 2022 年度 Page33(2023.10) (査読無し)
- 5 半田貴也, ... 動脈硬化性疾患のリスク管理 慢性腎臓病 診断と治療 9 2023 Vol.111 No.9 (査読無し)
- 6 半田貴也, ... 脂質異常症の治療目標値と推奨薬剤 臨床雑誌 内科 2023 Vol.132 No1 (査読無し)
- 7 半田貴也, ... 圧挫症候群と熱中症における腎障害 腎臓内科 第 17 巻第 3 号 特集 パンデミック・大災害における腎臓病診療 (査読無し)

栄養部

(原著論文)

- 1 Takayama Y, ..., Kitajima T, Honda N, ..., Fukui M, Association of body size distortion with low body mass index in female patients with nontuberculous mycobacterial lung disease. *PLoS One*. 2023;18(8):e0290277 2023 (査読有り)

リウマチ膠原病内科

(原著論文)

- 1 Sasai T, Nakashima R*,..., Nakajima T, Imura Y,..., Morinobu A. Long-Term Prognosis of Antimelanoma Differentiation-Associated Gene 5-Positive Dermatomyositis With Interstitial Lung Disease. *J Rheumatol*. 2023 Nov;50(11):1454-1461. (査読有り)
- 2 Watanabe T, Taniguchi M, Ogura S, Asou M, Takayanagi S, Sokai Y, Tsuji Y, Mori KP, Endo T, Nakajima T, Imura Y, Tsukamoto T*. Effectiveness and safety of plasma exchange for anti-MDA5 antibody-positive clinically amyopathic dermatomyositis with rapidly progressive interstitial lung disease refractory to intensive immune suppression therapy: A case series. *Ther Apher Dial*. 2024 Jun;28(3):432-441. (査読有り)

皮膚科

(症例報告)

- 1 衣斐 菜々, 岡本 吉央, 吉川 義顕 本態性血小板血症に伴う足趾潰瘍 Visual Dermatology. 2023 22 巻 p678-679 (査読無し)
- 2 Senda A, ..., Yoshikawa Y, Recurrent cutaneous squamous cell carcinoma in the occipital scalp with clinical perineural invasion developing jugular foramen syndrome.

脳神経外科

(原著論文)

- 1 Hayashi H*, Hashikata H, Sawada M, Toda H. Low back pain improvement after cervical laminoplasty in patients without tandem lumbar stenosis. *Eur Spine J*. 2023;32(12):4437-4443. doi:10.1007/s00586-023-07951-7 (査読有り)
- 2 林 英樹*, ..., 箸方 宏州, 戸田 弘紀: 頸椎椎弓形成術後の腰痛改善にかかわる臨床的・放射線学的特徴の検討 *Spinal Surgery* 2023 37(1):56-57.
<https://doi.org/10.2531/spinalsurg.37.56> (査読有り)
- 3 林 英樹*, 箸方 宏州, 澤田 真寛, 戸田 弘紀: 頸椎椎弓形成術後の腰痛改善に関わる臨床的特徴の検討 *Spinal Surgery* 2023 37(3):259-263.
<https://doi.org/10.2531/spinalsurg.37.259> (査読有り)
- 4 Hashikata H*, ..., Futamura G, Yoshimoto N, Goto M, Hayashi H, Nishida N, Iwasaki K, Toda H. Functionality and Usability of the Exoscope in Microvascular Decompression for Hemifacial Spasm and Trigeminal Neuralgia. *World Neurosurg*. 2023 Nov;179:e539-e548. doi: 10.1016/j.wneu.2023.08.138. Epub 2023 Sep 6. (査読有り)
- 5 Toda H*, Hashikata H, Ishibashi R. Exoscopic microvascular decompression for hemifacial spasm and trigeminal neuralgia. *Neurosurg Focus Video*. 2024 Jan 1;10(1):V12. doi: 10.3171/2023.10.FOCVID23122. (査読有り)
- 6 Hata H, ..., Ishibashi R, Factors for failure of ultrasound-guided compression repair for femoral pseudoaneurysms after neuroendovascular therapy. *Neuroradiol J*. 2023 Dec;36(6):680-685. doi: 10.1177/19714009231177382. Epub 2023 May 20. PMID: 37209101; PMCID: PMC10649531. (査読有り)
- 7 Ikeda H, Ishibashi R, Factors related to white thrombi in acute ischemic stroke in cancer patients. *Neuroradiol J*. 2023 Aug;36(4):453-459. doi: 10.1177/19714009221150856. Epub 2023 Jan 6. PMID: 36607169; PMCID: PMC10588610. (査読有り)
- 8 杉山純平, 澤田真寛, 岡佑和, 今中翔平, 太田和馬, 辻村敦史, 西田南海子, 樽野陽亮, 高橋牧郎, 石守崇好, 奥村亮介, 戸田弘紀
パーキンソン病に対する視床下核脳深部刺激療法再調整例におけるイメージガイド下プログラミングの有用性：2 症例の検討 機能的脳神経外科 62 105-111, 2023. (査読有り)

(総説)

- 1 戸田 弘紀*, 石橋 良太, 箸方 宏州 三叉神経痛の手術——静脈圧迫 脳神経外科 Vol.52 No.1 88-95,2024 年 1 月 (査読有り)

(症例報告)

- 1 吉崎 航, 林 英樹*, 武部 軌良, 北村 和土, 箸方 宏州, 石橋 良太, 戸田 弘紀
腎細胞がんの脊髄硬膜内髄外転移と髄内浸潤をきたした 1 例 *Spinal Surgery* 2023
37(1):46-52. <https://doi.org/10.2531/spinalsurg.37.46> (査読有り)
- 2 Hashikata H*, Takebe N, Yoshizaki W, Postoperative vasospasm and cerebral
infarction in a patient with large pituitary adenoma and cerebral superficial
siderosis *Surg Neurol Int.* 2023 Jul 21;14:256. doi: 10.25259/SNI_397_2023.
eCollection 2023. (査読有り)
- 3 Hashikata H*, Goto M, ..., Nishida N, ..., Ishibashi R, Toda H, Iwasaki K. :
Intramedullary feeder aneurysm of a cervical epidural arteriovenous fistula causing
myelopathy: a case report and literature review.
Acta Neurochir (Wien). 2023 Dec;165(12):3985-3990. doi: 10.1007/s00701-023-05578-7.
Epub 2023 Apr 14. (査読有り)
- 4 Ishibashi R, Intraoperative identification of the lateral spinal artery in a case of
craniocervical junction dural arteriovenous fistula surgically obliterated.
Neuroradiol J. 2023 Jun;36(3):351-356. doi: 10.1177/19714009221132950. Epub 2022
Oct 10. PMID: 36217723; PMCID: PMC10268100. (査読有り)
- 5 Matsukawa S, Ishibashi R, ..., Hashikata H, ..., Toda H.
Cone-beam CT-assisted microcatheter tip placement at the shunted pouch entry zone:
A technical note for anterior condylar arteriovenous fistula.
Neuroradiol J. 2023 Apr;36(2):236-240. doi: (査読有り) 10.1177/19714009221128659.
Epub 2022 Sep 20. PMID: 36124669; PMCID: PMC10034692.
- 6 Ando M, ..., Ishibashi R. Developed Collateral Networks between the Internal Carotid
Artery and External Carotid Artery: Carotid Rete Mirabile.
J Neuroendovasc Ther. 2023;17(3):93-95. doi: 10.5797/jnet.ai.2022-0063. Epub 2023
Feb 1. PMID: 37502351; PMCID: PMC10370507. (査読有り)
- 7 Ohtsuki K, Sawada M, Yoshizaki W, ..., Toda H*. Quantitative susceptibility mapping
and a nonlinearly transformed atlas for targeting the ventral intermediate nucleus of
the thalamus in a patient with tremor and thalamic hypertrophy: illustrative case.
J Neurosurg Case Lessons. 2024 Apr 1;7(14):CASE23709. doi: 10.3171/CASE23709.
(査読有り)

脳神経内科

(原著論文)

- 1 上田 明広, 小松 研一, 高橋 牧郎 ドネペジル塩酸塩の関与が疑われた体幹姿勢異
常の 2 例 臨床神経, 63 : 85-91, 202 (査読有り)
- 2 Takahashi M, Effect of istradefylline on postural abnormalities in patients with
Parkinson's disease: An association study of baseline postural angle measurements
with changes in Unified Dystonia Rating Scale total score *eNeurologicalSci.* 2023 Dec

30:34:100493. doi: 10.1016/j.ensci.2023.100493. (査読有り)

(症例報告)

- 1 Shiba H, Furukawa K, Tamaki S, Takahashi M. Triple-furrowed tongue in myasthenia gravis. *QJM*. 2023 Jul 28;116(7):534-535. doi: 10.1093/qjmed/hcad035 (査読有り)

整形外科

(原著論文)

- 1 Kimura H, ..., Ota M, Risk Factors for Cage Migration Following Lateral Lumbar Interbody Fusion Combined With Posterior Instrumentation: A Multicenter Retrospective Study of 983 Cases. *Spine (Phila Pa 1976)*. 2023 Dec 15;48(24):1741-1748. doi: 10.1097/BRS.0000000000004602. Epub 2023 Feb 9 (査読有り)
- 2 Kitaori T, Ota M, Tamura J. Bilateral L5 pedicle fracture with L5-S1 spondylolisthesis after single-level L4-5 posterior lumbar interbody fusion: illustrative case. *J Neurosurg Case Lessons*. 2023 Aug 7;6(6):CASE23279. (査読有り)

(症例報告)

- 1 麻田義之, 術後早期にプレート折損を来した人工肘関節周囲骨折の1例. 日本肘関節学会雑誌. 2023; 30(2):215-217 (査読有り)
- 2 平雄一郎, 麻田義之. 橈骨動脈アプローチでの経皮的冠動脈インターベンション治療後に発症した急性コンパートメント症候群の1例. 日本肘関節学会雑誌. 2023; 30(2):203-205 (査読有り)

耳鼻咽喉科・頭頸部外科

(原著論文)

- 1 Kanai R, Kanemaru SI*, Yamaguchi T, ..., Harada H, Maetani T. Outcomes of regenerative treatment for over 200 patients with tympanic membrane perforation. *Auris Nasus Larynx*. 2024 Apr; 51(2):259-265.2023 (査読有り)
- 2 Kita SI, ..., Kanai R, ..., Kanemaru SI. Diagnosing Middle Ear Malformation by Pure-Tone Audiometry Using a Three-Dimensional Finite Element Model: A Case-Control Study. *J Clin Med*. 2023 Dec 4; 12(23):7493. doi: 10.3390/jcm12237493. (査読有り)
- 3 Harada H, Characteristics of oral squamous cell carcinoma focusing on cases unaffected by smoking and drinking: A multicenter retrospective study. *Head Neck*. 2023 Jul; 45(7): 1812-1822. (査読有り)
- 4 Ushiro K, ..., Maetani T, Harada H, Local recurrence and metachronous multiple cancers after transoral nonrobotic surgery for pharyngeal and laryngeal

- squamous cell carcinoma: A retrospective multicenter study. *Head Neck* 2024 Jan; 46(1): 118-128. (査読有り)
- 5 Ushiro K, ..., Maetani M, Harada H, Complications including dysphagia following transoral non-robotic surgery for pharyngeal laryngeal squamous cell carcinoma: a retrospective multicenter study. *Auris Nasus Larynx* 2024 Mar; 51(3): 575-582. (査読有り)
 - 6 Tsuji T, ..., Maetani T, Harada H, Multi-institutional retrospective study of 340 cases of sinonasal malignant tumor. *Auris Nasus Larynx* 2024 Feb; 51(1):86-98. (査読有り)
 - 7 金井理絵 Bell 麻痺 Hunt 症候群へのステロイド鼓室内投 耳鼻咽喉科・頭頸部外科 医学書院 Vol.96 No. 3, 218-222, March. 2024 (査読なし)
 - 8 金井理絵 鼓膜穿孔閉鎖術について 鼓膜穿孔治療剤の立場から JOHNS 東京医学社 Vol. 40 No. 3, March. 2024 (査読なし)

小児科

(原著論文)

- 1 山形雄伸, 坂口大典, 藤尾光, 三上真充, 塩田光隆, 羽田敦子, 宗田武, 園田真理, 遠藤耕介, 佐藤正人* 二次性単一症候性夜尿症の治療中に卵巣未分化胚細胞腫の診断に至った 9 歳女児 夜尿症研究 28 巻 Page43-47(2023.07) (査読有り)
- 2 Uchihara Y, Yamashita S, ..., Hata D, Hata A*. Effects of short-term treatment with vibegron for refractory nocturnal enuresis. *Pediatr Int.* 2023 Jan;65(1):e15464. doi: 10.1111/ped.15464.
- 3 Tanno D, ..., Nakatsuka Y, ..., Hata A, ..., Shimura H*. A Multicenter Study on the Utility of Selective Enrichment Broth for Detection of Group B Streptococcus in Pregnant Women in Japan. *Jpn J Infect Dis.*77(2):68-74. 2024 Mar 21 doi: 10.7883/yoken.JJID.2023.295. Epub 2023 Oct 31. (査読有り)
- 4 Kobayashi K, Hata A, ..., Ito T, Uenoyama K, Takahashi T, Ueda S, ..., Onoue M, Takeya H*. Evaluation of predictors of third-generation cephalosporin non-susceptibility and factors affecting recurrence or death in bacteremia caused by *Citrobacter freundii* complex, *Enterobacter cloacae* complex, and *Klebsiella aerogenes*. *J Chemother.* 2024 Mar 7:1-11. doi: 10.1080/1120009X.2024.2323326. Online ahead of print. (査読有り)
- 5 Daiki Tanno, ..., Yukari Nakatsuka, ..., Atsuko Hata, A multicenter study on the Utility of selective enrichment broth for detection of Group B streptococcus in pregnant women in Japan. *Jpn J Infect Dis.* 2024 Mar 21;77(2):68-74. doi: 10.7883/yoken.JJID.2023.295. (査読有り)

(症例報告)

- 1 藤尾光, 熊倉啓, 高田尚志, 塚原堯, 梶本智史, 兵頭勇紀, 秦大資, 塩田光隆* 舌咽神経

麻痺による構音障害・嚥下困難が先行したギラン・バレー症候群の11歳男児例 小児科臨床 2023/4/7 受理 (査読有り)

- 2 金奏希, 三上真充, 辰巳正樹, 三輪将大, 塩田光隆* クラリスロマイシンによる薬物性肝障害が疑われた一例 小児科臨床 2024/3/20 受理(査読有り)
- 3 Nagata T, Nakagawa K*, Tsurumi F, Watanabe K, Endo T, Hata A. A case of novel NFKB2 variant with hypertensive emergency and nephrotic syndrome leading to CKD 5D. *Pediatr Nephrol*. 2024 Apr 8. doi: 10.1007/s00467-024-06334-4. Online ahead of print. (査読有り)
- 4 坂口大典, 三上真充, 酒井達紘, 藤尾光, 秦大資, ..., 塩田光隆. NUTM1 融合遺伝子を有した乳児急性リンパ性白血病の一例 日本小児血液・がん学会雑誌 61 巻 1 号、1-6、2024 年、小児血液・がん学会 (査読有り)

(総説)

- 1 羽田 敦子 帯状疱疹の流行状況と今後の動向 COVID-19 パンデミック時代のワクチンとの関連について バムサジャーナル(2185-9361)35 巻 4 号 Page198-204(2023. 10) (査読なし)

小児外科

(原著論文)

- 1 Atsushi Higashio, Masahito Sato, Kousuke Endo, ..., Yoshiki Morotomi. Efficacy of daikenchutou after laparoscopic surgery for perforated appendicitis. *Pediatr Int*. 2023 Jan-Dec;65(1):e15548. doi: 10.1111/ped.15548. (査読有り)
- 2 岩出珠幾 停留精巣を認めた重症心身障害児(者)の4名に対する精巣固定術の経験 日本重症心身障害学会誌 202348(3)447-452 (査読有り)

(症例報告)

- 1 Atsushi Higashio, Masahito Sato, Kousuke Endo, ..., Yoshiki Morotomi. Laparoscopic percutaneous extracorporeal closure for irreducible Amyand's hernia in a pediatric patient: a case report. *J Pediatr Surg Case Reports*. <https://doi.org/10.1016/j.epsc.2023.102728>. (査読有り)
- 2 遠藤耕介, 園田真理, 諸嘉嘉樹, 佐藤正人 反復する腸重積症に対して再発予防目的に腹腔鏡下虫垂切除・回盲部固定術を施行した3例 日本内視鏡外科学会雑誌 202328(6)346-351 (査読有り)

(総説)

- 1 佐藤正人, 園田真理, 岩出珠希, 遠藤耕介 特集：検査・処置・手術の合併症：予防と対策：鎖肛手術 小児外科 202355(11)1216-1219 (査読なし)
- 2 佐藤正人, 園田真理, 岩出珠希, 遠藤耕介 特集：腹腔鏡下噴門形成術—新技術認定制度に向けて：再発例に対する再手術—Collis-Nissen 手術を含む 小児外科 202456(1)71-76 (査読有り)

読なし)

(ガイドライン)

- 1 佐藤正人 (協力委員) 内視鏡外科ガイドライン：小児外科領域 鎖肛 日本内視鏡外科学会ガイドライン 2023 (査読なし)

薬剤部

(原著論文)

- 1 北田徳昭*, ..., 尾上雅英, 退院支援関連業務への介入とアウトカム評価－日本病院薬剤師会令和3年度学術第2小委員会アンケートから－ *日本病院薬剤師会雑誌* 59(4), 401-407(2023)(査読有り)
- 2 Dote S*, ..., Miyake M, Impact of prior bevacizumab therapy on the incidence of ramucirumab-induced proteinuria in colorectal cancer: a multi-institutional cohort study. *Int. J. Clin. Oncol.* 28(8):1054-1062(2023)(査読有り)
- 3 三宅健文*, ..., 上田 寛, ...令和4年度学術委員会学術第1小委員会報告 抗菌薬の適正使用にかかわる薬剤師の現状と課題解決に向けた研究 (最終報告) *日本病院薬剤師会雑誌* 59(10), 1144-1148(2023)(査読有り)
- 4 Kobayashi K, Hata A, ..., Ito T, Uenoyama K, Takahashi T, Ueda S, Katayama T, Onoue M, Takeya H*.
Evaluation of predictors of third-generation cephalosporin non-susceptibility and factors affecting recurrence or death in bacteremia caused by *Citrobacter freundii* complex, *Enterobacter cloacae* complex, and *Klebsiella aerogenes*. *J. Chemother.* 2024 Mar7:11
<https://www.tandfonline.com/doi/full/10.1080/1120009X.2024.2323326> (査読有り)

(総説)

- 1 尾上雅英 実務家教員と病院実習を行っている病院の立場から 薬学教育受理 2024(査読無し)

(症例報告)

- 1 谷口麻由加, 伊藤俊和, 樋口壽宏, 尾上雅英 *妊娠・出産によりラモトリギンの血中濃度に変動したてんかん合併妊婦3例 *日本病院薬剤師会雑誌* 受理 2024(査読有り)

救急科

(原著論文)

- 1 Yuan lin, ..., Te-Hsiung Wang, Cardiovascular and renal outcomes in patients with atrial fibrillation and stage4-5 chronic kidney disease receiving direct oral anticoagulants:a multicenter retrospective cohort study. *J Thromb Thrombolysis.* 2024 Jan;57(1):89-100. (査読有り)

放射線診断科

(原著論文)

- 1 Otani T, ..., Ishimori T, Prognostic value of pretreatment FDG PET/CT in uterine cervical cancer according to two major histologic types: squamous cell carcinoma and adenocarcinoma. *Asia Ocean J Nucl Med Biol*. 11(2):101-110 2023 (査読有り)
- 2 Yuge S, ..., Ishimori T, Performance of dedicated breast PET in breast cancer screening: comparison with digital mammography plus digital breast tomosynthesis and ultrasound. *Ann Nucl Med*. 37(9):479-493 2023 (査読有り)
- 3 Okazawa A, ..., Okumura R, Takahara S, Noda T, Nishi T, Ishimori T, Diagnostic Utility of an Adjusted DWI Lexicon Using Multiple b-values to Evaluate Breast Lesions in Combination with BI-RADS. *Magn Reson Med Sci*. doi: 10.2463/mrms.mp.2022-0056. 2023 (査読有り)

腫瘍放射線科

(原著論文)

- 1 武川 英樹、宮部 結城、.... 放射線治療計画プログラム搭載スクリプト機能の安全利用に関するガイドライン 初版 2023 年 5 月 1 日 (査読有り)

臨床検査部

(原著論文)

- 1 Tanno D*, ..., Nakatsuka Y, ..., Hata A, A multicenter study on the utility of selective enrichment broth for detection of Group B Streptococcus in pregnant women in Japan *Jpn J Infect Dis*. (2024) 77:68-74.doi: 10.7883/yoken.JJID.2023.295. (査読有り)

医療情報部

(原著論文)

- 1 Hada H, Hiragi S, ..., Kuroda T. Reduction in X-ray Retake Rate Using the Token Economy Method. *Stud Health Technol Inform*. 2023 May 18;302:486-487. 2023. (査読有り)
- 2 Wada S, ..., Hiragi S, ..., Tamura H. Epidemiology of Angioid Streaks and Pseudoxanthoma Elasticum (2011-2020): A Nationwide Population-based Cohort Study. *Ophthalmol Sci*. 2023 Jul 20;4(2):100370. 2023. (査読有り)
- 3 Wada S, ..., Hiragi S, ..., Tsujikawa A. Annual trends of ophthalmic surgeries in Japan's super-aged society, 2014-2020: a national claims database study. *Sci Rep*. 2023 Dec 18;13(1):22884. 2023. (査読有り)

リハビリテーション科

(原著論文)

- 1 松岡森*, 大洞佳代子, 本田憲胤 誤嚥・窒息リスク軽減への取り組み～アクシデント発生要因の分析とフローチャートの作成～ 医療の質・安全学会誌 2023 第18巻3号 P310-314 (査読有り)
- 2 鶴本一寿*, 上坂建太*, 本田憲胤, 中根英策, 猪子森明 心不全患者における基本チェックリストと運動耐容能との関連の検討 日本循環器理学療法学会誌 2023 第2巻1号 P11-22 原著 (査読有り)
- 3 浦慎太郎, ..., 北川孝* 脳卒中患者に対する長下肢装具の臨床使用-スコーピングレビュー- 総合理学療法学 2024 P1-12 doi: 10.50918/cptr.2024-007 研究論文 (査読有り)

(総説)

- 1 内田洋一朗, ..., 松岡森, 山田信子, 寺嶋宏明, ... 脾切除における周術期栄養・リハビリテーション治療 肝胆脾 2024 第88巻1号 P113-1202024 総説 (査読なし)

5. 出 版

泌尿器科

- 1 宗田 武 夜間頻尿 泌尿器科の疾患・治療・ケア p48-53 メディカ出版 2021 年発行

消化器外科

- 1 山本健人 すばらしい医学 すばらしい医学 ダイヤモンド社 P1-392 2023 年発行

循環器内科

- 1 猪子 森明 大動脈弁疾患の心臓カテーテルでの評価法 心臓カテーテル検査の基本とコツ 第 3 版 羊土社 P281-286 2023 年発行

呼吸器内科

- 1 丸毛聡 第 6 章ジェネラリストに紐解くガイドラインの読み方 (1) 喘息. 寺田哲也 編集: jmedmook89 ひとりのできるアレルギー診療. p149-154. 日本医事新報, 東京, 2023 年発行
- 2 丸毛聡 喘息. II 疾患編 A. 閉塞性肺疾患と気道疾患 2. 原悠/金子猛 編集: 研修医が知りたい対応をチャートで整理! 呼吸器診療エッセンシャル. P35-43. 南江堂, 東京, 2024 年発行

栄養部

- 1 守本 彩乃, 榎田 真, 橋本 愛加, 湯面 百希奈, 高山 祐美, 奥菌 美代子, 半澤 史聡, 永井 成美 健康的または不健康と認識される単回の食事摂取が若年女性の自尊心とポジティブボディイメージに及ぼす影響 女性心身医学 - 28(2):211-221 2023 年発行
- 2 高山祐美 非結核性抗酸菌症 (肺 NTM 症) の栄養障害 栄養ニュース PEN ジェフコーポレーション 2023 年 10 月 1 日号 2023 年発行
- 3 京面ももこ (編集委員) 糖尿病療養指導ガイドブック 2023 担当ページ 糖尿病療養指導ガイドブック 2023 メディカルレビュー社 担当ページ (非公開) 2023 年発行
- 4 内田 洋一朗, 木戸口 勇氣, 松岡 森, 山田 信子, 穴澤 貴行, 長井 和之, 寺嶋 宏明, 波多野 悦朗 膵切除における周術期の栄養・リハビリテーション治療 肝胆膵 アークメディア 第 88 巻 1 号 (2024 年 1 月号) 2024 年発行

耳鼻咽喉科

- 1 Shin-ichi Kanemaru. A tissue-engineering approach to tympanic membrane regeneration. The Principles of Regenerative Medicine. p38-46, p95-104, 24, Jan, 2020, Editor Masanori Fukushima, Editorial Translational Research Center for Medical Innovation, Kobe, Japan
- 2 金丸真一 鼓膜穿孔治療剤 - リティンパ - 外来診療に役立つ機器・材料・薬剤 東京医学社 JOHNS Vol. 38 No. 7, 807-811, July. 2022 東京
- 3 金丸真一監修 鼓膜再生療法手術手技マニュアル 中山書店 2023 東京
- 4 原田博之: 飲酒・喫煙以外の原因による口腔癌の解明 2021 年度科研費基盤 C (継続)

小児科

- 1 水本洋 新生児の非侵襲モニタリング 今日の治療指針 私はこう治療している 2024 年版 1419 ページ

薬剤部

- 1 上ノ山和弥 23 脳血管疾患 薬剤師のための栄養療法管理マニュアル 医学書院 P277-285 2023 年発行
- 2 尾上雅英 編集後記 大阪府薬剤会雑誌 一般社団法人 大阪府薬剤師会 74(8). 70 2023 年発行
- 3 尾上雅英 令和 5 年度 地域フォーミュラに関する研修会 大阪府薬剤会雑誌 一般社団法人 大阪府薬剤師会 74(12), 23-25 2023 年発行

看護部

- 1 稲田 美紀 執筆 除圧マット（ソフトナース）の除菌方法の実際と注意点について 「隔月刊誌 手術看護エキスパート 2024 3.4月号」 株式会社日総研出版 2023/7/26
- 2 宮地 千春 執筆 除圧マット（ソフトナース）の除菌方法の実際と注意点について 「隔月刊誌 手術看護エキスパート 2024 3.4月号」 株式会社日総研出版 2023/7/26-

歯科口腔外科

- 1 時田義人、杉並（村島）亜希子、喜早ほのか、高橋克（2023）：先天性無歯症患者の欠如歯を再生する新規抗体医薬品の開発（編集主幹 市川剛志）、No23-06, Healthcare note、p1-23, 野村ヘルスケア・サポート&アドバイザー株式会社、東京
- 2 時田義人、高橋克（2023）：希少疾患先天性無歯症患者の欠損歯を再生する新規抗体医薬品の開発、小児歯科臨床、Vol. 28, No. 3, 2023 年 10 月号, p33-45、東京臨床出版株式会社、東京

医療情報部

- 1 村上 幸恵, 玉井 宏幸, 下田 渉, 加藤 玲奈, 平木 秀輔 現場を変える具体的対策 職員健診結果通知業務における RPA 導入経験を振り返って 新医療 50(11) 株式会社エム・イー振興協会 P58-61 2023 年発行
- 2 平木 秀輔 インタビュー 情報セキュリティの弱点は「人」 規律を守る組織づくりがカギに 医療経営士(109) 日本医療企画 P18-21 2023 年発行

リハビリテーション科

- 1 片岡裕貴, 北川孝, 浦慎太郎(分担執筆) 明日から出来るエビデンス構築スコアリングレビューが短期間で読める・書ける本 p50, 134, 136, 142 メジカルビュー社 2024 年発行

6. 解 剖

本年度における病理解剖は9件で、これに対して45,000円を支出した。

7. 人間ドック

日帰りドック	2,731名
--------	--------

一泊ドック	713名
-------	------

脳ドック	24名
------	-----

心臓ドック	17名
-------	-----

医学研究所北野病院の運営

1. 2023年度 患者動態比較表 (単位：人)
2022年度

			入 院	外 来		
				新 患	再 来	計
4月	本年度	患者数	15,488	4,879	27,456	32,335
		一日平均	516	244	1,373	1,617
	前年度	患者数	15,383	4,900	28,047	32,947
		一日平均	513	213	1,219	1,432
5月	本年度	患者数	16,456	5,248	28,117	33,365
		一日平均	531	262	1,406	1,668
	前年度	患者数	15,381	4,912	27,201	32,113
		一日平均	496	234	1,295	1,529
6月	本年度	患者数	16,281	5,396	30,135	35,531
		一日平均	543	245	1,370	1,615
	前年度	患者数	15,720	5,132	30,521	35,653
		一日平均	524	214	1,272	1,486
7月	本年度	患者数	16,895	5,201	28,380	33,581
		一日平均	545	260	1,419	1,679
	前年度	患者数	14,908	4,663	28,921	33,584
		一日平均	481	203	1,257	1,460
8月	本年度	患者数	17,162	5,225	28,482	33,707
		一日平均	554	238	1,295	1,532
	前年度	患者数	12,671	4,044	29,100	33,144
		一日平均	409	169	1,213	1,381
9月	本年度	患者数	16,236	4,914	28,489	33,403
		一日平均	541	246	1,424	1,670
	前年度	患者数	13,324	4,370	28,974	33,344
		一日平均	444	199	1,317	1,516
10月	本年度	患者数	16,415	4,989	29,768	34,757
		一日平均	530	238	1,418	1,655
	前年度	患者数	15,392	4,668	28,835	33,503
		一日平均	497	203	1,254	1,457
11月	本年度	患者数	16,481	4,869	28,097	32,966
		一日平均	549	243	1,405	1,648
	前年度	患者数	15,049	4,528	28,371	32,899
		一日平均	502	206	1,290	1,495
12月	本年度	患者数	16,905	5,082	28,996	34,078
		一日平均	545	254	1,450	1,704
	前年度	患者数	15,490	4,760	28,922	33,682
		一日平均	500	216	1,315	1,531
1月	本年度	患者数	16,801	5,129	26,761	31,890
		一日平均	542	270	1,408	1,678
	前年度	患者数	14,536	4,628	26,771	31,399
		一日平均	469	220	1,275	1,495
2月	本年度	患者数	16,815	5,058	27,114	32,172
		一日平均	580	266	1,427	1,693
	前年度	患者数	14,226	4,461	26,490	30,951
		一日平均	508	212	1,261	1,474
3月	本年度	患者数	17,950	5,200	29,361	34,561
		一日平均	579	260	1,468	1,728
	前年度	患者数	15,736	5,339	30,910	36,249
		一日平均	508	222	1,288	1,510
計	本年度	患者数	199,885	61,190	341,156	402,346
		一日平均	546	252	1,404	1,656
	前年度	患者数	177,816	56,405	343,063	399,468
		一日平均	487	209	1,271	1,480

各科別患者動態表（2018年度～2023年度）

一日平均（入院）

（単位：人）

	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	平均
消化器センター	86.9	75.3	71.9	72.1	66.5	73.1	74.3
（消化器内科）	50.5	41.6	38.1	43.5	38.4	42.0	42.3
（消化器外科）	36.5	33.7	33.7	28.6	28.1	31.1	32.0
呼吸器センター	73.4	70.3	61.5	61.0	52.7	69.7	64.8
（呼吸器内科）	59.6	58.3	48.9	50.3	42.1	57.9	52.8
（呼吸器外科）	13.9	12.1	12.6	10.6	10.6	11.8	11.9
心臓センター	45.6	39.2	45.7	44.2	41.4	42.7	43.2
（循環器内科）	37.2	33.1	37.7	37.3	37.7	37.7	36.8
（心臓血管外科）	8.4	6.1	8.1	7.0	3.8	5.0	6.4
神経センター	77.2	72.2	63.0	71.4	71.1	74.9	71.6
（脳神経内科）	42.3	39.5	31.3	35.8	36.5	38.1	37.2
（脳神経外科）	34.9	32.7	31.7	35.6	34.7	36.9	34.4
腎臓内科	22.2	20.0	17.4	18.6	15.5	18.0	18.6
糖尿病内分泌内科	10.6	13.3	12.2	10.2	8.0	10.1	10.7
血液内科	28.3	31.2	30.3	26.4	26.0	35.0	29.5
リウマチ膠原病内科	12.4	17.8	17.4	16.3	14.1	17.0	15.8
小児科	64.2	64.4	48.8	55.1	53.6	63.1	58.2
神経精神科	8.6	7.2	0.2				5.3
腫瘍内科		0.4	1.9	1.8	2.1	1.7	1.6
乳腺外科	6.6	7.9	6.9	5.9	3.6	4.5	5.9
整形外科	36.6	35.2	38.3	33.6	34.4	33.9	35.4
産婦人科	52.7	42.8	41.0	39.1	36.6	42.5	42.4
眼科	18.3	21.2	16.7	14.6	18.2	17.0	17.7
皮膚科	3.9	4.5	3.3	2.9	2.6	3.8	3.5
泌尿器科	19.3	18.0	16.5	16.1	14.0	14.2	16.4
耳鼻咽喉科	16.8	17.1	15.5	14.4	15.2	13.7	15.5
歯科口腔外科		0.1	0.5	1.1	1.8	1.9	1.1
形成外科	8.5	7.0	6.2	6.3	5.9	5.3	6.5
小児外科	3.4	4.6	5.1	3.9	3.3	3.3	3.9
初期診療科			0.2				0.2
救急部	0.9	0.6	0.2	0.2	0.4	0.6	0.5
全科計	596.4	570.5	520.6	515.4	487.2	546.1	539.4

各科別患者動態表（2018年度～2023年度）

一日平均（外来）

（単位：人）

	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	平均
消化器センター	201.2	190.9	172.9	176.6	179.0	197.4	186.3
（消化器内科）	153.2	146.9	132.7	133.7	138.3	151.5	142.7
（消化器外科）	48.0	44.1	40.2	42.9	40.7	45.8	43.6
呼吸器センター	120.6	116.4	102.8	106.3	107.8	124.5	113.1
（呼吸器内科）	104.6	99.9	87.3	90.9	92.4	107.3	97.1
（呼吸器外科）	16.0	16.5	15.5	15.4	15.3	17.2	16.0
心臓センター	94.9	88.7	81.8	85.2	84.4	94.5	88.2
（循環器内科）	89.3	82.3	76.9	79.9	80.0	88.4	82.8
（心臓血管外科）	5.6	6.3	4.9	5.3	4.4	6.2	5.4
神経センター	101.9	97.7	84.0	91.6	92.5	105.5	95.5
（脳神経内科）	58.1	54.4	45.4	50.2	51.0	60.8	53.3
（脳神経外科）	43.8	43.3	38.6	41.4	41.5	44.7	42.2
腎臓内科	81.9	77.3	67.4	58.3	50.4	57.9	65.5
糖尿病内分泌内科	77.4	72.6	69.0	68.9	66.9	74.8	71.6
血液内科	33.3	34.7	33.2	34.8	36.5	45.2	36.3
リウマチ膠原病内科	48.3	53.1	50.3	55.3	56.9	64.6	54.7
小児科	116.7	119.4	95.7	108.2	117.1	142.1	116.5
神経精神科	38.7	36.2	30.9	30.3	30.9	35.2	33.7
心療内科	3.5	3.7	0.7				2.6
腫瘍内科	23.7	22.3	25.2	24.6	27.4	26.7	25.0
乳腺外科	46.2	53.2	52.4	53.0	51.6	52.5	51.5
整形外科	55.9	55.0	54.9	54.6	48.7	52.6	53.6
産婦人科	109.8	106.6	100.1	101.7	95.4	106.2	103.3
眼科	101.9	92.3	72.2	69.8	73.8	79.6	81.6
皮膚科	71.8	67.3	57.7	56.9	55.0	62.4	61.8
泌尿器科	62.8	60.7	53.4	54.7	54.4	56.5	57.1
耳鼻咽喉科	71.0	72.5	68.0	70.2	67.2	76.7	70.9
放射線科	40.1	14.2	10.9	24.1	30.2	30.9	25.1
リハビリテーション科	0.4	1.1	5.8	7.1	3.5	9.1	4.5
形成外科	27.1	27.8	22.8	23.8	22.8	23.3	24.6
小児外科	9.3	9.7	10.5	10.9	10.3	11.7	10.4
初期診療科	1.1	1.0	18.4	17.8	17.6	6.1	10.3
救急部	51.1	45.5	39.1	48.5	47.8	57.2	48.2
麻酔科	1.9	2.9	3.1	2.8	2.0	2.1	2.5
健診部	20.7	20.3	18.8	21.1	20.6	21.7	20.5
歯科口腔外科		3.9	17.9	21.9	25.7	35.6	21.0
緩和ケア内科		0.1	0.2	0.1	0.2	0.1	0.1
感染症科				1.0	1.9	2.0	1.6
全科計	1,613.7	1,547.8	1,420.7	1,481.3	1,479.5	1,655.7	1,533.1

2. 庶務の概要

(1) 役員等に関する事項

① 2024年3月31日現在役員

氏 名	新任年月日 再任	備 考	初任年月日
理事長 稲 垣 暢 也	2023. 06. 15 (再 任)	代表理事・理事長	2015. 06. 16
副理事長 伊 佐 正	2023. 06. 15 (再 任)	京都大学大学院医学研究科長 / 医学部長	2022. 12. 01
常務理事 秦 大 資	2023. 06. 15 (再 任)	医学研究所北野病院 病院長	2022. 09. 30
理 事 成 宮 周	2023. 06. 15 (再 任)	京都大学大学院医学研究科 メディカルイノベーションセンター センター長	2011. 11. 01
〃 橋 本 信 夫	2023. 06. 15 (再 任)	地方独立行政法人神戸市民病院機構 理事長	2011. 11. 01
〃 安 藤 忠 雄	2023. 06. 15 (再 任)	東京大学特別荣誉教授	2012. 06. 11
〃 湊 長 博	2023. 06. 15 (再 任)	京都大学 総長	2014. 10. 01
〃 田 附 い く 子	2023. 06. 15 (再 任)	Colorado Center of Reproductive Medicine, Medical Director	2017. 06. 14
〃 平 家 俊 男	2023. 06. 15 (再 任)	兵庫県立尼崎総合医療センター 院長	2019. 06. 17
〃 武 藤 誠	2023. 06. 15 (再 任)	医学研究所北野病院 研究所長	2018. 09. 08
〃 小 池 薫	2023. 06. 15 (新 任)	独立行政法人国立病院機構 京都医療センター 院長	2023. 06. 15
〃 波 多 野 悦 朗	2023. 06. 15 (新 任)	京都大学大学院医学研究科 教授	2023. 06. 15
監 事 国 谷 史 朗	2023. 06. 15 (再 任)	大江橋法律事務所 弁護士	2011. 11. 01
〃 新 川 大 祐	2023. 06. 15 (再 任)	北斗税理士法人 公認会計士・税理士	2021. 06. 23
評議員 高 折 晃 史	2023. 06. 15 (再 任)	京都大学医学部附属病院 病院長	2023. 04. 01
〃 上 本 伸 二	2023. 06. 15 (再 任)	滋賀医科大学 学長	2020. 06. 17
〃 本 庶 佑	2023. 06. 15 (再 任)	京都大学高等研究院 副院長/特別教授 公益財団法人神戸医療産業都市推進機構理事長	2011. 11. 01
〃 足 立 壯 一	2023. 06. 15 (再 任)	京都大学大学院医学研究科 教授	2018. 04. 01
〃 坂 井 義 治	2023. 06. 15 (再 任)	日本赤十字社大阪赤十字病院 院長	2020. 06. 17
〃 田 中 一 成	2023. 06. 15 (再 任)	静岡県立病院機構静岡県立総合病院 病院長	2011. 11. 01
〃 上 田 孝 典	2023. 06. 15 (再 任)	福井大学 学長	2011. 11. 01
〃 山 形 専	2023. 06. 15 (再 任)	公益財団法人倉敷中央病院 院長	2016. 06. 14
〃 松 原 和 夫	2023. 06. 15 (新 任)	和歌山県立医科大学薬学部教授・副学部長、附属病院薬剤部長	2023. 06. 15
〃 岩 井 一 宏	2023. 06. 15 (新 任)	京都大学 プロボスト理事・副学長	2023. 06. 15
〃 中 村 剛	2023. 06. 15 (新 任)	大阪ガス株式会社 顧問	2023. 06. 15

②役員等の異動

就 任

役 職	氏 名	就任年月日	備考
理 事	小池 薫	2023. 06. 15	独立行政法人国立病院機構 京都医療センター 院長
理 事	波多野 悦朗	2023. 06. 15	京都大学大学院医学研究科 教授
評 議 員	高折 晃史	2023. 06. 15	京都大学医学部附属病院 病院長
評 議 員	岩井 一宏	2023. 06. 15	京都大学プロポスト理事・副学長
評 議 員	中村 剛	2023. 06. 15	大阪ガス株式会社 顧問
評 議 員	松原 和夫	2023. 06. 15	和歌山県立医科大学 薬学部教授

辞 任

役 職	氏 名	辞任年月日	備考
理 事	小西 郁生	2023. 06. 15	独立行政法人国立病院機構 京都医療センター 名誉院長
理 事	平岡 眞寛	2023. 06. 15	日本赤十字社 和歌山医療センター 名誉院長
評 議 員	乾 賢一	2023. 06. 15	京都大学名誉教授・京都薬科大学名誉教授
評 議 員	室 繁郎	2023. 06. 15	奈良県立医科大学 呼吸器内科学講座 教授
評 議 員	山形 専	2024. 03. 31	公益財団法人倉敷中央病院 総院長

(2) 主たる職員

①役員（院内）

(2024年3月31日現在)

職 務	氏 名	就業年月日
代 表 理 事・理 事 長	稲 垣 暢 也	2022. 10. 01
常 務 理 事	秦 大 資	2022. 10. 01
理 事	武 藤 誠	2018. 09. 08

②医学研究所 北野病院

(2024年3月31日現在)

職 務	氏 名	就業年月日
所 長	武 藤 誠	2018. 10. 01
副 所 長	福 井 基 成	2001. 04. 01
副 所 長	黄 政 龍	2011. 08. 01
品 質 管 理 室 長	片 山 俊 郎	2016. 04. 01
腫 瘍 研 究 部 門 研 究 部 長	黄 政 龍	2011. 08. 01
呼吸・循環研究部門研究部長	猪 子 森 明	2001. 05. 01
内分泌・代謝・腎臓研究部門研究部長	濱 崎 暁 洋	2014. 04. 01
炎症・免疫研究部門研究部長	井 村 嘉 孝	2017. 04. 01
神経・感覚運動器研究部門研究部長	戸 田 弘 紀	2020. 07. 01
発達・再生研究部門研究部長	塩 田 光 隆	2005. 07. 01
病態生理・薬理研究部門研究部長	尾 上 雅 英	2013. 04. 01
保健・健康研究部門研究部長	寺 井 美 峰 子	2020. 09. 01
研 究 主 幹	岡 田 卓 也	2016. 04. 01
〃	宗 田 武	2011. 04. 01
〃	樋 口 壽 宏	2017. 05. 01
〃	八 隅 秀 二 郎	2007. 08. 01
〃	高 忠 之	2019. 04. 01
〃	寺 嶋 宏 明	2008. 10. 01
〃	田 浦 康 二 朗	2022. 04. 01
〃	西 村 貴 文	2013. 04. 01

職 務	氏 名	就業年月日
研 究 主 幹	高 原 祥 子	2011. 04. 01
〃	梶 山 徹	2019. 04. 01
〃	北 野 俊 行	2017. 08. 01
〃	弓 場 吉 哲	2006. 08. 01
〃	本 庄 原 也	2020. 04. 01
〃	春 名 徹 也	2008. 04. 01
〃	中 根 英 策	2001. 06. 01
〃	福 井 基 成	2001. 04. 01
〃	丸 毛 聡	2013. 07. 01
〃	井 上 大 生	2008. 04. 01
〃	金 光 ひ で お	2022. 04. 01
〃	荻 野 均	2023. 04. 01
〃	塚 本 達 雄	2016. 04. 01
〃	本 庶 祥 子	2003. 05. 01
〃	吉 川 義 顕	2017. 04. 01
〃	田 辺 晶 代	2016. 10. 01
〃	宮 原 晋 介	2018. 03. 01
〃	高 木 賢 一	2018. 04. 01
〃	田 村 治 郎	2003. 09. 01
〃	太 田 雅 人	2010. 04. 01
〃	鈴 木 義 久	2006. 07. 01
〃	金 子 鋭	2023. 04. 01
〃	前 谷 俊 樹	2008. 04. 01
〃	金 丸 眞 一	2009. 01. 01
〃	金 井 理 絵	2009. 04. 01
〃	水 本 洋	2008. 09. 01
〃	佐 藤 正 人	2006. 04. 01
〃	渡 辺 健	2011. 04. 01
〃	羽 田 敦 子	1999. 06. 01
〃	足 立 健 彦	2002. 05. 01
〃	加 藤 茂 久	2013. 07. 01
〃	黒 寄 明 子	2011. 08. 01
〃	宮 崎 嘉 也	2010. 08. 01
〃	平 川 昭 彦	2022. 01. 01
〃	高 森 行 宏	2010. 09. 01
〃	高 木 雄 久	2001. 08. 01
〃	石 守 崇 好	2021. 07. 01
〃	広 川 侑 奨	2022. 04. 01
〃	高 橋 克	2021. 01. 01
〃	平 木 秀 輔	2021. 04. 01
〃	向 井 秀 幸	2021. 04. 01

(2024年3月31日現在)

職 務			氏 名			就業年月日	担 当
理 事 長	稲 垣 暢 也	2022.10.01					
病 院 長	秦 大 資	2002.05.01					
副 院 長	福 井 基 成	2001.04.01					
〃	寺 嶋 宏 明	2008.10.01					
〃	佐 藤 正 人	2006.04.01					
病 院 長 補 佐 ・ 部 長	丸 毛 聡	2013.07.01					感 染 制 御 対 策 室 ・ 呼 吸 器 内 科
病 院 長 補 佐 ・ 部 長	平 木 秀 輔	2021.04.01					
主 任 部 長	八 隅 秀 二 郎	2007.08.01					医 療 情 報 部
部 長	高 忠 之	2019.04.01					
部 長	田 浦 康 二 朗	2022.04.01					
主 任 部 長	黄 政 龍	2011.08.01					消 化 器 セ ン タ ー (消 化 器 内 科)
部 長	井 上 大 生	2008.04.01					
主 任 部 長	金 光 ひ で お	2022.04.01					消 化 器 セ ン タ ー (消 化 器 内 科)
特 任 部 長	荻 野 均	2023.04.01					
主 任 部 長	猪 子 森 明	2001.05.01					消 化 器 セ ン タ ー (消 化 器 外 科)
部 長	中 根 英 策	2001.06.01					
主 任 部 長	春 名 徹 也	2008.04.01					呼 吸 器 セ ン タ ー (呼 吸 器 外 科)
主 任 部 長	戸 田 弘 紀	2020.07.01					
主 任 部 長	金 子 鋭	2023.04.01					呼 吸 器 セ ン タ ー (呼 吸 器 内 科)
主 任 部 長	塚 本 達 雄	2016.04.01					
主 任 部 長	濱 崎 暁 洋	2014.04.01					心 臓 セ ン タ ー (心 臓 血 管 外 科)
主 任 部 長	井 村 嘉 孝	2017.04.01					
主 任 部 長	北 野 俊 行	2017.08.01					心 臓 セ ン タ ー (心 臓 血 管 外 科)
主 任 部 長	西 村 貴 文	2013.04.01					
主 任 部 長	塩 田 光 隆	2005.07.01					心 臓 セ ン タ ー (循 環 器 内 科)
部 長	渡 辺 健	2011.04.01					
部 長	羽 田 敦 子	1999.06.01					心 臓 セ ン タ ー (循 環 器 内 科)
部 長	水 本 洋	2008.09.01					
主 任 部 長	樋 口 壽 宏	2017.05.01					神 経 セ ン タ ー (脳 神 経 外 科)
主 任 部 長	高 原 祥 子	2011.04.01					
主 任 部 長	高 田 治 郎	2003.09.01					神 経 セ ン タ ー (脳 神 経 内 科)
部 長	太 田 雅 人	2010.04.01					
主 任 部 長	前 谷 俊 樹	2008.04.01					腎 臓 内 科
特 任 部 長	金 丸 眞 一	2009.01.01					
部 長	金 井 理 絵	2009.04.01					糖 尿 病 内 分 泌 内 科

職 務				氏 名			就業年月日	担 当			
主 任 部 長	岡 田 卓 也	2016.04.01	泌 尿 器 科								
主 部 長	宗 田 武	2011.04.01	〃								
主 任 部 長	田 辺 晶 代	2006.10.01	眼 科								
主 部 長	宮 原 晋 介	2018.03.01	〃								
主 任 部 長	鈴 木 義 久	2006.07.01	形 成 外 科								
主 任 部 長	吉 川 義 顕	2017.04.01	皮 膚 科								
主 任 部 長	高 木 賢 一	2018.04.01	神 経 精 神 科								
主 任 部 長	石 守 崇 好	2021.07.01	放 射 線 診 断 科								
部 長	奥 村 亮 介	1994.04.01	〃								
部 長	広 川 侑 奨	2022.04.01	〃								
主 任 部 長	高 木 雄 久	2001.08.01	腫 瘍 放 射 線 科								
主 任 部 長	宮 崎 嘉 也	2006.04.01	集 中 治 療 部 科								
主 任 部 長	加 藤 茂 久	2013.07.01	麻 酔 科								
部 長	足 立 健 彦	2002.05.01	〃								
部 長	黒 寄 明 子	2011.08.01	〃								
主 任 部 長	弓 場 吉 哲	2006.08.01	病 理 診 断 科								
部 長	本 庄 原 徹	2020.04.01	〃								
部 長	梶 山 昭 彦	2019.04.01	緩 和 ケ ア 科								
主 任 部 長	平 川 昭 彦	2022.01.01	救 急 科								
主 任 部 長	高 森 行 宏	2010.09.01	健 診 部 科								
主 任 部 長	高 橋 克 子	2021.01.01	歯 科 口 腔 外 科								
部 長	本 庶 祥 子	2003.05.01	栄 養 部								
部 長	向 井 秀 幸	2021.04.01	臨 床 検 査 部								
部 長	尾 上 雅 英	2013.04.01	薬 剤 部								
技 師 長	高 峰 景 敏	1991.04.01	放 射 線 部								
室 長	宮 部 結 城	2020.12.01	医 学 物 理 室								
技 師 長	前 田 記 代 子	1991.04.01	検 査 技 師 部								
技 師 長	本 田 憲 胤	2013.07.01	リ ハ ビ リ テ ー シ ョ ン 科								
科 長	毎 熊 由 美 子	2021.04.01	栄 養 部								
部 長	寺 井 美 峰 子	2020.09.01	看 護 部								
事 務 部 長	佐 々 木 順 三	2023.04.01	事 務 部 所								
研 究 所 運 営 企 画 室 長	伊 藤 幸 也	2019.06.01	〃								
医 療 サ ー ビ ス 部 長	叶 迫 哲 哉	2009.09.07	〃								
経 営 企 画 課 長	福 田 浩 二	2020.04.01	〃								
施 設 次 長	下 田 涉	2020.08.01	〃								
病 院 整 備 室 長	橋 場 智 史	2023.04.01	〃								
総 務 課 長	西 貴 士	2021.04.01	〃								
人 事 課 長	加 藤 玲 奈	1995.04.01	〃								
広 報 課 長	朝 山 欣 英	2019.08.01	〃								
経 営 企 画 課 長	中 井 康 介	2023.04.01	〃								
シ ス テ ム 管 理 課 長	桑 田 ひ と み	2023.09.01	〃								
医 療 サ ー ビ ス 次 長	播 本 真 須 美	2012.04.01	〃								
医 診 サ ー ビ ス 課 長	謝 名 堂 昌 宏	2023.04.01	〃								
医 事 課 長											
診 療 情 報 室 室 長											
医 療 ク ラ ー ク 課 長											
保 安 室 長											

※主たる職員の就業年月日は、旧財団法人からの継続記載とする。

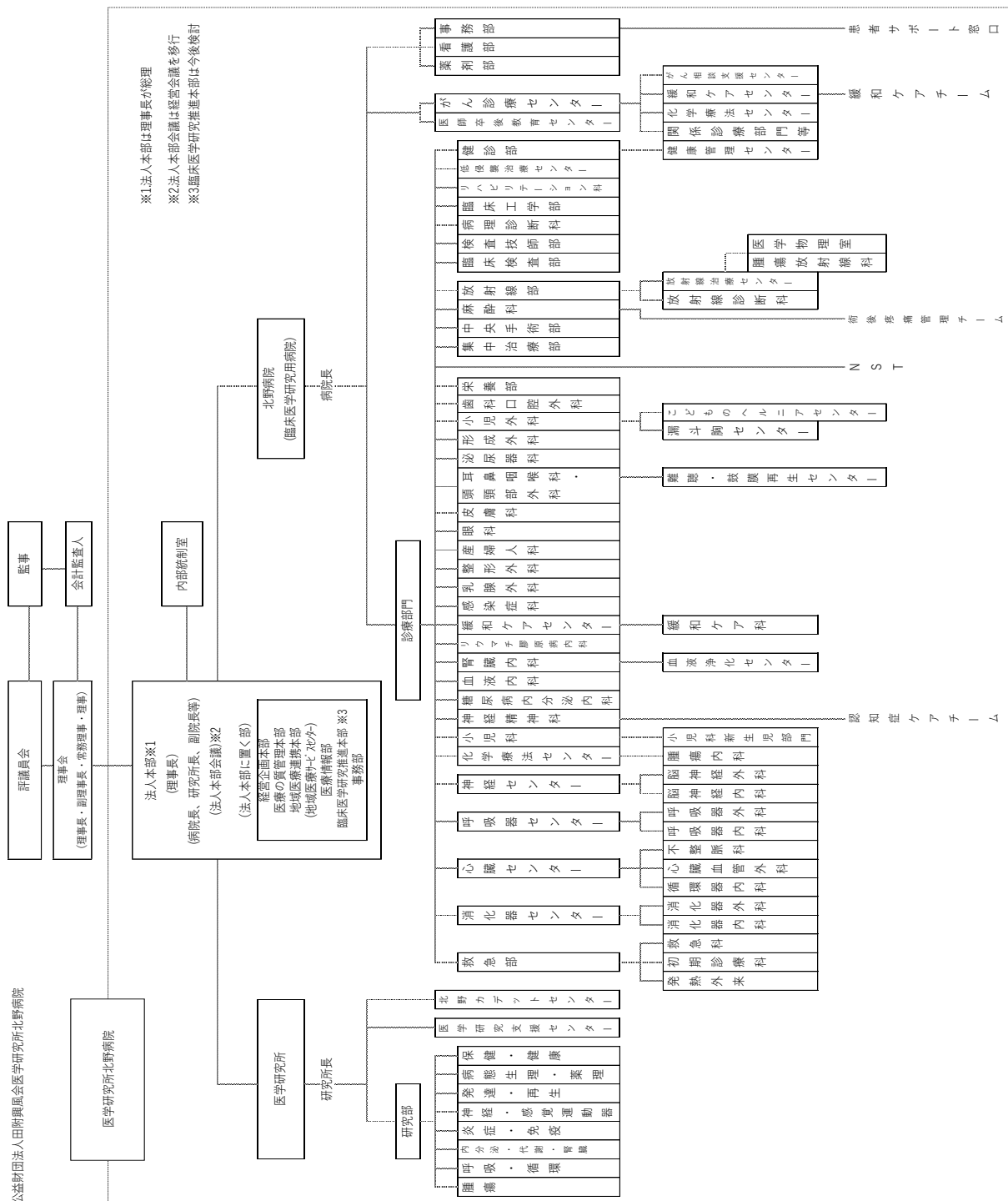
③職員に関する事項

2024年3月31日現在 職員数 1,612 名

職種別職員数

職 種	職 員 数
医 師	2 9 6
薬 剤 師	5 3
技 術 員	2 5 5
看 護 師	7 1 9
事務・現業	2 8 9
計	1 , 6 1 2

- ※ 医師には、嘱託は含まず
- ※ 技術員には、免許の無い技術補助員を含む
- ※ 看護師は、助産師・看護師・准看護師の合計数(嘱託除く)
- ※ 事務・現業には、看護補助・調理師を含む



(別表) 各研究部と科の関係および医学研究支援センター

腫瘍 研究部門

- | | | |
|--------|--------|-------|
| ・呼吸器外科 | ・泌尿器科 | ・産婦人科 |
| ・消化器内科 | ・消化器外科 | ・腫瘍内科 |
| ・乳腺外科 | ・緩和ケア科 | ・血液内科 |
| ・病理診断科 | | |

呼吸・循環 研究部門

- | | | |
|--------|--------|---------|
| ・循環器内科 | ・不整脈科 | ・心臓血管外科 |
| ・臨床工学部 | ・呼吸器内科 | |

内分泌・代謝・腎臓 研究部門

- | | | |
|------------|-------|------|
| ・糖尿病・内分泌内科 | ・腎臓内科 | ・栄養部 |
|------------|-------|------|

炎症・免疫 研究部門

- | | | |
|------------|------|-------|
| ・リウマチ膠原病内科 | ・皮膚科 | ・感染症科 |
|------------|------|-------|

神経・感覚運動器 研究部門

- | | | |
|--------------|--------|-------|
| ・脳神経外科 | ・脳神経内科 | ・眼科 |
| ・神経精神科 | ・整形外科 | ・形成外科 |
| ・耳鼻咽喉科・頭頸部外科 | | |

発達・再生 研究部門

- | | | |
|------|---------|-------|
| ・小児科 | ・小児循環器科 | ・小児外科 |
|------|---------|-------|

病態生理・薬理 研究部門

- | | | |
|------|------|--------|
| ・薬剤部 | ・麻酔科 | ・集中治療部 |
| ・救急部 | | |

保健・健康 研究部門

- | | | |
|---------|-------------|---------|
| ・看護部 | ・健診部 | ・放射線診断科 |
| ・腫瘍放射線科 | ・歯科口腔外科 | ・医療情報部 |
| ・臨床検査部 | ・リハビリテーション科 | |

医学研究支援センター

- ・運営企画室 ・研究補助員室 ・品質管理室 ・データ管理室 ・CRC室

(3) 役員会に関する事項

理事会・評議員会

開 催	会議事項	審議結果
第56回 理事会 2023年5月22日(月) 決議の省略 決議者： 理事 12名 監事 2名	2022年度事業報告(案)について 2022年度決算報告(案)について - 役員損害賠償責任保険への加入について - 評議員会に日時及び場所並びに議事に付すべき事項について [報告事項] - 重要な財産の処分について	承認
第23回 評議員会 2023年6月15日(木) 出席者： 評議員 8名 理事 9名 監事 2名 陪席者 14名	- 評議員の選任について - 理事の選任について - 監事の選任について - 評議員会規則の改定について [報告事項] 2022年度 公益財団法人田附興風会 事業報告について 2022年度 公益財団法人田附興風会 決算報告について - 役員損害賠償責任保険への加入について	承認
第57回 理事会 2023年6月15日(木) 出席者： 理事 11名 評議員 11名 監事 2名 陪席者 9名	- 代表理事の選定について - 理事長、副理事長及び常務理事の選定について [報告事項] - 理事の職務の執行状況について	承認
第58回 理事会 2024年2月29日(木) 出席者： 理事 10名 監事 2名 陪席者 9名	2024年度事業計画(案)について 2024年度収支予算(案)について 2024年度設備投資計画及び2023年度設備購入引当資産の取り崩しについて - 定時評議員会の日時及び場所並びに議事に付すべき事項について 2022年度決算の修正について [報告事項] - 職務の執行状況について - きたの医学研究積立金について - 西館再開発事業について	承認

3. 附属明細書

重要な使用人

(2024 年 3 月 31 日現在)

重要な使用人	氏 名
副院長	福井 基成
副院長	寺嶋 宏明
副院長	佐藤 正人
事務部長	佐々木 順三
看護部長	寺井 美峰子
薬剤部長	尾上 雅英